

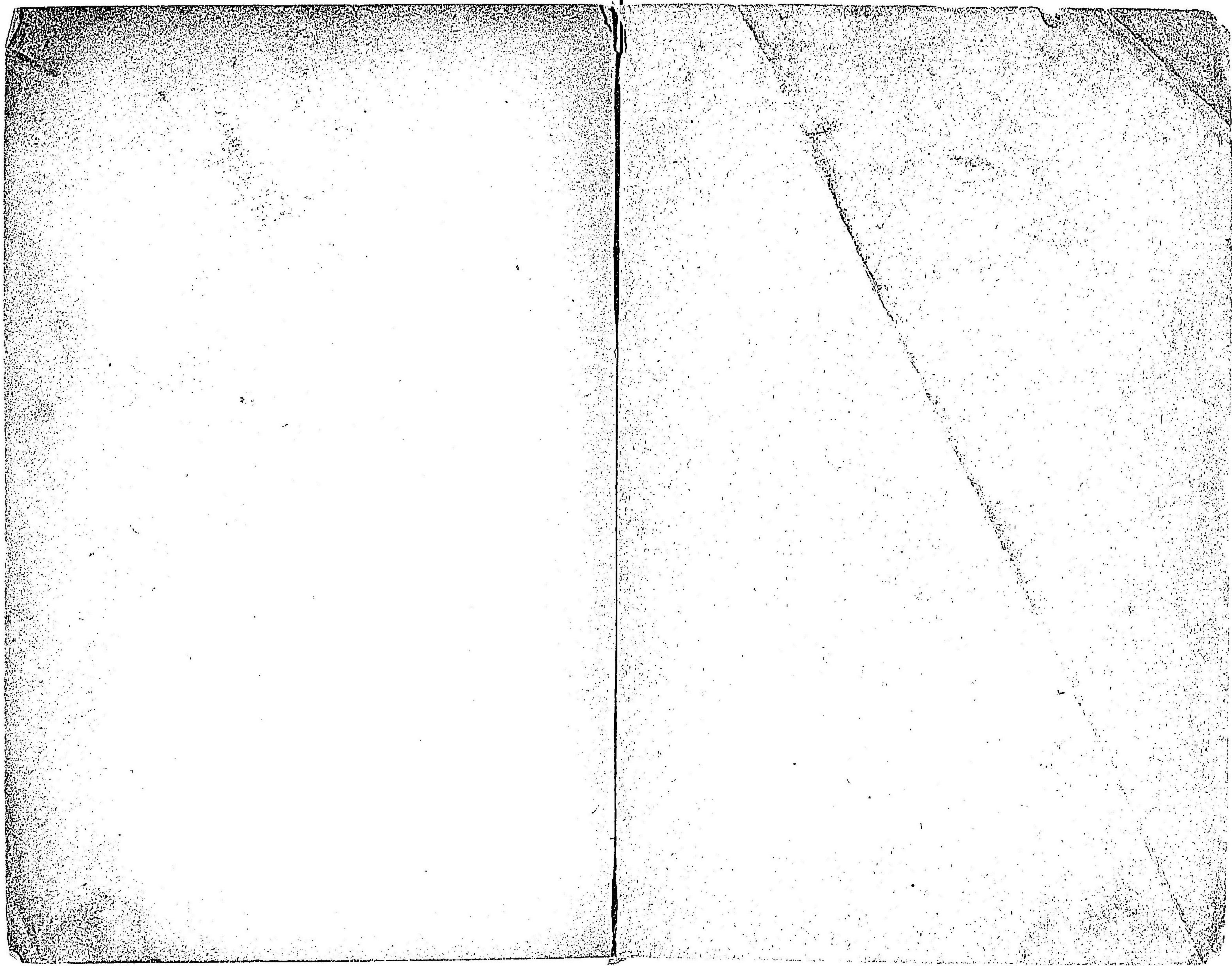
New National

第五讀本直譯講義

森元藏校閱

宮野權六譯述





特27
402

№17746/22

ニウオシヨナル第五讀本直譯講義

目次

| | | | |
|-------|---------------|-----|--------|
| 第七十六課 | 「ウツ」ジニヤス | 第一部 | 六百二十七丁 |
| 第七十七課 | 亞米利加ノ發見 | 第一部 | 六百三十一丁 |
| 第七十八課 | 亞米利加ノ發見 | 第二部 | 六百四十四丁 |
| 第七十九課 | 騎兵ノ攻撃 | 第一部 | 六百五十四丁 |
| 第八十課 | 洋中浮氷ニ於テノ迷路 | 第一部 | 六百五十七丁 |
| 第八十一課 | 洋中浮氷ニ於テノ迷路 | 第二部 | 六百六十九丁 |
| 第八十二課 | 死者ノ野陣 | | 六百八十丁 |
| 第八十三課 | ナイアガラノ瀧ノ下 | | 六百八十三丁 |
| 第八十四課 | 羅馬ニ於ケル劇場 | | 六百九十四丁 |
| 第八十五課 | 羅馬ノ古傳 | | 七百三丁 |
| 第八十六課 | 白露國ノ黄金ノ殿堂 | | 七百六丁 |
| 第八十七課 | 「ワズワース」ノ虜及ヒ逃レ | | 七百十三丁 |



| | | |
|-------|--------------------|--------|
| 第八十八課 | 雪圍 | 七百廿二丁 |
| 第八十九課 | 「アマゾン」ノ護謨樹 | 七百廿七丁 |
| 第九十課 | 「サー、マッシュユー、ヘール」ノ奇談 | 七百三十五丁 |
| 第九十一課 | 亞米利加ノ旗 | 七百四十三丁 |
| 第九十二課 | 蠶 | 七百四十六丁 |
| 第九十三課 | 「ラトリア、ド、チーヴハン」 | 七百五十五丁 |
| 第九十四課 | 死シタル精兵 | 七百六十七丁 |
| 第九十五課 | 「シヨージ」王ノ演劇 | 七百七十一丁 |
| 第九十六課 | 「クエベック」ノ掠取 | 七百八十三丁 |
| 第九十七課 | 田舎ノ墓地ニ於テノ歌 | 七百九十七丁 |
| 第九十八課 | 「サーモビレー」ノ戰爭 | 八百一丁 |
| 第九十九課 | 「サーモビレー」ノ戰爭 | 八百十一丁 |
| 第一百課 | 鴉 | 八百二十四丁 |

目次畢

ニユーナ ショナル 第五讀本直譯講義第四卷

森元藏校訂
宮野權六譯述

第七十六課

「ヴワージニヤス」

(註)「ヴワージニヤス」ハ「アピヤス」ナル專横者ヨリ其愛女ノ汚サレンコトヲ欲セシテ遂ニ己レノ愛女ヲ殺シ羅馬ノ軍ニ其次第ヲ訴ヘタルニ羅馬軍「ヴワージニヤス」ヲ爲メニ驛ヲ報シ「アピヤス」ヲ幽閉セリ後チ彼レ自殺スルニ至レリ少女死シテ羅馬國入自由恢復ノ基礎トナリタリ

眞直ニ「ヴワージニヤス」ハ少シ傍ラノ場所ニ處女ヲ導キシ(其處ニ)角ト皮ヲ以テ堆積セラレタル湯氣立ツ處ノ賣肉所ノ立チシ所ニ迄、其處ニ紅ノ流ニ於テ大ナル渠ニ迄血ノ迸レル處ノ流レガ飛奔スル處ノ此方ノ低キ暗キ廊下ニ接近シテ

(譯)「ヴワージニヤス」ハ己レノ少女ヲ連レテ少シ片脇ノ牛角ヤ生皮等ノ堆積シタル肉類販賣店ノ在ル所即獸類屠殺ノ爲メ鮮血ハ小流ヲナシテ流出スル大渠ノ邊リノ暗ラキ廊下ノ近傍ニ至リタリ

其處ニ苦シク屠牛者ガ狙ノ上ニ彼ノ庖丁ヲ置キタリシトニ「ウワージニヤス」ハ庖丁ヲ取リ上ケシ而シテ彼ノ上衣ニ於テ其ヲ隠セシ○而シテ然ルルキニ彼ノ眼ハ甚ダ曇テナリシ而シテ彼ノ咽喉ハ腫脹スヘク初メシ而シテ枯レタル變シタル聲ニ於テ彼ハ語リシ「サヨナラ、愛ラシキ少女ヨ、サヨナラ」ト

(譯)其處ニテ屠牛者ハ其庖丁ヲ屠盤ノ上ニ強ク降シタリ「ウワージニヤス」其庖丁ヲ奪ヒ取リ己レノ上衣ノ下タヘ隠シタリ、○然ルニ其眼ニハ涙ヲ現ハシ咽喉ハ密カリ悲シキ思ヒヲナシタリ而シテ勢枯レタル聲音ニテ彼レ述ベケル權「サヨナラ愛ラシキ娘ヨ、サヨナラ」

オ一如何ニ余ハ余ノ愛兒ヲ愛セシヨ余ハ時トシテハ嚴重ニアルト雖モ汝ハ知ル汝ニ迄余ハ左様ニアラサリシ○誰レハ汝ニ迄ニ左様ニアリ能ヒシ乎○而シテ如何ニ余ノ愛兒カ余ヲ愛セシヨ○余ガ昨年歸リシトニ聞ニ於テ余ノ足音ヲ聞クベク如何ニ彼女ハ喜ンデアリジヨ

(譯)オ一余ハ如何ニモ余ノ愛兒ヲ愛シタリ○余カ性ハ嚴ナレバ汝ノ知ル通り汝ニハ嚴重ニアラサリシ○父ノ外誰レカ汝ニ假サシキモノカアルカ○余カ愛兒モ亦大ニ余ヲ愛シタリ○余カ昨年歸宅セシトニ我家ノ園ノ上ニテ余ノ足音ノスルヲ聞ヒテ彼ノ女ハ大層喜ン

而シテ余ノ都府ノ帽子ヲ見ルベシ愉快ヲ以テ如何ニ彼女ハ踊リシヨ而シテ余ノ劔ヲ取リシ而其ヲ懸ケシ而シテ余ノ上衣ヲ余ニ持運ヒシ今總テ是等ノモノハ古キ事業ノ汝ノ働キ而シテ余カ前ニ行クトニ誰レモカ悲シマヌテアロウ或ハ余ガ戻ルルハ笑顔セヌテアウフ或ハ老ヌ

ル人ノ病床ヲ看護セヌデアロウ或ハ彼ノ死骸ノ上ニ泣カヌデアラフ

(譯)余カ禮帽ヲ戴クヲ見テ喜ンテ踊躍シ又余ノ劔ヲ取テ掛ケ余ノ上衣ヲ持テ來リタリ○今ハ是等ノ「ハ皆お仕舞トナリタリ」即チ汝ノ愛スヘキ習慣動作汝ノ針仕事、汝ノ冗談汝ノ仕事ノ働キ杯ハ皆お仕舞ジヤ此以後ハ余カ外出スルトキニ悲シムモノモナカラフ又余カ歸リ來ルトキニ喜フモノモナカラフ、余カ老後ノ病氣ヲ看護スルモノモナカラフ余カ死シタル後ニ余ノ死屍ニ取リ付テ泣クモノモナカラフ

羅馬ノ壁ノ内ニ最モ幸福デアリシ處ノ家「カポ」ノ大理石ノ書院ヲ羨マサリシ處ノ家ハ今汝ノ笑顔ノ艶麗ニ向テ永久ノ陰暗ヲ有タ子ハナラヌ而シテ汝ノ聲ノ樂調ニ向テ墓ノ沈黙ヲ

(譯)羅馬ノ邸内ニテ最モ幸福ナル家ニテ「カポ」府内大理石ニテ造置シタル書院ノ華美ヲモ羨マヌ此家モ今ハ汝ノ笑顔ノ艶麗ヲ見シテ永遠寂然タルヘク又汝ノ樂樂ノ如キ美聲ヲ聞カスシテ墓地ノ靜然トナルヘシ

時ハ來デアアル○如何ニ彼ハ此仕方ニ彼ノ熱心ノ手ヲ指シ向クル乎ヲ見ヨ○鷲ノ餌食ニ於ケルカ如ク彼ノ悲ニ於テ如何ニ彼目カ光ルカヲ見ヨ○彼ノ智ノ總テヲ以テ賤シメラレ背カレ掠奪セラレテ汝ノ父ハ彼ノ絶望ニ於テ殘サレタル一ノ恐ロシキ隠レ場所ヲ持ツ「ト」彼ハ少シク者フ

(譯)時既ニ來レリ○彼レカ如何ニモ熱心ニ其手此様ニ上クルヲ見ヨ○彼ノ悲歎ヲ現ハス

ノ眼ハ驚ノ其餌食ニ於ケルカ如ク細ケリ○彼レノ智識アルニモ拘ハラズ腹シミヲ受ケ背
カレ又掠奪ニ逢フテモ汝ノ父ハ一生懸命ノ場合ニ至レハ外ニマダ一ツノ爲スヘキ奥ノ手
ノ在ルヲ悟ラヌ

此手ニ於テ余カ尙ホ汝ノ温和ナル少女ヲ嘲弄、打撃奴隷ノ部分ヨリ助ケ能フ處ノモノヲ握
ルヲナ彼等ハ少シク考フ然リ嘲弄打撃カ過ル處ノ名モナキ害ヨリ其レヲ汝ハ知ラヌ其ヲ汝
カ決シテ知ラヌテアラフ處ノ惡シキ亂暴ナリ

〔嘲弄〕打撃奴隷ノ一部ヨリ汝ノ温和ナル少女ヲ助命スル所以ノモノヲ余ノ掌中ニ握ルヲ
彼ハ殆ント思考セヌ蓋シ嘲弄打撃ノ如キ名狀スヘカラサル害即チ汝ノ知ラヌ否汝ノ知ル
可カラサル暴悍ナリ

然ルレ今一度首ノ周圍ニ余ヲ抱ケ而シテ今一度余ニ「キス」ヲ與ヘヨ而シテ今余ノ愛スル少
女ヨ其處ニ此ノ外ニ一ノ方法カアラヌ○此ヲ以テ彼ハ劍ヲ高ク上ケシ而シテ脇腹ニ於テ彼
女ヲ刺シ、而シテ彼女ノ血ニ於テ彼女ハ地ニ迄沈ミシ而シテ一息ヲ以テ彼女ハ死セシ

〔講〕然ルレ今一度余ノ首ヲ抱ケ今一度余ニ「キス」ヲナセ扱余ノ親愛ナル少女ヨ外ニハドウ
モ致シ方カナイ(以上父ノ口上)斯ク述ヘ終リテ父ハ劍ヲ上ケテ少女ノ脇腹ヲ刺シタリ而シ
テ少女ハ血ニ塗レテ大地ニ倒レ唯一呼吸ヲナシタルマヽニ死シタリケリ

然ルトキ少シノ間ニ向テ總テノ人民ハ彼等ノ呼吸ヲ保チシ而シテ集マリタル群ヲ通シテ死
ノ如キ靜止カアリシ而シテ他ノ瞬間ニ於テ一人而シテ總テヨリ「ホルシヤ」人カ壁ヲ踏ヘテ

來リツ、アリシカノ如ク叫ヒカ破レシ

〔講〕然ルレ片暫時ノ間ハ人皆ナ息ヲ殺シテ默然タル有様ハ群集ノ人々皆死シタルカ如クナリ
シ、間モナク初メハ一人ヨリ從テ群集一体ヨリ大呼ノ聲破裂スルカ如クナリシカ其聲恰モ
「ホルシヤ」人外廓ヲ踰越シテ襲撃シ來ル者ノ如クナリシ

或ル者ハ横向ケタル顔ヲ以テ叫ヒツ、急キ宅ニ飛ヒシ或ル者ハ醫者ニ迄呼フヘク走リシ或
ル者ハ死者ヲ起スヘク走リシ或ル者ハ生命カ其處ニ見出サレ能ヒシカ(ノ如ク)彼女ノ唇及
手先キヲ觸レシ而シテ或ル者ハ速カニ彼ヲ衣服ヲ破リシ而シテ瘡口ヲ止ムルヘク働キシ
○無益ニ彼ヲ走リシ觸レシ止メシ、如何トナレハ「ホルシヤ」ノ敵ニ對シテ其右ノ手カ決
シテ尙ホ確カナル打撃ハ爲サレナシ

〔講〕天ヨリ或ハ顔ヲ横向ケニナシテ涙ヲ垂レナカラ急キ歸途ニ就クモノアリ或ハ醫者ヲ見
ヘントテ走ルモアリ或ハ死人ヲ懷抱セントテ走リ或ハ若シヤ蘇生ハセヌカト疑ヒ少女ノ
唇ヤ手ニ觸ル、モノアリ或ハ又己等ノ衣服ヲ破リ少女ノ瘡ヲ包ムモノアリ○群集ノ走ル
モ觸ル、モ出血ヲ止ムルモ悉ク無益ノナリ「ホルシヤ」ノ敵軍ヲ攻撃スルトキニテモ尙ホ
此少女ヲ刺シタル程ニ手嚴シクハ其ノ右ノ手ハカチコメテ刺サリシ(即チ此少女ヲ刺ス
トキ父ノ手ニハ充分ノカチコメタルハ敵軍「ホルシヤ」人ヲ刺ストキヨリモ其力尙ホ強カリ
キ)

第七十七課

亞米利加ノ發見

第一部

一千四百九十二年九月ノ六日ノ朝ニ於テ早ク「コロンバス」ガ「ゴメラ」ノ島カラ出帆セシ而
シ今發見ノ地方ニマデ定ル可ク最初ノモノト云ハレ能ヒシ舊世界ノコレヲノ前面ノ島ノ分
レテ取リツ、而シテ大西洋ノ不知ノ部分ニ向テ西方ニ楫リツ、○トハイヘトモ深キ平穩ガ
土地ノ短キ距離ノ中ニユレル所ノ帆ヲ以テ、ヨロメキ乍ラ舟ヲ保チシ

(譯)千四百九十二年九月六日ノ早朝「コロンバス」ハ「ゴメラ」島ヲ出帆セシ、コレ舊世界ノ前面
ニアル諸島ヲ見捨テ大西洋未發ノ部分ニ向フテ西方ニ進ム發見者ノ魁ト云フベシ○三日
間海上平穩ニシテ風無ク「コーメラ」近傍ニ徘徊セリ

九月ノ九日ナル次ノ月曜ニ於テ天明ニ於テ殆ント九「リীগ」^{二十七}離リタル「カナリト」島
ノ最后ノモノナル「フアロー」ヲ見シ幸ニモ軟風ガ太陽ト共ニ起リシ彼ヲノ帆ガ尙一度滿
サレシ、而、日ノ進ニ於テ「フアロー」ノ高サカ次第ニ地平線カラ消萎セシ

(譯)次ノ日曜九月九日ノ朝「コロンバス」ハ「フアロー」島ヲ見シ、コノ島ハ「カナリト」島最后ノ
モノニシテ距リルノ廿七里ナリ○幸ニ天ノ明クルト共ニ軟風起リ帆ハ風ヲ含ンテ前進
シ日暮ル、ニ隨ヒテ漸ク「フアロー」島ハ地平線下ニ没シテ又見ヘズナリシ

陸ノコノ最后ノ形跡ノ見ヘテ失フニ於テ水夫ノ心ガ彼ヲ弱クセシ○彼ヲノ後ニ人ノ心
ニマデ親シキ各ノ者ガアリシ——國、親戚、朋友、生命ソレ自身ナリ彼ヲノ前ニ各ノ者ガ不

分明ニ秘密ニ而危險ニアリシ○荒々シキ水夫ノ多クガ涙ヲ流セシ而或ルモノハ聲高キ悲ミ
ニ迄破レシ

(譯)陸ノ形跡ヲ失ヒテ「フアロー」島ヲ見ルヲ得サルニ及ンテ水夫共ハ漸ク力ヲ失ヒテ悄
然タリ、故國朋友、親戚、生命ノ安否等ハ誰ニモ氣ニ掛ルモノニ今ヤコレヲノモノヲ後ニ捨
テ已等ノ行ク先ハ實ニ不知案内ノ航海ニテ如何ナル危險ニ出遇ハンカモ知ラレサレバナ
リ彼是レ思ヒ案シテ粗暴ナル水夫共ハ聲ヲ流シ中ニモ甚シキハ大聲ヲ發シ悲歎ニ沈ミシ
モノアリタリ

總督ガ各ノ方法ニ於テ彼等ノ歎キヲ慰メルベク及ヒ彼自身ノ名譽アル豫想ヲ以テ彼等ニ呼
込ムベク試ミシ」彼ハ華美ノ國其ニ迄彼カ將ニ彼等ヲ導クベクアリシ所ノ華美ノ國ヲ彼等
ニ迄話セシ黄金、及ヒ寶石ヲ生スル所ノ印度海ノ嶋ナル彼ハ土地及ヒ富及ヒ彼等ノ強慾ヲ
勵マシ又ハ想像ヲ引起シ能ヒシ所ノ各ノモノヲ彼等ニ約セシ

(譯)總督「コロンバス」ハ種々手ヲ盡シテ水夫等ヲ慰メ且ツ己レノ期望ノ燦然タルヲ説キテ
水夫ヲ安心セシメントセリ○夫レ故ニ彼レハ印度海中金銀珠寶ヲ生スル寶園ニ迄彼等ヲ
導カントスルモノナルヲ云ヒシ○彼レハ土地財寶ヲ與フルヲ約シ又水夫共ノ貪慾ヲ
勵マシ想像ヲ起サシメ自ラ奮ンテ進マシメントシテ何ナリトモ欲スル所ノモノヲ與フル
ヲ約シタリ、

彼ハ今他ノ舟ノ指揮者ニマデ或ル偶事ニ依テ分離スルノ事變ニ於テ彼等ガ眞直ニ西方ニ

續クテアラフノ命令ヲ發セシ然レモ七百「リング」ヲ走ルノ後彼等ハ夜半ヨリ日出マデ
躊躇スルデアラフノ命令ヲ發セシ凡ソ其隔リニ於テ彼ガ必ラズ陸ヲ發見スベク豫期セシ
故ニ

(譯)「コランバス」船ノ船長ニ言ヒケルハ若シ一事變ノ起ルアリテ各船船ノ別レ別レニ
ナルコアラハ皆眞直ニ西方ヲ差シテ航行セヨ、併シ七百「リング」ヲ航行スルノ後ハ直ニ止マ
リテ天明ヲ待テヨ、其距離ノ處ニハ陸地ヲ發見スルナラント信スレハナリト、

水夫夫欺クベク彼ハ二ツノ計算表ヲ保チシ一ハ正シク其ニ於テハ舟ノ眞實ノ道ガ記サレシ
而シテ其ハ彼ガ自身ノ支配ニ向テ秘密ニ於テ保チシ他ノモノニ於テハ其ガ一般ノ熟覽ニマ
テ開カレシ水夫ハ彼等ガ進ミタリシ實際ノ距離ノ無知ニ於テ保タレシトホド左様ニ「リ
グ」ノ數ガ船ノ走ルコヨリ日々ニ減セラレシ

(譯)「コランバス」ハ水夫ヲ欺カンガ爲メニ二ツノ計算表ヲ有セリ、即チ一ハ正シキモノナレ
バ航海ノ眞ノ里數ヲ記シ人知レズニ己ガ保存セリ、他ノモノハ閱見勝手次第ニシテ進航ノ
里數ヲ減シテ記載シタルガ故ニ水夫等ヲシテ果シテ幾里進行シタリヤ皆虚ヲ以テ賢トシ
百里進行セシモノモ五十里ト思ハシメタリ

九月ノ十四日ニ於テ航海者等ハ彼等ガ陸ノ徵行ト思考セシ所ノモノニ依テ悦バサレシ○鷺
及ヒ或ル温帶地ノ鳥、其ノ何レモガ海ニマデ遙方冒險スルベク想像サレヌ所ノ鷺及ヒ温帶
地ノ鳥ガ舟ノ邊ヲ翔リシ

(譯)九月十四日コノ一行ノモノヲ陸地ノ徵候ヲ見テ大ニ喜ビタリ○即チ鷺及ヒ温帶地方
ノ鳥ガ舟ノ周圍ヲ飛ビマワリシ、コレヲノ鳥ハ敢テ遠洋中ニ飛翔セサルモノト考ヘラル、
通り過キト雖モ折々ノ雲、及ヒ驟雨ヲ以テ風力は迄好都合ニアリタリシ○彼等ハ毎日大ナ
ル進行ヲ爲シタリシ例令ヒ「コランバス」ガ彼ノ秘密ノ方位ニマデ從フ所デ水夫ニマテ開ヒ
テ置カレタル毎日ノ計算ニ於テ數「リグ」ヲ隱匿スベク謀リシト雖モ

(譯)タトヒ折々驟雨浮雲ニ遇ヒシトハ雖モ概シテ順風ニテ都合宜シカリキ○夫レ故ニ「コ
ランバス」ノ秘密ノ謀ニテ一般水夫ニ示スノ僞表ニハ日々ノ速力ノ幾「リグ」ヲ減シタル
モ猶ホ船ノ進航ハ莫大ナリシ、

九月十八日ニ於テ同一ノ天氣ガ續キシ東方ヨリ温和ナル強キ軟風ガ各ノ帆ヲ滿セシ然ルニ
「コランバス」ハ海ノ氷ガ彼ガ進シキニ、ヨリ新鮮ニナリシト想像セシ而シテ空氣ノ勝リ
タル快樂ナルトト而シテ清淨ナルコノ證據トシテ之ニ注目セシ

(譯)九月十八日モ引續キ好天氣ニシテ東方ヨリ順風帆ヲ滿タシテ進行快樂ナリ然ルトキ
「コランバス」海水ノ次第ニ清純ナルヲ見テ、空氣ノ爽快純潔ナル證據ナリト思ヒタリ

水夫ハ總テ高キ精神ニ於テアリシ、各ノ船方進航ニ於テ得ルベク務メシ、而シテ各ノ水夫カ
熱心ニ遠見ニ於テアリシ、如何トナレハ國王カ最初ニ陸ヲ發見スルデアロウ處ノ、彼レニ迄
一萬「マラヴィ」テイイス「賞金」ヲ約シタリシ故ニ

(譯)凡テノ水夫ハリキミ反リテ意氣揚々タリ、各船競テ先キヨ争ヒ、各水夫ハ熱心ニ先方ヲ

見詰メ居レリ、コレ全ク第一ニ陸地ヲ發見シタルモノハ國王ヨリ年金三十五弗ヲ得ルノ約
東アレハナリ、

彼等カ走りタリシ隔離ニ付テ無學ニ人ヲ保ツベキ彼ノ用心ニモ拘ハラズ、彼等ハ今航海ノ
長キヲニ於テ、非常ニ不安心ニナリツ、アリシ○彼等ハ曾テ人カ前ニ走りタリシヨリ多ク
ヨリ遠ク西ニ進ミタリ、而シテタトヒ既ニ救助ノ達シテ越ルト雖モ尙ホ彼等ハ彼等ノ後ニ
大洋ノ大ナル跡ヲ去リツ、而シテ其ノ明カニ限リナキ無底海ニマテ前ニ而シテ前ニ急キ
ツ、日々ニ續キシ

(譯)コロンバスノ水夫共ニ航海ノ眞里程ヲ知ラシメサラントスルノ計畫ハ徒勞ニ歸シ
テ、水夫共ハ漸ク航路ノ長キニ倦ミ不安心ヲ萌セリ、○コノ還行シタルヤ實ニ古今未嘗有ニ
シテ廣遠タル大洋ヲ後ニ見テ、無限ノ深淵ヲ横リ、四邊茫トシテ船ナク、一旦墜没ノ憂アルト
モ、決シテ救助ノ道ナキ恐ルヘキ旅行タリ

九月二十日ニ於テ風ガ南西ヨリノ輕キ南風ヲ以テ變セシ○是等ハ彼等ノ進行ニ逆逆フモノ
ト雖モ彼等ハ風ガ常ニ東ヨリ流行シナサハリシヲ確認セシ、故ニ人ノ上ニ愉快ナル功顯
ヲ持チシ○種々ノ鳥ガ又々舟ヲ訪問セシ森及ヒ樹園ノ周圍ニ保ツ所ノ小ナル種類ノ三羽ガ
朝ニ於テ嘯リツ、來リシ而シテ夕ニ於テ再ヒ飛ビ去リシ○彼等ノ歌ガ陸ノ聲トシテ其ヲ祝
セシ所ノ驚キタル航海者ノ心ヲ慰メシ○彼等ガ注目セシ大ナル鳥ハ羽翼ニ付テ強クアリシ
而シテ海ニマテ遙カ冒險シ能ヒシ然レモ如斯小ナル鳥ハ遠ク飛ブベク餘リ弱クアリシ而シ

テ彼等ノ嘯ルトハ彼等ガ彼等ノ飛ブコニ依テ疲レテアラサリシヲ示セシ

(譯)九月二十日風ハ南西ヨリ軟風ト變シタリ○此風ハ船ノ進行ニハ不都合ナレモ東方ヨ
リ吹キ來ラサル力故ニ船力故郷ヲ離レ還洋中遠ク進行スルニ難分妨ケトナルヲ以テ、人々
ハ多少ノ愉快ヲ感シタリ、○其上種々ノ鳥船邊近ク來リタルカ、森林及ヒ果樹園ノ近邊ニ住
スルモノナリト思惟スルノ處ノ小鳥三羽ガ朝ニハ來リ嘯リ、夕ニハ飛去リタリ○ソノ歌ヲ
聞キテ心凄シキ航海者等ハ陸地ノ呼聲トシテ祝シ以テソノ心ヲ喜ハシメタリ○彼等ガ考
ヘシニハ大ナル鳥ハ翼ノ力強ク遠洋中ニ翔ルト得ルト雖モ此ノ如キ小鳥ハ決シテ遠ク
洋中ニ飛翔スルコト能ハス、且ソノ歌聲ニ依テ察スレバ、遠ク飛翔シテ疲レ倦ミタル調子ニ
アラズ、必スコノ近邊ニ陸地アラント、

三日ノ間其處ニ南方而シテ西方ヨリ輕キ夏ノ風ノ引續キガアリシ而シテ海ガ鏡ノ如ク左様
ニ滑カニアリシ○鯨カ遠隔ニ於テ其大ナル形ヲ持上ケツ、見ラレシ其ナ「コランバス」ハ都
合善キ徵候トシテ直ニ指示セシ是等ノ動物ハ一般ニ陸ノ近傍ニ於テ見ラレシトナリシヲ確言シツ

(譯)以后三日間南方及ヒ西方ヨリソノ微風吹キ續キ、海面恰モ鏡ノ如ク滑ナリ○遠
方ニ於テ大ナル身体ヲ水面ニ現ハス鯨ヲ見テ「コランバス」ハ陸地發見ノ兆トシテ指定シ、且
ツ鯨ノ如キ動物ハ一般ニ陸地近傍ニ於テ見ラル可キモノナルヲ説示シタリ、

然レモ水夫ハ天氣ノ靜カナルトニ於テ不安心ニナリシ○是等ノ異リタル地方ニ於テハ各ノ

モノガ世界其ニマデ彼等ガ慣サレタリシ所ノ世界ヨリ違ヒシト彼等ガ言ヒシ○或ル引續キト及ビカヲ以テ流行セシ所ノ唯タノ風ハ東ヨリテアリシ而シテ其所ニ其故ニ沈靜ナル及ビ岸ナキ水ノ中ニ死スルコトニ付テカ、或ハ反對ノ風ニ依テ曾テ彼等ノ生レタル國ニマデ歸ルコトヨリ妨ケラル、コトノ危難ガアリシ

(譯)此ノ如ク陸地ノ兆見ハル、ト雖モ水夫ハ天氣平穩風ノ便ナキヲ以テ不安心ヲ感シタリ、○水夫等ガ云ヒシ、此ノ如キ異境ニ於テ事々物々吾等ノ住ミ慣レシ故郷トハ異レリト○風ハ常ニ東ヨリ引續キ吹キ來レリ、夫レ故ニ廣漠トシテ靜止際限ナキ大洋中ニ死センカ或ハ東ヨリ吹ク逆風ニ妨ケラレテ、故國ニ歸ル能ハサルノ危難ニ遇ハンカ、二者何レカノ災難ハ免ル可カラサルモノ、如シ

「コラムブス」ハ感賞スベキ耐忍ヲ以テ是等ノ想像ニ推論スベク續キシ、海ノ靜カナルコトハ疑ヒモナク方角其ヨリ風ガ吹シ所ノ方角ニ於テ陸ノ近キコトニ依テ起サレテバナラヌ、其ハ其故ニ水面ノ上ニ働クベク、及ビ大ナル浪ヲ起スベク餘地ヲ持タザリシコトヲ説キツ、

(譯)「コラムブス」ハ耐忍勉勵以テソノ道理ヲ究メ、畢竟海面ノ靜平ナルハ風ノ起ル方向ニ於テ陸地ノ接近スル右ルニ由ル既ニ陸地ノ接近スルアリ、故ニ水面ニ於テ大風吹起ルモ激浪ヲ捲上ルノ余地ナキハ蓋シ疑フ可カラサルコトナセリ、

九月ノ二十五日ナル日曜日ニ於テ其所ニ風ニ依テ伴隨サレザル海ノ烈シキ波濤ガ來リシ迄テ「コラムブス」ガ尙多ク議論セシホト水夫ノ不平ガ多ク騒シクナリシ○此現象ハ或ル過

去ル嵐ノ終ル所ノ動搖乎、又ハ風ノ或ル隔リタル流レニ依テ海ニマデ與ヘラレタル運動乎デアル所ヲ廣キ大洋ノ上ニ屢々起ル○然モ其ガ航海者ニ依テ驚愕ヲ以テ注意サレシ、而シテ靜カナルコトニ依テ起サレタル想像ノ驚愕ヲ解散セシ

(譯)「コラムブス」ガ水夫等ノ疑ニ付テ解辨スレバ、スルホド却テ反動力ヲ起シテ水夫等ノ不平激昂シタルガ遂ニ九月廿五日ニ至リ偶々風ナクシテ海上一大浪波ヲ起セリ○此現象ハ大洋中屢々見ル所ノモノニテ數日來ノ大風ノ終局ノ動搖カ、或ハ遠方ニアル激風ノ余波ニ由リテ起ル所ノモノナリ、敢テ奇トスルニ足ラス、○然レモ水夫共ハ是ヲ以テ大ニ驚愕シ遂ニ海上靜穩ナルカ爲メニ疑ヲ起シ恐怖スルノ念ハ變シテ激浪ノ恐レトナリタリ

然モ「コラムブス」ノ位置ハ日々ニ尙多ク而シテ尙多ク危急ニナリツ、アリシ○彼ガ地方其所ニ彼ガ陸ヲ發見スベク豫期セシ所ノ地方ニ近ツキシ丈ケノ割合ニ於テ、彼ノ水夫ノ短氣ナルコトガ増セシ○彼等ノ財物ガ盡ルデアラフナラハ彼等ニ付テ何トナリシ乎

(譯)「コラムブス」ノ地位日ニ益々危ク、水夫ノ不平心ハ「コラムブス」ガ發見地ニ近ク丈ケノ比例ニ於テ増加セリ、即チ一寸前ニ進メハ一寸ノ不平ヲ増スノ場合トナレリ○嗚呼コノ際ニ於テ彼等ノ食物若シ盡ナバ彼等ハ如何ノ有様トナルヘキ乎

彼等ノ船ハ彼等ガ既ニ成シタリシ大ナル航海ニ向テスラモ余リ弱ク且ツ不充分デアリシ、然モ若シモ彼等ガ各ノ時ニ於テ彼等ノ後ニ夥多ナル廣ガリニマデ加ヘツ、尙モ前ノ方ニ急ツヘクアリシナラバ、間ニアル港其所テ彼等ガ食料ヲ需メ及ヒ營繕シ能ヒシ所ノ一ノ間

ニアル港ヲ持ヌ所デ、如何ニ彼等ハ曾テ歸ルベク能フベクアルデアラフ乎

(蘭)コノ一行ノ船体ハ今日迄既ニ進航シタル大航海ニモ不適當ノモノナリトス、如此キ脆弱ナル船体ヲ以テ渺茫タル大洋中糧食ヲ供シ修繕ヲ加フヘキ港ナキ處ヲ航進スルハ危險極ルコトニシテ無難歸國スルコトヲ得ルハ懇求ナカラシ、

彼等ハ人ガ曾テ前ニ試ミタリシ所ヲ越テ、遙カ舟ニ依テ渡ラレテナキ知ラレザル海ニ既ニ入込タリシ○彼等ハ斯ノ如キ企圖ヲ企ツルコトニ於テ而シテ左様ニ遙カ其ニ於テ大膽及ヒ勇氣ニ向テノ性質ヲ彼等自身ノタメニ得ルベク充分ニ爲シタリ○唯々惟察セシ陸ノ穿鑿ニ依テ如何ニ多ク尙遙カ彼等が行クベクアリ乎○彼等ハ彼等ガ死セシ迄テ又ハ總テ歸ルコトガ出來ベカラズナリシ迄進行スベクアリ乎○斯ノ如キ場合ニ於テハ彼等ガ彼等自身ノ殺スコトノ始造者デアラデアラフ

(蘭)彼ラハ今ヤ既ニ航海者ノ未タ曾テ到ラサルノ域ニ達シ○大膽勇氣ヲ鼓シ初期ノ大目的ヲ達センコトニ勉メタリ○彼等ガ想像セシ陸地ニ達センニハ果シテ幾許里行クベキカ○彼等ハ悉ク死没シ或ハ絕域ニ達シテ歸ル能ハサルノ所迄進マサルベカラザルカ○若シ然ラハ彼ラハ殺見者ニアラズシテ自身滅亡ノ創始者ト云フベシ、

「コランバス」ハ彼ノ水夫ノ粗暴ナル性質ニ付テ知ラズンハアラザリシ、然レモ彼ハ温和ナル言語ヲ以テ或モノヲ慰メツ、他ノモノ、高慢又ハ強欲ヲ勵マスベク勉メツ、而シテ彼等ガ航海ヲ妨ケルベキ或ルコトヲ爲スデアロウナラハ著シキ罰則ヲ以テ強情ヲ明ラカニ威シツ

尙落附キタル及ヒ強キ容貌ヲ保チシ

(蘭)コランバスハ水夫ヲノ叛心アルヲ知ラサルニ非サレトモ、尙ホ溫言以テ慰諭シ、彼等ノ高慢慾望ノ心ヲ勵マシテ、期望心ヲ盛ニセシメ、又航海ヲ妨ゲントスル所爲アルモノハ嚴罰ニ處セントテ、水夫等ヲ恐怖セシメ杯シテ、其身ハ泰然トシテ勸力サルノ威ヲ示セリ、

九月ノ二十五日ニ於テ風ガ再び都合好クナリシ而シテ彼等ハ直ニ西ニマデ彼等ノ進行ヲ取ルベク能フベクアリシ○「コランバス」彼ノ水先案内者及ヒ彼ノ經驗アル航海者ガ地圖ヲ學ビツ、而シテ其ヨリ彼等ノ實ノ位置ヲ見出スベク務メツ、アリシ間ニ、彼等ガ「ピンタ」ヨリ叫聲ヲ聞シ而シテ見上ケル所デ陸ヨ「セノル」ヨ余ハ褒賞ヲ請求スルヨ叫ビツ、彼ノ船ノ船首ヲ登リタル「マーチン、アロンゴ、ビンゴン」ヲ視シ彼ハ其所ニ懸隔ニ於テ陸ノ現出ガ實ニアリシ所ノ南西ニマデ同時ニ於テ指示セシ○之ニ於テ「コランバス」ハ彼ノ膝ノ上ニ彼自身ヲ投ケシ而シテ神ニマデ謝辭ヲ返ヘセシ

(蘭)九月廿五日再ヒ順風トナリ、西方ニ向テ直進スル爲メニハ勝手宜シカリキ○「コランバス」水先案内者及ヒ熟練ナル海員等地圖ヲ開キ地球上如何ナル地位ニ今己等ノアルカヲ研究セシ片、一同ハ「ピンタ」ヨリ叫聲ヲ聞キタリ、ト但見上レハ「マーチン、アロンゴ、ビンゴン」ナルモノ船首ニ出テ、陸ナリ、陸ナリ、「セノル」ヨ、吾ハ褒賞ヲ請取ラサル可カラスト云ヒツ、アリシ○同時ニ「コランバス」ハ遙カ南西ニ於テ實ニ陸アリトシテ、衆人ニ指示シ、忽チ跪キテ陸地發見ノ恩ヲ神ニ謝セリ、

(註)「ピシタ」ハ船ノ名ナリ

水夫ハ今指示セラレタル方角ニ於テ彼等ノ眼ヲ見詰メツ、帆柱ノ頂上ニマデ登リシ又ハ綱梯ノ周圍ニ登リシ○証據ガ其方角ニ於テ左襟ニ一般ニナリシ、而シテ大ノ喜悅ハ「コランバ」ガ彼ノ平常ノ航路ヨリ變スルベク而シテ南西ニマデ終夜立ッベク其ヲ必要ト見出セシトホト左襟ニ制スベカラズナリシ

(講)水夫等ハ「極上」ニ登リ或ハ網具ノ周圍ニ懸チテ「コランパス」ガ指示セシ方向ヲ見テ、陸地ノ存在ヲ認メタリ、○因テ大ニ喜ヒ、水夫等ハ「コランパス」ニ請ヒ航路ヲ變シテ南西ニ向ヒ終夜帆カケシメタリ、即チ陸地アリト認メタル方ニ船ヲ進行セシムルトナシタリ、

然レモ朝ノ明リガ夢ニマデノ如ク彼等ノ望ミニマデ終ヲ置キシ○想像サレタル陸ハ夕方ノ雲ノ外何モアラヌベク判明セシメ而シテ夜ニ於テ消散シタリシ○失心シタル心ヲ以テ彼等ハ今一度西方ノ進行其レヨリ「コランパス」ハ彼等ノ喧スシキ所望ヲ諾スルコトニ於テノ外決シテ變セナンダデアラフ所ノ彼等ノ西方ノ進行ヲ取リシ

(講)夜明クレバ彼等ノ望ハ夢ノ如ク消失シタリ、○陸ト想像セシモノハ唯一團ノ夕雲ニシテ夜中ニ消エタリ、○是ニ於テ一同失望シテ更ニ西方ニ進ミ「コランパス」ハ又水夫ノ喧噪ナル嘆願ニ因ルニアラサレハ、決シテ其方向ヲ變セザリシ、

數日ノ間彼等ハ同一ノ都合ヨキ軟風、靜ナル海、及ヒ穩カナル愉快ナル天氣ヲ以テ續キシ○水ハ水夫ガ船ノ周圍ニ遊泳スルコトヲ以テ彼等自身ヲ樂セシトホト左襟ニ靜カニアリシ豚魚

ガ澤山ニアルベク始メシ、而シテ飛魚ガ空中ニ迄飛フ所デ甲板ノ上ニ落チシ○陸ニ付テ續キタル徵候ガ水夫ノ注意ヲ導キシ而シテ頻キリニ前ノ方ニ彼等ヲ誘引セシ

(講)數日間天氣快活海上平穩順風ニ駕シテ進シ、○水面一ノ波浪ナク水夫ハ船ノ周圍ニ游泳シテ自ラ樂シミシ、○豚魚ハ澤山來リ集リ飛魚ハ空中ニ飛ビテ甲板上ニ落チ○水夫ハ陸地ノ兆候ヲ見テ頻リニ前方ニ急キタリ、

十月ノ一日ニ於テ總督ノ舟ノ水先案内者ノ計算ニマデ從フ所テ、彼等ハ「カナリー」島ヲ去ルコトノ以後五百及ヒ八十「リーグ」來リシ○翌日ニ於テ海草ガ東ヨリ西ニマデ浮ビシ而シテ三日ニ於テ一ノ島カ見ラルベクアラザリシ

(講)總督ノ水先案内者ノ計算ニヨレバ十月一日ニ於テ「カナリー」島ヲ去リテヨリ以テ西五百八十「リーグ」來リシ○翌日雜草ガ東ヨリ流レ來リ三日目ニハ一島ヲモ見ル能ハザリシナリ、

今水夫ハ彼等ガ島其ノ一ツヨリ他ニマデ鳥ガ飛ヒツ、アリタリシ所ノ島ノ間ヲ通過シタリシコトヲ恐ルベク始メシ○「コランパス」ガ又々此種類ノ或ル疑惑ヲ持チシ然レモ彼ノ西方ノ進行ヲ變スベク嫌ヒシ○人が再ヒ威言及ヒ不平ヲ發セシ然レモ從フ所ノ日ニ於テ彼等ハ鳥ノ斯ノ如キ飛フ事ニ依テ訪問サレシ而シテ陸ノ種々ノ徵候ガ失望ノ有様ヨリ彼等ガ信スベキ豫望ノ一ツニマテ過キシトホト左襟數多クナリシ

(講)今ヤ水夫ハ鳥ガ飛ヒツ、アリシ所ノ諸島ノ間ヲ過キタリシコトヲ恨レ「コランパス」モ亦

同シ懸悞ヲ懷キシトハ雖尾、決シテ西方ノ進行ヲ改メズ、○人々ハ又威嚇不平ヲ發シタルハ翌日ニ至レバ諸島ノ飛ビ來ルアリ、且ツ種々陸地ノ兆候見ハレ出テ、彼等失心ノ有様ハ變シテ前途希望ヲ懷クノ心トナリタリ、

第七十八課

亞米利加ノ發見

第二部

十月ノ七日ノ朝ニ於テ日出ニ於テ總督ノ水夫ノ數名ハ彼等ガ西ニ於テ陸ヲ視シテ思考セシ然レモ誰モカ其ヲ公告スベク敢テセザリシトホド左様ニ不分明ニ考ヘシ○然レモ其水夫デアル所ノ「ニーニヤ」ガ事實ヲ確定スベク前ノ方ニ急キシ○暫時ニ於テ旗ガ彼女ノ帆桅ノ頂上ニ於テ引揚ケラレシ而シテ鉄砲ガ放サレシ是等カ前約束シタル陸ニ向テ合圖デアル所デ

(譯)十月七日ノ午前日出ノ比ヒ總督部下ノ水夫數名西方ニ於テ陸地ヲ發見セリト思考シタレモ十分分明ナラサルヲ以テ敢テ公告スルモノナカリシ○老練ノ水夫「ニーニヤ」ハ此事實ヲ確メンガ爲メニ前方ニ進ミタリ○暫時ニシテ前ノ約束ニ從ヒ陸地發見ノ合圖トシテ樞上ニ旗ヲ揚ケ又銃ヲ放發セリ

新ナル喜悅ガ小ナル船隊ヲ通シテ引起サレシ而シテ各ノ眼ガ西ニマデ向ケラレシ○然レモ

彼等ガ進ミシキニ彼等ノ雲ニ作ラレタル望ミガ消去リシ而シテ夕方ノ前ニ想像サレタル陸ガ再ビ空氣ニマデ溶解シタリシ○水夫ハ今彼等ノ近頃ノ勵ミニマテ割合ハサレテ失望ノ有様ニマデ沈シ然レモ新ナル事情ガ彼等ヲ勵マスベク起リシ

(譯)コノ船体ノモノ等ハ大ニ喜ヒ、各々目ヲ西ニ注キタリ○然レモ彼ラガ進ミ近クニ從ヒ彼等ガ架空ノ希望ハ消散セリ、但シ日暮前彼ノ陸地ナリト想定シタルモノハ、空中ニ溶解ノ其痕跡ヲ止メス、○爲メニ水夫等失望落膽ノ有様ハ先キノ勇氣鼓動ノ有様ト相ヒ反シタリ、然レモ更ニ一新事情ノ彼ラヲ勵マシタルモノアリ、

「コランバス」カ南西ノ方ニ行ク所ノ小ナル野ノ鳥ノ大ナル飛フヲ注目シタ所デ彼等ハ或ル近隣ノ陸其所ニ彼等ハ食物及ヒ休息ノ場所ヲ見出スデアラフ所ノ或ル近隣ノ陸ニ付テ確認シテアラ子バナヲヌト決心セシ○彼ハ「ポルトガル」ノ航海者ガ鳥ノ飛フヲ其ニ從フニ依テ彼等ハ彼等ノ島ノ最多ヲ發見シタリシ所ノ鳥ノ飛フニマデ從ヒシ所ノ大切ナルヲ知リシ○彼ハ其故ニ十月ノ七日ノ夕ニ於テ方角其ニ於テ鳥ガ一般ニ飛ヒシ所ノ方角ナル西南西ニマデ彼ノ進行ヲ變スベク決定セリ

(譯)「コランバス」ハ南西方ニ飛フ所ノ野鳥ノ群ヲ見テ思ヘタク、コレ必ス南西ニ方リテ陸地アリ、其地ニ於テ群鳥共ハ食餌ヲ求メ栖所ヲ得ルモノナリト且ツ昔「ポルトガル」人ノ數多ノ島ヲ見出セシハ群鳥ノ飛ヒシ方向ヲ追ヒテ探索セシ結果ニヨル、故ニ群鳥ノ飛行ハ決シテ等閑ニ附スベカラサルヲ知リタリ○十月七日ニ於テ航路ヲ一變シテ西南西ニ向ヘリ此

ノ方向ハ即チ群鳥飛行ノ方向ナリ、

三日ノ間彼等ハ此方角ニ於テ立チシ而シテ彼等ガ遙カ行シホト尙多ク陸ノ徴候ガ屢顯ルベク及ヒ勢ヒ附キツ、アリシ○種々ノ色ノ小ナル鳥ノ飛ビ野ニ於テ囀ル如キ斯ノ如キ彼等ノ或モノガ船ノ周圍ニ飛ヒツ、來リシ而シテ然ルキニ南西ノ方ニ續キシ而シテ他ノモノガ夜ニ於テ傍ラニ飛ヒツ、聞カレシ○金鎗魚ガ滑カナル海ニ於テ遊ヒ廻リシ、而シテ鷺、鵜、鵜、及ヒ鴨ガ向ケラレテ見ラレシ總テ同一ノ方向ニ於テ

(譯)三日間ハ同シ方向西南西ニ向ヘリ、進ムニ從フテ陸ノ徴候益顯著ナルモノ屢々表ハル○即チ小鳥ノ群飛、原野ニ在ル如キ小鳥ノ種類ガ飛ヒ來リテハ、又南西ニ飛去リ、夜ニ至リテモ其囀聲ヲ聞クヲ得タリ、○金鎗魚ハ滑カナル海上ニ戯レ、鷺、鵜、鴨、鵜、ナドガ皆同方向ニ飛去ヲ認メタリ、

然レモ總テ是等ガ滅亡ニマデ彼等ヲ欺ク所ノ左様ニ多ノ欺計トシテ水夫ニ依テ關係サレシ而シテ三日目ノ夕方ニ於テ彼等ガ峯ナキ水面ノ上ニ下ルヲ太陽ヲ見シキニ彼等ハ騒シキ關噪ニマデ破裂セシ○彼等ハ家ニ歸ルコトニ於テ而シテ望ミナシトシテ航海ヲ拋棄スルコトニ於テ主張セシ

(譯)最早此等ノ兆候ヲ信セハ畢竟我身ヲ滅スルニ至ラント云ヒ、其ヨリ三日目ノ夕方太陽無窮ノ天際ニ没セントスル頃船中一大騒動ヲ起シタリ、○水夫等ハ此無益ノ航海ヲ棄テ、速ニ故國ニ歸ランコトヲ主張セリ、

「コランバス」ハ温和ナル言語及ヒ大ナル褒賞ノ約束ニ依テ彼等ヲ平穩ニスベク務メシ然レモ彼等ハ唯騒キニ於テ増セシコトヲ見出ス所テ彼ガ決シタル言語ヲ取リシ○彼ハ不平ヲ鳴ラヌコト其ガ不要デアリシト彼等ニ告ケシ派遣ハ印度ヲ穿鑿スベク國王ニ依テ送ラレタリシ而シテ何ガ起リ能ヒシトモ神ノ加護ニ依テ彼ガ目的ヲ任遂ケルデアラフ迄ハ彼ガ耐忍スベク決定シテアリシ

(譯)「コランバス」ハ温言ヲ發シ重賞ヲ與フヘキヲ約シテ彼ラノ不平心ヲ鎮撫セントナシタリト雖モ其効ナク却テ益不平ヲ增長スルヲ「コランバス」ハ斷乎不動語ヲ用ヒ○大喝一聲彼ラニ告テ曰ク、タトヒ汝等不平ヲ起スモ無益ナリ、如何トナレバ抑コノ遠行ハ印度ヲ探死スベキ國王ノ勅命ニ出ツルモノニシテ、且ツ吾ハ如何ナル事件ノ起ルモ天帝ノ加護ニ由リ余ガ目的ヲ達スルニ非スンバ已マサルモノナリト、

「コランバス」ガ今彼ノ水夫ト開キタル輕慢ニ於テアリシ而シテ彼ノ位置ガ、ヤケナルモノニナリシ○幸ヒニ陸ノ近キコトノ顯レガ最早疑ニ付テ許サヌベク如ク翌日ニ於テ斯ノ如クニアリシ○河ニ於テ生スル如キ斯ル新ナル水草ノ量ノ外ニ彼等ハ岩ノ周圍ニ保ツ所ノ種類ノ青色ノ魚ヲ視シ然ルキニ其ニ於テ果實ヲ持テ而シテ近頃木ヨリ離サレタル茨ノ枝ガ彼等ノ傍ラニ浮シ然ルキニ彼等ハ蘆葦、小ナル板、及ヒ總テノ上ニ人工ニテ彫刻サレタル杖ヲ拾ヒ上ケシ

(譯)「コランバス」ハ水夫ヲ輕侮スルノ意、言外ニ見ハレ、彼レ總督ノ地位ハ危急ノ有様トナリ

シ○其時幸ナルカナ、陸地接近ノシルシ見ハレ、翌日ニ至リテ最早疑フ可カラサルモノトナ
レリ○河邊ニ生スル新シキ水草、及岩邊ニ住スル種類ノ鰐魚ヲ見タリ、次ニ果實ヲ保チタル
新シキ茨ノ枝、亦共ニ流レ來レリ、次ニハ彼等ハ葉、小キ板、及全体ニ彫刻シタル杖ヲ拾ヒ上ケ
タリ、

總テノ鬱憂及ヒ騷動ガ今活潑ナル豫望ニマデ道ヲ與ヘシ而シテ書ヲ通シテ各ノモノガ長ク
望マレタル陸ヲ發見スベキモノデアルトノ希望ニ於テ切望シテ見張リニ於テアリシ○軟風
ガ平常ヨリモ尙多クノ分量ヲ以テ終日新シクアリタリシ而シテ彼等が大ナル進行ヲ爲シタ
リシ○日没ニ於テ彼等ハ再ヒ西ニマテ立チタリシ而シテ速ナル度ニ於テ浪ヲ切リツ、アリ
シ、「ビンタ」ガ彼女ノ勝リタル走ルトヨリ先導ヲ保チツ、

(鰐)水夫等ノ鬱憂騷動ハ忽チ變シテ、活潑ナル前途ノ希望トナリ、各ハ終日陸地發見ノ期望
ニ於テ熱心ニ前面ヲ注視シタリ、○軟風ハ平日ヨリモ多量ニ終日流通シテ船大ニ進航ヲナ
シタリ、○日没ノ比口彼ラハ再ヒ西ニ向フテ進航シ、駛走矢ノ如ク激浪ヲ突ク、「ビンタ」号ハ
其快走スルヲ得ルニ依テ、先導者トナリテ進ミタリ、

最モ大ナル活潑ナル「ガ舟」ヲ通シテ流行セシ眠ガ其夜閉チラレザリシ○夕暮ガ暗クナリシ
キニ「コランバス」ガ暗キ地平線ニ係フテ彼ノ眼ヲ列子ツ、而シテ烈キ及ヒ止メサル見張リ
ヲ保チツ、彼ノ舟ノ前室則チ部屋ノ頂キニ於テ彼ノ位置ヲ取リシ

(鰐)船中活氣充備シ其夜一人トシテ睡ルモノナカリ、○「コランバス」ハ前室上端ニアリテ

暗キ地平線上ニ目ヲ注キ四方ヲ望見シタリ、

凡ソ十時ニ彼ハ彼ガ大ナル距離ニ於テ薄ク光ル所ノ燈明ヲ視シト思考セシ○彼ノ熱心ノ希
望ガ彼ヲ欺キ能ヒシヲ恐レル所デ彼ハ彼ノ一人ニマテ呼ビシ而シテ彼ガ斯ル燈明ヲ視
シカチ尋子シ終リノモノハ確言ニ於テ答シ○其ガ想像ノ或欺キデ猶アリ能ハサリシカチ疑
フテ、「コランバス」ハ尙他ノモノニマデ呼ビシ而シテ同シ尋問ヲナセシ

(鰐)殆ント十時「コランバス」ハ遠方ニ於テ明裁スル燈明ヲ見タリト思フタリ○若シモ熱心
ノ余リ誤見ニアラサルカチ氣遣ヒ部下ノモノ一人ヲ招キ同一ノ光明ヲ見ルトヲ得ルヤト
問ヒシニ彼レハ是ハ確實ナル光ニシテ決シテ間違ヒナシト答ヘシ○然レモ尙想像上ノ誤
見ニアラサルカチ疑ヒ他ノ人ニ同一ノ問ヲ發シタリ

終リノモノガ遠見臺ニ登リタリシ時ニ依テ燈明ガ消タリシ○彼等ハ不意ニ而シテ過ル所ノ
光ニ於テ依テ其後一二度其ヲ視シ而シテ浪ト共ニ上リ而シテ沈ム所ノ魚人ノ小舟ニ於テノ
携火又ハ家ヨリ家ニマデ彼ガ過キシト上及ヒ下ニ運ハレタル濱ニ於テノ或人ノ手ニ於テ
ノ携火デ恰ヒ其ガアリシ乎ノ如ク不意ニ而シテ過ル所ノ光リニ於テ三度ソレヲ視シ是等ノ
光リハ僅カノモノカ彼等ニマデ或ル大切ナル「ガ舟」ヲ歸セシ「ホド」左様ニ短カク及ヒ不確實ニ
アリシ然レモ「コランバス」ハ陸ノ確實ナル徵候トシテ彼等ヲ思考セシ而シテ尙又陸ガ住レ
テアリシ「ガ舟」ヲ思考セシ

(鰐)彼等ハ尙其後一二度忽チ明カニ忽チ滅スルノ燈明ヲ見タリ、其狀恰モ浪上ニ上下スル

漁夫ノ松明カ、或ハ濱邊ノ人家ヲ通フ人ノ提灯ノ左右ニ動搖スルカ如クナリシ。○此等ノ光ハ唯僅カノモノカ見テ陸地ノ緊要ナル兆トナシタル迄ニシテ、多クノモノハ光明ノ隱昧ナルヲ以テ信ズルニ足ラストセリ、然レテ「コランパス」ハ之ヲ以テ陸ノ確証トナシ、且ツソノ陸ハ住民ノアルヲ信シタリ。

彼等ハ朝ニ於テノ二時迄テ彼等ノ進行ヲ續ケシ然ルキニ「ビンタ」ヨリノ鉄炮ガ陸ノ喜悅スベキ合圖ヲ與ヘシ。○其ハ最初ニ「ロドリゴ、デ、トリアナ」ト名附ケテレタル航海者ニヨリテ見ラレシ、然レテ褒賞ハ曩ニ燈明ヲ見知シタリトテ其後總督ニマデ判定サレシ。○陸ハ今明ヲカニ凡ソ「リーグ」ノ距離ニ見ラレシ其ニ於テ彼等ハ帆ヲ取入レ而シテ夜明ケニ向テ堪ヘガタク待チツ、止リシ。

〔註〕彼等ノ進行シテ午前二時ニ至リシ片ニ陸地發見ノ合圖トシテ「ビンタ」船ヨリ發砲セリ。○船員「ロドリゴ、デ、トリアナ」ナルモノガ最初ニ陸地ヲ指定セシトイヘテ褒賞ハ「コランパス」ニ與フベキモノト決定サレタリ如何トナレバ彼ガ始メニ光ヲ見テ陸地ノ存在ヲ知りタレバナリ。○陸ハ今ヤ六里以内ニ見ラレテ疑フベカラズ因テ彼等ハ帆ヲ捲キ船ヲ止メテ、以テ天明ヲ待ツ一日千秋ノ思ナシタリ。

「コランパス」ガ最初新世界ヲ視シトノ其ハ十月ノ十二日ナル金曜日ノ朝ニ於テアリシ。○夜ガ明ケシキニ彼ハ彼ノ前ニ廣サニ於テ數「リーグ」ナル、及ヒ續キタル樹園ノ如ク木ヲ以テ掩ハレタル平面ノ島ヲ視シ。○倭令ヒ明カニ耕サレスト雖モ其ガ人口多クアリシ、如

何トナレバ住民ガ林ノ總テノ部分ヨリ出テツ、而シテ濱ニマデ走リツ、見ラレシ故ニ。○彼等ハ船ニ於テ見ツ、立チシ、而シテ彼等ノ容貌及ヒ動作ニ依テ驚愕ニ於テ失ハサル可ク見ヘシ。

〔註〕「コランパス」ガ最初新世界ヲ發見セシハ十月十二日ナル金曜日ノ朝ナリシ。○夜明ケシ片ニ彼ハ彼ノ面前ニ於テ平坦ナル島ヲ見シ、幅員數「リーグ」樹木繁生シテ樹園ノ如シ。○土地ハ耕ヤサレズト雖モ人々ノ林間ヨリ出來リ海濱ヲ奔走スルヲ見レバ、蓋シ無人島ニアラス、○土人等ハ一行ノ船ヲ見テ其態度動作ノ異常ナリシハ思フニ彼等迷心驚愕セシモノナラシ、

「コランパス」ハ碇ヲ投ルベク船ニ向テ合圖ヲナセシ而シテ小船ガ乗込レ而シテ武備サルベク(合圖ヲ爲セシ)。○彼ハ麗シク緋色ニ於テ飾ラレテ彼自身ノ小船ニ乗込ミシ而シテ冠ニ依テ圍レタル「カスチリアン」ノ國王「フェルデナント」及ヒ「イサベル」ノ頭字ナル「エフ」及ヒ「ワイ」ノ文字ヲ兩脇ニ於テ持ツ所ノ國王ノ旗章ヲ保チツ、

〔註〕「コランパス」ハ碇ヲ投ケテ船ヲ止メ、而シテ小船ニ乗込ミ武備ヲ爲スベキノ合圖ヲナセリ。○彼ハ自身ノ緋色ノ衣服ヲ飾リ、小船ニ乘リ國王ノ旗ヲ持セリ、其旗章ハ兩脇ニ「カスチリアン」ノ國王「フェルデナント」及ヒ「イサベル」ノ頭字ナル「エフ」及ヒ「ワイ」ナル文字ヲ描キ其周圍ニハ冠ノ形ヲ染抜ケリ。

上陸スルニ於テ彼ハ彼ノ膝ノ上ニ彼自身ヲ投ケシ地ヲ接吻セシ、而シテ喜悅ノ涙ヲ以テ

上帝ニマデ謝辭ヲ返セシ○彼ノ例ガ殘リノモノニ依テ從ハレシ其ノ心ハ實ニ恩謝ノ同感ヲ以テ溢レシ

(蘭)上陸スルニ及ンテ「コランバス」ハ地上ニ跪キ地ヲ接吻シ喜極テ涙ヲ流シ、以テ上帝ニ謝セリ○彼レニ從屬ノモノ等モ彼ト同シ感謝ノ式ヲナシ心ノ喜悅ハ滿面ニ溢レタリ

「コランバス」ガ然ルキニ立チ上リツ、彼ノ劔ヲ振キ國王ノ旗ヲ示セシ而シテ船隊ノ記録者及ヒ上陸シタリ所ノ殘リモノト共ニ二人ノ船長ヲ彼ノ周圍ニ集メツ、彼ハ「サン、サルバドル」ノ名稱ヲ島ニ與ヘツ、「カスチーア」國王ノ名義ニ於テ行儀正シキ所有ヲ取リシ

(蘭)「コランバス」ハ立上リ劔ヲ拔キ王旗ヲ顯ハシ二人ノ船將、船隊ノ記録者及ヒ上陸セサル船中ノ人々ヲ集メ今發見セシ島ヲ「サン、サルバドル」ト命ジ「カスチーア」國王ノ名ヲ以テ此土地ノ所有權ヲ取リシ

氷夫ノ感覺ガ最多ク非常ナル喜悅ニ於テ余發セシ○彼等ハ近頃滅亡ニマデ前ノ方ニ急ク所ノ決定シタル人ト彼等自身ヲ思考シタリ今彼等ハ運命ノ惠ミアルモノトシテ彼等自身上ヲ見シ而シテ最も多ク限リナキ喜悅ニマデ彼等自身ヲ放チシ○彼等ハ溢レル所ノ熱心ヲ以テ總督ノ周圍ニ群集セシ或ルモノハ彼ヲ抱キシ他ノモノハ彼ノ手ヲ接吻セシ

(蘭)地獄ノ旅路ト心得タリシ、コノ航海モ今ヤ發見ノ場合ニ違シテ水夫等ハ大ニ運命ノ仕合ヨキヲ喜ヒ一向喜悅ノ感覺ハ名狀スベカラズ、或ルモノハ「コランバス」ヲ抱キ或ルモノガ彼レノ手ヲ接吻シテ各十二分ノ勇氣熱心見ハレタリ

島ノ土人ガ日ノ明方ニ於テ彼等ガ彼等ノ海岸ニ於テ漂泊スル所ノ船ヲ見タリシキニ夜ノニ深海ヨリ出タリシ所ノ怪物ト彼等ヲ想像シタリシ○彼等ハ海岸ニ迄群集シタリシ而シテ恐怖シタル心痛ヲ以テ彼等ノ運動ヲ見張リシ○明ヲカニカナシニ彼等ノ運動スルニ及ヒ大ナル羽翼ニ似ル所ノ彼等ノ帆ノ變スルコト及ヒ捲下スコトガ驚愕ヲ以テ彼等ヲ滿タセシ○彼等ガ彼等ノ小船ノ近附クコト及ヒ海岸ニ於テ上陸スル所ノ輝ク所ノ武器ニ於テ又ハ種々ノ色ノ衣裳ニ於テ被ラレタル珍ラシキ人ノ數ヲ見シキニ彼等ガ林ニマデ驚愕ニ於テ避ケシ

(蘭)天明ニ於テ此島ノ土人等ハ海岸ニ漂泊スル所ノ船ヲ見テ大ニ驚キ夜間ニ海底ヨリ現出シタル怪物カト思考シタリ○如何ニモカヲコメズシテ船ノ動クヲ、又大ナル鳥翼ニ類スル船ノ帆ヲ上下スルヲ杯大ニ土人ヲ驚カシタリ○土人等ハ小舟ノ近附リ來ルヲ看又海岸ニ上陸スル處ノキラ／＼光ル鎧ヤ光彩麗ハシキ衣服ヲ被タル異様ノモノヲ見テ恐怖シテ森林中ニ逃走シタリ、

然レモ其所ニ彼等ヲ追ヒ又ハ苦メルベキ一ツノ企圖ハアラザリシヲ見出ス所デ彼等ハ漸次ニ彼等ノ恐怖ヨリ回復セシ而シテ屢々地ニ於テ彼等自身ニ敬禮シツ、而シテ尊敬ノ顯シヲ爲シツ、大ナル恐懼ヲ以テ西班牙人ニ近接セシ

(蘭)然レモコノ怪物等ハ土人ヲ追ヒ土人ヲ害スベキ様見ヘサルヲ以テ土人等ハ漸ク恐怖ノ念ヲ減シ屈身敬禮以テ恐怖ノ心ヲ見ハシ西班牙人ニ近ケリ

總督ハ格別ニ彼ノ容貌ノ高キヲ權威ノ彼ノ有様緋色ノ彼ノ衣裳及ヒ彼ノ伴侶ニ依テ彼ニ拂

ハレシ所ノ尊敬ヨリ彼等ノ注意ヲ引起セシ其總テガ大將デアアルベシ彼ヲ指示セシ彼等ガ尙
遙カ彼等ノ恐レカラ回復セシキニ彼等ガ西班牙人ニ接近セシ彼等ノ疑ニ觸レシ而シテ彼等
ノ白キ丁ヲ感賞シツ、彼等ノ手及ヒ顔ヲ吟味セシ

(蘭)總督「コランパス」ハ容貌高大ニ威儀風采ケダカク、身ニハ緋衣ヲ著シ、部下ノ尊敬スルヲ
見テ土人ハ一行ノ首領トセリ○土人ハ今ヤ全ク疑懼ノ念消散セシコトヲ西班牙人ニ近キ
彼等ノ疑ヲ撫シ顔及ヒ手ノ白キヲ歎賞シタリ

「コランパス」ハ彼等ノ温和ナルコト及ヒ信スル處ノ質朴ナルコトヲ以テ樂シマサレシ而シ
テ彼ノ恩惠ニ依テ彼等ヲ懐ケツ、充分ナル落附タルコトヲ以テ彼等ノ吟味ヲ受ケシ○彼等
ハ今船カ彼等ノ水平ヲ境界セシ所ノ透明ナル蒼空ヨリ走り出タリシ又ハ彼等ノ廣キ羽翼ニ
於テ上ヨリ下リタリシコトヲ想像セシ而シテ是等ノ驚愕スベキモノハ天空ノ住人デアリシ
コトヲ想像セシ

(蘭)「コランパス」ハ土人ノ温和ニシテ質朴ヲ守ルヲ喜ヒ如何ニモシテ彼等ヲ懐ケント欲シ
恩惠ヲ施シ粗暴害意ナキヲ示シテ信用ヲ引ケリ○土人等ハ此船ハ水平ノ境界透明ナル蒼
空ヨリ走出テタルカ、或ハ其ノ大ナル翼ニ依テ天上ヨリ降りシカ、兎ニ角ニ此者ハ天上ノ物
体ニシテ人界ノ人ニ非サルヲ想像セリ

第七十九課

騎兵ノ攻撃

聞ケヨ銃兵ノ鳴ル處ノ響、而ノ鳴ル太鼓及ヒ愉快ナル叫聲、青枝ノ火ノ響ク處ノ棒ノ如ク
小銃ハ烈シキ情狀ニ於テ燃ユル而シテ歌フ彈丸而シテ叫ブ聲而シテ破レタル地極ノ光ル火
而シテ響ク大砲カ砲臺ニ依リテ語リシキニ大砲ノ烟ノ大ナル白色ノ呼吸、而シテ鉄ノ彈丸
ガ強ク通ノ轉セシ處ニ青色ノ壁ニ於テ荒レタル割目、彼レノ勇氣付ケタル人ヲ以テ叫聲ヲ
彼カ割ルキ再ヒ一呼吸ヲ以テ佐官カ建ツル處ノ、而シテ叫カ黒キ唇ヨリ裂ケ出デ而シテ祈
念カ紅ノ涙滴ヨリ除々ニ語リ而シテ雲ノ下ニ星カ行ク如ク死ヌ處ノ眼ニ於テ輝ル處ノ容
姿、然レモ彼レノ精神ハ進ミシ、如何トナレハ青色ノ小童ハ決シテ死シテアリ能ハヌト佐官
ハ云ヒシ

(蘭)聞ケヨ、小銃ノ鳴ル音ヤ太鼓ノ音ヤ戰鬪ノ聲ヤ鉄砲ハ青枝ノ燃ルカ如クニバリ／＼ト鳴
リ渡リ、ヒユウ／＼ト鳴ル彈丸ノ音ヤバリ／＼響ク破裂彈ノ響陰鬱タル地極ノ光リノ如ク砲
臺ヨリ大砲ノ鳴ル声ハ白キ烟ノ呼吸アリ青色ノ砲臺ニ砲彈中リテ崩ル、并ハ佐官ハ忽チ
之レヲ修覆シテ勇氣付ケタル人々ヲ集メテ大呼シテ戰フ戰鬪ノ呼聲武者ノ唇ヨリ發スル
并婦人ノ口ヨリハ除々ト祈禱ヲ唱ヘ眼ニ涙ヲ含ムノ様ハ陰雲ノ下ニ明星ヲ見ルカ如シ然
レモ余輩ノ勇者ハ進軍セリ如何トナレハ青色軍ノ少年ハ決シテ死スヘカラスト「佐官ハ云
フタリ

而シテ總テ彼等ノ鞍ニ於テ坐スル兵士ハ往昔ノ書院ニ於テ彫刻セラレタル偶像ノ如ク(ア

ル)而シテ彼等ハ彼等ノ呼吸ナキ隊列ヨリ舞風ヲ見ル而シテ彼等ノ「スパイ」ハ馬ノ横腹ニ迄接シテアル而シテ劔ノ手ニ付テ指カ働ク——オー彼ヲ活潑ニナスヘク而シテ彼ヲ尊大ニナスヘク、而シテ喇叭ハ終ニ攻撃ニ迄響ク、而シテ彼方ニ彼ヲハ突進ス而シテ前軍ハ過キラル、青キ「ジャケット」ハ彼ヲカ乗ルキニ赤クナル而シテ彼ヲノ脇ニ響ク處ノ靴モ亦、而シテ死シタル軍人ハ鉄沓ニテ彼等カ濕氣アル赤キ土地ヲ越ヘテ直シク飛ビ進ムキニ打撃ヲ暗マス——總テ幽靈ノ如キ朦朧タル雲ニ迄眞直ニ、黒キ咽喉ノ恐ロシキ大砲ニ迄眞直ニ上ニ、劔ヲ以テ境シタル垣ニ迄眞直ニ下ニ然ルキニ後ノ方ヘ轉スル厚キ圓柱ヲ通シテ眞直ニ、嗚呼再ヒ秋獲ヲ通シテ新ナル誇リ、嗚呼旌旗ニ向テ戦争ニ迄「アーメン」

(講)總テ馬上ニ在ルノ兵隊ハ勇々シク往古ノ宮殿ノ内ニ彫刻シタル肖像ト同シトニテ其ノ勇ミタル隊列ノ内ヨリ敵軍ノ塵埃ヲ望ミ、鎧ハ馬ノ脇腹ニ觸レ手ニハ劔ヲ握リタリ、オー軍隊ハ如何ニモ活潑ナリ如何ニモ宏大ナリ、喇叭ハ終ニ進撃ノ合圖ヲ報シ軍隊ハ突進シ敵ノ前軍ハ敗ラレタリ、米國ノ軍服ナル青色ノ上衣ハ進撃ノ際鮮血ニ汚レテ赤クナリ、兵士ノ腰ニ横ハルノ劔ノ鞘モ亦赤クナル、死物グルイノ兵士ハ敵ヲ撃チスヘ馬上ニテ血沙ノ流ル、土地ヲ駈廻リ砲烟天ニ——リ四顧朦朧タル雲烟ノ中ニ飛ヒ入り烟ヲ吐キ出ス大砲ノ在ル處ニ進ミ劔ヲ以テ構ヘタル隊列ヨ乘リ倒シ後口ヲ向テ敗北スル敵ノ多數ノ隊ヲ突ク嗚呼喜シヤ再ヒ勝利ヲ得ルハ愉快ナリ、軍旗ノ爲メニ祝スヘシ職陣ハ上帝ノ助ケ玉フ處ナレヨガシ「アーメン」

第八十課

洋中浮氷ニ於テノ迷路

第一部

余輩ハ余輩ノ焰火ノ燄ニ依テ若干ノ靴ノ皮ニ於テ縫ヒ去リツ、面白ク事業ニ於テアリシ、時ニ夜半ノ方ニ余輩ハ上ニ歩ミノ響ヲ聞キシ、而シテ次ノ分間ニ「ソング」ナルセン、及ビ「パターセン」ハ房子ニ迄テ降り來リシ、○彼等ノ動作ハ甲板ニ於テ彼等ノ待レザル顯ハレヨリハヨリ多クサヘモテ驚カセシ○彼等ハ劇シク及ビ暴ラク且ツ辛フシテ說話スベク適當シテアリシ、彼等ノ說話ハ恐怖スベキモノデアリシ、○彼等ハ新聞ヲ余輩ニ携ヘ來ルベク彼等自身ノ性命ヲ冒シツ、氷ニ於テ彼等ノ伴侶ヲ殘シタリ、「ブルツクス」「ペーカー」「ウイルソン」及ビ「ピア」ハ凍テ及ビ不適當ニサレテ總テ横ハリツ、アリシ、○何處乎、○彼等ハ告グ能ハザリシ、北及ビ東ニ迄テ氷塊ノ中ニ於テ或ル處、其ハ彼等ガ分レシキニ彼等ノ周圍ニ重ク層リツ、アリシ、

(講)余々ハ燈火ニ對シテ愉快ニ靴皮ヲ縫フコトノ業ヲ營ミシ、ニ、夜半ニ當リテ余々ハ甲板上ニ於テ一ノ響ヲ聞キ、間モナク「ソング」ナルセン、及ビ「パターセン」等房室ニ降り來リシ○彼等三人ノ不意ニ甲板上ニ來リタルニ驚キタルカ、其舉動ノ異常ナルカ爲メニ尙一層ノ驚キヲ感ゼシ、○彼等ハ精神激烈動作粗暴ニシテ落付カズ、殆ンド言語ヲ發スル能ハザリシ

彼等三人ノ談ハ恐ロシクアリシ、○彼等ハ生命ノ危険ヲ冒シ氷上ノ伴侶ヲ捨テ、吾々ニ新
聞ヲ報セントテ選リ來リタルナリ即チ「ブルックス」「ベイカー」「ウィルソン」及ビ「ヒール」ハ氷
凍シテ運動自由ナラズアリシト○何處ニカトハ○彼等ハ口上ニテ述ル「ハ」出來ヌ北或ハ
東ニ浮ベル氷塊ノ中ノ或ル場所ニテソノ場所ハ彼等三人ガ分レシ片ニ氷雪積堆シテ他ノ
人々ハ埋メントスル計リナリシ、

「アイリシユ、トム」ハ他ノモノニ向テ養ヒ及ビ注意スベク止リタリシ、然レモ時期ガ甚ダシ
ク彼等ニ悖逆シテアリシ、○其ハヨリ遙カ彼等ニ問フベク無益デアリシ、○彼等ハ明瞭ニ大
ナル懸隔ヲ旅行シタリシ、處ノ方向ヲ余輩ニ告グルベク辛フシテ充分落付カレ能ヒシ故ニ、

（鵜）アイランド「人」トム「ハ」他ノ人々ヲ看護スル爲メニ止リタレ然レモ運命全ク宜シカラ
ズ○其他ノ「ト」ヲ委シク質問スルモ無益ナリシ、○今選リ來リタル水夫共ハ還方ヨリ旅行シ
テ還リタルニ相違ナシ、何トナレバ今選リ來リタルモ疲勞及ビ饑餓ノ爲メ苦痛強ク精神恍
トシテ其選リ來リタル方位ヲ示ストモ出來ヌ位デアツタ、

余ノ最初ノ感觸ハ自由ナル黨與ヲ瞬間ニ於テ動クベクアリシ、キ、メアルモノデ或ハ亦望
ミアルモノデアルベキ援助ハ余リ速カナルモノデアリ能ハザリシ、○最モ多ク余ノ心ニ迫
リシ處ノモノハ、積雪ノ裡ニ何處ニ受害者ハ求メラルベクアリシカデアリシ、○「ナルセン」
ハ彼ノ朋友ヨリ命令ニ於テ寧ロ尙ホ多ク彼ノ能力ヲ持ツベク見ヘシ、而シテ余ハ彼ガ導者
トシテ余輩ヲ助ケ得シ「ト」ヲ思考セシ、然レモ彼ハ疲レテ以テ沈ミツ、アリシ、而シテ若シ彼

ガ余輩ト共ニ行キシ、ナラバ余輩ハ彼ヲ運バチバナラヌ、

（鵜）余ハ直ニ同感ノ徒ト助ニ趣カントノ感動起リタリ、今此救助ヲシテ效アラシメント欲
セバ事輕率ニ直ルベカラズ○第一余ノ心中浮ビタルハ何處ノ氷雪堆積ノ裡ニテ受害者ヲ
搜索シテ宜シキヤニ在リタリ、○「オルセン」ハ他ノ同伴ノモノヨリ稍ヤ本心ニ立戻リタルモ
ノ、如クナルヲ以テ余ハ彼ヲ道案内者トナサント思フタリ、然レモ彼ハ甚シク疲勞シテア
ルヲ以テ若シ嚮導タラシメンニハ彼ヲ抱ヒテ運バザル可ラズ、

其處ニ失フベク瞬間ガアラザリシ、○或人ハ尙ホ新來人ヲ以テ忙ハシク及ビ迅速ナル食事
ヲ準備シテアリシ間ニ他ノモノハ氷牛ノ覆ヒ小ナル天幕及ビ肉膏ノ包束ヲ以テ「リットル
ルウイल्ली」ヲ準備シツ、アリシ、而シテ余輩ハ余輩ノ齋備ヲ速シテ急キ能ヒシヤ否ヤ、
「ナルセン」ハ毛皮ノ囊ニ於テ結付ケラレシ、彼ノ脛ハ犬ノ皮及ビ綿毛（鵝雁ナドノ）ニ於テ
捲カレシ、而シテ余輩ハ氷ノ上ニ去テアリシ、○余輩ノ黨與ハ九人及ビ余自身ヨリ成立セ
シ、○余輩ハ余輩ノ背ニ於テ只ダ衣物ヲ運ビシ、

（鵜）最早ヤ一刻モ猶豫スベカラズ○或人ハ未ダ此事ヲ知ラザルノ人ニ其次第ヲ述ベテ忙
ハシク又急キ食事ヲナスノ間ニ他ノ人ハ氷牛ノ糞、小キ天幕、及肉膏ノ包束ヲ開へ、（リッ
トルウイल्ली）ノ用意ヲナセリ、而シテ吾々急速ノ用意終ルヤ否ヤ「ナルヤン」ハ毛皮ノ囊ヲ
体ニマトヒ、ソノ脛ニハ犬皮、綿毛ヲ捲キ、而シテ吾々ハ氷上ヲ出立セリ、○同行余ト共十人
ナリ、○總テノモノハ背上唯衣物ヲ荷フタルノミ、

寒暖計ハ氷点ノ下ニ七十八度ナル四十六度ニ於テ立チシ、○「ビンナクリー、バーク」ト人ニ依テ名ケラレタル氷ノ能クシラレタル特別ノ塔ハ余輩ノ第一ノ分界号トシテ勤メシ、巨大ナル大サノ他ノ氷塊其ハ海灣ヲ横過シテ長キ連ナリタル珠ノ線ニ於テ伸ヒシ處ノ巨大ナル大サノ他ノ氷塊ハ後ニ余輩ヲ導クベク助ケシ、而シテ余輩ハ余輩ノ道ヲ失フベク始メシトノ其ハ十六時間ニ向テ余輩ガ旅行シタ迄デアラザリシ、

(譯)寒暖計ハ氷点下七十八度即チ零下四十六度ヲ示セリ、○「ビンナクリー」パークナル有名ノ氷塔ハ吾々ノ第一目標トシテ用立チシ、海灣ヲ横ギリテ長ク珠ノ線ノ如ク連リタル氷ノ大塊ガ第二ノ目標トナリタリ余輩十六時間旅行シタル後遂ニ路ヲ失フニ至リタリ、

余輩ハ余輩ノ損亡シタル伴侶ハ四十英里ノ圓輪ノ半徑ノ中ニ余輩ノ前ノ平而ニ於テ或處ニアラチバナヲヌコチ知リシ、○「ナルセン」君其人ハ休息ナク五十時ニ向テアリタリ處ノ「ナルセン」君ハ余輩ガ動クベク始メシヤ否ヤ眠リニ落チシ、而シテ心ノ騒動ノ明カナル徴ヲ以テ今マ醒メシ、○彼ハ氷塊ノ形狀其ハ形チ及ヒ色ニ於テ限リナク彼等自身回言セシ處ノ氷塊ノ形狀ヲ損亡シタリシトノ其ガ明瞭トナリシ、雪ノ大ナル野ノ同形ナルトバ全ク地方ノ分界号ノ望ミヲ禁ゼシ、

(譯)吾々ノ失ツタル伴侶ハ必ズ圓周四十英里ノ半徑以內ニ於テ前面ノ方或ル處ニ居ルベキトナリ得シタリ、○五十時間休息ナク働キシ「ナルセン」君ハ余々ガ運動ヲ始ムルヤ、否忽チ眠ニ就キタルガ今ハ心中一ノ刺衝ニ因テ眠ヲ醒セシ○彼ガ形狀色合チ履ハ見テ目標トナ

シ置キタル氷塊ヲ見失ヒシトガ判然シタリ而シテ自雲霞々荒野到ル處其形狀ヲ同フシ全ク地方ノ目標ヲ認ムルヲ得ザルニ至リタリ、

黨與ノ前ニ押ス處デ、而シテ或ル粗キ氷ノ積堆ヲ越テ登ル所デ、余ハ長キ平カナル大氷塊、其ハ余ガ余輩自身ノ如キ事情ニ於ケル疲勞シタル人ノ眼ヲ恐ラクハ叩寄セ得タリト思考セシ處ノ長キ平カナル大氷塊ニマデ來リシ、○其ハ輕キ疑惑デアリシ、○其ハ輕キ疑惑デアリシ、然レモ其ハ天秤ヲ變スベク充分アリシ、如何トナレバ其處ニ其ヲ秤ルベク一ノ他ノモノガアラザリシ故ニ、○余ハ棍ヲ抛棄シ、而シテ足迹ノ探索ニ於テ四散スベク命令ヲ與ヘシ、余輩ハ余輩ノ天幕ヲ擧ゲシ、彼ノ人ニ於テ運ブベク各ノ人ニ向テ小ナル割合ノ外、食物ノ窠室ニ於テ余輩ノ肉膏ヲ置キシ、而シテ彼ノ脛ヲ保ツベク今丁度適當シタル惘然ナル「ナルセン」ハ彼ノ糞ヨリ免サレシ、

(譯)私ハ一群ノ人ノ前ニ突前シ粗キ氷涯ヲ登リテ長平ナル大氷塊ニ出過ヘシ、ソノ塊ハ吾々ト共ニ探索ニ於テアリシ所ノ人ノ注意ヲ引キシナラント思ハレタリ○其ハ一時ノ推察ニシテ天秤ヲハテ上ルニ充分ナリシ、即チ是ヨリ謀テ變スルノ機會ヲ得タリ、如何トナレバ天秤ノ平地ヲ取ルモノハナク即チ他ニ考察スベキ策ヲアラザリシ、○因テ余ハ棍ヲ去リ足跡ヲ追索スベキ旨ヲ令シタリ、○余輩ハ天幕ヲ張り各人其自カラ携提スベキ小量ノ食物ヲ除ク外ハ窠中ニ食物ヲ貯置キタリ、而シテ今マ「ナルセン」ハ僅力ニ直立スルヲ得ルニ至リタルヲ以テ彼レヲ窠中ヨリ出シタリ、

寒暖計ハ此ノ時ニ依テ零下四十九度ニ迄テ落チタリシ、而シテ風ハ北西ヨリ鋭ク起リツ、アリシ、○其ハ足ヲ止ムルベク疑問ノ外ニアリシ、其ハ凍ルコトヨリ余輩ヲ保ツベク強キ運動ヲ要セシ、○余ハ水ニ向テ加之ナラズ氷ヲ溶カシ能ハザリシ、而シテ是等ノ温度ニ於テ、渴チ和クルコトノ目的ニ向テ雪ニ迄テ或使用ハ血ニ染ミタル唇及ビ舌ニ依テ從ハレシ、其ハ腐蝕劑ノ如ク燃ヘシ、

(講)コノ片寒暖計ハ零下四十九度ニマデ下リ、風ハ烈ク北西ヨリ吹ケリ○斯クノ加キ酷寒ニ暫ラクモ止マルコト能ハザルハ明カナリ、我輩ノ凍死セザランガ爲メニ劇シキ運動ヲナサマル可カラズ○氷ヲ溶解シテ水トナスノ方法ナリ、渴チ醫センガ爲メ雪ヲ用ユレハ忽チ舌唇出血シ、雪ハ燒劑ノ如クニ燃ヘタリ、

余輩ハ余輩ガ行キシ足跡ニ向テ注意シツ、動クデアロウコトノ其ハ然ルキニ必要デアリシ、○然レハ人々ハ幸運ヲ集ムル爲メニ彼等自身散スベシ命セラレシキニ、彼等總テハ心中ヨリ從ヒシト雖モ寂寞タル危難ノ或ル痛マシキ感シガ或ハ恐ラクハ其ハ氷野ノ變スル形状デアツタ能フ乎、一塊ニ迄テ不斷彼等ヲ接近スベク續ケシ、

(講)余輩ノ進ムニ從ヒ人ノ足跡ヲ搜索スルハ必要ノコトタリ○然レハ人跡ヲ發見スルノ幸運ニ遭ハン爲メ人々ニ四方ニ散亂シテ進ムベシト命シタルニ皆心中ヨリ其命令ニ從フタリト雖モ或ハ氷野ノ形状ノ余輩ノ進ムニ從ヒ其容ヲ變スル力爲メナル乎兎ニ角寂寞危險ノ中央ニ居テ恐怖ノ念心肝ニ銘シ散亂シタル人々ハ又シテハ、一塊リニ塊リ合ヒタリ、

奇異ナル仕方其ニ於テ余輩ノ若干ハ感動シテアリシ處ノ奇異ナル仕方チ、余ハ今寒サノ眞直ノ勢力ニ迄テノ如ク左様ニ多ク破レタル神經ニ迄テ歸ス○「メリクレ」及ビ「ボンサル」其人ハ余輩ノ最嚴ナル進行ヲ出張リタリシ處ノ「メリクレ」及ビ「ボンサル」ノ如キ人ハ、戰慄スル所ノ發作時(病ノ)及ビ短キ呼吸ヲ以テ捕ラハレシ、而シテ健康ナル舉動ノ例ヲ保ツベク余ノ盡力ノ總テニ拘ハラズ、余ハ雪ノ上ニ二回氣絶セシ、

(講)余輩若干ノ人ノ感シタル奇異ナル舉動ハ今日トナリ想像スルニ必ズ嚴寒直接ノ結果及ビ神經ノ絶塞ノ致ス所ナリト思考ス、○「メリクレ」及ビ「ボンサル」等ノ人々ハ身体ノ震動迴轉、急速ノ呼吸ヲ受ケ吾ハ動メテ舉動ヲ確ニシ以テ部下ノ例トナラントシタレハ二度氣絶シテ雪上ニ倒レタリ、

余輩ハ新ナル希望ガ余輩ヲ悦バセシ、キニ、氷、或ハ食物ナク外ニ殆ンド十八時間アリタリシ○余ハ其ハ余輩ノ「エスクイモ」ノ獵夫、其人ハ彼ガ廣キ橇ノ痕迹ヲ見シト思考セシ所ノ獵夫ナル「ハンス」デアリシト思考ス、○雪片ガ殆ンド其ヲ消シタリシ、而シテ余輩ハ最初其ハ強風ガ表面ノ雪ニ於テ作ル所ノ其等ノ不意ノ割目ノ一デアラザリシ乎、余輩ノ若干ガ疑ハシクアリシ、

(講)吾々が十八時間水及ビ食物ナシニアリシ、ソノ片ニ一ノ望ヲ屬スベキモノガ見ハレ吾々ヲ悦バシメタリ、○廣キ橇ノ痕跡アリシト思考シタルモノハ「エスクイモ」ノ獵夫ナル「ハンス」ナリシト思フ、○殆ンド吹雪ガ其橇ノ痕跡ヲ没シ最初ニハ其ハ風ノ雪ノ外面ニ

爲シタル偶然ノ割目ニハ非ザル乎ト余等若干ノ人々ハ疑フタリ、

然レモ余輩ハ氷塊ノ中ノ深キ雪ニマデ其ヲ踪跡セシキニ、余輩ハ足跡ニ迄テ導カレシ、而シテ細密ナル注意ヲ以テ是等ノ從フ所テ、余輩ハ遂ニ氷塊ヨリ鼓翼スル所ノ小ナル亞米利加ノ旗、及ビ尙ホ低シ下ニ、雪片ノ上ニ辛フシテ天幕ノ棒ヨリ下ル所ノ小ナル「マソニツク」ノ旗ノ顯ニ於テ來リシ、○其ハ余輩ノ不適當ニサレタル伴侶ノ陣所デアリシ、余輩ハ二十一時ノ破ラレサル進行ノ後其ニ達セシ、

(譯)吾々ハ氷塊ノ間ノ大雪中ニ踪跡セシキニ遂ニ足跡ヲ見出セシ、而シテ注意シテ此等ノ足跡ニ隨ヒシニ、遂ニ氷塊中ニ翻々タル亞米利加ノ旗及殆ンド雪片中ニ埋モレタル幟カ天幕ノ支柱ヨリ垂下シテ、尙ホ下ノ方ニアルヲ發見シタリ○此處ハ即チ凍眠セントスル朋友ノ陣所ニシテ二十一時間休息セズシテ進行シタル後ニ其處ニ達シタリ、

小ナル天幕ハ殆ンド覆ハレテアリシ○余ハ來ルベシ最初ノモノ、中ニアラザリシ、然レモ余ハ天幕ノ簾ニ達セシキニ人々ハ其レノ兩側ニ於テ沈黙シタル行列ニ於テ立チツ、アリシ、○一般ニ氷夫ニマデ屬スベク假定サレテアル、ヨリハヨリ多クノ感覺ノ親切ナルトト溫和ヲ以テ、○然レモ其ハ殆ンド固有デアル所ノ感動ノ尙ホ多クノ親切及ビ溫和ヲ以テ、彼等ハ彼等ノ希望其ハ余ガ一人ニ於テ行クデ有フ所ノ彼等ノ希望ヲ告知セシ、○余ハ這ヒ込ミシキニ、而シテ暗黒ノ上ニ來ル所デ彼等ノ背ニ於テ伸バシタル四人ノ愕然ナル伴侶ヨリ來リシ處ノ善待ノ喜悅ノ破裂ヲ余ノ前ニ聞キシ、而シテ然ルモニ最初ニ外傍ノ喜悅時ニ向テ

余ノ軟弱及ビ余ノ感恩ハ一緒ニ殆ンド余ヲ襲ヒシ、○彼等ハ余ヲ待チタリシ、彼等ハ余ガ來ルデアロウヲ保証シテアリシヨ、

(譯)小キ天幕ハ殆ンド覆ハレテアリシ、○余最初ニ達セシモノニアラズ、先キニ到達シタルモノアリタレバ余ノ垂幟ニ達シタリシキハ既ニソノ兩側ニ於テ人々ガ行列シテ沈黙シ居レリ○氷夫ノ感情ハ斯クアルモシ、ト他人ノ概シテ推測スルモノヨリモ余程強ク而モ氷夫タルモノ固有スル濃厚ナル情感ヲ以テ余ニ獨リ救助ニ行カンコト云ヘリ○余ガ闇黒中ニ入り込ミシキニ余ハ仰向ニ臥シタル愕然ナル四人ノ喜悅ノ聲ヲ聽ケリ、然ル後初メテ幕外歡呼ノ聲ヲ聞キタルカ余ノ一身ニハ疲勞ト喜悅一時ニ溢レ來リテ殆ンド前後ヲ忘却シタリ、彼等ハ實ニ余ノ來ルヲ待チイタリ余ノ救助ニ來ルナラント信シ居タリ、

余輩ハ今マ十五ノ精神、寒暖計ハ氷點ノ下ニ七十五度、而シテ天幕ナル余輩ノ單ナル供給ハ漸ク八人ヲ保ツベク適當(デアリシ)余輩ノ黨與ノ半ヨリ尙ホ許多ハ他ノモノガ眠リシ間ニ外面ヲ歩行スルコトニ依テ凍ルコトヨリ保ツベク余儀ナクサレシ、○余輩ハ長ク止マリ能ハザリシ、○余輩ノ各ハ二時間ノ睡眠ノ順番ヲ取リシ、而シテ然ルモニ余輩ハ余輩ノ自家ノ方ノ進行ニ向テ準備セシ、

(譯)余輩一列ノ人數ハ今ハ十五人トナリタリ、寒暖計ハ氷點下七十五度ヲ示シ僅力ニ八人ヲ容ル、ニ過ギズ、故ニ過半ノ人ハ他人ガ眠ル間ハ外面ヲ運動シテ凍サ凌ガザルヲ得ズ○長ク靜止スルコトヲ得ズ各人交ルルニ二時間ノ睡眠ニ就ケリ、而シテ近路ヲ自家ノ方向ニ取

ルノ用意ヲナセリ、

余輩ハ天幕助ケラレタル人ヲ保護スベキ毛皮及ビ五十時ノ旅行ニ向フテノ食物ノ外、何モ余輩ト共ニ取ラザリシ、其他各ノ物ハ拋棄サレシ、○各ノ四ツノ皮ヨリ作ラレタル二ノ大ナル二ノ大ナル水牛ノ囊ハ唯ダ上部ニ於テ開テ底ニ於テ閉ジラレテ毛皮ヲ以テ各ノ側ニ於テ裏付ケラレテ、囊ノ種類ヲ形作ルベク左様ニ重子ラレシ、○此ハ滑カニ重子ラレテ天幕ハ床ノ如ク勤メル所デ襪ノ上ニ置カレル、

(講)吾々ハ唯天幕ヤ救フベキ權難者ノ爲メニ毛皮五十時間ノ旅行ニ必要ナル食物ヲ携ヘ他ハ何物ニ用意セザリシ○其他ハ悉ク捨テチキ○四疋ノ水牛ノ皮ヲ以テ造リタル二ツノ大囊ヲ合セ内外兩側ニ毛ヲ現ハシ、底ハ開ケ唯上部ノミ開ギタル一ノ囊トナシタリ、○此レヲ襪ノ上ニ置キ天幕ヲ滑カニ疊ミテ之レヲ床トナセリ、

彼ノ關節ヲ以テ病ミタルモノハ丁寧ニ馴鹿ノ皮ニ於テ縫上セラレテ半バ傾ク所ノ位置ニ於テ水牛ノ衣服ノ寝床ノ上ニ置カレシ、他ノ皮及ビ毛布囊ハ彼等ノ上ニ投ケラレシ、而シテ全キ白サ床ハ呼吸スルヲニ向テ口ニ反對シタル唯ダ單一ノ穴ヲ許スベク如ク左様ニ一緒ニ結合ハサレシ、

(講)四肢ノ痛ムモノハ叮嚀ニ馴鹿ノ皮ヲ以テ包ミ半ハ傾キタル地置ニ於テ水牛ノ毛皮ヲ布キタル床ニ横ヘシ、而シテ他ノ毛皮「フランケット」ノ囊ヲソノ上ニチキ昇床ハ一緒ニ結合シテ唯口ニ對シテ呼吸スベキ一孔ヲ開クノミ、

此ノ必用ナル事業時及ビ盡力ノ莫大ナ余輩ニ價ヒセシ、然レモ其ハ受害者ノ性命ニ迄テ緊要デアリシ、○其ハ彼等ヲ脱衣シ及ビ慰ムベク而シテ然ルキニ余ガ解明シタル仕方ニ於テ彼等ヲ包ムベク四時ヨリモ少ナカラズ、余輩ヲ取リシ、○余輩ノ數人ハ凍傷ノ指ナシニ逃レシ、寒暖計ハ零ノ下ニ五十五度デアリシ、而シテ微風ハ寒サノ凜冽ニマデ附添セシ、

(講)カクナス「ハ必要ニシテ多クノ時間ト勞力ヲ費セリ、然レモ受害者ノ生命保護ノタメニ必要ナリシ、○受害者ノ衣服ヲ去リ氣力ヲ恢復シ、而シテ余ガ説明シタル方法ニ於テ彼等ヲ包ミタルニハ四時間ヲ消費シタリ○余輩ノ同伴ハ凍傷ナシニアルモノハ殆ント稀ナリシ、寒暖計ハ零下五十五度ニテ微風凜冽一層ノ嚴寒ヲ加ヘタリ、

然レモ其ハ遂ニ充分シテアリシ、總テノ手カ周圍ニ立チシ、而シテ短簡ナル祈禱ヲ回言スル「ノ後チ、余輩ハ余輩ノ退出スルヲニ於テ出立セシ○余輩ハ氷ヲ越ヘテ襪乗リスルヲニ於テ試ミズデアラサリシ「ノ其ハ實ニ幸デアリシ○余輩ノ道ノ大ナル部分ハ氷塊ノ連續ノ中ニ横ハル、彼等ノ若干ハ高サ十五及ヒ二十「フイート」長キ線ニ於テ擴カル所テ、而シテ余輩ハ余輩ノ眞直ナル進行ヨリ著大ナル變化ニ依テ彼等ヲ回轉スヘク持チシ「ホド」左様ニ一様ニ峻ハシク余輩カ通シテ余輩ノ道ヲ強進セシ處ノ他ノモノハ高サニ於テ余輩ノ頭ノ上ニ遙カ安全ニ其ニ迄下ケラルヘク襪ニ向テ余リ狹隘ナル處ノ間ノ塲處ヲ持テ平行ノ畦ニ依テ横ハル處テ、而シテ尙ホ彼等ヲ止メルヘク綱ノ援助ナク横過スヘク走者ニ向テ充分廣カラス

(講)用意既ニ調ヒ人々皆出立ノ準備ヲナシ圓形ヲ造リテ立並ヒ手短キ祈禱ヲ云フ「ノ後チ

吾々ハ退出ノ爲メニ出立セリ○吾々カ氷上ヲ橋乗リスルコトノ經驗ナシニアラザリシハ幸ト云フヘシ○吾々前面路程ハ氷塊連續シテ或ル處ニハ高サ十五乃至二十フィートノ氷塊廣布シ之ヲ經過セントスルニハ屢バ余等直線ノ進路ヲ變セサルヲ得ザリシ又吾々ノ進路ニ當ルノ他ノ氷塊ハ吾々ノ身ノ長ヨリモ高ク平行線ノ畦ヲ造リ其間ニ橋ヲ下タスモ險呑ナル程ニ狹隘ニシテ尙ホ網ヲ以テ之ヲ引キ止ムルニアラサレハ橋ノ滑リ鉄ハ降タスコトハ出來ザリシ、

是等ノ場所ハ又氷ノ碎片ノ間ノ穴ヲ隠ス處テ輕ロキ雪ヲ以テ一般ニ塞カレテアリシ○彼等ヨリ關節ヲ解クヘク恐怖スヘキ絲蹄テアリシ如何トナレハ各ノ人ハ骨ノ挫折或ハ加之挫傷ハ彼ノ生命ヲ彼ニ價スルテアラウコトヲ知リシ故ニ○是ノ總テノ外橋ハ其ノ積荷ヲ以テ重クアリシ、傷ツケラレタル人ハ落ツルコトニ向テ彼等ヲ援助スヘク充分緊密ニ下ニ結合セラレハク堪ヘ能ハサシ○各ノ餘計ナル荷物ヲ拋棄スルコトニ於テ余輩ノ警戒ニモ拘ハラズ及ヒ天幕ヲ有ツ處ノ重量ハ千百磅アリシ

(講)コレヲノ場所ハ又大概氷ノ割目ヲ塞充スル所ノ新タニ積リタル雪ヲ以テ覆ハレタリ、骨ノ折斷手足ノ挫傷ハ間々生命ヲ失フコトアルヲ知リ氷塊ノ恐ロシキヲナヨリ四支ヲ避クルノコトヲ務メタリ○之レニ加フルニ橋ハ荷物ヲ壞裁ノ全ク怪我人ハ倒レザル様ニ密着ニ保持スル能ハズ○不用ノ物ヲ去テ、荷物ヲ輕クナシタルニモ係ハラズ爰天幕ニテ尙千百「ポンド」ノ重量ナリシ、

而シテ尙ホ最初ノ六時ニ向テ吾々ノ進行ハ甚ダ喜悅スルコトデアリシ○吾々ハ壯健ナル引キ或ル上ゲニ依テ殆ンド一時ニ一英里ヲ爲セシ、而シテ吾々ハ確然勞疲デアリシ前、新タナル氷塊ニ達セシ○吾々ノ橋ハ奇特ニモ試テ堪ヘシ、○「ナルセン」ハ希望ニ依テ恢復サレテ、橋ノ線ノ導ク所ノ帶ニ於テ確ニ步行セシ、而シテ余輩ハ其所ニハ余輩ガ余輩ノ天幕ヲ殘シタリシ所ノ、前ノ日ノ余輩ノ半道ノ驛ニ達スルコトニ付キ確實ニ感スベク始メシ、○然レハ余輩ハ其ヨリ九英里デアリシ、時ニ殆ント豫告ナシニ、余輩ハ總テ余輩ノ威勢ノ驚愕スル所ノ欠乏ニ付テ覺シテナリシ、

(講)最初六時間ノ進行ハ愉快ナリキ、○吾々ハ活氣ヲ以テ橋ヲ引キ進ミ或ハ氷塊上ニ引キ上ゲテ進行ヲナセリ、而シテ未タ疲勞セザル前更ニ他ノ氷塊ニ達セリ、○吾々ノ橋ハコノ危險ヲ無難ニ過ギタリ、○「ナルセン」ハ希望ノ達セントスルニヨリ漸々恢復シテ、橋ノ引綱ヲ取テ確カニ歩ミタリ、而シテ吾々ハ前日天幕ヲノコシ「ステション」迄ノ半道ニ達センコトヲ知リシ、○然レハ尙ホ九里ノ距離アリ、此時ニ當リテ吾々一同ハ計ラズモ正ニ氣力衰へ進行覺束ナキヲ感シタリ

第八十一課

洋中浮氷ニ於テノ迷路

第二部

余ハ素ヨリ非常ノ寒氣ニ付テ凍ヘタル及ヒ殆ント昏迷シタル感覺ヲ以テ知テアリシ然レモ
余ハ小説ノ修飾ノ如キ或物トシテ凍ルコトノ眠タキ幸ヲ論シタリ○吾ハ今反對ニマテ証據
ヲ持チシ

(譯)余勿論非常ナル寒氣ノ爲メ凍ヘ及ヒ昏迷スルコトアルニキヲ能知リ居タリ然レモ凍ヘテ
眠タロト云フコトハ小説中ノ飾リ話シナリト思ヒ居タリ○然ルニ余ハ今反對ノ証左ヲ得タ

余輩ノ最勇氣アル人ノ二人ナル「ボンサル」及ヒ「モルトン」ハ眠ルベク免許ヲ請ヒツ、余
ニ迄デ來リシ彼等ハ寒クアラザリシ風ハ今彼等ニ入込ミナサハリシ、僅少ノ睡眠ハ彼等ガ
要シタル總テアリシ○即刻「ハンス」ハ窪ミニ於テ殆ント剛硬ト發見サレシ而シテ「トーマ
ス」ハ眞直ニ突出シテ閉チタル彼ノ眼ヲ持チシ而シテ辛フシテ物云ヒ能ヒシ

(譯)年々ノ最モ勇氣アル「ボンサル」及ヒ「モルトン」ハ余ガ許ニ來リテ眠ランコトヲ請ヘリ彼等
ハ寒クアラザリシ、風ハ彼等ヲ吹カサリシ、彼等ハ只僅少ノ睡眠ヲ要セシノミナリ○「ハンス」
ハ忽チ凹地ニ於テ凍氷シテ身体剛クナリ「トーマス」ハ直立不動目ヲ閉チ言語ヲ發スル能ハ
ス

終ニ「ジョン」「ブレイク」ハ雪ノ上ニ彼自身投ケシ而シテ起ルベク嫌厭セシ○彼等ハ寒氣ヲ
感スルコトニ付テ歎キ爲サ、リシ、然レトモ余ハ角抵ヒシ、拳戰セシ走りシ、義論セシ嘲弄セ
シ及ヒ非難セシコト其ハ無益デアリシ直チノ止歩ハ避ケラレ能ハサリシ

(譯)遂ニ「ジョン」「ブレイク」ハ雪面ニ倒レ起ツコト肯ゼス○彼等ハ皆寒氣ヲ受クルヲ意ト
ナサズ然レドモ余ハ彼等ト角力ヒ戰ヒ走り論シ嘲笑シ或ハ非難スルトモ總テ無益ニ屬シ
直様休息セザルヲ得ザリシ

余輩ハ許多ノ困難ヲ以テ余輩ノ天幕ヲ張リシ○余輩ノ手ハ火ヲ打ツベク餘リ權力ナキモノ
デアリシ、余輩ハ水或ハ食物ナシニ爲スベク余儀ナクサレシ○酒(強キ飲料ノ名)デストラ、總
テノ覆ヒノ下ニ人ノ足ニ於テ凍リタリシ○余輩ハ天幕ノ内部ニ能ク他ノ病ミタル人ト共ニ
「ボンサル」「ナルセン」「トーマス」及ヒ「ハンス」ヲ置キシ而シテ余輩ガ能ヒシダケ左様ニ多
クノ他ノモノ、中ニ群集セシ

(譯)吾々ハ休息所ヲ設ン爲メニ天幕ヲ張ルモ甚ダ困難ナリシ○吾々ノ手ハ火ヲ打出ス力
モナク夫故吾々ハ水食物モ調ヘ能ハサリシハ止ヲ得サル次第ナリキ○強キ飯料ニハ蓋ヲ
ナシ置キタリト雖モ炬ノ上人ノ足ノ下ニアリテ凍レリ○他ノ病人ト共ニ「ボンサル」「ナル
セン」「トーマス」「ハンス」ヲ天幕ノ中央ニ置キ余輩可及大勢塊リテ幕中ニ集リタリ

然ルモ四時間ノ安息ノ後テ來ルベク命令ヲ以テ「マクゲリー」君ト共ニ黨與ヲ殘ス所デ余ハ
「ウヰルリアム」ゴットフレ「其人ハ余ノ同行テアルベク申出セシ處ノ「ウヰルリアム、ゴ
ツドフレ」ト共ニ前ニ推セシ○余ノ目的ハ半路ノ天幕ニ進シ而シテ他ノモノカ到着セシ
前ニアル氷及ヒ肉膏ヲ解クヘクアリシ○氷塊ハ平カナル氷秀テタル步行スルコトニ付テア
リシ○余ハ如何ニ長ク其ガ九英里ヲナスベク余輩ヲ取リシ乎ヲ告ゲ能ハニ如何トナレハ余

輩ハ昏迷ノ奇異ナル種類ニ於テアリシ而シテ時ノ僅少ノ估價ヲ持チシ故ニ○其ハ恐ラクハ殆ント四時テアリシ

(譯)四時間安息ノ后休息ノ後緩ヒテ來ル「ニシテ命令ヲ下タシ一隊ノ人ヲ「マクゲリー」君ト共ニ覆シ余ハ同伴セント望ミタル「ウイルリアム」ゴットフレ」ト共ニ進行シタリ○余ノ目的ハ途ノ天幕ノアル場所ニ達シ他人ノ到着スル前ニ氷肉膏ヲ解キテ食物ノ用意ヲナスニ在リ氷塊ハ平坦トナリ歩行ニ便利ヨカリシ○余ハ昏迷中ニアリテ精神體力ナラス時問ノ經過ヲ感ゼズ故ニ九英里ノ歩行ハ幾時ヲ要セシヤヲ知ラス○多分四時間ヲ要ヤセシナラント察セラル

余輩ハ相互ノ上ニ言辭ノ俾マサル明話ヲ課スルコトニ依テ醒テ保チシ○余ハ余ガ曾テ通シテ行タ最モ嫌フベキモノ、中トシテ是等ノ時ヲ呼返ス余輩ハ余輩ノ正シキ意味ニ於テ余輩ノ孰レテモアラサリシ而シテモノ其ハ天幕ニ於テ余輩ノ到着ニ先タチシ處ノモノニ付テ甚タ授サレタル記憶ヲ保チシ○然トモ余輩ハ余輩ノ兩方ガ熊其ハ余輩ノ前ニ徐々トシテ歩行セシ所ノ熊而シテ彼ガ行キシキニ毛衣其ハ「マクゲリー」君ガ前ノ日不注意ニ投ケ去リタリシ處ノ毛衣ヲ裂キシ所ノ熊ヲ記憶ス○彼ハ小片ニ迄テ其ヲ裂キシ而シテ球ニ迄テ之ヲ轉バセシ然レトモ決メ余輩ノ進ミヲ以テ伸入スベク申出サ、リシ○余ハ此レ及ヒ其ト共ニ余輩ノ天幕及ヒ氷牛ノ衣服カ恐ラクハ同一ノ天運ヲ配分シ得シ處ノ授サレタル感覺ヲ記憶ス

(譯)吾々ハ互ニ話ヲナシテ眠ヲ覺セシ○實ニ此時ハ余ガ既往ノ旅行中最モ澁難ナルモノト

シテ今思ヒ出ス余輩ハ暖ラズ正當ノ感覺ヲ有セス天幕ニ到達シタル以前ノ事ニ就キ甚ダ錯亂シタル記憶ヲ有スルノミナリシ○然レドモ余々ノ内兩人ハ余々ノ前面ニ徐々ト歩行スル熊ガ前日「マクゲリー」君ノ注意シテ投擲セシ毛衣ヲ引キ裂キタルヲ記憶ス○熊ハ片々ニ之ヲ切斷シテ地上ニ轉シタリ然レトモ吾々ノ進路中ニハ入り來ラフトハナサマリシ余ハ此ヲ記憶スルガ併シ又吾々ノ天幕氷牛ノ被服カ恐ラクハ熊ノ爲メニ寸斷ニセラレハセズカト心配シタル感覺ヲ持チシ今尙記憶セリ

「ゴットフレ」ハ余自身ヨリ尙ホ善キ眼ヲ持チシ而シテ前ニ數里ヲ睥視スル所デ彼ハ余等ノ天幕ガ同一ノ無禮ナル待遇ヲ受ケツ、アリシコトヲ見能ヒシ○余ハ亦余ガ其ヲ見シト思考セシ然レトモ余輩ハ余輩ガ確乎ト而シテ余ハ知ルトウシテモ余輩ノ歩ヲ速メルコトナシニ大歩行セシコトホド左様ニ寒氣ヲ以テ襲ハレシ

(譯)「ゴッドフレ」ハ余ヨリ一層ノ慧眼ヲ持シ數里前ヲ視テ余等ノ彼處ニアル天幕ガ熊ノ同一ナル虐体ヲ受ケツ、アリシコトヲ知リシ○余モ亦其ヲ見シト考ヘタリ然レドモ余輩ハ眼ヲホツトト歩シドウシテモ歩ヲ速カナラシメズシテ進ミタル程余輩ハ寒氣ノ爲メニ身体ノ勢力ガアラザリシ

恐ラクハ余輩ノ接近ハ天幕ノ含有物ヲ助ケシ如何トナレバ余輩ガ其ニ達セシキニ天幕ハ假令ヒ能ク雪ニ迄氷牛ノ衣服及ヒ肉膏ヲ抛揚シツ、熊ガ其ヲ轉倒セシト雖トモ害ヲ受ケズシテアリシ故ニ余輩ハ只々毛布ノ囊ノ一双ヲ失ヒシ○然レトモ余輩ガ想起スル而シテ恐ラク

バ總テ余輩が想起スル所ノモノハ余輩が其ヲ舉ケルコトニ於テ大ナル困難ヲ持チシコトデア
アル

(鷗)カクシテ吾々ノ接近ハ天幕ノ内ニ在ルモノヲ熊ノ害ヨリ助ケタリ如何トナレハ吾々
ノソレニ違セシ片ハ既ニ熊ハ水牛ノ被服肉膏等ヲ蹂躪シタリト雖トモ天幕ハ害ヲ受クル
ニ至ラズ只タ毛布氈一對ヲ失ヒタルノミ天幕ヲ此處ニ張ルコトノ困難ナリシハ余輩ノ僅カ
ニ認識スル所ナリ

余輩ハ説話スルコトナク余輩ノ馴鹿ノ眠ル所ノ藪ニ迄テ匍匐セシ而シテ次ノ三時ニ向テ夢
ヲ見尙ホ烈シキ微睡ニ於テ眠リシ○余ハ醒メシキニ余ノ長キ鬚ハ水牛ノ皮ニ迄テ固ク凍リ
テ氷ノ塊テアリシ「ゴットフレ」ハ「彼ノ大小刀ヲ以テ余ヲ切り出スヘク持チシ○余輩ノ逃
レノ後四日ハ尙ホ其ニ迄テ固結スル所ノ余ノ鬚ノ余程ノ配分ヲ以テ余ノ毛ノ被リ物ヲ發見
セシ

(鷗)吾々ハ沈黙シテ吾々ノ馴鹿ノ睡眠ニマテ匍匐シ而シテ三時間ハ夢見ダラケノ烈シ
キ微睡ヲナシタリ○余ノ醒メシ片ニ余ノ長鬚ハ水牛ノ皮ニ固結シテ氷塊トナレリ「ゴット
フレ」ハ已レノ大小刀ヲ以テ余ノ鬚ヲ切り離シタリ○余ノ助カリタル後四日間尙ホ余ノ
被リ物ニ固結スル余ノ澤山ノ鬚ヲ見タリ

余輩ハ氷ヲ鎔解シ而シテ余輩ノ黨與ノ殘者ガ到着セシ前調理サレタル若干ノ「スープ」ヲ得
ルベク適當シテアリシ其ハ九英里ヲ歩行スベク唯タ五時ヲ彼等ニ取リシ○彼等ハ能ク爲シ
横ハル所ノ氷塊ノ畦ノ方ニ急行セシ

(鷗)吾々ハ水ヲ融溶シ余々ノ饑リノ連レカ到着スル前ニ「スープ」ヲ調理スルコトガ出来タ
ニ來ル彼等ハ五時間ニ九里ヲ歩行セシ○彼等ハ健康ニテ是等ノ專狀ヲ考ヘ回シ大勢トナ
リタリ○幸ニモ天氣晴朗風ナカリシ○凡テノ人カ余輩ノ用意シタル精神ヲ爽快ニスル飯
食物ヲ喜ヒテ食シ跛脚者ハ又彼ヲ被衣ニテ包マレ而シテ吾々ハ吾々ト「ピン」ナクリーバ
ーグトノ間ニ氷塊ノ方ヘト急キタリ

其ハ表面ノ氷塊ヲ越ヘテ余輩ノ道ヲ働クヘク絶望ノ盡力ヲ要セシ——言辭ノ如ク絶望如何
トナレハ余輩ノ元氣ハ新タニ余輩ヲ誤リシ、而シテ余輩ハ最早ヤ余輩ノ自有ヲ失フヘク初
メシ故ニ○余輩ハ最早ヤ雪ヲ食フコトヨリ戒メ能ハサリシ、余輩ノ口ハ腫脹セシ、而シテ余輩
ノ若干ハ説話ナクナリシ○幸ニ日ハ清朗ナル日光ニ依テ暖メラレシ、而シテ寒暖計ハ日蔭
ニ於テ零下四度ニ迄上リシ、然ラサレハ余輩ハ凍ヘタ子ハナラヌ

(鷗)氷塊ヲ越ヘテ進ムニハ非常ノ骨折ニテ殆ンド一生懸命ノ骨折ヲ要シタリ文字上一生懸
命ナリ如何トナレバ余輩ハ此時更ニ元氣ヲ復シタル力爲メニ反テ自カラ誤リタリ蓋シ自
カラ我身ヲ支配スルノ力ヲ失ヒタリ○雪ヲ食フコト自ラ禁スル能ハサリシ爲メニ余輩ノ

唇舌腫脹シ或ルモノハ話ス能ハサルニ至リタリ○幸ニ當日ハ日光ノ射出ヲ受ケテ暖カナリ寒暖計ハ零下四度ニ迄昇リタリ若シ然ラザレバ余輩ハ凍死セサルヲ得ザリシ

余輩ノ止歩ハ増加セシ而シテ余輩ハ雪ノ上ニ半バ睡ルヲニ落チシ○余ハ其ヲ防キ能ハサリシ○言フベク奇異ニ其ガ余輩ヲ爽快ニセシ○余ハ「クレイ」ヲシテ三分時ノ終リニ於テ余ヲ醒サシメツ、余自身試験ノ上ニ試ミシ而シテ余ハ余ガ同一ノ道ニ於テ人ニ時機ヲ與ヘシトホド左様ニ多ク其ニ依テ利益シテ感セシ○彼等ハ橋ノ走坐ニ於テ坐セシ直ニ睡テ落チシ而シテ彼等ノ三分時カ外ニアリシキ覺メルトニ迄テ止ムナクサレシ

(講)休息ヲ厭バナシタリ而シテ吾々ハ雪ノ上ニ半バ睡リナガラ倒レシ、○私モ亦眠ルヲ防ク能ハサリシ奇異ニモ、ソレガ吾々ヲ爽快ナラシメシ○因テ吾々ハ「クレイ」ニ囁シテ三分時毎ニ余ヲ醒覺セシメテ睡眠ノ効力ノ有無ヲ試ミタルガ其効大ナルヲ感シタルヲ以テ人々ヲシテ同様ノ仕方ニテ眠ラシメタリ○彼等ハ橋ノ走坐ノ上ニ坐シ直ニ眠リタルガ其三分時毎ニ醒覺セシムルノ眠リノ終リタル片ニ確ト目ヲ醒ストトナシタリ

晚ニ於テ八時ニ依テ余輩ハ氷塊ヨリ出タリ○「ビンナグリー、バーク」ノ視覺ハ余輩ヲ再生セシ○出來リニ於テ價ナキ依頼物ナル「ブランドー」ハ既ニ大形ノ七著ノ分量ニ於テ給與セラレシ○余輩ハ今尙ホ長キ休息及ヒ終リノ然レニ尙ホ氣強キ「トラム」「オンス」ノ十六分ノ一ヲ取リシ而シテ午後一時ニ於テ兩枝桅船ニ達セシ余輩ハ止歩ナシト信用ス

(講)午後八時吾々ハ氷塊ヲ經過シ終リタリ○「ビンナグリー、バーク」ヲ見テ再生ノ思ヲナシ

タリ○氷塊ヨリ免カレ出來ルニ尤モ必要ニテ値ノ付ケラレヌ程ニ結構ナル食七一杯ヲ盛リテ既ニ飲ミ干シタレバ○余輩ハ以前ヨリハ稍ヤ長キ休息ヲナシ「ブランドー」ノ残り物ノ氣強キ一滴ヲ吞ミテ其後休息ハナサザリシト信スルカ午後一時本船ニ達シタリ

余ハ余ガ信スルト云フ、而シテ恐ラクハ吾々ノ受害ノ最モ確實ナル証左カアル、吾々ハ全ク狂氣テアリシ、而シテ余輩ニ付テ事情ノ着實ナル恐惶ヲ有ツヘク止ミタリシ○余輩ハ夢ニ於テ人々ノ如ク進ミシ○其後見ラレタル吾々ノ足跡ハ、吾々ハ本船ニ向テ「ビーライン」ヲ遣リタリシヲ示セシ○其ハ天性ノ種類ニ依テアツタチハナラヌ、如何トナレハ其ハ記憶ニ於テ一ノ感得ヲ感セサリシ故ニ

(講)余ハ休息セザリシヲ信スト云フ、是レ則チ吾々ノ艱苦ヲ受ケタル確實ノ証左ナリ蓋シ吾々ノ精神ハ全ク紊亂シ余々ニ關シ危險ナル情態ヲ畏懼スルノ念ヲ失フニ至リタリ○吾々ハ夢裡ノ人ノ如ク木心ナクシテ運動シタリ○後ニ檢察スレハ吾々ノ足ノ裏ハ氷上本船ノ方位ニ一直線ニ進ミ居タリ○其本船ニ一直線ニ進ミタルハ天性ノ爲シタルモノナラン如何トナレハ吾々ノ回想力上ニ右ノ「ビーライン」ノ感得スル處ナケレハナリ

「ボンサル」ハ前ニ踏躓シツ、送ラレシ而シテ兩桅船ニ達セシ上帝ハ故ヲ知ル如何トナレハ彼ハ路ノ線ニ於テ屢バ斃レタリシ然レハ彼ハ充分ナル精密ナル「ドクトル、ヘース」ニ迄テ彼ニ依テ送リタリシ消息ヲ渡セシ○余ハ余自身總テニ付テ最健康ナルモノト思考セシ而シテ余ハ今マ余ガ余輩ノ兩枝桅船ノ船尾房ニ迄テ歸リシキニ余ノ伴侶ノ喃々スル所ノ

狂氣ヲ回想シ能フ然レトモ余カ其ハ若モ余ノ心カ其權衡ヲ保テタリシナラハ彼等ノ背理ナルコトニ向テ記憶シタデ有フ處ノ或ル說話ニ付テ及ヒ亦タ余ノニ付テ或ル命令ニ付テ其後告ゲテレタリ

(譯)ボンスアルハ遊戯トシテ進ミ兩桅船ニ違シタルカ上帝コン導キ玉フタルナレ如何トナレハ彼レハ途中ニテ屢バ倒レタレドモ細大洩ラサス能ク余カ使命ヲ「ドクトルベース」ニ傳ヘタリ○余ハ就中最モ強健ナルモノト思考セシテ吾々カ船房ニ歸リシ片ニ友人等カ喋々囁々セシ狂言ヲ今尙ホ回想ス○然リト雖トモ若シ余ノ心ニシテ平衡平常ノ有様ナリセハ余ハ其背理ナリト思考スヘキ處ノ種々ノ駭話及ヒ命令ヲ發シタリト後ニ人ヨリ聞キ得タリ

「ペターセン」及ヒ「ホイツプル」ハ兩桅船ヨリ凡ソ二英里余輩ニ會合スベク出來リシ○彼等ハ余カ「ボンスアル」ニ依テ迎ヘタリシ滋養劑ト共ニ、余ノ犬ノ一群ヲ携來リシ○余ハ彼等ノ來ルコトヲ記憶シナサヌ○「ドクトルベース」ハ通例ノ磨擦ノ後ヲ自由ニ「モルヒ子」「亞片質」ヲ與ヘツ、促サレタル余輩ノ事情ノ取扱ヒノ上ニ分別アル働キヲ以テ入込ミシ

(譯)余ニ會セン爲メ「ペターセン」及ヒ「ホイツプル」ハ本船ヨリ凡ソ二英里ヲ歩ミ來リシ○彼等ハ「ボンスアル」ニ托シテ注文シタル滋養劑ト共ニ余ノ犬ノ一群ヲ引キ來レリ○醫師ヘ「ハ通常ノ摩擦ヲナシタル後ヲ隨意ニ任セテ」モルヒ子劑ヲ與ヘ余輩ノ有様ニ必要ナル治療ヲ爲ス「骨折リテ取掛リシ

彼ハ盡キタル勢力ノ其等ノ効驗其ハ大氣ナル食物及ヒ休息ニ迄テ任スル處ノ盡キタル勢力ノ其ラノ効驗ノ種類ニ適當ニ彼等ヲ拘ハリツ、緊要ナルモノトシテ余輩ノ腦ノ証據ニ付テ何物ヲモ説話セサリシ○「ナルセン」君ハ斜視眼及ヒ盲目ヨリ若干時害ヲ受ケシ、二ノ他ノモノハ不愉快ナル感通ナク足ノ部分ノ切斷ヲ受ケシ而シテ二ハ余輩ノ盡力ノ總テニ拘ハラズ死亡セシ

(譯)醫者ハ腦ノ微候ハ決シテ恐ルヘキモノナラス唯体力疲勞シタルヨリ生スル一種ノ結果ニシテ充分滋養ノ食事ヲ爲シ又睡眠ヲ爲シテ恢復スヘキモノナリト診斷セリ○「オルセン」氏ハ暫ク斜視及ヒ盲目トナリ他ノ二人ハ足ノ一部ノ截斷ヲ受ケタレタ其結果都合ヨクシテ全快セリ而シテ別ニ二人ハ余輩充分ノ盡力懷抱シタレタ遂ニ死シタリ

此ノ助ケタル黨與ハ七十二時ニ向テ外ニ在リタリシ○余輩ハ余輩ノ數ノ半ハ一時ニ於テ眠ル所テ總テニ於テ八時間止歩シタリ○余輩ハ道ノ最多ハ重キ橇ヲ摺曳ク所テ八十及ヒ九十英里ノ間ヲ旅行セシ○全キ時ノ平均ノ溫度ハ三日ノ最モ暖カナル時ヲ含ム所テ零下四十一度テアリシ○余輩ハ二ノ止歩ニ於テ外一ノ水ヲ持タサリシ而シテ一ノ時ニ於テ凍ル「ナシ」ニ強キ業ヲ止メルベク適當シテアラサリシ

(譯)此等ノ助ケ手ノ人々ハ通シテ七十二時間氷塊上ニ在リタリ余々ハ八時間止リタルカ吾々ノ半數ハ一時睡眠シタリ○途中重キ橇ヲハキテ八九十里ヲ旅行シタリ○三日目ノ最モ暖キ日ヲコノテ平均溫度ハ零下四十一度ナリシ○余々ハ二度ノ休息所ノ外ハ一箇ノ

水ヲ得サリシ而一度モ劇シキ運動ヲ止メテ身体ノ凍結ヲ受ケサルノ時ハナカリシ

第八十二課

死者ノ野陣

隠レタル太鼓ノ悲シキ音が兵卒ノ最後ノ太鼓ヲ打ツタ最早生活ノ行列ニ於テ勇シキ及ヒ大胆ナル僅カノモノニ出會ヌテアラフ○名譽ノ限りナキ陣取ル所ノ地ニ於テ彼等ノ黙シタル天幕ガ擴ケラル、而シテ名譽ガ死者ノ野陣ノ周圍ニ行儀正シキヲ以テ守ル

(講)音ノ輕キ太鼓ノ悲シキ響ハ軍人ノ最後ナル退陣ノ合圖ヲ報シタリ此世ノ中ニテハ最早ヤ勇敢ナル人ヲ見ルコトハ出來サルヘシ○名譽ノ未來ノ陣所ニ默シタル天幕ハ張ラレ然トシテ名譽ナルモノ死者ノ野營ヲ守ルベシ

敵ノ進行ノ一ノ答ガ、今風ノ上ニ膨脹セヌ夜半ニ於テ一ツノ痛ム心カ後ニ殘サレタル愛スルモノニ付テ集マラヌ明日ノ戰爭ノ一ノ豫想ガ軍人ノ夢ヲ驚カサヌ一ツノ響ク所ノ喇叭又ハ叫フ所ノ笛ガ夜明ケニ於テ武器ニマテ呼ヌデアラフ

(講)敵軍進撃ノ響キハ最早ヤ風ニ吹カレテ響キ渡ラサルヘシ又夜半ニ故郷ヲ思フノ旅愁我家ニ殘シ置キタル妻子ノ上ニ及フコトナカルベシ早天戰闘ノコトヲ思ヒ出シ勇者ノ眠ヲ覺スコトナカルヘシ嗚リ渡ル喇叭ヤ笛ノ音ノ早天戰闘ノ用意ヲ促スコトナカルベシ

彼等ノ震フタル劔力ハ鋪ヲ以テ赤クアル彼等ノ羽飾リサレタル頭ガ屈マサル、彼等ノ傲慢

ナル旗カ塵埃ニ於テ引摺ラレテ今彼等ノ軍中ノ死衣テアル而シテ澤山ナル葬送ノ涙ガ各ノ額ヨリ赤キ汚レテ洗フタリ而シテ彼等ノ押柄ナル形カ戰爭ニ於テ切ラレテ今苦痛ヨリ自由ニアル

(講)勇者ノ振りタル劔ハ鋪テ赤クナリ其羽毛ヲ飾リタル頭ハ屈セラレタリ彼等ノ旌旗ハ塵埃ヲ以テ汚レ今ハ軍用ノ死衣ト變シ澤山ノ葬式ニ會シタル人々ノ涙ハ勇者ノ額ノ鮮血ヲ洗ヒ落シタリ而シテ戰爭ノ時ノ勇者ノ荒キ容姿モ今ハ變シテ苦痛ノナキモノト爲リタリ

嘶ク所ノ馬耀ク處ノ刃、喇叭ノ起ス處ノ風攻撃、恐怖スベキ發炮騷動及ヒ叫聲ガ過去リテアル一ノ軍事ノ荒キ聲又ハ名譽ノ響ガ戰爭ノ銳意ヲ決シテ尙多ク感ゼヌデアラフ所ノ其等ノ胸ヲ烈シキ樂ミヲ以テ戰慄サセヌデアラフ

(講)嘶ク馬ヤ吹ク風ヤ喇叭ノ響ク音ヤ激戦ヤ恐ルヘキ發砲ヤ擾亂ヤ叫聲ハ今既ニ過キ去リタリ戰闘ノ端キ響ヤ名譽ノ轟聲ハ最早ヤ戰闘ノ快事ヲ感セサルベキ人ノ上ニハ愉快ヲシク響キ聞ユルコトナカルベシ

廣キ平地ヲ走ル所ノ恐怖スヘキ北方ノ暴風ノ如ク尙得ルベキ勝利ヲ以テ勢ヒ附ケラレテ群集シタル敵ガ來リシ○余輩ノ勇者ハ激動ヲ感セシ而シテ平地ニ於テ彼等ニ出會スヘク飛行キシ而シテ長ク恰ム所ノ天ガ殺サレタル余輩ノ勇者ノ上ニ泣ク

(講)廣キ高臺ノ土地ヲ吹キ荒ラス恐ロシキ北方ノ颶風ノ如ク是ヨリ得ント欲スル勝利ニ

ハヤリテ恐ロシキ敵力来リタリ○余等ノ勇者激動シテ敵ニ會セントア平原へ出行キタリ
而シテ憐ミ深キ天空ハ殺サレタル余等ノ勇者ヲ長ク悲ミタリ

余輩ノ神聖ナル地ノ男子ヨ汝ハ其處ニ眠テハナラヌ其處ニハ異人ノ歩行及ヒ舌聲ガ眠ラサル
ル空氣ニ添フテ反響ス○汝自身ノ誇リタル國ノ勇者ノ地ハ汝ノ尙ホ適當シタル墓處デア
ルテアヲフ彼女ハ軍中ヨリ彼ノ最モ富マル脱殻ヲ請求ス彼女ノ勇者ノ灰

(講)余輩ノ神聖ナル戰場ノ勇者ヨ汝ハ此處ニ睡眠スヘカラス此處ニハ敵ノ足音ヤ首語ハ
此ノ騒々敷空中ニ響クナラシ○汝ノ高慢ナル國ノ勇マレキ土地ハ汝ニ適シタル墓ナルハ
シ汝ノ生國ハ戰爭ノ爲メニ死シタル汝ノ死骸ヲ保護スメン即チ此國ノ勇者ノ死骸ヲ保護
スヘシ

其故ニ彼等ノ兩親ノ艸土ノ下ニ血ニ染ミタル野ヨリ遠ク彼等ガ休ム多クノ血ノ桶ニ於テ
「スバルタン」ノ母ノ胸ニ迄運ハレテ○彼等ノ生地ノ天ノ日光ガ此所ニ彼等ノ上ニ悲シク笑
フ而シテ親族ノ心及眼ガ勇者ノ墓所ノ傍ラニ見張ル

(講)彼等ノ祖先ヨリ所有セル土地ノ下ニ血ニ汚レタル戦地ヨリ離レテ横臥セリ「スバルタン」
國ノ母親ノ胸ニ迄鮮血淋漓タル桶ノ上ニ乗セラレテ運ヒ行カレタリ○悲シクモ勇者ノ死骸
ヲ見テ笑顔シテ親族ノ人々ハ此勇者共ノ墓地ヲ保護セリ

休メヨ汝カ與ヘシ血ハ高シト雖モ木乃伊ニサレタル及ヒ神聖ナル死者ヨ一ノ不信心者ノ歩
ミガ汝ノ墓所ノ艸チ此所ニ踏ヌデアラフ○又ハ汝ノ名譽ハ彼女ノ記録ガ名譽ヲ保ツ間ニ忘

レラレステアラフ又ハ名譽ガ勇氣ガ誇ツテ眠ル所ノ崇敬サレタル位置ヲ指ス

(講)休メヨ尊キ死者ヨ汝ノ與ヘタル鮮血ハ價ヒ高カリシ即チ汝ノ死スル前ニハ澤山ノ敵
ヲ殺シタリ、誰レニテモ汚レタル足ハ汝ノ墓地ニ生スル草ヲ踏ムコトナカルベシ又名譽ガ此
國ノ歴史ヲ保持スル限リハ汝ノ譽レハ忘ル、コトナカルベシ即チ名譽ハ汝等勇者ノ横臥ス
ル處ノ神聖ナル場所ヲ指シ示スヘシ

彼方ノ大理石ノ樂人ノ聲ナキ調子ガ死セサル歌ニ於テ許多ノ打勝レタル時代カ過去タ時ニ
如何ニ汝カ倒レシ乎ノ話ヲ告ケルデアラフ○又ハ殘リモノ又ハ變化又ハ冬ノ嚴寒又ハ時ノ
惡キ機運ガ汝ノ高名ナル墳墓ヲ飾ル所ノ神聖ナル光リノ一ノ線路ヲ暗クセヌデアラフ

(講)其處ニハ年代ハ經過スルニ死シタル勇者ノ聲ナキ調子ニテ後世不朽ノ歌ヲ以テ汝等
ノ戦死シタル談話ヲ後世ニ傳フヘシ○破壊ヤ變化ヤ冬ノ嚴寒ヤ世ノ惡シキ運命モ汝等ノ
名譽アル墓地ヲ輝カス處ノ神聖ナル光輝ノ一線ヲモ陰ラスモノナカルベシ

第八十三課

「ナイアガラ」ノ瀧ノ下

余ノ訪問ノ最初ノ晩ニ於テ余ハ風洞ニ迄テノ導者ニ「ビッドル」ノ階段ノ頭ニ於テ會セシ○
彼ハ大ナル能ク造ラレタル強キ及ヒ口及ヒ眼ニ於テ愉快ナル——壯年ノ盛リニ於テアリ
シ○景色ニ於テ余ノ利益ハ彼ノチ擾亂セシ而シテ相談スヘキモノニ彼ヲ爲セシ○寫眞ニ迄

向ク所テ彼ハ其ニ迄テノ關係ニ依テ行爲其ハ彼カ以前或ル時ニ仕遂ケタリシ處ノ而シテ其ハ「ホース、シヨ」ノ瀧ノ縁水ノ下ニ殆ント彼ヲ携來リタリシ處ノ行爲ヲ解明セシ

(講)余ノ遊覽ノ爲メ來リタル最初ノ晩ニ於テ余ハ風ノ洞ノ案内者ニ「ビッドル」ノ楢頭ニテ出遇ヒタリ○案内者ハ体大ニシテ骨節構造宜シク眼元口元ノ愛嬌アル壯年ナリシ○景色ニ於テ余ノ感動ハ自ラ種々ノ尋問ヲ彼ニ向テナシ彼ノ感覺ヲ擾セリ○一ノ寫眞ニ目ヲ向ケ其レニ關シテ彼カ以前ノ所爲ヲ話セリソノ所爲ニ依テ「ホースシユ」瀧ノ縁水ノ下迄遼ニ至リタリト云フ

汝ハ明日其處ニ余ヲ取り能フ乎ト余ハ問ヒシ

(講)余曰ク明日其「ホースシユ」ニ余ヲ伴ヒ能フカ

彼ハ恐ラクハ斯クノ如キ企圖ニ於テ輕キ構造ノ而シテ彼ノ髯ニ於ケル鼠色ヲ以テノ人ノ運命ヲ秤リツ、不審ラシク余ヲ見シ

(講)余ノ所望ニ對シテ彼ハ不審ラシク余ノ如キ柔弱ノ男ノ而モ白髮翁ノ斯クノ如キ危険ナル企圖ヲナスナラバ或ハ大怪我モアリモヤセントテ余ノ運命ニ懸念シツ、余ヲ見タリ余ハ見ラレ能フタケ瀑布ノ其タケ多クヲ見ルベク願フ而シテ汝ノ導ク處ニ余ハ隨フベク勉ムルデアラフト余ハ附言セシ

(講)余前言ニ添ヘテ曰ク見得ル丈ケハ如何ニモシテ瀧ヲ澤山見ルベク願フ如何ナル處ニテモ汝ノ導ク所ニ從フ可シト

彼ノ考察ハ微笑ニ迄テ弛ミシ而シテ彼ハ言ヒシ甚タ善シ余ハ明日汝ニ向テ準備シテ有ルテ有フ

(講)余ノ言ヲ聞キテ彼レ考察ノ体ナリシガ今ハ微笑シテ言ヒケル様然ラハ明日余ハ汝ヲ導クノ用意ヲナス可シト

夫故ニ朝ニ於テ余ハ來リシ○「ビッドル」ノ階段ノ頭ノ小屋ニ於テ余ハ毛ノ長袴三ノ毛ノ短衣、短キ靴下ノ二對及ヒ靴靴ノ一對ヲ着シツ、——命令ニ從フテ着用セシ○濡ルカデサヘモ余ノ引導者ハ衣服ハ冷サル、トヨリ余ヲ保ツテ有フヲ余ニ保証セシ而シテ彼ハ正シクアリシ○黄色ノ油布ノ一組及ヒ頭巾ハ總テテ覆ヒシ○最モ嘉ニスヘキ警戒ガ若キ幫助者其人ハ外ニ亦ヲ保ツヘク余ニ着服スベク助ケシ處ノ若キ幫助者ニ依テ取ラレシ然レモ嚴然試ミシキニ彼ノ計策ハ直ニ下ニ破レシ

(講)夫故ニ明朝出立シ○「ビッドル」ノ楢頭ノ小屋ニ於テ教ヘラル、ガマ、ニ毛ノ長袴ノ二對三ツノ毛ノ短衣短キ靴下ノ二對靴靴ノ一對ヲ着セリ○斯クスレバ假令ヒ濡ル、トモ冷氣ヲ感スル「ナシト案内者ガ云ヒタルカ其ハ正當ノ「ナリシ」○尚ソノ上ニ黄色ノ油布ヲ以テ造リタル一組ノ上衣及頭巾ヲ以テ全身ヲ被フタリ○沾濕ヲ防ク爲メニ此ノ案内者ガ余ヲ助ケテ着服セシメタルハ用意周到ナリシ然レモ此計畫モ水ノ烈シキ注射ニ遇フタル片効ナカリシ

余輩ハ「ビツチフチーク」(積ミタル枯草ヲスクヒ取ルモノ)ニシテ鋤ノ如クニシテ柄長キモ

ノ柄カ余ノ場合ニ於テ長杖ノ義務ヲナス所テ階段ヲ下リシ○下ニ於テ引導者ハ後者ヲ最多ク余輩ヲ試ミルテ有フヲテ説ク所テ余輩ハ「ウインツ」洞ニ迄テ或ハ「ホースシュー」ニ迄テ最初行クテ有フ乎ヲ問ヒシ余ハ最初爲サレテ最モ粗キモノヲ得ルコニ於テ決定セシ而シテ彼ハ石ヲ越ヘテ左ニ迄向キシ○彼等ハ鋭キ及ヒ試ミル所ノモノデアリシ

(副)長杖(先ニ金属ヲ箆メタル危峻ヲ行ク所ノ杖)ノ代リニ「ピッチ」フチーク「柄」ヲ以テ吾々ハ今階ヲ下レリ○階下ニ於テ案内者ハ余ニ問フテ曰ク「ホースシュー」ハ最モ險難ノ所ナルカ「ウインツ」洞「ホースシュー」ノ瀑何レヲ先ニ行カント○余ハ難所ヲ先ニ行カント決セリ而シテ彼ハ碌々タル石ヲ越ヘテ左方ニ向キタリ○石ハ突兀險難ナリシ

瀧ノ最初ノ部分ノ基礎ハ著シク上ノ石灰石ノ懸崖ノ零落ナル大ナル大石ヲ以テ覆ハレテアル○水ハ彼等ノ中ニ一様ニ其自身分遣シ爲サヌ然レモ水道其ヲ通シテ其カ瀧ノ勢力ヲ以テ濯ク所ノ水道ヲ見出ス○余輩ハ濡タル足ヲ以テ然レモ困難ナシニ其等ノ或物ヲ過キシ○遂ニ余輩ハ尙多ク恐ロシキ水勢ノ側ニ迄來リシ○余ノ引導者ハ彼カ其レノ最モ騒シキ部分ニ達セシ迄テ其縁ニ沿フテ步行セシ○止歩スル所テ彼ガ言ヒシ是レハ余輩ノ最大ナル困難テアル若シ余輩ハ此所ヲ横キリ能フナラハ余輩ハ「ホースシュー」ノ方ニ遙カ得ルテ有フト

(副)瀧ノ前部ノ底面ハ必定上部ノ石灰石ノ破壞シタルモノナル大石横ハレリ○瀑水ハ石灰石ノ照綴面ヲ一様平準ニ流レス然レモ數多ノ水道アリテ水ソノ中ヲ急流シ瀑布ノ形状ヲナス○容易ニ此等ノ奔流數多ヲ過キタリ唯足ヲ沾シタルノミ○遂ニ余等ハ稍ヤ驚クベ

キ急流ノ邊ニ來リシ○余ノ導者ハ水勢ノ最モ穩カナル所ニ至ル迄岸ヲ沿フテ步行シ○其處ニ立止マリ「コ」ガ最モ困難ナル所テアル吾々ガ「コ」ヲ横タハレハ遙カニ「ホースシュー」ニ遙スルヲ得ベシト云ヒシ

彼ハ徒步渡リセシ○其ハ明カニ彼自身丈夫ニスヘク彼ノ力ノ總テヲ要セシ○水ハ彼ノ腰ノ上ニ高マリシ而シテ其ハ尙ホヨリ高ク泡立チシ○彼ハ見ヘサル大石其ニ逆フテ急流カ激烈ニ高マリシ處ノ見ヘサル大石ノ中ニ足場ニ向テ穿鑿スベク持チシ○彼ハ争ヒシ而シテ鞦韆セシ然レモ彼ハ成功シテ争ヒシ而シテ終ニ他ノ側ニ於テノ尙ホ淺キ水ニ達セシ○彼ノ腕ヲ伸ハス所テ今マ來レト彼ハ余ニ迄テ言ヒシ

(副)彼ハ急流ノ中ニ踏込ミシ○彼ノ跳渡リハ實ニ全カヲ盡シテナセシニ相違ナシ○水ハ彼ノ腰ヨリ高ク水泡ハ尙高ク動揺セリ○彼ハ水流ノ衝突シテ爲メニ激昂セシ所ノ水中ノ大石ニ足場ヲ定メントシテ足ヲ穿鑿シ居レリ○爭衝動勞ノ后都合ヨク成功シ遂ニ對岸ノ淺瀬ニ達シタリ○然ル片彼ノ腕ヲ延ハシテ「來ルベシ」ト余ニ呼ヒカケタリ

余ハ其カ下ノ河ニ迄テ突キシ而シテ瀧ノ騒動ヲ以テ沸騰シツ、アリシモ急流ヲ見下セシ○其ハ膝ノ深サヨリ尙ホ多クテアラサリシ所デサヘモ其勢力ハ著大デアリシ○其ハ余ノ周圍ニ高マリシキニ余ハ其ニ迄テ一方ヲ顯ハスニ依テ急流ヲ裂クベク求メシ然レモ足場ノ危險ハ余ノ腰ヲ握リ全ク余ヲ子シ廻ハシ及ヒ余ノ背ノ上ニ荷フヘク其推動方ヲ持來スヘク其ヲ適當ニセシ○ヨリ遙カナル勞力ハ出來難クアリシ而シテ望ミナク行タル余ノ權衡ヲ感

スル所テ私ハ向キ丁度見捨テタル岸ノ方ニ余自身ヲ投グシ而シテ尙ホ淺キ水ニ迄急過シテ待チシ如ク直ニ追ハレシ

(譯)余ハ眼下ノ川ニ急流カ突進シ而シテ瀑布ノ響ヲ以テ喧噪シクアリシ片ニ急流ヲ見下セシ○急流淺クシテ膝ニ達セサル處ニテモ水勢非常ニ強シ○水流余ノ周圍ニ高マリシ片余ハ水中ニ横向キ急流ヲ殺ガントセリ然レテ足場確カナラサル力爲メニ急流余カ腰ヲ擁シテ休ヲ拗チ背上ニ水ノ勢力ヲ受ケサルヲ得サルニ至レリ○最早此上ノ争ヒハ堪ヘ難シ且ツ身体ノ釣合ヲ取ルルノ六ヶ敷ヲ以テ感シ回轉シ以前ノ岸ニマテ身ヲ投ケタル力直ニ豫期ノ如ク淺水ニ推シ遣ラレタリ

桐油ノ布力大ナル防害テアリシ其ハ多ク尙ホ氣強キ人ニ向テ作ラレタリシ而シテ余ノ溺水ノ後眞直ニ立チツ、余ノ脛ハ水ノ二ノ囊ノ中心ヲ滿タセシ○余ノ導者ハ再ヒ試ミルヘク余ヲ斷マセシ○最初ノ不仕合ニ依テ救ヘラレテ余ハ今一度水流ニ入込ミシ○長杖ハ鉄ニ付テアリタリシナラハ其ハ余ヲ助ケノ能ヒシ然レモ其カアリシ如ク其ヲ不要用ヨリ尙ホ惡シクナラシメシ其ヲ掃グヘク水ノ性質ハ余ノ手ノ外ニ○然レモ余ハ習慣ヨリ其ニ迄テ絶リシ(譯)桐油ノ上衣ハ甚タ不都合テ全体是ハ余ヨリモ身体剛強ノ者ニ適シタル仕立方ニテ且ツ水ヨリ出テ直立シテ見レバ「ズボン」天ニシテ水其中ニ浸入シ余ノ足ハ恰モ二ノ水ヲ盛リタル甕中ニ在ルカ如クナリシ○余ノ案内者ハ余ヲ勸マシテ再ヒ試ミントヲ勸メタリ最初ノ失策ニ鑑ミ尙一度水流ニ入込ミタリ○余ノ長杖ノ鉄ニテアリシナラハ余ヲ助ケタラン

ニ鉄ニテナカリシヲ以テ水ノ抵抗余ノ手ヨリ奪ヒ去ラントシ不用ノミカ却テ妨害トナリシ○然レテ余ハ初メヨリノ習慣ニテ長杖ニマテ依托シタリキ

再ヒ急流カ高マリシ而シテ再ヒ余ハ動搖セシ然レモ其ニ向テ能ク左ノ腕ヲ保ツトニ依テ余ハ眞直ニ保チシ而シテ遂ニ他ノ側ニ於テノ余ノ導者ノ手ヲ保チ握リシ○彼ハ愉快ニ笑ヒシ○一ノ旅行者ハ曾テ前ニ此所ニアラサリシト彼カ言ヒシ○其後速ニ漂木其ハ強ク見ヘシ處ノ漂木ノ一片ニ迄テ任ストニ依テ余ハ再ヒ余ノ足ヲ取去ラレシ然レモ直ニ突出スル所ノ岩ニ依テ捕ヘラレシ

(譯)再ヒ急流激奔シテ身体動感セリ然レモ激水ニ左臂ヲ向ケ僅カニ倒レサルヲ得遂ニ向側ニ達シテ案内者ノ手ヲ握リシ○彼ハ愉快ニ笑フテ言ヒシ一旅客ノ未タ曾テ此處ヲ通過セシモノナシト○間モナク確固動カスベカラサルモノ、如ク見ヘシ浮木ニ凭リタルヲ以テ忽チ失脚シテ倒レタリ然レモ直ニ突出シタル岩ヲ捕ヘテ無難ナリシ

余輩ハ最厚キ氷沫其ハ其ノ激動ノ下ニ踟躕スヘク余輩ヲ引起スヘク如ク左襟ニ重ク速ニナリシ處ノ最厚キ氷沫ノ方ニ大石ヲ越ヘテ登リシ○最多ノ部分ニ向テ何物モ見ラレ能ハサリシ余輩ハ水ニ依テ鞭打タレタル混雜スル處ノ騷動其ハ無數ノ鞭ノ響ノ如ク時アリテ響キシ處ノ混雜スル所ノ騷動ノ中ニ於テアリシ○此等ノ下ニ瀧ノ深キ返響シタル響音ガアリシ○余ハ余ノ手ヲ以テ余ノ目ヲ蔽ヒ而シテ見上ゲルベク試ミシ然レモ防守ハ不要用デアリシ○導者ハ進ムベク續ケシ然レモ或ル場所ニ於テ彼ハ彼ノ風下ニ於テ隱所ヲ取り而シテ瀧ヲ注

目スベク余ニ望ミツ、止歩セシ

(譯)吾々ハ大石ヲ攀登リシ稠密ナル水沫益々加ハリソノ壓力ノ爲ニ踳踖トシテ歩行進マ
ス○水沫視線ヲ遮リ視ル能ハス水ノ打衝恰モ無數ノ鞭響ノ如クシテ喧シク○其下ニ婁遠
ナル瀑布ノ返響ヲ聞キタリ○余ハ手ヲ以テ目ヲ蔽ヒ水沫ヲ避ケテ見ントシタレバ無益ナ
リシ○案内者ハ前方ニ進ミ或ル場所ヲ見計ヒ其身ノ風下ノ隱所ヨリ瀧ヲ眺メヨト余ニ告
ケタリ

水沫ハ其カ底ヲ打チシキ聲碎シタル水ノ返衝ヨリノ如ク左様ニ多クヨリ上ノ懸崖ヨリ來リ
爲サハリシ○其レヨリシテ眼ハ水沫ノ眩マス所ノ激動ヨリ防カレ能ヒシ然ニヨリ上ノ崖ニ
遙視覺ノ線ハ明日ニ或廣カリ迄テ保チシ○導者ノ肩ヲ越テ見上ケル處テ余ハ縁ヲ越テ曲ル
所ノ水ヲ見能ヒシ然ルニ「ターラツピン」ノ塔ハ入替テ時アリテ歎ムベキ水沫ノ暴風ヲ通シ
テ眩マセシ○余輩ハ正シク塔ノ下ニアリシ○僅カ尙遙カ向ヒニ瀧ハ其最初ノ衝込ミノ後或
ル道ノ下ニ凸物ニ觸レシ而ノ水沫ノ恐怖スヘキ破裂ニ於テ其レヨリ飛ヒシ此ヲ通シテ吾々
ハ脚躓セシ

(譯)水ガ底面ヲ擊チソノ反動ヨリ起リタル水烟甚シカリシト雖モ上部ノ懸崖ヨリ起ル水
烟ハ左様ニ甚タシカラス、ソレ故ニ上部側面ノアル部分ヲ明ニ見得テ水烟ノ突飛余ノ眼ヲ
妨ケズ○導者ノ肩ヲ越ヘテ見上クレバ余ハ岩縁ヲ越ヘテ曲レル水ヲ見タリ然ルニ「ターラ
ツピン」ノ塔(アメリカカンフオールト)名クル瀧ノ上ノ岩上ニ立ツ小キ塔ナリ)ハ水烟浮動ノ

間ニアリテ明ラカニ見ル能ハズ○余ハ此塔ノ直下ニアリシ○少シ前方ニ當リ布ハ其奔下
スルノ後テ下部ノ凸所ニ觸レテ非常ニ水花ヲ飛ハス其中ヲ余等ハ踳踖トシテ進行セリ

余輩ハ岬其ノ上ニ「ターラツピン」塔カ立ツ所ノ岬ヲ廻行セシ、而シテ大石ガ余輩ヲ怠リシ、
而シテ瀧ハ「ナイアガラ」河ノ深キ割目ニマデ落チシ迄テ「ホースシュー」ノ腕ニ沿フテ最粗
キ騒動ノ中ニ動キシ、

(譯)吾々ハ「ターラツピン」塔ガ建ツ所ノ岬ヲ廻リ飛沫狂瀧ノ中ヲ過ギ「ホースシュー」ノ徑ニ
沿フテ進ミ遂ニ大石余等ヲ遮リ道盡キテ瀧ハ「ナイアガラ」深淵ニ飛下スルノ所ニ至リタ
リ

此所ニ導者ハ再ビ余ヲ隱セシ、而シテ見上ゲルベク余ニ望ミシ、余ハ左様ニ爲セシ、余輩及
ヒ其ノ間ノ水煙ハ更迭シテ集合セシ而シテ消失セシキニ前ノ如クニ上ノ崖縁ヲ越テ掃ク所
ノ大ナル曲線ノ綠色ノ光線、及ヒ水ノ時アリテ歎ムベキ衝込ミヲ見能ヒシ、

(譯)此所ニ案内者ハ再ビ余ヲ蔽ヒ而シテ見上ケヨト、余ニ指示セシ、吾々ハ以前同様水ト岩
々トノ間ノ水烟集散相交代セシ片、余等ト瀧トノ間ニ上部ノ懸崖ノ邊ニ據ガル所ノ大ヒナ
ル曲リタル緑光線ト水ノ間斷アル突入ヲ見ルヲ得タリ、

余輩ハ瀧ノ最モ感得スベキ部分ノ閃光ヲ捕ユルベク如ク左様ニ、上下ニ間隙ニ於テ登リツ
、歸リシ、○余輩ハ石灰石ノ管ノ如キ塊ニ依テ形造ラレタル岩縁ノ下、及ヒ岩ノ頂上ヨリ一
緒ニ落ツルコトニ依テ形造ラレタル若干ノ奇異ナル穴ヲ通シテ過ギシ、○遂ニ余輩ハ朝ノ余

輩ノ敵ノ側ニ余輩自身發見セシ、○導者ハ思考シテ急流ヲ細査シツ、一二分時ニ向テ止歩セシ、○余ハ導者トシテ、彼ハ如斯キ場所ニ於テ綱ヲ持ツベク屬スルヲ言ヒシ、然レモ彼ハ一ノ旅行者ハ曾テ前ニ其處ニ來ルヲ付テ思考シナシ故ニ、彼ハ綱ヲ保ツノ必用ヲ見ナサ、リシヲ反難セシ、

(譯)余輩ハ瀑ノ尤モ奇異盛賞スベキ部分ヲ求ムル爲メニ或ハ上リ或ハ下リテ歸途ニ就キタリ、○我々ハ石灰塊ニ因テ造ラレタル崖ノ下、及岩頂ヨリ其落チ來ルガ爲メニ造ラレタル奇妙ナル洞穴中ヲ通行シタリ、○遂ニ吾々ハ今朝困難ヲ受ケシ所ノ急流ノ邊リニ來レリ、○案内者ハ沈思一二分時急流ヲ眺メ居レリ、○余曰ク案内者タルモノハ如斯キ難所ニハ旅客ニ便ナ與ヘン爲メニ繩ヲ用意スベキ筈ナリト、然レモ案内者ハ未タ曾テ此處ヲ通行セントスルノ人アラサリシ、故ニ今日迄ハ繩ヲ用意スルノ必要ナカリシトテ余ノ説ヲ打消シタリ、

彼ハ徒歩渡リセシ○彼自身保ツベク勞ガ充分明瞭デアリシ、彼ハ鞆纏セシ、然レモ再ビ及ビ再ビ彼自身恢復セシ、○遂ニ彼ハ滑リシ、道ヲ與ヘシ、余ガ爲シマリシ如ク爲セシ、岸ノ方ニ彼自身ヲ投ゲシ、而シテ淺處ニ迄テ掃カシ、○其縁ニ近ク水流ニ於テ立ツ所デ、彼ハ余ノ方ニ腕ヲ伸バセシ、余ハ「ピツチホーク」ノ柄ヲ保チシ、如何トナレバ其ハ大石ノ中ニ要用デアリタリシ故ニ、○杖ニ於テ若干ノ道ヲ徒歩渡リスルヲ依テ、彼ニ達スベク爲サレ能ヒシ、而シテ余ハ其ヲ彼ノ握ルヲ言ヒ顯ハセシ、

(譯)ハ徒歩水ニ入りタリ、○急流中ニテ彼ノ困難スルノ様ハ能ク分カリタリ、彼ハヨロシクテ今ニモ倒レソウニ見ヘタルガ何時モ、モ身体ノ釣合ヲ取り戻シタリ、○遂ニ彼ハ足ヲ踏ミ外ツシテ滑リ倒レタリ、私ガ今朝爲セシ如ク岸ノ方ニ自身ヲ投ゲテ淺瀬ニ流シ遣ラレタリ、○對岸ニ近キ水中ニ立チテ彼レハ吾ノ方ニ腕ヲ伸シタリ、○岩上ニアリテハ必要ト考ヘシヲ以テ余ハ「ピツチ、フオーク」ノ柄ヲ持チタリ、○ソノ杖ニ依リテドウカコウカ力涉リテ僅力ニ彼ニ達シ余ノ杖ヲ引ツバレト余ハ彼ニ依頼シタリ

若シ汝ガ道ヲ與ヘルノ場合ニ於テ、汝ハ汝ノ握ルヲ保チ能フヲガ確カデアルナラバ、然ルル余ハ確然汝ヲ保ツデアロウト彼ガ答ヘシ、

(譯)若シ汝ガ失脚シテ倒ル、トモ必ラズ其杖ヲ離サスナラハ余確カニ汝ノ杖ヲ保テ汝ヲ導クベシト彼答ヘタリ

彼ハ此ノ上ニ計算シ得ルヲ説ク所デ、余ハ徒歩渡リセシ、而シテ余ノ伴侶ニ迄テ杖ヲ伸バセシ、○其ハ余輩ノ兩方ニ依テ強ク握ラレシ、○此レガ幫助セシ、假令ヒ其製ヒハ強クアリシト雖モ、余ハ急流ヲ横過シテ安全ニ動キシ、○總テノ危難ガコ、ニ終リシ、

(譯)案内者ガ此事大丈夫請合ト云ヒタルニ依リ余ハ急流ニ入り案内者ニマテ余ノ杖ヲ差出セシ、○杖ハ吾々兩人ニ於テ固ク握ラレタリ、○是ハ助ケトナリ水勢烈シカリシト、雖モ無異ニ急流ヲ横切ルヲ得タリ、○危險ノ場所此所ニ終リタリ、

余輩ハ其後「ウインツ」ノ洞ノ下ノ急流及ビ大石ノ中ニ親シク漂泊セシ、○岩ハ生泥其ハ裸

ノ足ヲ以テ越テ步行サレ能ハナシ、然レモ、氈靴ハ成功アリテ滑ルヲ妨ケシ、○余輩ハ洞ニ達セシ、最初大石ヲ越テ運バレル木ノ道ニ依テ而シテ然ルキ「セール」(石ノ名)ニ迄テ最モ深ク食ハレタル点ニ迄テ狭キ縁ニ沿フテ其ニ入込ミシ、○風ハ南ヨリアルキニ落ル所ノ水ハ此場所ヨリ安穩ニ見ラレ能フト、余ハ告ゲラレテアル、然レモ余輩ガ其所ニアリシキニ、水煙ノ眩マス所ノ颯風ハ余輩ニ向フテ回轉シテアリシ、(籠)吾々ハ其ノ後、ウイニツツ洞穴ノ下ノ急流及ビ大石ノ内ニ人連レ心地ヨク過ギ行キタリ、○ソノ岩ハ「オーガニック」泥(濕潤ナル土或ハ粘泥ノ動植物ヲ殆ンド含マス)一面ニ據ガリ居レリ、故ニ裸足歩行スル能ハザレモ幸ニ靴ヲ穿キタルヲ以テ滑倒ノ難ヲ防ギ得タリ、○吾々ハ洞穴ニ達シテ其中ニ入レリ大岩ノ上ニ木道ヲ敷キタル道アリ漸クニシテ「セール」(石名)ヲ填布シタル狹隘ニ沿フテ進ミタリ、

第八十四課

羅馬ニ於ケル劇場

總テ古代ノ劇場ノ最モ大ナル及ビ最モ多ク高名ナルモノハ羅馬ニ於テノ劇場デアル、○其ハ「セルサレム」ノ侵掠者ナル「ベスパシアン」及ビ彼ノ男兒ナル「テクス」ニ依テ羅馬ノ七ヶ丘ノ中央ニ於テノ谷ニ於テ建築サレシ、○俘囚ノ「ジウス」人ガ其ニ於テ働クベク止ムナクサレシ、而シテ外部ノ花崗石及ビ内部ノヨリ和カナル石ナル物質ハ十八世紀ノ終リニ於テ

尙ホ其レガ辛フジテ破損スベクナツタ、然レモ羅馬ノ最大ナル驚愕スベキモノ、一二殘ル

トホト左様ニ堅固ニ且ツ左様ニ感賞スベク築造サレテアル、

(附)總テ古代ノ最モ宏大ニシテ最モ有名ナル劇歴ハ羅馬ノ劇場トス○ソノ劇場ハ羅馬七ヶ丘ノ中央ナル平地ニ於テ「セルサレム」ノ戰勝者「ベスパシアン」ノ息子ノ建築スル所ノモノタリ、○俘囚猶太人此建築ノ苦役ヲ取りタリ、用材ハ外部花崗石ニシテ内部ハ稍柔軟ナル石ヲ以テシ、建築堅固巧妙ニシテ、十八世紀末ニ於テモ尙ホ巍然トシテ聳ヘ羅馬ノ偉觀タリシ、

地ノ五「ニクル」ガ其ノ外部ノ壁ノ卵形ノ内ニ圍マル、其ハ外側ハ重リタル圓形ノ列ニ於テ直線ニ高クナル、○内ニハ座ノ棧敷ガ前ノ方ニ突出セシ、各ノ列ガ其上ノモノヲ越テ遙カ外ニ來ル所デ左ル程ニ最モ低キ者ト及ビヨリ外ノ壁トノ間ニハ、其所ニ部屋、通路及ビ舞臺ト名附ケラレタル中央ノ空所ノ周圍ノ圓天井ニ向テノ場所カアリシ、

(附)外部卵形ノ壁内ニハ地坪五「ニクル」アリ壁ノ外部ハ相重リタル圓形ノ窓ノ並列スルアリテ直立セリ ○壁内ニハ棧敷層々相重ナリ下部ノ棧敷ハ上部ノモノヨリ前ノ方ニアリ、故ニ舞臺ト稱スル中央ノ地ノ周圍ニハ低キ棧敷ノ後方高キ棧敷ノ直下ニ當リテ室、通行路又ハ廊下等ヲ構フルノ場所充分アリタリ、

滿ルキニハ總テ此大ナル建物ガ八萬七千人ヨリ少ナカラサル見物人ヲ保チシ、○其レガ屋根ヲ持タザリシ、然レモ其所ニ雨ガアリシキ、又ハ太陽ガ餘リ暑クアリシナラバ、遊歩廊下

ニ於テノ人夫が綱ノ上ニ添フテ走リシ處ノ天幕ヲ擴ゲシ、而シテ全部ノ上ニ金及び銀ノ織物ノ覆ヒテ作リシ○紫色ガ此覆ヒモノ、タメニ都合ヨキ色デアリシ、如何ソトナレバ太陽ガ其ヲ通シテ照セシキニ、雪ノ如キ舞臺ノ上ニ、及び羅馬市民ノ白キ紫色ノ縁取リタル古代服ノ上ニ如斯キ美麗ノ薔薇色ヲ投ゲシ、

(譯)此劇場ハ人充滿スル片ハ八萬七千ヨリ少ナカラザル見物人ヲ容レタリ○劇場屋根ナシ日光ノ注射劇シク或雨ノ降ラスル片ハ用意ノ人夫ハ綱ノ上ニ天幕ヲ張リ以テ一面ニ金銀燦爛タル覆ヒ物ヲ造ル○此蔽ヒモノハ紫色ヲ尊ア蓋シ太陽ノ光線其レヲ遍シテ射出スル片ハ潔白ナル舞臺及ビ見物者ノ白地ニ紫ノ縁取リタル古代服ハ爲ニ甚タ美ナル薔薇色ヲ呈シテ一層ノ美觀ヲ副ヘタリ、

帝王ガ彼自身ニ着坐シ、而シテ合圖ヲ與ヘタリシキニ演劇ガ始マリシ、○時トシテハ綱跳リスル所ノ象ガ建物ノ頂上ニマテサヘモ登ルコト及ビ綱ニ依テ下ルコトニ依テ技藝ヲ始メルデアラフ○又ハ獅子ガ彼ノ頭ノ上ノ飾ラレタル冠彼ノ首ノ周圍ノ金剛石ノ首飾リ、金ヲ以テ組附ケラレタル彼ノ鬘及ヒ鍍金サレタル彼ノ蹄ヲ以テ出來リシ、而シテ彼ノ抱クコトノ中ニ恐怖ナク躍リシ所ノ小ナル兎ト共ニ一百ノ面白キ温和ナル滑稽技藝ヲ演ゼシ、

(譯)帝王ハ着坐シテ合圖ヲ與フルヤ演藝ヲ始ム、○時トシテハ綱渡リヲ爲ス象ガ劇場ノ頂上ニ登降スルコトアリ○又裝飾シタル冠ダイヤモンドノ首飾リヲ着タル獅子ガ金ヲ展附シタル鬘ト鍍金シタル爪ヲ以テ出來リ獅子ノ掌握中ニアリテ恐ル、色ナキ兎ヲ弄シテ跳リ

種々ノ面白キ柔和ナル滑稽技藝演ゼリ、

時トシテハ水カ舞臺ニマデ導カレシ、舟ガ中ニ走リシ、而シテ中央ニ於テ片々ニマデ落ル所デ、總テノ方向ニ於テ游泳スル所ノ珍奇ナル動物ノ群ヲ送りシ○時トシテハ地ガ開キシ、而シテ木ガ金ノ葉實ヲ保チ、其ヲ通シテ成長シツ、來リシ、○又ハ「ナルヒウス」ノ美ナル昔話ガハタラカラレシ、是等ノ木ハ音樂者ノ豎琴及ビ歌ニ從フデアロウ、然レ全キ部分ヲシテ充分ニ爲スベキ——其ガ一ノ單ナル游藝ニ於テアラサリシ、然レ實際ノ劇ニ於テ遊

「ナルヒウス」ガ活タル熊ニマデノ肉ニ落チシコトガアリシ、

(譯)或ル片ハ場中ニ水流レ來リテ一船ヲ浮ブ、場ノ中央ニ至リテ片々ニ解散スレバ奇異ナル動物四方ニ游泳ス○又或ル時ハ地割ケテ美麗ナル果實ヲ結ブ處ノ木現出スルコトアリ○「ナルヒウス」ノ愛スベキ音嘶ガ演ゼラル、コトアリ(「ナルヒウス」ハ樂音ニテ岩石菓木ヲ動ス人ナリト云フ)ソノ片凡テノ樹木ハ音樂唱歌ニ從フテ動キシ然レハ演技ヲ完美ナラシメンガ爲メニ演技ニ於テ「ナルヒウス」ヲ務メシ、役者ガ熊ノ食餌トナリシハ演技ノ模擬ニアラズシテ實事ナリシ、

如何トナレバ劇場ハ最初ニ記サレタル其等ノ如キ斯ル害ナキ觀物ノタメニ建造サレナンダリシ故ニ○烈シキ羅馬人ハ勵マサルベク及ビ強ク感動サレテ彼等自身ニ感スベク要セシ、而シテ直チニ舞臺ノ周圍ノ穴及ビ洞穴ノ戸ガ開テ投ゲラレシ、而シテ犀及ビ虎、牡牛及ビ獅子、豹及ビ野猪ノ充分ニ荒キ獸類カ互ヒノ上ニ解ヒテ放ダレシ、然ル間ニ人民ガ攻撃及ビ防

禦ノ種々ノ種類ヲ看ルベク猛惡ナル好事心ヲ以テ見張リシ、同時ニ於テ彼等ノ耳ガ貴キ動物其ノ勇氣ガ斯ノ如クニ善用サレタ所ノ貴キ動物ノ嗥咆^{ウナルゴト}及ビ吠ル^{ウナルゴト}ニ依テ驚カサル、^{ウナルゴト}代リニ樂マサル、所デ、

(講)如何トナレバ余ガ此章ノ初メニ記載シタルガ如キ、唯柔和無害ノ演技場ニアラズ○資性勇烈ナル羅馬人ハ頻リニ激昂シテ猛惡ナル技ヲ見ントナシタリ而テ直ニ舞臺ノ周圍ニアル穴、洞ノ戸カ開カレ犀、虎、牡牛、獅子、豹、野猪ノ如キ猛獸ガ縛束ヲ脱シテ自由ヲ得タル^{ウナルゴト}ヲ睨ビ攻撃防禦スサマシキ有様ヲ見テ喜ブハ猛惡ナル好事心ト云フベシ、○同時ニ種々ノ猛獸ガ絡鬪相争ヒソノ咆哮ノ恐ロシキ聲ヲ聞テ樂メリ、

片々ニマデ互ニ裂ク所ノ荒キ獸類ガ恐怖ニ向テノ或ル味ヒヲ満足サセ能ヒシト、人ガ思考スルデアラフ、然レ見物人ハ彼等ノ愛シタル怪物ノ前ニ尙モ置ルベキ尙高キ勝負ヲ要セシ^{ウナルゴト}、人ガ彼等ニ向テ合ハスベク前ニ携帶サレシ、○是等ノ或ル者ガ最初ニ於テハ、充分ナル武備ニ於テズリシ、而シテ一般ニ勝利ヲ以テ裂シク戦ヒシ○又ハ狩人ガ殆ソド武備ナシニ來リシ、而シテ獅子ノ頭ノ上ニ織物ノ一片ヲ投ゲツ、又ハ彼ノ咽喉ノ下ニ彼等ノ拳ヲ打ツ^{ウナルゴト}ニ依テ勝利ヲ得シ、

(講)猛獸ハ相鬪ヒ相傷ケ氣力衰ヘ充分ニ恐怖ヲ感ゼシナラン、然レ見物人ハ已レガ愛スル處ノ獸類ノ前ニテ尙勇マシキ勝負ヲ見ントナシタリ○初メノ程人或ハ鎧ヲ着職ヒ概テ勝利ヲ得タリ○又數人ノ獵者出來リテ獅子ノ頭上ニ布ヲ覆ヒ又咽下ニ拳ヲ打ツソノ迅

速巧妙ナルガ爲ノ獅子ノ心ヲ弄亂セシメ勝利ヲ得タリ、

然レ羅馬人ガ視ルベク好ミシ所ノ其ハ習練ノミナラズ尙又死スルコトデアリシ、而シテ所刑サルベキ罪人及ビ脱走者ガ獅子ニ食セシムベク及ビ死亡ノ彼等ノ種々ノ種類ヲ以テ人民ヲ樂マスベキ保タレシ、○其等ノ所刑スベキ者中ニ耶蘇宗ノ受刑者ノ許多ガアリシ、其人ハ舞臺ノ周圍ノ猛惡ナル眼ノ群集ノ前ニ善キ懺悔ヲ証セシ、而シテ看ル者ガ理解シ能ハザリシ所ノ靜カナル決心及ビ希望アル快樂ヲ以テ獅子ノ血ニ染ミタル鬘ニ出逢ヒシ○上向キナガメ及ビ彼ノ舌ニ於テ快樂ノ神歌ヲ以テ耶蘇宗人ノ死ヲ看ルコトハ、劇場ガ與ヘ能ヒシ最モ多ク珍ラシキ及ビ無類ノ現相デアリシ、而シテ其ガ其故ニ最上デアリシ、而シテ觀物其ニ於テ獸類ノ仕組ガ部分ヲ持チシ所ノ觀物ノ終リニ向テ保タレシ、

(講)然レ羅馬人ハコレヲノ熟練ナル技ヲ見テ満足セズ尙死傷ヲ見ントヲ欲セリソレ故ニ獅子ニ出遇ヒ殘虐ナル死ヲ淫ケシメンガ爲メニ刑人及ビ脱走者ガ供セラレ獅子ノ之ヲ食フヲ見テ樂トセリ、○所刑人中ニハ耶蘇宗徒アリテ衆人ニ懺悔ノ色ヲ示シ且沈靜ナル決意及ビ死後ノ希望ヲ快シ以テ獅子ノ染血シタル鬘ニ出遇フタリ此等ノ決心希望ハ觀者ノ了解スルコト能ハザル所タリ○此ノ耶蘇宗徒ノ猛獸ト争ハズシテ從容トシテ死ニ就クハ珍奇無比ノ演技ニシテ獸技中最後ニ行フ處ノ最上快樂ノモノトナセリ、

死骸ガ鈎ヲ以テ彼方ニ引摺ラレシ、血ニ染ミタル砂ガ新ラシキ清キ土ヲ以テ掩ハレシ、薰物ガ尙強キ雲ニマデ送ラレシ、而シテ彼等ノ力ノ最上ニ於テ、脊高キ善クナサレタル人ナル行

列ガ前ニ來リシ、○或ルモノハ劔及ビ係締綱ヲ運ビシ、他ノモノハ戟及ビ綱ヲ運ビシ、或ルモノハ輕キ武備ニ於テアリシ、他ノモノハ兵卒ノ充分ナル重キ武備ニ於テ、或ルモノハ馬車ニ於テ、或ルモノハ歩行ニ於テ○彼等ガ内ニ進ミシ、而シテ帝王ニマデ彼等ノ敬禮ヲ爲セシ、而シテ「シーサー」萬歳○將サニ死スベクアル所ノ余輩ハ汝ヲ祝ストノ一ツノ聲ヲ以テ彼等ノ祝言ガ建物ヲ通ノ響キシ、○彼等ハ戰伎者デアリシ、——衆人ヲ樂シマスベク死ニマデ戰フベク訓練セラレタル劔撃者ナリ、

(續)一技終ルヤ死體ハ胸ヲ以テ引キ去リ血ニ染ミタル砂ハ新鮮ナルモノヲ以テ掩ヒ、香ヲ盛ニ燒キ、力盛リノ高大強壯ナル人ノ一列前方ニ進行セリ、○行列ノ人々ハ劔及ビ係締綱ヲ持スルアリ戟及綱ヲ持スルアリ、或ハ輕便ナル武具ヲ着ルアリ、又兵卒ノ嚴重ナル武備ヲナスモノアリ、馬ニ乘ルアリ又馬車或ハ歩行等ニテ○入來リテ帝王ニ敬禮ヲナシ「シーサー」帝萬歳運命盡ントスル吾々ハ汝ヲ祝スト、一聲ニ發スル響ハ滿場ニヒキ渡ル○コレヲ人ハ戰伎者ニシテ即衆人ノ觀覽ニ供センガ爲メニ死戰ノ操技ヲナセシモノナリ、

總テノ種類ノ戰ヒガ起リシ、——輕キ武備ノ兵士、及ビ綱持ツ人、——係締綱及ビ投ケ槍、二人ノ重キ武備ノ勇者、——一人戰ヒノ總テノ組合、而シテ時トシテハ力士ノ一般ノ亂闘、(續)次キニ輕裝ノ武士ト綱持ツ人トノ戰○係締綱ト投ケ槍トノ戰、重キ武具者ノ對戰無手ニテノ對戰力士ノ一般ノ亂闘等ヲナセリ、

戰伎者ガ彼ノ對手者ヲ傷ケシキニ、彼ハ見物人ニマデ、彼ガ其ヲ持ツト叫ビシ、而シテ彼ガ

殺スデアラフ乎又免ルステアラフ乎ヲ知ルベク見上ゲシ、○人が彼等ノ大指ヲ上ニ保チシキニ、若シモ彼ガ能ヒシナラバ打チ勝レタル者ガ回復スベク拾置レシ、若シモ彼等ガ彼等ヲ下ニ向ケシナラバ彼ハ死スベクアリシ、而シテ若シモ彼ガ死ノ打チノタメニ彼ノ咽喉ヲ差出スベシ或ル抵抗ヲ示セシナラバ其所ニ刃ヲ受ケヨトノ賤シミタル叫聲ガアリシ、

(續)戰技ノ打勝者敵手ヲ傷ケシ片ニ敵ハ傷ヲ受ケタリト縱覽者ニ聲ヲカケ而シテ之ヲ殺サシカ者サンカ衆人ノ意見ヲ知ル爲ニ見上ケシ○若シ見物人ガ大指ヲ上ケシ片ハ負傷者ハ打棄テラレシ、回復ノ運ニ向フモノアリシ、○大指ガ下ニ向ケラル、片ハ負傷者ヲ殺スベキノ合圖ナリ負傷者若シ之ヲ拒ミ咽喉ノ刺込ヲ恐ル、ナラバ衆人之ヲ賤ミ刃ヲ受ケヨトノ叫聲喧シ、

余輩ノ多クハ「バイロン」ヨリ怒リタル憐ミノ是等ノ貴キ數行交ヲ呼出セシ所ノ、負傷シタル戰伎者ノ其最モ多ク感動スル所ノ偶像ノ形狀ヲ見子バナラシ、

余ハ余ノ前ニ横タハル戰伎者ヲ見ル、彼ハ彼ノ手ノ上ニ傾ク、彼ノ男ラシキ額ガ死ニマテ諾ス、然レモ苦痛ニ勝ツ、而シテ彼ノ垂レタル頭ガ漸次ニ低ク沈ム、而シテ彼ノ脇腹ヲ通シテ赤キ疵所ヨリ遅ク衰ル所ノ最後ノ瀾リガ驟雨ノ最初ノ如ク一ツノ重ク落ル、而シテ今土塲ガ彼ノ周圍ニ浮ム、勝チシ所ノ惡漢ヲ賞セシ所ノ不人情ナル叫聲ガ止ミシ前ニ彼ハ去テアル○彼ハ其ヲ聞シ、然レモ彼ハ注意セザリシ、彼ノ眼ハ彼ノ心ト俱ニアリシ、而シテ其ハ遙カ彼方ニアリシ、彼ハ彼ノ失ヒシ、生命又ハ褒賞ニテ注意セザリシ然レ「ダ

ニユブノ傍ヲノ彼ノ粗ヲキ小家ガ横タハリシ所ニ、其所ニ總テ遊ビニ於テノ彼ノ若キ野蠻人ガアリシ、其所ニ彼等ノ「ダシアン」ノ母ガアリシ——彼等ノ父ナル彼ハ羅馬ノ祭日ヲ爲スベキ殺戮セシ、——總テ之レガ彼レノ血ヲ以テ急ギシ、——彼ハ死シ而シテ復讎セラレヌデアラフ乎、——立テヨ、「ゴス」人ナル汝ヨ而シテ汝ノ怒ヲ滿セヨ、

(譯)吾々多クハ有名ナル英國ノ詩人、バイロンガ作リシ憤怒憐哀ノ詩ヲ唱誦シテ敗北者ノ威ズベキ肖像ヲ見タルハ必然ナリ、其ノ詩ハ下ノ如シ、

私ハ(バイロン)ハ面前ニ倒レタル戦技者ヲ見ル彼ハ其ノ手ヲ地上ニツキ勇狀ナル額ハ苦痛ヲ覺セズシテ死スル「歸スルガ如シ、而シテ彼ノ低レタル頭ハ次第二俯キ、ソノ脇腹ノ疵口ヨリ出ル臨終ノ血ノ點滴ハ漸ク衰ヘテ、恰モ驟雨ノ來タラントスル前ニ疏ナル雨滴ノ一ツ一ツ下ルガ如シ、而シテ今ヤ彼ノ周リ一面ハ血ノ海ヲナシ打勝者ヲ稱賛スル爲メニ見物人ヨリ不人情ナル叫聲未タ止マザルニ早ヤ負傷者ハ死シタリ、○彼レ決シテコレヲノ贊詞ヲ羨マズ目ト心ハ共ニ遙カ天上ニアリ、ソノ命ヲ失フヲ恣トセズ、又褒賞ヲ得ルトモ毫モ意トスル所ニアラズ、然レテ「タニユー」河畔ニアル彼ノ粗屋ノ周リニハ彼レノ野蠻ナル子供アリ尙其處ニハ「ダンアン」(「ダニユー」河畔ニ住セシ往古種族ノ一支)人種ナル子供ノ母モアリ小供ノ父ハ羅馬ノ祝日ニ人ヲ樂マシメントテ其身ハ屠ラレタリ小供等ハ父ノ殺サレタルヲ憤リ心中ハ左ノ如シ、彼ハ死シタリ然レテ復讎セズシテ止マンヤ、奮起セヨ、「ゴス」人ナル汝ヨ(往古「ユーロー」ニ住セシ野蠻人種)起テ汝ノ怒ヲ醫セヨ、

第八十五課

羅馬ノ古傳

中古ノ羅馬ニ於テ、余ハ何處カ知ラヌ、其處ニ空中ニ於テ其腕ヲ以テ、像カ立チシ而シテ明ニ輝ク處ノ其ノ上ケタル指ニ於テ「此處ヲ打テ」トノ表示ヲ以テ黄金ノ指環ヲ人民カ大ニ驚キシ、縱令ヒ誰レモカ此等ノ語カ唯半分顯ハセシ處ノ意味ヲ推量セザリシト雖ヒ、遂ニ午時ニ於テ俯シタル眼ヲ以テ彼ノ道ニ於テ過キツ、アリシ處ノ學識アル僧侶カ止マリシ而シテ局所ヲ注視セシ而シテ指ノ影カ落チシ處ノ其ヲ能ク驗セシ、而シテ夜半ニ於テ還リツ、掘リシ而シテ地ノ下ニ導ク處ノ秘密ナル壇槽ヲ見出セシ○之ヲ降テ彼ハ壁ノ上ニ燃ル處ノ寶石ニ據テ照ラサレタル廣キ書院ニ迄過キシ而シテ正面ニ脅カス身搦ヘニ於テ弓ト而シテ矢ヲ以テ青銅ノ偶像カ立チシ○冠ノ如キ彼ノ前額ニ於テ威シノ一組ノ此等ノ秘密ノ語カアリシ「余カアル處ノ其レデ余ハアル、余ノ秘死ノ狙ヒヲ誰レモ免レ能ハヌ輝ク焰ヲ越ヘテデサヘモ(免レ能ハ)ヌ

(譯)中古羅馬國ニ於テ其何レノ處タルヲ知ラサレテ偶像アリ其腕ヲ高ク捧ケ其指ニ光輝閃々タル黄金ノ指環ヲ保テリ上ニ文字アリ曰ク此處ヲ打テト人民ハ其語ノ完全ナラサルカ爲メニ其義ヲ解スル能ハサレテ大ニ驚カシク思ヒ居タルニ終ニ午時偶然俯シテ唯地上ニ眼ヲ注キ其處ヲ通行スル學識アル僧侶アリ止マリテ而シテ其處ヲ注視シ而シテ偶像ノ

映スルノ地ヲ見定メタリ、斯クテ彼僧侶ハ夜半ニ此處ニ立戻リ來リ地ヲ掘リタルカ果シテ地下ニ通スルノ人ノ知ラサル聖櫃ヲ發見シタリ○彼ハ此聖櫃ヲ降テ廣書院ニ達シタルカ其壁ハ燃立ツハカリノ寶石ヲ以テ光リ輝キ、正面ニハ恐ロシキ風体ニテ弓ト矢ヲ持チタル青銅ノ偶像立チ居タリ○冠ヲ被リタル如キ前額ニ恐ルベキ種類ノ不可思議ノ語アリタリ曰ク余ハ余タルベキモノナリ、余カ一射命中ノ狙ヒヨリ脱シ走ルコトヲ得ルモノナシ否此光輝灼々タル書院ヲ去ルコトヲ得ルノ人ナカレシ、

書院ノ中央ニ黃金ノ織物及ヒ寶石ヲ以テ裝飾セラレタル黃金ノ酒杯ヲ以テ美麗ナル食卓カ置カレテアリシ而シテ皿及小刀ハ黃金テアリシ而シテ多クノ蒸餅ヤ而シテ食品ハ黃金(デアリシ)○其ノ周圍ニ默シテ動カス愁然トシテ着飾リタル武裝ニ於テ勇氣アリ武士カ坐シテアリシ而シテ羽毛及帶ヲ以テ美麗ナル夫人(ガ坐シテアリシ)然レモ彼等ハ石テアリシ内部分ノ彼ヲノ心モ石テアリシ而シテ大ナル書院ハ各ノ部分ニ於テ顔及心ニ於テ石ナル默シタル群集ヲ以テ充サレシ、

(譯)書院ノ中央ニ奇麗ナル食卓アリ置フニ黃金ノ織物ヲ以テシ卓上寶石ヲ以テ飾リタル黃金ノ酒杯、皿、肉切りアリ蒸餅モ亦黃金ヲ以テ造リ食物又澤山アリ○其卓ノ周圍ニハ軍衣ヲ着シタル武士アリ羽毛及帶ヲ以テ飾リタル夫人アリ皆ナ默シテ動カス愁然トシテ坐ニ就ケリ、然レモ彼等ハ石造ニシテ内部ノ心神モ亦石造ナリ蓋シ廣キ書院ハ全ク面貌心思皆石ナル沈黙ノ群衆ヲ以テ充タシタリ

迷ハサレ而シテ驚カサレタル景狀ニ於テ長ク戰慄スル處ノ僧侶ハ無言ノ驚愕ニ於テ睨視セシ然ルモ彼ノ慾心ニ依テ大胆ニ爲サレテ、食卓ヨリ彼ハ黃金ノ酒杯及ヒ庖丁ヲ取リシ而シテ彼ヲノ席ヨリ俄カニ客ハ飛ヒシ而シテ圓天井ハ大ナル響ヲ以テ鳴リシ射手ハ彼ヲノ叫聲ニ於テ壁ニ於テ輝ク寶石ヲ散ラシツ、彼ノ矢ヲ放チシ而シテ總テ周圍頭上暗黒デアリシ床ニ於テ倒レテ幸ナキ僧侶ハ死シテ臥リシ

(譯)此ノ不思議ナル景色ヲ見テ良久シク恐怖ノ念ヲ抱キタル僧侶ハ默然トシテ睨視シタルカ怒情勃然トシテ起リ爲メ精神大胆トナリ遂ニ卓上ヨリ黃金ノ酒杯及庖丁ヲ取リタリ然ルニ俄然卓邊ニ坐スルノ武士等立上リ書院ノ天井ハ鳴動ヲ始メ弓手ハ大呼シテ其矢ヲ放チ壁上ノ寶石ヲ散亂セシメタリ、而シテ四壁暗黒ト變シ幸ナキ僧侶ハ床上ニ倒レテ死シタリケリ

此古傳ノ記者カ然ルモ此等ノ語ニ於テ其恐ルヘキ適用物ヲ記ス偶像ハ古キ敵テアル其人ノ教示スル指ハ黃金ノ地ニ迄テ指ス敵等ノ慾及情ハト者ノ有様ヨリ精神ヲ導ク處ノ下向ノ梯子テアル射手ハ死ナリ光ル寶石ハ生命ナリ、酒杯及ヒ庖丁ハ娑婆ノ物品ナリ、武士及夫人其人ノ肉及ヒ骨ノ總テハ情欲ニ依テ石ニ迄テ墜クセラレタ學者ナル僧侶其人ヲ富有ノ愛情カ彼ノ書籍ヨリ迷ハシ及ヒ彼ノ尊キ自身ヨリ(迷ハス)

(譯)此ノ古傳ノ記者ハ左ノ如キ語ニテ此ノ物語ヲ記ス即チ指ヲ以テ黃金ノ在ル所ヲ示スノ偶像ハ昔ノ敵ナリ、地下ニ達スル聖櫃ハ推量ノ有様ヨリ精神ヲ迷ハスルノ慾情ナリ、射手

ハ即チ死ヲ示スナリ、寶石ハ生命ヲ表スルナリ金杯金刀ハ娑婆ノ物品ヲ云フ武士及夫人ハ
怨情強盛ナルカ爲メニ其肉モ骨モ石ニ化シタルナリ僧侶ハ則チ學者ヲ云フ彼レ書ヲ讀ミ
且ツ其行爲尊シト雖モ遂ニ富貴ヲ愛スルカ爲メニ其精神ヲ亂シタルナリト
學者ヨ世界ヨ、○限リナキ争ヒ生路ノ一致ニ於テ調ハズ○學ブ丁隔離シタル隱所及ヒ書籍
ノ總テ快キ安靜ノ愛情、市場ニ獲モノニ付テ熱心ノ愛情其目的ハ無駄チアリ其極ハ苦痛ヲ
アル、

(講)學者及一般人民ヨ○限リナク勉強シテ此世ニテ生命ヲ保持スルニ適スルニ害ト爲ル
モノヲ除クコトヲ務ムヘシ○學ノ道ヲ忘レヌ世ト虛名ヲ争ハス襟ヲ締テ心ヲ安樂ナラシム
ヘシ、此世ノ市場ニテ唯利ヲ得ンコトニ汲々トシテ止マス唯名利ヲ之レ求メントスルモ其目
的ハ遂ニ無益ニ屬シ其極ハ艱苦ヲ以テ終ルナラン

第八十六課

白露國ノ黄金ノ殿堂

太陽ノ禮拜ハ「インカ」ノ特別ナル注意ヲ組立テシ、而シテ彼等ノ無駄ナル出銀ノ目的物デ
アリシ○此神ニ迄捧ケラレタル許多ノ殿堂ノ最モ古キモノハ「チ、カ、」ノ島夫ヨリ「白露」
人ノ血統ノ王ノ創建者カ進ンダベク言ハレシ處ノ「チ、カ、」ノ島ニ於テアリシ○此事情ヨ
リ此寺院ハ特別ノ尊敬ニ於テ保タレシ

(講)太陽ヲ禮拜スル「ハ」白露國王ノ特ニ尊重スル所ニシテ之レガ爲メ無益ノ冗費ヲ省ミ
ズ○太陽禮拜堂ハ許多アリト雖モ其最モ古キモノハ「チ、カ、」島ニ在リ此島ハ白露王ノ祖
宗ノ出產地ニシテ此所ヨリ進ンテ該國ヲ一統セシモノナリト云フ○此ノ如キ由緒ニヨリ
此最古ノ寺院ハ尤モ尊敬ヲ受ケタリ、

各ノ者其ハ其ニ迄屬スル處ノ各ノ物ハ王蜀黍ノ廣キ野其ハ殿堂ヲ繞圍セシ處ノ廣キ野及ヒ
其領地ニ付テ形造リタル部分デサヘモ其神聖ノ一部分ニ付テ分前取リシ○年々ノ産物ハ彼
ヲノ在中物ノ残り物ヲ神聖トスルテアロウ處ノ或ル物トシテ各ニ迄小ナル分量ニ於テ種々
ノ公ナル倉庫ノ中ニ分遣サレシ○人其人ハ彼自身ノ穀倉ニ向テ惠マレタル収納ノ一穂デサ
ヘモ得能ヒシ處ノ人ハ幸テアリシ

(講)其寺院ニ屬スル各物例之ハ寺院ノ周圍ニ在ル玉蜀黍ノ廣野及ヒ其ノ領地ノ附屬地一
部分ト雖トモ神聖ナルモノ、一部トナリタリ○領地ヨリ生スル年々ノ收穫物ハ小量宛分
配シテ公庫中ニ藏ム是レハ其他ノ倉庫中ニ在ルモノヲシテ悉ク神聖ノモノタラシムルノ
意ナリ○萬一コレヲノ神領地ニ生シタル神聖ナル一ノ卉穂ヲ得テ一市人ノ之レヲ其倉庫
中ニ藏ムルヲ得ハ非常ノ幸榮ナリト爲シタリ

然レモ白露ノ殿堂ノ最高名ナルモノ首都ノ高慢及ヒ帝國ノ奇異ハ相續シタル國君ノ恩惠ニ
其ハ其カ「ユリカンカ」則チ「アノリス、」チ、カ、「ゴールド」ノ名ヲ請取リシコトホト左様ニ富ンテ
ナリタリシ處ノ「クヅコ」ニ於テアリシ○其ハ市街ノ中心ニ於テ地ノ大ナル廣カリヲ覆フ所

テ而シテ墻其ハ建物ト共ニ石ヨリ總テ建ラレシ處ノ墻ニ依テ充分圍繞サレタル重ナル建造物及ヒ種々ノ寺院及ヒ尙ホ劣リタル建物ヨリ成立セシ

(講)最モ有名ニシテ首府ノ誇示物王國ノ奇觀タル建物ハ「クツコ」府ニアリ、其地ハ代々帝王ノ恩恵ヲ受ケテ富有ヲ極メ「コリカンカ」即チ黄金ノ場所ナル地名ヲ得シ處ナリ○コノ堂ハ市街ノ中央ニアリテ敷地廣ク本堂及ヒ種々ノ寺院附屬ノ建物等アリ周圍ニハ建物ノ散在セル石墻ヲ繞ラス其内ニ本堂支院附屬ノ家屋等アリ

事業ハ西班牙人其人ハ其レノ結構ニ於テ見シ處ノ西班牙人ハ彼ハ西班牙ニ於テ只タ二ノ建物其ハ彼等ノ事業ニ向テ總テニ於テ其ヲ以テ比較サレヘクアリシ處ノ只タ二ノ建物ト思考スヘク呼ビ能ヒシテ余輩ニ保證スルコホド左様ニ華麗ニ仕遂ケラレテアリシ○ケレヒコノ實体ノ而或ル關係ニ於テ立派ナル建物ガ藁ヲ以テ葺カレシ○殿堂ノ内部ハ稱賛ノ尤モ多ク値アルモノデアリシ○ソレガ文字上ノ金山デアリシ○西ノ墻ニ於テ光輝ノ無數ノ光線其ハ各ノ方向ニ於テ其ヨリ閃出セシ處ノ光輝ノ無數ノ光線ヨリ閃出處ノ人間ノ容貌ヨリ成立スル所ノ神ノ顯ハレカ飾ラレシ○像ハ「エメラルド」(寶石ノ名)及ヒ他ノ貴重ナル石ヲ以厚ク振掛ケタル非常ノ大サノ金ノ重大ナル延板ニ於テ鑄刻サレテアリシ

(講)コノ建物ノ光輝燦然タルヲ見シ西班牙人ハソノ國ニ於テコレト比較シ得ベキ建物ハ國中只ニアリト云ヘリ其華麗思フシニ○然レモソノ實力ヲ費シタルモノニテ又或ル點ヨリ見レバ立派ナル建物ナレドモ皆露ヲ以テ葺レシ○建物ノ内部ハ稱賛スベキ價値アリト

云フベシ○字義ニテ云ヘハ金山ト云フコト得ベシ○西方ノ壁内ニ於テ人身ヲ供フル神ノ代表者ヲ安置セリコノ像ハ四方ニ無數ノ光線ヲ發射セリ○而シテ金ノ重大ナル延板ニ之ヲ彫刻シ「エメラルド」石及ヒ他ノ寶石ヲ以テ諸所ニ鑲タリ

其ハ朝ノ太陽ノ光線ハ光澤其ハ自然ヨリモ尙ホ多ク見ヘシ處ノ而シテ其ハ金ノ飾リ其ヲ以テ墻及ヒ天井ハ何處テモ表面ヲ覆ハレテアリシ處ノ金ノ飾リヨリ返照サレシ處ノ光澤ヲ以テ全キ房子ヲ照ラシツ、其ノ昇ルコトニ於テ其上ニ直接ニ落チシコホド大ナル東ノ入口ノ前面ニ於テ左様ニ置カレシ

(講)コノ像ハ東方ノ入口ノ前ニアリ故ニ朝暈ヲ受ケテ一層ノ光輝ヲマシ、壁及ヒ天井ノ一面ヲ照ラタル金飾ヨリ反射スル光ニ因テ全室ヲ照セリ

金ハ太陽ニ依テ泣カレタル涙ナルアルヘク人民ニ依テ言ハレシ、而シテ殿堂ノ内部ノ各部ハ貴重ナル金屬ノ輝キタル延板及ヒ大頭釘ヲ以テ輝キシ○柱ノ上部其ハ寺院ノ墻ヲ圍繞セシ處ノ柱ノ上部ハ同一ノ價直アル物質ニ付テアリシ而シテ石細工ニ迄テ符メラレタル金ノ廣帯或ハ柱飾ハ建物ノ全キ外面ヲ圍繞セシ

(講)人民ハ太陽ノ涙凝テ金トナルト思ヘリ、堂内ノ各部ハ貴金屬ノ延板及ヒ大頭釘ヲ以テ輝キ○寺院ノ墻ヲ圍ミシ所ノ柱ノ上部モ亦同一ノ貴金屬ニテ造レリ石細工ノ中ニ嵌メ込ミタル金ノ廣帯及ヒ柱ノ腰線ハコノ建物ノ外面ヲ繞レリ

要ナル建物ニ迄テ附添ニ於テヨリ小ナル大サノ種々ノ小寺カアリシ○彼等ノ一八月ニ迄テ

神聖ト爲サレシ「インカ」ノ母トノ尊敬ニ於テハ次ニ保タレシ神ナリ○彼女ノ偶像ハ大ナル延板其ハ房子ノ一方ヲ殆ント覆ヒシ處ノ大ナル延板ニ於テ太陽ノ其ノ如ク同一ノ仕方ニ於テ顯サレシ○然レモ此延板ハ建物ノ裝飾ノ總テノ如ク左様ニ能ク美麗ナル惑星ノ生白キ銀ノ光輝ニ迄テ適當セシ如ク銀ニ付テアリシ

(譯)本堂附屬ノ小寺種々アリ○其内ノ一ハ月ニ配セリ第二等ニ位スルノ神ニシテ「インカ」ノ母ナリトシテ敬セラル○其偶像ハ延板ニテ造リ太陽ノ像ノ如シ大サ室ノ一隅ヲ覆フ○コノ延板及ヒ此堂ノ裝飾ハ銀ニシテ造リ月ノ放ツ月白色ニ能ク適セリ

其處ニ三ノ他ノ小寺カアリシ其一ハ星ノ群其ハ太陽ノ姉妹ノ輝キタル朝廷ヲ形作りシ處ノ星ノ群ニ捧ケラレシ他ノモノハ雷及ヒ電ナル仇討ノ彼ノ恐怖スベキ大臣ニマテ、而シテ第三ハ電其許多ノ色ノ弓形ハ其自身ノ如ク殆ンド左様ニ光線ヲ發スル色ヲ以タル建物ノ牆ヲ縫ヒシ處ノ電ニ迄、神聖トサレシ○其處ニ其他無限ノ僧其人ハ殿堂ノ勤務ヲ行ヒシ處ノ無限ノ僧ノ住所ニ向テ種々ノ他ノ建物或ハ離レタル房子カアリシ

(譯)尚三ツ寺院アリ一ハ衆星ニ供シ太陽ノ姉妹ノ座トナセリ他ノ一ハ雷電即チ太陽ノ復讐ヲ司トル恐ロシキ大臣ニシテ供スルノ寺院ナリ尚第三ノ寺院ハ虹ノ堂トス其各種ノ光色ハ真正ノ虹ノ如ク麗ハシキ光輝ヲ放チテ建物ノ壁ヲ彩色セリ○其外殿堂ノ事務ヲ奉仕僧侶ノ住所ニ充ツルノ建物澤山アリ

宗旨ノ要用ニ迄テ具ヘラレタル凡テ延板、裝飾、各ノ種類ノ器具ハ金及ヒ銀ノモノテアリシ

○後者ノ金屬ノ十二ノ大ナル瓶ハ王蜀黍ノ粒ヲ以テ滿サレテ大ナル客廳ノ床ニ於テ立チシ供物ニ向テノ水ヲ保チシ處ノ薰物ニ向テノ香爐水罐管其ハ建物ニ迄テ地中ノ溝ヲ通シテ其ニ導キシ處ノ管其ヲ請取リシ處ノ貯水品殿堂ノ花園ニ於テ用ヒラレタル耕作ノ器械テサヘモ總テ同一ノ富タル物質ノモノデアリシ

(譯)宗教上要用ナル爲メニ設ケタル各種ノ延板裝飾器具ハ金及ヒ銀ニテ造レリ○十二箇ノ銀ノ一瓶ニハ玉蜀黍ヲ容レテ大ナル客廳ノ床上ニ安置セリ香爐供物ニナスノ水ヲ入レタル水罐地中ヲ通シテ布設シタル水導管ノ水ヲ受クル貯水所加之ナラス殿堂附ノ花園ニ用ユル農具ニ至ルマデ同一ノ貴キ金屬ニテ造レリ

花園ハ金及ヒ銀及ヒ植物界ノ種々ノ模擬品ヲ以テ輝キシ○又動物カ其處ニ發見サルベクアリシ——其中ニ其金ノ毛ヲ以タル駱駝ハ同一ノ法則ニ於テ仕遂ケレテ而シテ熟練ノ度其ハ此例ニ於テ恐ラクハ物質ノ卓越ニ勝リナサ、リシ處ノ熟練ノ度ヲ以テ最モ秀タルモノデアリシ

(譯)花園ハ金銀色ノ花及植物界ノ種々ノ造リ物ヲ以テ輝キ○金毛ヲ以テノ駱駝ハ模擬物中尤モ卓越ナルモノトス而シテ細工ノ巧緻ハ物質材料ノ貴キト雖モ之ニ及ハンヤ

恐ラクハ總テノ國民ノ儀式ノ最モ華麗ナルモノハ太陽カ彼ノ道ノ南ノ極端ニ觸レタ所テ彼ノ目前ニ依テ彼ノ撰ミタル人民ノ心ヲ喜ハス如ク彼ノ通路ヲ跡返リセシキニ夏ノ時限ニ於テ保タレタル「レーシ」ノ饗宴テアリシ○此折ニ於テ國ノ種々ノ土地ヨリ印度ノ貴族ハ大ナ

ル宗教ノ祭典ニ於テ部分ヲ取ルベク首都ニ迄テ集マリシ

(圖)凡テ國民ノ行フ儀式ノ尤モ宏大華麗ナルモノハ夏至ノ候ニ行ハル、レノシテ祭典ナリトス太陽ノ通路ノ南端夏至ヨリ軌道ヲ戻ルハ太陽ノ目前ニ於テ人民ヲシテ喜ハシムル如シ此ノ祭ニ會セン爲メニ當日ハ此ノ國ノ所々ヨリ蠻族ノ貴族首府ニ群集セリ

前三日ニ向テ其處ニ一般ノ斷食ガアリシ而シテ一ノ火ハ住居ニ於テ點セラルベク免サレテアラサリシ○定メラシタル日ガ到着セシキニ「イソカ」及ヒ彼ノ從者ハ市街ノ全人口ニ依テ從ハレテ太陽ノ昇ルヲ致意スルベク大ナル方形地ニ於テ早キ曙ニ於テ集合セシ

(圖)祭日前三日間ハ一般ニ斷食シ家内ニ於テ火ヲ焚クヲ禁ス○愈當日ニ至レハ國王ハ其從者ト全國民ヲ率ヒテ太陽ノ昇天ヲ賀スルカ爲メニ廣場ニ早天ニ集合セリ

彼等ハ彼等ノ最華麗ナル衣服ニ於テ着用シテアリシ而シテ印度ノ貴族ハ彼等ノ体ニ於テ貴キ飾リ物及ヒ寶玉ノ顯ハレニ於テ相互ト共ニ競ヒシ然ルニ彼等ノ頭ヲ越テ從者ニ依テ荷ハレタル、ハデナル羽工及ヒ富ソテ彩色シタル織物ノ天蓋ハ大ナル方形地及ヒ市街ソレニ迄アゲシ所ノ市街マデ或大ナル及ヒ華麗ナル帳帷ヲ以テ越テ廣ケラル、トノ顯ハレテ與ヘシ

(圖)彼ラハ總テ最モ美シキ衣服ヲ着シ蠻族ノ貴族ハ相競フテ寶石飾物ノ美ヲ極メタリ、然ルニ貴族ノ頭上ヲ被ヒモノニテ其從者ノ持チタル、ハデナル羽細工物及ヒ華麗ナル彩色ノ織物ヲ以テ造リタル天蓋ハ恰モ方形地及其處ニ至ルノ通路ハ悉ク一ノ大ナル美麗ナル天幕ヲ張り與ヘタル力如シ

熱心ニ彼等ハ彼等ノ神ノ來ルヲ注意セシ而シテ彼ノ最初ノ光線ガ首府ノ小塔而シテ最高ノ建物ヲ打ツヤ否ヤ然ルキニ喜悅ノ叫ビハ彼ノ禮拜者ニ於テ充分ナル光輝ニ於テ輝テ東方ニ山ノ山脈ノ上ニ昇ル處ノ彼ノ光リタル球トシテ益々聲高ク腫脹セシ處ノ凱陣ノ歌及ヒ野蠻ノ樂器ノ粗キ快音ニ依テ伴ハレテ集會シタル群衆ヨリ發出セシ

(圖)禮拜者ハ熱心ニ太陽ナル神ノ現出ヲ待チ而シテ日出ノ際黃光線ガ都府ノ小塔及ヒ高屋ヲ照スヤ否ヤ群衆人ハ禮拜者ナル已等ノ上ヲ顧シ東方山脈ヨリ出ル光輝ノ球塊トナシテ一同ハ凱歌ヲ唱ヘ及ヒ不精巧ナル樂器ノ單純ナル調子ヲ奏シテ叫聲盛ナリ

崇拜ノ通例ノ禮義ノ後飲食供物ハ王蜀黍ノ或ハ「マグエー」、墨西哥ノ蘆薈ノ發酵シタル流動物其ハ國王カ彼自身其味ヒシ後ハ彼ノ王ノ親類ノ中ニ分配セシ處ノ王蜀黍ノ或ハ「マグエー」ノ發酵シタル飲料ヲ以テ充タシタル大ナル銀ノ器カラ王ニ依テ大神ニマデ供ヘラレシ是等ノ禮義ハ充分セシ大ナル集會ハ行列ノ順序ニ於テ整ヘラレシ而シテ「コリカンカ」ノ方ニ其道ヲ取リシ

(圖)禮拜ノ通例ノ儀式終ルヤ國王ハ進ミ出テ玉蜀黍或ハ亞米利加蘆薈ノ發酵物ヲ大ナル金瓶ニ入レテ首神太陽ニ供フ、コノ飲料ヲ「インカ死ツ替メ」而シテ其王族ニ配與ス○コレヲノ儀式終ルヤ群衆ハ行列ノ順序ヲ正シテ「コリコンカ」ノ方ヘ進ミ行ク、

第八十七課

「ワズワース」ノ虜及ビ逃レ、

將軍「ペレグ、ワズワース」ガ「バガデユウス」ニ於テノ小山ニ於ケル英ノ塞ノ入込ムトニ於テ成功セシト其ハ不吉ナル「ペノブスコット」ノ遠征ノ充分ナル散布ノ後長クアラザリシ、○彼レハソレヲ去ルトニ於テヨリ多クノ困難ヲ持チシ、

(註)將軍「ペレグ、ワズワース」ガ「バガデユウス」ノ小山ニアル英國ノ塞ニ入込ミシハ不運ナル「ペノブスコット」ノ遠征解除後暫時ノ間ニアリ、○彼レハソノ塞ヲ去ルトニ於テ大ナル困難ヲ感ゼシ、

彼ノ民兵ノ解除スルコトノ後將軍ハ其處ニハ彼ガ顯然タル無難ニ於テ彼ノ妻ト共ニ生活セシ處ノ「メイソン」ト「トーマストン」ニ於テ彼ノ陣所ヲ爲セシ、「フエンノ」ト名附ケラレタル若キ貴女、及ビ六十ノ民兵ノ護衛ガ彼ノ砦ヲ充分ニセシ、「バガデユウス」ニ於テ命令スル所ノ將軍「カムベル」ハ「ワズワース」ノ防守ナキ防守ナキ有様ニ付テ能ク告知サレシ、而シテ砦ニ於テ來リ及ビ住居スベク誘引ヲ彼ニ送ルベク決定セシ、

(註)「ワズワース」將軍ハソノ民兵ヲ除隊シテ后表面上無難ノ有様ニテソノ妻ト共ニ生住セシ、「メイソン」州ノ「トーマストン」ニ於テ陣所ヲ構ヘシ、「フエンノ」州若キ貴女及ビ六人ノ民兵ノ護衛ヲ以テソノ砦ヲ堅メタリ、「バガデユウス」ニ於テノ指令官ナル大將「カムベル」ハ「ワズワース」ノ防禦微弱ナルヲ知り、使者ヲ送リテ已レノ塞ニ來ランコトヲ誘致シタリ、

副將及ビ二十五人ハ「ワズワース」ノ家ニ於テ消息ヲ以テ夜ノ死ニ於テ到着セシ、護衛兵ハ挑戰セシ、而シテ逃亡セシ、○大將「ワズワース」ハ「スバルタ」ノ剛勇ヲ以テ彼自身防禦セシ、○短銃及ビ短銃ナル短銃ノ一對ヲ以テ鎧フテ、彼ハ窓及ビ戸其ヲ通シテ彼等ハ退ク所ノ護衛兵ニ從フタリシ處ノ窓及ビ戸ヨリ彼方ニ彼ノ攻戰者ヲ戰ヒシ、○彼ノ寢衣ニ於テ着服シテ只ダ彼ノ銃鎗ヲ以テ彼ハ射撃ガ彼ノ左ノ腕ヲ不適當ニセシ迄テ尙ホ長ク若干時ニ向テ從フベク賤ミシ、○然キニ彼ノ周圍ニ傷ケラレテ横ハル所ノ五六人ト、破碎セシ窓及ビ火ニ於テノ家ヲ以テ「ペレグ、ワズワース」ハ余ハ降ルト言フベク適當シテアリシ、

(註)因テ副將及ビ二十五人ハ深更ニ於テ「ワズワース」ノ家ニ消息ヲ傳ヘタリ、○護衛兵ト直ニ挑戰シ敗レテ逃亡セリ、○「ワズワース」ハ「スバルタ」人ノ如キ剛勇ヲ示シテ防禦セリ、○彼レハ身ハ短銃銃ナル「ピストル」ヲ一對ヲ裝フテ敵ヲシテ防禦セリ、○寢衣ヲ着シ銃鎗ヲ持テ銃丸左胸ヲ傷ケシト雖モ尙降ルルヲ背ゼザリシ、○暫ラクシテカレノ周リニ數人負傷シテ倒密破レ家燒クルヲ見テ初メテ「ワズワース」ハ不得已余ハ降ルト云フタリ、

彼等ハ彼ノ盡力ヲ以テ疲ラサレ及ヒ寒ニ依テ凍ヘタル彼ヲ其處ニハ彼ガ俘囚ニ閉テ保タレシ處ノ砦ニ迄テ取リシ、○若干時ノ後「メーオル」(官名)「バートン」其人ハ將軍ト共ニ勸メタリシ、處ノ「メイキ」「バートン」ガ又タ俘囚ニ爲サレシ、而シテ彼ト共ニ同室ニ於テ置カレシ、○「ワズワース」ハ約束ニ向ツテ申出セシ、○其ハ嫌ハレシ、○知事「ハンコック」ハ交換ノ申出ヲ以テ俘囚交換書ヲ送リシ○其ハ否マレシ、○一日彼ハ「フエンノ」令嬢其人ハ僅

ノ言辭ニ於テ彼ハ戰爭ノ終末迄ヲ留メラルベクアリシヲ知ルベク彼ニ與ヘシ處ノ「フエ
ソ」令嬢ニ依テ訪問サレシ、○彼ハ然ルヲ逃亡スベク決定セシ、

(譯)抵抗者ハカ蓋キテ降参シタル「ウワズウワ」ヲ捕ヘテ岩中ニ禁錮セリ、カレハ其處
ニ於テ寒ヲ以テカサケタリ、○后武官「バートン」捕ヘラレテ「ウワズウワ」ト同室ニ禁錮
セラレタリ、○「ウワズウワ」ハ敵ト約束スル處アラント云ヒタレ、○ドモ敵諾セズ、○知事
「ハンコック」ハ四人ヲ願ハン「ト」申出シタリト雖モ「ト」申出ハ拒絕セラレタリ、○一日
「ウワズウワ」ハ「フエソ」ノ見舞ヲ受ケ而シテ已レハ戰ヒノ終局ニ至ルマテ禁錮
ニ遇ハントノ報ヲ得タリ、○因テ彼レハ逃亡セント決シタリ、

俘囚ハ窓ハ格子付ケラレテ戸ハ木匡其ヲ通シテ出入口ニ於テノ勤ニ於テ絶ヘズ護衛兵ガ彼
ガ彼ノ周圍ヲ緩歩セシキニ窓ニ迄テ見能ヒシ處ノ木匡ヲ以テ用意サレテ士官ノ陣所ノ一室
ニ於テ閉テラレテアリシ、○此通啓ノ各ノ終ニ於テ岩ノ屯所其ニ於テ他ノ護衛兵ガ置カレ
シ處ノ岩ノ屯所ノ上ニ開ク所ノ戸ガアリシ、○日没ニ於テ門ガ閉テラレシ、而シテ胸牆ニ於
テノ護衛兵ノ數ハ増加セシ、○哨兵カ又々大陸ヲ以テ結合スル所ノ狹隘ナル地峽ニ於テ置
カレシ、

(譯)二人ノ囚人ハ士官ノ陣中ノ室内ニ禁錮サレシ、窓ハ格子付キニシテ、戸ハ木匡ヲ備ヘタ
リ、故ニ番兵ガ順回ノ節ハ、室内ヲ透見シ得ニシ、○日没ニハ門ヲ閉テ胸壁ノ番兵ハ其數ヲ増
シ、○又哨兵ハ大陸トノ境界ナル狹地峽ヲ守ル、

是等ハ彼等ノ道ニ於テ總テノ困難デアラサリシ、○通路ニ於テノ護衛兵ヲ過グベク適當ト
彼等ヲ假定スル所デ、而シテ彼等ノ陣所ノ外面ノ戸ニ於テ彼等ハ然ルキニ開ヒタル場所ヲ
横ギリ而シテ胸牆ニ於テ置カレタル護衛兵ノ眼ノ下ノ牆ヲ登ラテバナラヌ、○遙シタル胸
牆ノ頂上ヲ見逃ス所デ、外面ノ牆ハ岩ノ土ノ牆ニ迄テ斜ニ追ハレタル強キ哨兵ヲ以テ防守
サレシ、

(譯)此等ノ防禦ハ四處ノ道路ニ當ルノ困難ナレド尙ホ外ニモ困難ナル「ト」多シ、○道路ニア
ル守兵ヲ過キ越シ又此所ノ外面ノ戸ヲ過キ越スヲ得ニシト假定スルモ、街路ヲ通過シ及守
兵ノ衛レル胸壁ノ牆ヲ越ヘザル可カラズ、○此ノ牆ヲ越ヘタリト假定スルモ尙一列ノ壁ア
リコレ外壁ニシテ此ノ岩ノ土牆トノ間ニ斜ニ張りタル哨兵アリ、

此點ヨリ堀ノ底迄デ「ヒイト」ノ眞直ナル降下ガアリシ、○此處ニ到着セシ、逃亡人ハ
郭ヲ登リ而シテ柵其ヲ以テ其ハ備ヘラレシ處ノ柵ヲ横過セテバナラヌ、○彼等ハ水ニ依テノ
外彼等ノ自由ヲ得ル「ト」一ノ出来ベキ手段ヲ持タヌ岩ナシニアリシ、○頭ニ於テ守兵ヲ逃
レル「ト」ハ考ヘラルベクアラザリシ、

(譯)コノ土牆ヨリ堀ノ底マテ直下「ヒイト」アリ、○ソレヨリ郭ヲ登リ柵ヲ越ヘザル
可カラズ、○此等ヲ過ギテ後ハ一ハ遮ルベキ岩ナシ、然レドモカレラノ遁逃ヲ遂ケ自由ヲ得
ルノ道全シト云フヲ得ズ場合ニヨラバ水ニ入りテ走ラザル可ラザルモ知ルベカラズ、○即
チ地峽ヲ守ル番兵ヲ逃ルノ方ハ考フルニ足ラズ

俘囚ノ室ハ松板ヲ以テ天井付ラレテアリシ、○或ル託言ノ上ニ彼等ハ奴僕ヨリ螺旋付キノ
錐ヲ以ツテ彼等ハ人ノ体ヲ免スベク充分大ヒナル穴ヲ爲スベク左様ニ板ヲ穿チシ處ノ螺
旋付ノ錐ヲ得シ、○間隙ハ到着スルデアラウ働キニ向テノ○瞬間迄デ觸レザル隅角ヲ殘ス
所テ切通サレシ○彼等ハ蒸餅ヲ以テ穴ヲ充タセシ、而シテ注意シテ床ヨリ塵ヲ去リシ、

(譯)牢屋ハ松板ヲ以テ天井ヲ張レリ○事ニ託シテ囚人ハ奴僕ヨリ螺旋付ノ錐ヲ得タリ之
レヲ以テ囚人ハ人ノ体ヲ容ル、ニ足ルニキ穴ヲ穿テリ○ソノ穴ハ小刀ヲ以テ削リ時機ヲ俟
テ逃亡スル際穴ヲ通ル瞬間ニ体ノ隅角ニ觸レザル様ニナシタリ○而シテソノ穴ヲ「パン」ヲ
以テ滿タシ注意シテ床上ノ塵ヲ拂ヒ去リタリ、

此仕事ハ哨兵ガ彼等自身ノ室ノ長サノ二倍ニ迄デ等シキ遠隔ヲ横行セシ間ニ仕逐ゲラルベ
ク持チシ、○俘囚ハ張番ヲ以テ歩ミヲ保チツ、彼等ノ床ヲ徐歩セシ而シテ彼ガ過ギタリシ
ヤ否ヤ「バートン」其人ハヨリ高クアリシ、而シテ天井ニ達シ能ヒシ處ノ「バートン」ハ仕事
ヲ始メシ、然ルニ「ワズワズ」ハ歩行セシ、○兵卒ノ接近ニ於テ「バートン」ハ速ニ彼ノ伴侶
ニ再合セシ、○三週間ガ此ノ業ヲ仕遂ケルベク要セラレシ、○各ガ毛布及ビ終ニ於テ鋭クシ
タル強キ杖ヲ以テ準備シテアリシ、○食物ニ向テ彼等ハ彼等ノパン、上皮及ビ彼ヲノ肉ノ乾
キタル片ヲ保チシ、

(譯)此ノ穴ヲ穿ツ仕事ハ守兵ガ牢屋ノ長サノ二倍ノ距離ニマデ去リシ片常ニ取掛カラレ
シ、○囚人ハ床上ヲ徐歩シテ守兵ニ眼ヲ注ギ彼レガ去ルヤ否ヤ「バートン」ハ丈高ク天井ニ達
シ能フコトヲ以テ仕事ヲ始メタリ其間「ワズワズ」ハ歩行シテ注意ヲ保ツ○若シ守兵ノ
接近シ來ルアラバ直ニ「バートン」ハ仕事ヲ止メテ「ワズワズ」ト共ニ歩行ス、○三週間
后ニ鑿穴來就シ○囚人ハ各毛布及強ク尖ノ鋭リタル杖ヲ用意シタリ○又食物ハ「パン」皮及
ビ乾肉ノ薄片ヲ貯ヘタリ、

彼等ハ激烈ナル雷雨ガ半島ヲ越テ掃キシトノ或夜迄デ待チシ、○其ガ甚ダ暗クナリシ、○雨
ハ兵舎ノ屋根ノ上ニ急流ニ於テ落チシ、○働キニ向テノ時ガ來リタリシ○俘囚ハ常ノ如ク
彼等自身脱衣セシ、而シテ哨兵ニ依テ注目サレテ臥床ニマデ行キシ、○彼等ハ然ルキ彼等ノ
蠟燭ヲ消セシ而シテ速カニ起リシ、

(譯)囚人ハ激烈ナル雷雨コノ半島ヲ掩ヒシ片マデ待チシ、○四方ハ暗クナリ○雨ハ兵舎ノ
屋上ニ急下シタリ、○逃避ヲ働ク可キノ時至レリ○囚人ハ平生ノ如ク衣服ヲ脱シテ哨兵ノ
眼前ニテ臥床ニマデ行キシ○後囚人ハ蠟燭ヲ消シ速ニ立上リシ、

彼等ノ計策ハ彼等ガ外ニ次ノ出入口其ハ彼等ガ護ラレズニアルベク知リシ處ノ出入口ニ達
セシ迄テ垂木ニ沿フテ這ヒツ、彼等ノ室ノ上ノ空虛ノ場所ヲ得ルベクアリシ、○其ヨリシ
テ彼等ハ事情ガ決定シ得シ如ク働キツ、北ノ外廊ニマデ彼等ノ道ヲナズベクアリシ、

(譯)彼等囚人ハ次ノ出入口ニハ番兵ナキヲ知ルヲ以テ其處ニ達スル迄垂木ヲ沿フテ這ヒ
ツ、彼等ノ室ノ上ノ空地ニ達スル可ク企テシソノ處ヨリ臨機應變北ノ方外廊ヘト急ギ行
クノ思考ナリシ、

「バントン」ハ穴ヲ通シテ過クベキ最初ノモノデアリシ、○彼ハ彼ガ鶏ノ一群其上木ヲ彼ガ襲ヒタリシ處ノ鶏ノ一群ニ逢ヒシ前唯々僅ノ道ヲ進ンダリシ、○「ワズワース」ハ鶏鳴其ハ此ノ新ナル危難ノ最初ノ時ニ向フテ彼ニ價付ケシ處ノ鶏鳴ニ迄テ呼吸ナキ心配ヲ以テ聽キシ、○遂ニ其ハ護衛兵ノ注意ヲ引タナシニ止ミシ、而シテ將軍ハ困難ヲ以テ彼ノ順番ニ於テ登リシ、○彼ハ氣付ケラレズノ樓閣ニ迄テ懸隔ヲ越テ過キシ、而シテ戸其ハ「バントン」ガ開テ殘シタリシ所ノ戸ニ依テ外面ニ得シ、

(註)「バントン」ハ第一ニ穴ヲ通ル管ナリシ、○彼ハ僅カノ道ヲ歩ミシ其ニ樓所ニ宿ル鶏ニ出遇ヒ大ニ之ヲ駭ガシタリ、○「ワズワース」ハコノ鶏ノ鳴聲ハ實ニ己レノ逃遁ノ成否ヲ決スルモノトナシ、息ヲコラシテ氣ヲ配レリ、○幸ナルカナ番兵ハ此ノ騒ヲ知ラズニアリシ、而將軍ハ自ラノ順番來リ困難シテ登リシ、○彼ハ見付ラレズニ遠方ノ樓閣ニ迄テ達シ、而シテ「バントン」ガ開ケハナセシ戸ヨリ外ニ出タリ、

西ノ側ニ迄テ兵舎ノ墻ニ沿フテ彼ノ道ヲ感スル所デ、彼ハ斜ナル道ニ依テ外廊ニ達スル所デ城堤ニ向テ大膽ナル衝キヲ爲セシ、○此瞬間ニ於テ護衛兵ノ家屋ノ戸ハ投ケ開キ、而シテ聲ガ叫ケバレシ慰メ、外ヘ向ケヨ、幸ヒニ護衛兵ハ逃亡人ヲ見ルコトナシニ過ギシ、○彼ハ集會場トシテ一致シタル鋒頭若ニ達セシ、然ルニ「バントン」ハ其處ニアラザリシ、○一ノ時ガ失ハレベクアラザリシ、○抗ニ迄テ彼ノ毛布ヲタシカメル所デ彼ハ其ガ免スル有フ如ク左様ニ遙カ彼自身下リシ、而シテ堀ニ迄テ事變ナシニ落チシ、○此所ヨリ彼ハ水道ニ依テ徐

ニ外ニ過ギシ、而シテ皆ノ外開ヒタル空氣ニ於テ立チシ、○其ハ低キ潮デアル所デ將軍ハ陸ニマデ入江ヲ徒歩渡リセシ、而シテ河ノ上ニ彼ノ道ノ最モ善キモノヲ爲セシ、○朝ニ於テ彼ハ彼ノ伴侶ニ依テ再結サレシ、而シテ兩人ハ彼等ノ勢力ノ總テヲ要セシ所ノ盡力ノ後安全ニ於テ「ベノブスコット」ノ反對ノ濱ニ達セシ、○彼等ノ逃亡ハ「リセリユー」ノ日ニ於テ「バスチール」ノ小説ノ如クアル、

(註)西側ニマデ兵舎ノ墻ニ沿フテ彼ハ暗夜道ヲ探リ茂リ木ノ垣ヲ踰ヘテ斜ナル道ヲ通行シ外部ニ其時番兵小屋ノ戸開キ内ニ聲アリ曰ク慰メヨ、外ヘ向ケヨトハ幸ニモ番兵ハ逃走者アルヲ知ラズシテ、通過シタリ、○彼レハ會合セント約セシ、鋒頭若ニ達セシ然ルニ「バントン」ハ其處ニ居ラズ、○サリトテ躊躇スニキニアラズ、○彼ノ「ブランケット」ヲ堀ノ側ノ抗ニ掛ケ之ニ依テ堀ノ内部ヘ已ノ身体ヲ十分ニ低ク下シ、然ル後「ブランケット」ヲ離シタルガ故ニ深キ堀ナレモ怪我ナシニ堀ノ底ニ降りタリ、○此所ヨリ水ニ由リテ徐々外ニ過ギ而シテ塞外廣ナル場所ニ出テシ、○潮ハ低キヲ以テ將軍ハ入江マデ徒歩渡シ一生懸命河ヲ上リタル、○翌朝彼レノ朋友「バントン」來リ會セリ、而シテ此兩人全力ヲ盡シテ遂ニ「ベノブスコット」ノ對岸ニ安着セリ、○此兩人ノ逃レハ「リシルー」ノ時代「バスチール」ノ小説カト疑ハル、(註)「バスチール」ハ佛蘭西有名ノ塔及ヒ穴藏ハ牢獄ニ用ユコノ牢内ノ人ハ逃遁スルヲ斷念スルニ至ル、○「リシルー」ハ佛國有名ノ政事家ナリ、○ヨク困難ヲ切リヌケ逃亡ヲ遂ケシハ恰モ「バスチール」牢内ノ囚人カ逃亡ヲ企テ、逃走リシ次第ヲ任組ミタル

小説ノ如シト云フ哉、

第八十八課

雪圍

其短キ十二月ノ日ニ太陽カ灰色ノ小山ノ上ニ勢ナク昇リシ、而シテ暗ク圍マレテ、正午ニ於テ臘月ヨリモ尙ホ闇ヲキ光輝ヲ與ヘシ○濃キ空色ヲ徐々ニ追ヒツ、其默シタル及ヒ豫顯スヘキ前見ナル前兆カ脅カシヨリ少ク見ル處ヲ其ハ其カ没セシ前ニ觀相ヨリ沈ミシ○強シトハ雖トモ手製ノ織物ノ一ノ外衣カ、寒サヲ全ク防キ能ハサリシ、銳キ顔ニ於テ脈管、血ノ運行、又ハ清血ヲ妨キシ所ノ寒サノ烈シキ鬱閉シタル辛苦ガ雪ノ嵐ノ來ルヲ告ケシ、○風カ東ニ吹キシ、余輩ハ彼ノ冬ノ海岸ニ於テ大洋ノ鳴ルヲ聞キシ、而シテ低キ音ヲ以テ余輩ノ内地ノ空氣ヲ其處ニ打ツ動悸スル處ノ強キ動脈ヲ感セシ、

(譯)十二月ノ短日ニ太陽ハ隱然ト冬枯レノ小山ノ上ニ昇リ薄暗ヲキ蒙テ以テ日中ニモ猶ホ朦朧タル月光ヨリモ暗ヲキ光ヲ放ツ○徐々トシテ陰雲ノ裡ヨリ降り天變人ヲシテ驚愕セシムルノ兆ナラサルモ隱然前徵ヲ示シテ太陽ハ未タ西山ニ没セサルノ前ニ其姿ヲ黑雲ノ裡ニ沈メタリ○手製ノ上衣ニシテ大丈夫ナルモノモ嚴寒ヲ防クハ出來サリシ、寒威尙チ遠シ人ノ血液順環ヲ防クル程ノ苦寒ハ雪圍レノ來ルヲ示シタリ○寒風ハ西方ニ吹キ怒濤ノ海岸ニ響クヲ聞キタリ、而シテ低キ運動ニテ我々ノ心臓中ニ鼓動スルノ烈シキ動悸ノ

アルヲ感シタリ、

其時余輩ハ余輩ノ夜仕事ヲ爲セシ——戸ノ外ヨリ薪ヲ内ニ携へ來リシ廐ニ藁ヲ布キシ、而シテ脚置キヨリ牝牛ノ爲メニ飼艸ヲ集メシ、彼ノ王蜀黍ノ爲メニ嘶ク處ノ馬ヲ聞キシ、而シテ横木ノ列ノ下ニ短氣ニ、角ト角トヲ銳ク衝キ當テツ、家畜カ彼ヲノ胡桃ノ屈ミヲ搖カス、然ルニ樺足場ノ棒ノ上ニ、彼ノ早キ止マリ木ヨリ覗ヒツ、牡鶏カ彼ノ鶏冠ヲ傾ケシ、而シテ彼レノ歎願スル處ノ桃聲ヲ下ニ送リシ、

(譯)其時我々ハ夜仕事ヲナシタリ即チ戶外ヨリ薪ヲ運ビ入レ廐ニ藁ヲ布キ牝牛ノ爲メニ枯艸ヲカキ集メタルカ、馬ハ餌ヲ待テ嘶キ、牛カ食餌ヲ待兼テ角ト角トチガタト云ハセテ居ル、鶏モ其止マリ木ヨリ頭ヲ突キ出シテ鳴キタリ、

或ル日没ノ光輝ニ依テ暖メラズニ灰色ノ日ハ夜ニ迄暗クナリシ——夜ハ群ヲ以テ白クナサレテ眩マス處ノ荒レノ旋轉ガ屬木形ノ如ク彼方此方ニ搖キツ、浮ヒタル雪ヲ遮リ而シテ再ヒ遮リシ、而シテ早キ寢時カ來リシ前ニ白キ降雪ハ窓ノ匡ニ積リシ、而シテ硝子ヲ通シテ覆ハレタル柱ハ幹高キ而シテ覆ハレタル幽靈ノ如ク眺メ込ミシ、

(譯)終日日光ハ暖カキヲナクシテ遂ニ夜トナリタリ、其夜ハ雪ニテ白ク眼モ開カレヌ程ノ大風ノ内ニ雪ハキリト舞ヒ降り、早ヤ寢ニ就クノ以前ニ大雪ハ窓ノ匡ヲ覆ヒ、硝子越シニ見レハ柱ニハ雪積リ恰モ脊高キ幽靈ノ如クニ窓ニ差シ臨ミ居タリ、

左様ニ長キ終夜暴風ハ響キシ、朝ハ太陽ナシニ破レシ、天然ノ測量術ノ記號ノ線ヲ以テ形ツ

クラレタル小ナル球形ニ於テ、輝キタル雪片及ヒ結晶形ニ於テ、終日白キモノカ降リシ、而
 ノ第二ノ朝ガ照セシキニ余ヲハ知ラレサル世界ニ於テ眺メシ何ソニモニ於テ余ヲノ自身ノ
 ノト呼ヒ能ハサリシ○輝ク處ノ怪物ヲ越ヘテ蒼穹ノ青キ壁カ曲リシ、上ニ一ノ雲ナシ、下ニ
 一ノ地ナシ——空ト雪ノ萬象、余ヲノ古キ馴レタル觀相ハ驚クベク形ヲ取リシ、奇妙ナル屋
 上雪及ヒ塔ハ小屋或穀小屋、或ハ花園ノ壁或ハ森ノ一帯カ立チシ處ノ聳ヘシ、滑カナル白キ
 堤ハ小枝ノ堆積ナルヲ示シ、境ナキ積雪ハ一度道テアリシ處ノモノヲ(示セシ)馬撃ギハ緩
 ク懸リタル上衣及ヒ高ク高マリタル帽ヲ以テ老人ガ坐セシ、井戸側ハ支那風ノ屋根ヲ持チ
 シ、而加之高ク上ニ桔槔ハチツルハ其傾キタル美ニ於テ「ビザ」ノ傾キタル不思議ヲ告クルヘク見
 ヘシ、

(譯) 終夜暴風ハ鳴動シ、翌朝天明ケタルモ太陽ヲ見ズ、自然ノ測量ノ記号カト疑ハル、程ニ
 雪花ハ霏々トシテ降り積リタリ、其翌朝即チ第二番目ノ朝トナリタル片世界ハ即チ銀世界
 ニテ見馴レタ世界トハ大違ヒ、丸切り我カ住ム世界トハ云フコト能ハサリシ、白雪皚々ノ内ニ
 青空懸リ、上ニ雲ナク下ニ地ヲ見ズ、颯々唯雪ト青空アルノミ、余ヲノ見慣レシ物ハ皆ハ其形
 ナ變シ、見慣レヌ屋上室ヤ塔ガ計ラズモ小屋ヤ花園ノ石垣ヤ林ノ一帯ノ在リタル處ニ現ハ
 レタリ、滑カニシテ白キ堤ト思フハ即チ小枝ノ堆積ニシテ、境界ノワカラヌ茫々一面ノ積雪
 ハ元道路ナリシ處ナリ、馬撃ギハ度力リタル上衣ヲ着シ高キ帽子ヲ被リタル老人ノ坐スル
 カ如ク、井戸側ハ支那風ノ屋根ヲ造リ、尙ホ又桔槔ノ奇麗ニ傾キタルノ様ハ「ビザ」ナル柳

太利國有名ノ塔ノ傾斜スルノ不思議ヲ告クルニ似タリ、

夜カ近カヨリシキニ、而ノ西ニ高マリシ處ノ森ノ丘ノ頂上ヨリ、雪ニ吹カレタル旅行者ナル
 大陽ガ眩マス處ノ堤ノ下ニ觀相ヨリ沈ミシ、余ヲハ注意ヲ以テ、烟突ニ對シテ木ノ余ヲノ夜
 ノ積物ヲ積ミシ、——櫛ノ木片ハ青クノ太ク又茂リタリ、其上ニ於テ丈夫ナル突張棒(ヲ積
 ミシ)節アル前ノ突張棒ヲ離シテ置キシ、而シテ奇ナル術ニ於テ粗ラキ柴ヲ間ニ置キシ、然
 ルト近ク近寄リツ、余ヲハ見ユル最初ノ赤キ燒燃ヲ見シ、烈シキ響ヲ聞キシ、白ロキ壁及ヒ
 曲ル處ノ棟木ニ於テ光輝ヲ捕ヘシ、遂ニ古キ粗末ニ飾リタル室ハ花ノ如ク薔薇ノ花ニ迄破
 レシ、然ルニ外ニ人眞似ノ焰ヲ以テ輝ク處ノ積雪ハ赤クナリシ、而シテ裸ナル枝ノ連翹樹ヲ
 通シテ余ヲ自身ノ温カナル火爐カ自由ニ燃ヘツ、見ヘシ、

(譯) 夜カ近寄リタル片西方ニ高ク脊ヲ爲シタル小山ノ頂上ヨリ次第ニ雪ニ吹カレタル太
 陽ハ没シタリ、余等ハ夜ノ用意ノ爲メニ注意シテ烟突ノ後口ノ方ニ薪ヲ積ミ重子タリ、青キ
 大ナル葉ノ茂リタル櫛ノ木ヲ積ミ重子其頂上ニ丈夫ナル木ヲ押サヘ付ケ、又節ノアル木片
 ヲハ別ニ積ミ、奇妙ナル仕方ニテ其間ニ小柴ヲ充タシ、扱テ近寄リテ燃ユル火ヲ眺メ、小柴ノ
 バリトト燃ヘテ鳴ル音ヲ聞キ眞白ノ壁ヤ曲リタル棟木ノ火光ノ映シテ輝ルヲ見タルカ
 邊ニ古キ粗末ナル室モ花ノ開クカト疑ハル、程ニ火光麗ハシク薔薇ノ花盛ノ如クナリシ
 又其時ニハ戶外ニテ皚々タルノ白雪堆ク恰モ焰ノ如ク光ヲ放テ、室内ノ火ノ戶外連翹樹ノ

内ニテ盛ニ燃ユルカ如クナリ、

外部ノ世界ヨリ閉ヂラレテ、余ヲハ玻璃及ヒ戸ニ於テ破ルヘキ荒レニ於テ北風ヲシテ鳴ラシムルヘシ満足シテ、清ク燃ヘタル火爐ノ邊ニ坐セシ、同時ニ余ヲノ前ノ赤キ木片ハ熱帯ノ熱ヲ以テ嚴寒ノ線ヲ退ソカセシ、而シテ尙ホ聲高キ暴風ガ其ガ過ギシキニ棟ヤ垂木ヲ搖カセシ非常ニ其叶フ處ノ流通ノ上ニ烟突ノ大ナル咽喉ガ尙ホ愉快ニ笑ヒシ飼犬ハ擴ケタル其ノ手ニ於テ火ニ迄其ノ眠タキ頭ヲ置キシ、壁ニ於テノ猫ノ黒キ影ハ横ハリタル虎ノガ落ツルベク見ヘシ、而シテ冬ノ火ノ邊リニ向テ鉄架ノ廣カリタル足ノ間ニ、徐々ト暖マル「サイダー」(酒名)ノ酒杯ト、列ニ於テ氷吐キタル林檎ガ出會フ、而シテ近クニ籠カ栗色ノ十月ノ林ヨリノ栗ヲ以テ立チシ、

(譯)戸外ノモノトハ交通ヲ絶チテ余等ハ大爐ノ邊ニ坐シ、玻璃窓ヤ戸ニ北風吹キ鳴ルモ無頓着ナリシガ、其時ニハ火爐ノ火ハ盛ニ燃ヘテ如何ナル嚴寒ヲモハ子戻シタリ、暴風力強ク吹キテ家ノ棟ヤ屋根ニ當レハ當ル度毎ニ其鳴動スルカ爲メニ烟突ノ大ナル筒口ハ尙ホ愉快ソウニ笑フカ如ク、飼犬ハ手ヲ延シテ横ハリ火ノ前ニ眠タソウナル頭ヲ心地ヨケニ差シ延シ、猫ノ臥タル姿ハ壁上ニ黒キ影ヲ現ハシ其影ハ恰モ虎ノ姿ニ似タリ、又冬籠リノ人ノ爲メニハ鉄架ノ廣カリタル足ノ間ニポツト暖マル酒モアリ、林檎ノ數多ハ暖マリテ其膚ヨリ暖カソウモ汗ヲ出シタルモアリ、尙ホ其邊リニ十月ノ霜枯レノ林ヨリ集メタル栗ノ入

レタル籠モアリ、

夜ハ如何ニ爲セシトモ何事ゾ○如何ニ北風荒レタトモ何事ゾ○高ク吹ケ高ク吹ケ、其雪ノ總ガ余ヲノ火爐ノ赤キ光リヲ消シ能ハサリシ、

(譯)夜ハトノ様ニアロウトモ何ントモナイ○北風力強ル、トモ何トモナイ○強ク風吹ケ如何程雪ヲ吹キ來ルトモ火爐ノ火ヲ消スハ出來ヌナリ、

第八十九課

「アマゾン」ノ護謨樹

其ノ川口ヨリ「ミスシツピー」ヲ登ル所デ、人ガ「レット」アルカンサス「チハイヨ」及ヒ「ミツツリ」ナル四ツノ大ナル枝流ニ依テ通ル、「ミツツリ」ハ其ノ進ミニ於テ「レット」及ヒ「エルロウストン」ヲ受取ル、余輩ガ共ニ六ノ枝流ヲ算ヘ能フ「ボド」左様ニ、其ハ長サニ於テ七百英里ヲ越ル○之レガ亞細亞又ハ亞弗利加ノ河ガ持ツヨリ尙大ナル數デアル、

(譯)其ノ河口ヨリ「ミスシツピー」ヲ溯レバ「レット」アルカンサス「チハイヨ」及ヒ「ミツツリ」ナル四大支流ニ遇フ、而ソノ支流「ミツツリ」ハ「レット」及ヒ「エルロウストン」ノ二支流ノ注入ヲ受ク、ソレ故ニコノ河ハ都合六支流ヲ持ツ、各支流長サ七百英里余ナリ○亞細亞亞弗利加ノ諸大河ハ如斯キ數多ノ支流ヲ持ツコナシ、

「ナイガー」ハ全ク一ノ大ナル枝流ヲ持ヌ、「ナイル」ハ唯タ三又ハ四ヲ持ツ、其八年ノ半分ノ

間殆ント乾テアル、「ヤンツキヤン」ハ「チハイチ」ノ如ク左様ニ長キ單ナル枝流ヲ持ヌ而シテ、残りノモノヲ以テモ左様〇南亞米利加ニ於テ「パラナ」ガ「レツ下」河ノ如ク各左様ニ大ナル「アラガイ」及ヒ「パラカイ」ヲ受取〇左様ニ遙カ比較カ「ミスシツピイ」ニマテ好シクアル

〔備〕「ナイガイ」ハ一ノ大交流ナシ、「ナイル」ハ唯三四ノ交流アリト雖殆、ンド半年ハ水ナシ、「ヤンツキヤン」ハ「チハイヨ」支流ノ如キ長サノ交流ナシ、其他ノ大河皆同シ〇南亞米利加ニ於テハ「バラグエー」ヲ受ク〇是ニ由テ是レハ比較上支流ノ多キハ「ミスシツピイ」ナリ

今「アマゾン」ノ地圖ニ於テ瞥見セヨ〇其所ニ少クトモ長サニ於テ七百英里ヨリ尙多クナ測ル所ノ十六ノ枝流ガアル、彼等ノ最モ多クガ一千ニ過ル〇是等ノ大ナル枝流ノ或モノガ彼等自身ノ如ク殆ント左様ニ大ナル流レヲ受取ル、而シテ「アマゾン」ニマデ流レル所ノ尙小ナル河ガ充分ノ一百又ハヨリ多クヲ算ルデアラフ〇河ノ王ナル「アマゾン」ハ王ノ如キ列ヲ保ツ、

〔備〕全「アマゾン」ノ地圖ヲ一見セヨ〇「アマゾン」河ニハ十六支流ノ長サ七百英里ヲ過ルモノアリ、最モ長キモノハ一千里ヲ過ク〇コレヲノ支流ハ又亦大サ殆ント同一ノ支流ヲ受ク、而シテ「アマゾン」ニ流入スル尙小ナル支流ハ一〇百カ或ハ一〇百ヲ過ルナラン〇河王「アマゾン」ハ實ニ王公然タル支流ノ列ヲ保ツ、

「アマゾン」ノ大ナル谷ヲ學ブニ於テ余輩ハ最初ノ歩ミガ本地及ビ水入地トノ間ヲ區別スベクアルデアラフ、余輩ハ彼等ガ天然ニ於テ定メラル、如ク左様ニ鋭ク余輩ノ心ニ於テ是等ノ二ヲ分チバナラヌ〇大陸ハ常ニ洪水ノ達スルトチ越テアル、假令其ガ彼等ノ上ニ唯數「インチ」デアリ得ルト雖モ、其ハ多クノ場所ニ於テ顯出スル所ノヨリ古キ岩ノ基礎ヲ持ツ〇水入地ハ、反對ニ於テ、明カニ河其自身ニ依テ形作ラシメ、其ノ島及ビ平地ハ折々ノ砂堤ヲ持テ、泥及ビ粘土ヨリ築上ケラル、然モ彼等ハ決シテ石多クアラヌ、而シテ唯々特別ノ點ハ最モ高キ溢水ノ上數「インチ」デアアル

〔備〕「アマゾン」ノ沃野ヲ研究スルニ當リテ、吾々ハ先ツ本地ト濕地トノ區別ヲ設カシ、天然上本地濕地ノ區別アルカ故ニ、剽然コレヲノ差違ヲ混ス可カラス〇本地ハ洪水ノ溢流ノ最高度ヨリ高キト僅カニ數「インチ」ナリト雖モ常ニ其漲溢ヲ受ケス、ソノ地層ハ古昔ノ岩石ニシテ所々ニコレラノ岩石突出ス〇濕地ハ明カニ河ヨリ成立ス、島及平地ハ所々砂堤アルモ重ニ泥及粘土ヨリ成ル、然シテ地上石多カラズ特別ノ土地ノミ洪水最高點ノ上ニ在ル唯數「インチ」ナリ

余輩ノ最初ノ逍遙ハ彼等ノ沼多キ森、及ビ牧場ノ大ナル廣ガリ及ビ半バ水ニ沈ミタル植附地ヲ持チタル「バシアス」則チ水入地ノ島及ビ小流ノ中ニアルデアラフ、盲目デアラヌ所ノ或モノガ植物ノ驚ベキ美ニ依テ彼ノ内ニ動サレテ彼ノ精神ニ感セ子ハナラヌ、土地ノ一片が見ラレヌ、水ヨリ上ニ眞直ニ茂リタル美觀ノ稠密ナル暗黒ナル入込ムベカラサル百「ヒト」ノ壁ノ如ク森が高マル〇而シテ積重子タル塊リノ中ヨリ所々ニ破レル所ノモノハ數千

ニ依テ椰子樹デアル○如何トレバ此所ニ椰子ガ上位ヲ保ツ○廣キ地ニ於テ其地何所ニモ余輩ガ其ヲ見ル如ク掩ハレザル彼等ノ天幸ガアラヌ故ニ、若シモ椰子ガ獨リ立ツ所デ樹木ノ最モ多ク美ナルモノト貴マル、ナラハ、數十又ハ數百ニ依テハナリ然レ數千ニ依テ而シテ熱帶ノ地外ニハ決シテ見ラレヌ如斯キ森ノ基礎ニ於テ彼等ノ數カ數ヘラル、其ニ何ト余輩ハ言フデアラフ乎

(講) 吾々ハ先ツ沼多キ森、廣大ナル牧場及ヒ半バ水ニ浸サレタル植付地ノアル「バーシアス」ト名クル水入地ノ島及小流ノ中ニ逍遙スヘシ○此等ノ地ヲ訪フモノ固人ナラサレバ、必ス植物ノ美麗ニ驚キ中心ニ感動セサルモノナカルヘシ○水中ヨリ森林繁茂シテ一點ノ土地ヲ見ルヲ得ズ、コレヲ形容スレバ木葉ノ稠密暗黒入込ム可カラサル壁ノ如シ○而シテ群樹鬱蒼タル森林中到ルトコロニ數千ノ椰子樹突出ス○斯ク椰子ノ繁茂スルハ萬事能ク之ニ適スレバナリ○椰子樹僅カニ一本生茂ルモ人猶ホ其美觀ヲ賞ス、況ンヤ其ノ幾百千本蒼々トシテ繁茂シ、又熱帶地ノ外ニテハ見ルコト能ハサル廣大ナル深林ノ全体ヲ掩フ所ノ數多ノ椰子樹ヲ觀ルル片ハ人皆其美觀ニ驚クナラン、

景色ガ際限ナク變ゼラル、時トシテハ椰子樹ガ隱サル、然レ然ルキデサヘモ大ナル轉スル所ノ集合物ハ其ヲ組織スル所ノ樹木ノ一百又ハヨリ多ク種類テ驚クベキ變化ニ付テ滿テアル、而シテ再ビ椰子ハ分ツベカラザル支配權ヲ保ツ或ハ唯タノ灌木ヲ保ツ而シテ低ク這上ル所ノ蔓ガ彼等ノ美觀ヲ弱クスル、水ノ端ニ依テ下ニ花咲ク所ノ「コンボルブリ」ガ「ア

ボレスセント、アラムス」ノ橋ノ如キ葉ト其ニ混合サル、而シテ「メンクロープス」ガ彼等ノ竹馬ノ如キ根ニ於テ高ク立ツ所デ其所デ彼等ガ川口ノ湖ニ依テ洗ハル、

(講) 景色ハ至ル所ニ其趣キヲ異ニス、時トシテハ椰子樹ヲ見ルコト能ハス、然レモ斯ル時ニハ鬱蒼タル樹木層々相ヒ掩ヒ景光壓ハ變シ實ニ奇異ノ美觀ナリ、或ハ椰子樹全盤ヲ掌握ス、即チ椰子樹ノ外他ノ大木ヲ見ルコトナク、唯蔓草灌木ノ美觀ヲ添フルヲ見ルノミ○水邊ニハ花盛ノ「コンボルブライ」ノ「アルホレッセント」エーラムス」ノ橋狀ノ葉ト相ヒ混シ、マンクロープ」ハ其根ヲ現ハシテ生シ潮流ニ洗ハル、ヲ觀ルヘシ

印度人ノ案内者ガ護謨樹ノ數ヲ指示ス、而シテ余輩ハ彼等ノ白キ幹及ヒ光ル所ノ耀キタル綠色ノ木ノ葉ヲ了知スベク學ブ○此低キ潮入地ガ最モ多ク緊要ナル護謨ノ地ノ一ツデア、而シテ土人ノ數百人ガ生ゴムヲ集メルコト及ヒ製スルコトニ於テ用ヒラル、○時々余輩ハ濱ニ添フテ杭ノ上ニ建ラレタル及ヒ常ニ熱病及ヒ「ルーマチスム」ニ付テ豫告スベキ濕氣アル蒸發スル所ノ暗黒ナル彼等ノ藁葺ノ小家ヲ視ル、如何トナレバ彼等ガ河ヨリ貴クアルト雖モ潮入ノ低キ地ハ其所ニ許多ノ護謨ヲ集メル者ガ病氣及ヒ死亡ヲ見出シタ所ノ内部沸騰シタル沼デアル故ニ

(講) 案内者印度人ハ護謨樹ノ澤山ヲ指示ス、而余々ハソノ白幹及ヒ光澤アル綠葉ヲ認知スル可ク教ラレタリ○コノ低キ潮入地ハ最モ緊要ナル護謨樹繁生地ノ一ナリ、而ノ數百ノ土人生ゴムヲ集メ及ヒ之ヲ製スルコトニ從事セリ○時々濱ニ沿フテアル杭ノ上ニ建タル藁葺ノ

小家ヲ見ル、屋内濕潤蒸氣充満シテ熱病及ル。マチスムヲ發スル如キ暗室ナリ、如何トナ
レハ此低地ハ川床ニ比スレハ土地高クシテ糞分ノ愉快ヲ感スレ。一面ノ沼地ニテ護謨製
造者ハ多クハ此處ニテ病ニ罹リ死ニ至ルモノアリ

護謨樹ハ沼多キ森ヲ通シテ散ナル、其所ニ余輩ハ木片ヲ越テ登リ、而シテ泥ノ池ニマデ沈
ミ、而シテ水溜リヲ飛ブ其所ニ蚊ガ血ヲ渴望シテアル、而シテ天然ガ濕氣深ク及ヒ脅カシツ
、アル其所ニ靜カナルコトガ獸類及鳥類ニ依テ破ラレズニアル感セラレ能フ所ノ靜カサナリ
(講)「ゴム」樹ハ沼多キ森ヲ通シテ諸所ニ散在ス、ソコナ吾々ハ木片ヲ越エテ登リ、或ハ泥池ニ
沈ミ、或ハ水溜ヲ跳ヒ、越ヘル、蚊ハ血ニ乏シクシテ渴セリ、而シテ天然ニ暗濕ニシテ物凄シ
鳥獸ナクシテ靜ナリ、ソノ靜ナルコトハ精神ニ浸ミ渡ルカ如シ

早キ朝ニ於テ、男子及ヒ婦人カ彼等ノ背ニ於テ土器ノ籠、及ヒ木ヲ切ルベキ小ナル斧ヲ以テ
來ル○白キ乳ガ切目ヨリ滴リ落ル所ニ彼等ハ全キ流レテ取ルベク如ク左様ニ形ツクラレタ
ル粘土ノ塗リモノヲ以テ幹ニ於テ彼等ノ受器ヲ粘着サセル○若シモ木が大ナルモノデア
ラバ四又ハ五ノ切目ガ幹ノ周圍ニ輪ニ於テ切ラレ得ル

(講)早天ニ男子及ヒ婦人ト各背ニ於テ土杯ヲ入レタル籠、及ヒ木ヲ切ルヘキ小斧ヲ以テ來
ル○白ノ乳液カ切目ヨリ滴下スル所ニ幹ニ於テ受器ヲ附テ乳液ヲ受取ル、コノ受器ハ全ク
ソレカ爲ニ都合ヨク造リタルモノナリ○大木ナラハ四五ノ切目ガ圓形ナシテ幹ノ周圍
ニ割ラル

次ノ日ニ於テ他ノ切目ガ是等ノ少シ下ニ爲サル、而シテ列ガ地ニ達スルマデ左様ニ進ム
○十一時ニ依テ乳液ノ流レガ止ンダ、而シテ土人ガ糞罩ノ入レ物ニ於テ受器ノ保ツモノヲ
集メルベク來ル、○各ノ木ヨリ極度ノ産出ガ「シル」又ハ左様ニアル而シテ一ノ集メル
人が常ニ是等ノ暗キ沼ヲ通シテ徒渡リシツ、及ヒ熱病及ヒ衰弱ニ於テ彼ノ利益ニ向テ高價
ニ拂ヒツ、一百二十本ノ木又ハヨリ多ニマデ注意シ得ル

(講)翌日ソノ下ニ他ノ切目ヲ造ル、如斯クシテ切目、列ヲナシ地ニ達シテ止ム、○十一時ニ於
テ乳液ノ流出止ミタリ、而シテ土人ハ來リテ土器内ニ溜リタル白汁ヲ糞罩ニテ造レル入物
ノ中ニ集メル、○一本ヨリ極度ノ流出ハ「シル」乃至「シル」余デアル、而シ一採集人が常ニ
コレヲノ沼ヲ敗涉シ百二十本乃至尙多クノ樹液ヲ集メル、ソレガ爲ニ熱病及ヒ衰弱ヲ得ルガ
故ニ勤勞ノ益殆ンド空シ、

一日ノ集高ハ精密ニ乳汁ノ如キ觀ニ於テノ白キ流動物ノ一瓢デアラフ、○若シテ此
有様ニ於テ捨置レシナラバ其暫クノ後凝結ス、而劣リタル白キ護謨ヲ形ヲ作ル○商品ノ黒
キ護謨ヲ製スベキ乳液ガ製法ノ格別ナル進ミヲ通シテ行カ子バナラス、○「タクマ」椰子ノ
堅キ實ヲ以テ養ハレタル燻ル所ノ火ノ上ニ、廣キ口ノ底ナキ瓶ノ如キ、粘土ノ烟突ノ種類ガ
置カル、此烟突ヲ通フシテ濃キ煙ガ續キタル流レニ於テ出ル○今護謨ヲ集メル人が彼ノ
型ヲ取ル、——此場合ニ於テハ圓ク刃ヲ附ケタル撓ノ如キ木ノモノ——乳液ヲ以テ其ヲ潰
ス、而シテ流動物が凝結スルマデ烟ノ上ニ其ヲ保ツ、

(講)一日ノ採集高ハ恰モ乳汁色ノ白キ流動体ノ一瓢ナリ○若シコノ有様ニ打捨テ置カバ
暫時ニシテ凝結シ而シテ下等白色「ゴム」ヲ成ス○商品ノ墨「ゴム」ヲ造ランニハ殊別ノ製法ヲ
加ヘザルニカラズ○「タク」ノ椰子ノ堅キ實ヲ燒キソノ燻ル火上ニ廣キ口ノ無底瓶ノ如キ粘
土ノ燻突ノ一種ヲ置ク、コノ燻突ヨリ濃烟絶ヘズ流出ス○今採集者ハ其型即チ圓キ塊ノ如
キ木造ノモノヲ白汁ヲ盛り烟ヲカケテ堅クナス、

然ルキニ地ノ上置キガ加ヘラル、——、今ハ唯タ木ガ熱セラル、ニ依リ乳液ガヨリ遠ニ凝
結ス○其ガ充分ニ厚ク型ヲ覆フベク二三日ノ集マリヲ取り得ル○然ルキニ護謨ガ尙鈍キ白
色デアアル、然レ暫時ニ於テ其ガ爲色トナル、而シテ終ニ其ガ市場ニマデ送ラル、キニハ殆ン
ド黒クナル○塊リガ本形ヨリ切ラル、而シテ村落ニ於テノ商人ニマデ賣ラル、○瓶ガ粘土
ノ玉ノ上ニ護謨ヲ形附ケル、ニ依テ時トシテハ製セラル、

(講)然ル后ニ他ノ型ヲ置ク、サスレバ木ノ熟スルニ隨ヒ乳液ハ益々速ニ凝結ス○充分厚
ク「ゴム」ガ損型ヲ覆フニハ二三日間ヲ要ス、○然レモソレガ尙ホ灰色ノ如キ白色トナリ暫ク
シテ爲色ニ變ジ、終ニ市場ニ送ルキニハ純黒トナル○凝体型ヨリ切リシ田舎ノ商人ニ之ヲ
賣ル○時トシテハ粘土ノ圓球ヲ造リ其外部ニ護謨ヲカケ然ル後チ内部ノ圓球ヲ破リ去リ
テ護謨徳利ヲ造ル、

二月ヨリ六七月マデノ雨多キ月ノ間、此地ガ水ノ下ニアル、而シテ土人ノ小屋ガ全ク見捨テ
ラル、○護謨ガ弱ク且ツ比較上少シノ價格ニ付テアル、其ガアラザリシナラバ溢水ガ

取集メテ全ク妨ゲヌデアラフ○ソノ他木ガ續キタル夏ノ吐水ニ向テ貯ルベク休ミノ此時間
ヲ要スル、

(講)二月ヨリ六七月ノ交雨多キ月ハ此地ハ凡テ水ニ浸サレ土人ノ小家ハ用ユル能ハザル
モノトスル○「ゴム」ガ其實稀薄ニシテ價安キニ非サレバ洪水アリト雖モ取採ヲ妨ゲズ○其
他護謨樹ハ夏ノ長キ間斷ヘズ流出スル乳液ヲ用意スル爲メニ此ノ雨天ノ季候ダケハ休マ
テバナラス、

護謨ハ是等ノ低キ土地ノ殆ノ只ノ産物デアアル○全キ土地ガ單ニ外面ヨリノ思想ヲ越テ美
ナル内ニハ暗キ荒地ノ森ヲ以テ掩ハレタル小流小湖及ビ沼澤ノ終リナキ引續キデアアル、

(講)「ゴム」ハ是等低地ノ特産ナリ○此地方ノ一帯ハ小川小湖及ビ森林陰鬱タル沼池ノ並續
シテ成ルモノニテ外面ハ想像外ノ美麗ヲ構ヘ内部ハ荒蕪ノ地ナリ、

第九十課

「サー、マツシユー、ヘール」ノ奇談、

紳士其人ハ英國ノ北ノ部分ニ於テ領地ヲ所有セシ處ノ紳士ハ二人ノ息子ヲ持チシ○兄ハ漂
泊スル處ノ性質ノモノテアル所テ國外ニ行キシ○數年ノ後チ彼ノ父ハ死亡セシ、時ニ弟息
子ハヨリ若キ息子ハ遺言其ハ彼ノヨリ老タル兄ノ惠ニ於テ爲サレタリシ處ノ遺言ヲ打破ル
所テ領地ヲ奪ヒシ○彼ハ彼ノヨリ老タル兄ハ死亡シテアリシ、公言セシ、而シテ此話ノ

眞實ヲ証スヘク詐僞ノ証人ニ賄賂セシ、

(購英國東部ニ於テ領地ヲ所有セシ或ル貴人二人ノ息子ヲ持テリ○兄ノ方ハ性漫遊ヲ好ムヲ以テ國外ニ遊歴セリ○數年ノ後テ其父死亡セシニ次男ノ方ハ兄ノ爲メニ都合ヨカリシ父ノ遺言ヲ破テ彼自カラ其領地ヲ横奪セリ○第ハ兄ノ既ニ死亡シタリト公言シ其下ヲ保証セシメンカ爲メ賄賂ヲ與ヘ僞証人ヲ設ケタリ、

時ノ進ミニ於テヨリ老タル兄ハ還リシ然レモ窮乏ナル事情ニ於テアル處デ彼ノ要求ヲ立ルヘク其テ困難ト發見セシ○遂ニ法律家其人ハ其ニ迄關係ニ於テ裁判長「サー、マツシユー、ヘール」ナル時ノ第一ノ裁判官ニ評議スヘク如ク左様ニ遙カ彼ノ公事ニ於テ彼レ自身感激セシ處ノ法律家ニ出會シ○裁判官ハヨリ老タル兄ノ要求ノ正義ニ關シテ彼自身満足セシ、而シテ然ルレ彼ノ扶助ヲ約セシ

(購)後子ニ兄歸郷シタリ、然レモ彼ノ權利ヲ要求セシニハ其身貧困ナルカ爲メ甚々困難ナルト多カリキ○遂ニ一法律家アリ彼ノ爲メニ充分ノ味方ヲ取リ此事ニ關シ裁判長「サー、マツシユー、ヘール」ナル當代ノ高等判官ニ相談スルト爲シタリ○裁判長ハ兄ノ要求ノ正義ナルニ感シ之ニ扶助ヲ與ヘンコトヲ約シタリ

公事ハ「エツセツクス」ニ於テ「チエルムスフォルド」ニ於テ吟味セラレシ○定メラレタル日ニ於テ「サー、マツシユー、ヘール」ハ正直ナル粉挽キ其人ニ彼カ彼ノ道ニ於テ出會ヒシ處ノ正直ナル粉挽キノ衣服ニ於テ彼自身假裝セシ、而シテ斯ノ如ク準備シテ郡ノ裁判所其處ニ

公事ガ吟味セラレヘクアリシ處ノ郡ノ裁判所ニ入込ミシ○此處ニ彼ハ原告人ヲ見出セシ、而シテ彼ト共ニ會話ニ迄入り込ム所デ、彼ノ情況ハ何デアリシカヲ問ヒシ、其ニ迄原告ハ答ヘシ、余ノ公事ハ甚々不安穩ナル位地ニ於テアル、而シテ若シ余カ其ヲ失フナラハ余ハ生活ニ向テ零落シテアルト

(購)詞訟ハ「エツセツクス」ノ「チエルムスフォルド」ニテ吟味セラレタリ○期日ニ及ンテ「サー、マツシユー、ヘール」ハ粉挽キニ出會ヒ直ニ其粉挽キノ衣服ヲ借リ受ケ我身ヲ裝ヒ詞訟吟味所ナル郡ノ彼所ニ這入りタリ○コ、ニテ彼ハ原告人ニ出會ヒ種々ノ話ノ序ニ原告ノ詞訟事件ヲ問ヒタルニ原告ハ其詞訟ノ甚々不安心ノ地置ニ在リテ若シ敗訴スルトアラハ其身ハ忽チ零落スヘシト答ヘタリ

僞リタル粉挽キハ答ヘシ、扱テ正直ナル友人ヨ、余ハ汝ノ助言ヲ取ルテアロウ乎○各英國人ハ全キ十二ヲ通シテ或ル一ノ陪審官ニ迄取除キテ取ルヘキ權利及ヒ特許ヲ持ツ、今汝ハ何故ナル道理ヲ與フルコトナシニ汝ノ特許ノ上ニ主張シナセ、而シテ若シ出來ルナラハ或人其人ヲ汝カ廢スルテアロウ處ノ其人ノ場所ニ於テ擇バレテ余ヲ得ヨ、而シテ余ハ余ノ力ニ於テ勤務ノ總テヲ汝ニ爲スデアロウ

(購)假裝ノ粉挽キ答ヘテ云ケル様、扱正直ナル友人ヨ、汝ハ余ノ忠告ヲ用フルテアロウカ○各英人ハ十二人ノ陪審官中一人ヲ思避スヘキ權理特許ヲ有ス、今汝ハ其理由ヲ述ヘスシテ一人ノ思避スルノ特許ヲ主張セヨ、而シテ若シカラズバ、其代リニ余ヲ撰舉セヨ、然ルレ余ハ

全カヲ盡シテ汝ノ利益ヲ謀ラント、原告人ハ手ニ倣テ偽リタル粉挽キヲ搖カセシ、而シテ彼ノ忠告ニ從フヘク約セシ、而シテ夫故ニ書記カ陪審官ノ名ヲ越ヘテ呼ビシキニ、彼ハ彼ラノ一人ニ迄反對セシ○審案ニ於テノ裁判官ハ此自由ニ於テ多ク犯サレテアリシ○汝ハ其貴人ニ迄取除ヲ取ルコトニ依テ何ヲ意味シ爲スカト彼ハ問ヒシ

(譯)原告人ハ握手シテ之ヲ謝シ、且ツ彼ノ助言ニ從ハント約シタリ、而シテ裁判所ノ書記カ陪審官ノ名ヲ呼ビ終リシ片ニ、原告人ハ其内ノ一人ヲ忌避シタリ○倚子ニ凭ルノ裁判官ハ此自由特許ヲ拒ミ○而シテ、問ヒシ汝其紳士ヲ忌避スルハ何ノ爲メナル乎ト、

閣下、余ハ何故ノ道理ヲ與フルコトナシニ英國人タル余ノ利益ヲ固守スヘク意味スト、原告人ハ云ヒシ、

(譯)原告人ハ裁判官閣下ヨ、余ハ英人タルノ利益ヲ得ント欲スルノミ、其理由ヲ説明スルノ限リニ非スト云ヒ放チタリ、

裁判官ハ高ク賄賂セラレテアリシ、而シテ公明ノ見^{アラ}ハレニ依テ其ヲ隱ストノ爲メニ、而シテ其黨與ノ卓越ニ於テ信任ヲ持ツ處デ、彼ハ云ヒシ、扱テ君ヨ、汝ハ汝カ癡シタ彼ノ場所ニ於テ誰ヲ持ツヘク望ミナス乎ト、

(譯)裁判官ハ大ナル賄賂ヲ受ケタリシ、而シテ公明正大ト外見ヲ見セカケテ、之レヲ隱サント欲シ、又同臭ノ徒ノ人数多キカ爲メ必ス原告ノ敗訴ニ歸スルハ疑フ可カラスト信シ、扱

テ汝ハ其代リニ誰ヲ撰バント欲スル乎ト問ヒカケタリ、

傍聽者ノ上ニ眺メ廻ストニ依テ費シタル短キ時ノ後チ、大人ヨ、若シ汝カ好ムナラハ、向ノ磨ヤヲ撰フデアロウト、原告人カ云ヒシ○夫故假定セラレタル磨ヤカ陪審官ニ於テ彼ノ場所ヲ取ルヘク命セラレシ、

(譯)暫時傍聽者ヲ見廻シ、裁判官足下、願クハ余ハカノ磨挽キヲ撰ハント原告カ云ヒシ○依テ偶物ノ磨挽キカ陪審官ニ命セラレタリ、

裁判所ノ書記カ總テニ迄、通例ノ誓ヲ命シタルヤ否ヤ、小ナル^{コソシコ}小賢キ人ハ部屋ニ迄ニ來リシ、磨ヤ其人ニ迄彼レカ唯五ヲ與ヘシ處ノ磨ヤノ外、陪審官ノ各ノモノ、手ニ迄十ノ金ノ「グロイニー」ヲ滑ラセシ、

(譯)書記カ總テノ人々ニ普通ノ誓ヲ爲サシメタルヤ否ヤ、直チニ熟練拔ケ目ナキ徒コノ室内ニ入り來リテ、磨ヤニハ五、ギニー「其他ノ陪審官ニハ十、ギニー」ノ金貨ソツト贈ヒシ、

如何ニ多ク汝ハ得タ乎ト、其ノ次ノ隣人ニ迄磨ヤハ耳語セシ、

(譯)汝ハ幾許ノ金ヲ得タル乎ト磨挽キハ隣席ノ人ニ密カニ問フタリ、

十箇ト、後者ハ云ヒシ、

(譯)ギニー十箇ナリト答ヘタリ、

磨ヤハ其時ニ於テヨリ遙カ何物ヲモ云ハサリシ○公事ハ原告人ノ評議ニ依テ開カレシ、而シテ彼ノ惠ミニ依テ引カレ能ヒシ處ノ證據ノ紙片ノ總テカ携ヘ出サレシ、

(請)磨ヤハ其時ハ別ニ何シニモ云ハサリシ○謂訟ハ先ツ原告人ノ事ニ付テ始マリ、而シテ原告ノ利益トナル可キ証憑書類ハ凡テ差シ出サレタリ、ヨリ若キ兄弟ハ裁判官ノ如ク總テ澤山賄賂サレタル證人及ヒ狀師ノ大ナル數ヲ以テ豫備サレテアリシ、○證人ハ彼ラカ同一ノ郡其處ニハ兄カ死去セシ處ノ同一ノ郡ニ於テ在リシ、而シテ彼ノ最後ノ尸ノ埋葬ヲ見タリシヲ口供セシ○評議員ハ其集マリタル證據ノ上ニ辯論セシ、而シテ各ノ事ハ尙ホ若キ弟ノ惠ミニ於テ充分ナル糊ヲ以テ行キシ○裁判官ハ大ナル沈黙及思考ヲ以テ証左ヲ合算セシ○彼ハ云ヒシ「而シテ今陪審官ノ紳士ヨ、一緒ニ汝ヲノ頭ヲ置キ、而シテ汝ラカ丁度思フデアロウ如ク汝ヲノ判斷ニ於テ携ヘ來レ」

(請)被告ナル弟ノ方ハ裁判官同様ニ澤山ノ賄賂ヲ贈リタル證人及ヒ代言人ノ數人ヲ備ヘ居レリ、○被告ノ証人ハ被告ノ兄ノ死亡シタル同一ノ郡中ニ居住シタリ又其死骸ノ埋葬ヲ見タリト申立テタリ○評議員ハコノ澤山ノ証據ヲ土臺トナシ尙ホ辨論補綴シ裁判ノ模様ハ弟ノ勝利トナルヘキ充分ノ勢力テアリシ○沈黙沈重充分ノ思慮ヲ廻ラシテ證據ヲ考計シ○陪審官ヨ、君ラハ熱議ヲ送ケテ汝等ノ意見ニ從ヒ判斷アレヨガシト云ヒシ、彼等ハ唯數分時待チシ、然ルキ總テカヨリ若キ弟ノ惠ミニ於テ決定サレテアリシヲ假定スル處デ、裁判官カ云ヒシ、貴人ヨ、汝等ハ總テ一致シテアル乎、而シテ誰レガ汝等ニ向テ話スルデアロウ乎、

(請)裁判官及ヒ証人等ハ暫ラク待チシカ、ヤガテ陪審官等ハ悉ク弟ノ勝利ト決定シタルナラント想像シテ、裁判官ハ云ケル様方々ヨ、汝等ハ評議一決シタルナラン、雖レガ汝等一同ニ代リテ決議ノ條項ヲ披露スルモノゾト、

余ヲハ總テ一致シテアル、余ヲノ頭人カ余ヲニ向テ話スデアロウト余ハ信スト、一人カ答ヘシ、

(請)一人答ヘテ曰ク吾々ハ總テ一致セリ、吾々ノ首席者其條項ヲ報セント、待テ、貴下ヨ、余ヲハ總テ一致シテアラヌト磨挽キハ答ヘシ、

(請)磨挽キ曰ク待テ諸君ヨ、吾々ハ未ダ全ク一致セサルナリト、何故カ汝ヲ以テノ「ハ何デアアル乎、汝ハ一致セサル」トニ向テ如何ナル道理ヲ持ツ乎ト、甚ダ粗暴ナル語勢ニ於テ裁判官ハ云ヒシ、

(請)何故汝ハ一致セヌ乎、如何ナル理アリテ汝ハ一致セヌ乎、○如何ナル事情アリテ汝ハ一致セヌ乎ト、裁判官ハ磨ヲ勵マシテ云ヒシ、

余ハ種々ノ道理ヲ有ツ貴下ヨ、○第一ハ彼ラハ黄金ノ十ノ廣キ片々ヲ陪審官ノ昂等ノ紳士ノ總テニ迄而シテ只五ヲ余ニ送與ヘテアル、其ハ汝カ知ル不公平テアル○其外余ハ代言人ノ偽リアル推理ニ送爲スヘキ多クノ反對及証人ニ就イテ反對ノ証據ヲ有ツト、磨ヤカ云ヒシ、

(請)磨ヤ答ヘテ曰ク余ハ種々ノ道理ヲ有ツ、判官閣下ヨ、○第一ノ道理ハ他ノ陪審官ハ「ギニー」ノ金貨ヲ受取リタリ、余ハ唯其半數即チ五「ギニー」ヲ受取レリ、コハ汝ノ知ル通り實ニ不

公平ノコナリ。尙ホ其外ニ異論アリ、代言人ノ理論ハ虚偽ナリ、証人ノ証據ハ反對ナリ、此レノ上ニ磨挽キハ論說其ハ裁判ノ斯ル聰明、法律ノ斯ル智識ヲ發見セシ處ノ議論ヲ始メシ、而シテ其ハ裁判官及ヒ全キ裁判所ヲ驚カセシ處ノ斯ル男ヲシキ及ヒ強キ能辨ヲ以テ言顯ハサレシ、

(講)此ニ於テ磨挽キハ酒々タル能辨ヲ以テ裁判ノ誤謬ヲ指摘シ、法律上ノ智識ヲ現ハシ、大ニ滿應ノ人ヲ驚カシメタリ、

演舌者ハ彼ノ権力アル証據ヲ以テ進ミツ、アリシキニ裁判官ハ大ナル驚愕ヲ以テ彼ヲ止メシ

(講)此演舌人ハ酒々トシテ論辨スル最中ニ裁判官ハ大ニ驚キシ彼ノ演舌ヲ遮テ、何處カラ汝ハ來リナセシ乎、而シテ汝ハ誰レテアル乎、

(講)何處ヨリ汝ハ來リタル乎、汝ノ名ハ何ト云フ乎、
余ハ「ウエストシンスター」應ヨリ來リシ、余ノ名ハ「マツシユー、ペール」テアル、余ハ王ノ法院ノ裁判長テアル○余ハ此日汝ノ所置ノ不公平ヲ注目シタリ、其故ニ庶其ハ汝カ保ツヘク絶ヘテ値アルモノテアラヌ處ノ席ヨリ下レ○汝ハ此ノ避ケ難フヘキ事件ニ於テ腐敗シタル黨ノ一人テアル○余ハ此瞬間ニ來リ、而シテ再ヒ越ヘテ詞訟ヲ試ミルデアロウ、

(講)磨挽キ答ヘテ曰ク余ハ「ウエストシンスター」ノ應ヨリ來レリ、余ノ名ハ「マツシユー、ペール」テアル、余ハ最高法院ノ裁判長ナリ○余ハ本日汝ノ裁判ノ不公平ヲ見タリ、汝席ヲ下レ、其

席ハ汝ノ如キモノ、倚ルヘキ處ニアラス○汝モ亦賄賂ヲ受ケテ「柱」クルノ一人ナリ○余ハ直チニ席ニ上リ再ヒ詞訟ヲ審判セン、

夫故「サー、マツシユー」ハ登リシ、彼ノ磨挽キノ衣服及帽子ヲ着シテ更ニ吟味ヲ始メシ、而シテ最モ穿鑿スル所ノ穿鑿ニ迄証據ヲ從ヘシ、彼ハ証人ノ反對ノ証據及代言人ノ偽リタル推理ヨリ明白ナル及ヒ顯著ナル領地ニ迄ヨリ老タル兄ノ券書ヲ爲セシ、眞ノ基礎ニ迄後者ノ凡テノ虚証ヲ解キシ、而シテ眞理及ヒ公道ノ惠ニ於テ充分ナル勝利ヲ得シ、

(講)固テ彼レハ磨挽キノ衣服及ヒ帽子ヲ被テ席ニ就キ更ニ吟味ヲ始メタリ而シテ尤モ推究探問シテ証據ヲ確カメシ、○彼ハ証人反對ノ証ヲ破リ代言人ノ謬レル理論ヲ攪キ、兄ヲシテ領地ヲ得セシメ、被告等虚構捏造ノ根據ヲ破毀シ、眞理公義ノ道ニ於テ大勝ヲ得セシメタリ、

第九十一課

亞米利加ノ旗

彼女ノ山ノ高サヨリ自由ガ空氣ニマテ彼女ノ軍器ヲ廣ゲシ、彼女ガ夜ノ青色ノ禮服ヲ裂キテ而シテ其處ニ名譽ノ星ヲ置キシ、彼女ガ其美麗ナル繪具ヲ以テ天空ノ乳色ノ腹帯ヲ混交セシ、而シテ朝ノ光輝ノ線ヲ以テ其ノ清キ天上ノ白色ニ記セシ、然キニ太陽ニ於テノ彼ノ住家ヨリ彼女ガ彼女ノ驚ノ荷フモノヲ呼ビ下セシ、而シテ彼ノ大ナル手ニマデ、彼女ノ撰ミタ

ル土地ノ標記ヲ與ヘシ、

(講)自由ガ山頂ヨリ其旗ヲ空ニ揚ケタル片夜景奇々ノ中ニ光輝アル星ヲ安置シ又天空ノ朦朧タルモノニ混スルニ純白ノ線ヲ畫シ又旭日ノ線ヲ引ク而シテ天ノ一隅ヨリ自由ガ降り來リテ鷲ノ旗持テ呼ビ其人ノ手ニ自由ガ標ビ定メタル此米國ノ徽章ヲ渡シタリ、

雲ノ尊大ナル王ヨ、其ハ汝ノ王ノ形狀ヲ高ク養フ聲高キ暴風ノ鳴音ヲ聞クタメニ及ビ嵐ノ勇者ガ鬪フキニ、投ケラレタル電光ノ鎗ヲ視ル、而シテ天上ノ雷鳴ノ太鼓ヲ鳴ラス、太陽ノ兒童ヨ汝ニマテ其カ與ヘラル、自由ノ旗ヲ守ルベク硫黃ノ烟ニ於テ漂泊スベク、戰線ヲ彼方ニ防クベク及ビ其混交物ヲシテ勝利ノ注進者ナル軍中ノ雲ニ於テノ虹霓ノ如ク輝カシメヨ、

(講)天上高ク汝ノ王位ヲ定メ風伯鳴動シ迅雷響ク片雷電ヲ見聞スル處ノ威光アル大王ヨ、太陽ノ子息ヨ、自由ノ旗ヲ守護シ戰闘ノ中ニ翹ヘリ戰線ヲ防禦シ且ツ旗ノ模様ハ勝利ノ前兆ナル戰場ノ雲ノ虹ノ如クニ照ラサシメン爲メ此旗ヲ汝ニ與ヘシ、

勇者ノ旗ヨ、汝ノ積カ飛ブデアラフ、高キ希望ト勝利ノ合圖ナリ○合圖ノ喇叭ノ響ガ話シ、而シテ長キ線ガ輝キツ、來ルキニ尙ホ温キ浸シタル生血ガ光ル處ノ銃鎗ヲ曇ラセタ前ニ、各ノ兵士ノ眼ハ汝ノ天ニ象リタル名譽ガ燃ル處ニ麗ハシク向フデアラフ、而シテ彼ノ飛ブ處ノ足歩ガ進ムキニ腕視ヨリ戰及ビ復讐ヲ取ル(デアラフ)

(講)勇者ノ旗ヨ、汝ハバタ／＼ト翻ルナラン、其ハ愉快ナル前途ノ希望ト勝利ノ前兆ナリ○喇

叭ガ進行ノ合圖ヲ報ジ全軍進行スル片ハ敵ノ鮮血ガ未ダ光輝因々タル銃鎗ヲ汚サマルニ兵士ノ眼ハ汝ノ軍器ノ翻ル方ニ向ヒ共進ム片旗アルニ依リテ戰闘常ニ勝ヲ制ス

而シテ聲高キ大砲ノ鳴音ガ荒ラキ混雜ニ於テ戰場ノ叫聲ヲ高メル、而シテ血ニ染リタル刀劍ガ夜半ノ死衣ノ上ニ焰ノ射撃ノ如ク上リ且ツ落ルキニ然ルキニ汝ノ現象ノ閃光ガ輝クデアラフ、而シテ屈ム所ノ敵ガ死亡ノ其愛スベキ使者ノ下ニ打ツ所ノ各ノ勇氣アル腕ノ下ニ恐縮スルデアラフ、

(講)大砲ハ戰場ニテ響キ鮮血滴ル刃ハ夜半死者ノ白衣ニ火光ノ映スルガ如ク戰闘ナル片汝ノ天休ニ象ルノ旌旗翻テ光輝ヲ放ツベシ、而シテ敵軍ハ正々堂々對ル處敵ナキ軍旗ノ下ニ立チテ進撃スル勇者ノ足下ニ屈伏スベシ、

海ノ旗ヨ、大洋ノ波浪ニ於テ汝ノ星ガ勇者ノ上ニ輝クデアラフ、死亡ガ強風ニ於テ走リツ、脹レタル帆ノ周圍ヲ暗ク過ギ而シテ驚愕サレタル波浪ガ纏脇ノ卷ク所ノ木匡ノ前ニ粗暴ニ突返ルキニ海ノ各ノ死スル所ノ彷徨者ガ一時ニ天及ビ汝ニマデ着ルデアラフ、而シテ彼ノ閉ル所ノ眼ノ上ニ勝利ニ於テ飛フ汝ノ美觀ヲ視ルベク笑ミルデアラフ、

(講)海上ノ國旗ヨ海ノ波上ニテ汝ノ星ハ勇者ヲ照ラスナラン、暴風吹キ來リ大帆船ニ翻ラサレ死スルヲ將サニ近ニアラントスル片或ハ怒濤來リテ船体ヲ破壊セントスル片必死トナリタル水兵共ハ直チニ天ヲ望ミ汝ヲ望ミ今正サニ瞑目セントスル眼ヲ以テ汝ノ美ナルヲ見テ笑ヒ喜ブベシ、

神使ノ手ニ依テ勇氣ニマデ與ヘランナル自由ノ心ノ希望及ビ住家ノ旗ヨ、汝ノ星ハ天上ノ家ヲ照ラレタ、而シテ總テ汝ノ色ガ天ニ於テ顯レテアリシ、其旗ノ表面ヲ永久浮マセヨ、余輩ノ前ニ倒レル外何所ニ敵ガ呼吸スル乎余輩ノ足ノ下ニハ自由ノ地ヲ以テ而シテ自由ノ旗ガ余輩ノ上ニ流レル所テ、

(蠶)自由ノ胸ノ希望ト棲所ナル旗ハ天使ヨリ勇者ニ授ケラレタリ、汝ノ星ハ天上ノ家道モ照シ汝ハ彩色ハ天ニアリ、此旗旗ノ布ハ永遠ニ傳フメシ余輩ノ前ニ懸レズシテ尙生存シテ呼吸スルノ敵ハ何處ニアルヤ、余輩ハ自由ノ土地ヲ踏ミ自由ノ旗ヲ持ツモノナリ、

第九十二課

蠶

支那人ノ職業ノ最モ緊要ナル技ナル蠶糸ノ製造ノ或ル次第ヲ與フルヘク勸ムルヲニ於テ、注目サルヘキ最初ノ点ハ、仕方其ニ於テ蠶カ養ハルノ處ノ仕方デアアル○其等其人ハ此事業ニ於テ關ハリテアル處ノ其ヲハ男及女ノ繭ノ或ル數ヲ撰フ○彼ヲハ繭其ハ男ヲ有ツ處ノ繭ハ強ク各ノ端ニ於テ甚タ尖リテ、及ヒ其レ其ハ女其ハ厚ク圓ク及ヒ和カナル處ノ女ヲ有ツ處ノ其ヨリ尙ホ小ナル者デアアル故ニ、性ヲ區別スルヲニ於テ一ノ困難ヲ持タヌ、

(蠶)支那人職業ノ尤モ緊要ナル一部ノ蠶糸製造ノ模様ヲ既カントセハ先ツ注目スヘキ點ハ蠶ノ殖育法ナリトス○養蠶家ハ男女兩調ノ若干ヲ區別ス○其蠶ハ強クシテ兩端銳ク、女

蠶ヨリ小ナリ、女繭ハ厚クシテ圓ク且和カナリ、故ニ男女兩性ヲ區別スルハ容易ナリ、十五或ハ二十ノ日ノ時限ノ終リニ於テ蠶蛾ハ繭ヨリ出來ル○彼ヲハ流動物其ハ繭ノ一部ヲ溶解スル處ノ流動物ヲ最初投グルヲニ依テ彼ヲ自身ヲ自由ニス○總テノ蠶蛾其ノ翼ハ彼ヲノ生出ノ時ニ於テ潰ゲラル、處ノ總テノ蠶蛾ハ要用トシテ關係サル、然ルニ其ヲ其ハ縮ミタル翼ヲ持チ、眉毛ヲ持タヌ、而シテ綿毛ナシニアル處ノ其ヲハ不用ト思ハレ、而シテ直チニ破壊セラル、

(蠶)十五日乃至二十日ノ後チ、蛾ハ繭ヨリ出來ル○其出ルヤ蛾ヲ溶カス處ノ液汁ヲ出シ夫ヨリ食破リテ外面世界ニ突出スルナリ、○出生ノ際其蠶ヲ擴張スル處ノ蛾ハ要用トシテ保存スレモ、縮ミタル翼ヲ有シ、眉毛ナク又綿毛ノナキ蛾ハ不用トシテ直ニ棄ラル、

一日ノ後男ノ蠶蛾ハ置キ替ヘラル、而シテ各ハ剛キ紙ノ一葉ニ於テ置カレタル所デ、女ハ彼ヲノ卵ヲ置クヘク始ムル、北ノ此ノ絹製造地方ニ於テ、余ハ想像ス、時候ノ殿ナルトニ迄屬スル處テ織物ノ片々カ紙ノ數葉ノ代リニ用ラル、○卵其ハ一ノ蠶蛾カ置ク處ノ卵ノ數ハ一般ニ五百テアル、而シテ左様ニ大ナル勤メヲ仕遂ケルヘク彼女ニ向テ要セラレタル時限ハ凡ソ七十四時デアルト余ハ信ス○女ハ屢バ彼ヲカ彼ヲノ卵ヲ置ク後チ直チニ死ス、而シテ男ハ長ク彼ヲニ生キ殘リナサヌ、

(蠶)一日ノ後男ハ他ニ移シ而シテ女蛾ヲ厚紙ノ上ニ置ケハ彼等ハ直ニ卵ヲ産ム○北方ノ養蠶地ニ於テハ氣候苦寒ナルノ故カ紙ヲ用ヒスシテ織物ノ片ヲ以テセリ○一蠶カ産出スル

卵ハ一般五百ナリ而シテソノ産卵時限ハ殆ンド七十四時間ヲ要スト余ハ信用ス○女蛾ハ卵ヲ産シテ直ニ死ス而シテ男蛾ト雖モ長ク生存セズ、

蠶ノ卵其ハ白ミガ、リタル或ハ生白キ黍皮色ノモノテアル所ノ蠶ノ卵ハ芥子ノ種ノ一粒ヨリヨリ大キクアラヌ○十八日老ヒタルキニ卵ハ注意シテ泉水ヲ以テ洗ハル、○剛キ紙ノ一葉或ハ織物ノ片、其ノ上ニ彼等ガ置レシ處ノ而シテ其ニ迄テ彼等ガ粘ル所ノ剛キ紙ノ一葉或ハ織物ノ片ハ木或ハ陶器ノ皿ニ於テ保タレタル泉ノ水ヲ通シテ甚タ和カニ引カル、○秋ノ月ノ間紙ノ數葉或ハ織物ノ數片カ地平ノ位置ニ於テ置カレタル竹ノ捧カラ後ロ合セニ下ケラル、所テ卵ハ冷カナル室ニ於テ注意シテ保タル、

(講)蠶卵ハ白ミカ、リタルカ又ハ生白キトテリコ皮ノ色ニシテ芥子ノ一粒ヨリ大ナラス○十八日后ニ卵ハ注意シテ清水ヲ以テ洗フ○其方ハ卵ヲ産ミ付ケタル厚紙或ル織物ノ一片ヲ木或ハ陶器ノ皿ニ入レタル清水ヲ通シテ引ク○秋ノ間ハ種紙カ冷室ニ丁寧ニ置カレ而シテ地平線ニ平行ナル竹棒ニ掛ケラル、

支那ノ年ノ十月其ハ余輩ノ十二月ト一致スル所ノ支那ノ十月ニ於テ紙葉ハ捲キ上ケ而シテ然ルキニ室其ハ能ク掃カレテアル而シテ害ナル勢力ノ總テヨリ自由テアル所ノ室ニ於テ置カル、○十二月第三日ニ於テ卵ハ再ヒ洗ハレ而シテ然ルキニ乾カスベク空氣ニ迄晒サル、(講)支那ノ十月(陰曆ナルヲ以テ)即チ吾々ノ十二月ニ於テ種紙ヲ捲キ上ケ後チ掃除シタル而シテ凡テ外界ヨリノ害障ヲ受ケサルノ室内ニ置ク○十二月三日ニ再ヒ之ヲ洗ヒ后チ空

蠶ニ晒シ乾カス

年ノ春ニ於テ卵ハ産出スヘク今マ用意シテ有ル所テ紙葉ハ席ノ上ニ置カル、而シテ各ノ席ハ搗ニ沿フテ排列シタル棚ノ續キヲ保ツ所ノ能ク掃カレタル及ヒ能ク暖メラレタル部屋ニ於テ竹ノ棚ノ上ニ置カル、○棚ハ香ノヨキ木ハ目的ニ向テ不適當トシテ特別ニ避ケラル、所テ竹木其ニ付テ一ノ香ヲ發セヌ所ノ竹木ヨリ殆ント替ラスニ作ラレテアル

(講)春ニ卵ハ漸ク孵化セントスルニ當リテ席上ニ種紙ヲオク、コノ席ハ能ク不潔ヲ去リ暖メタル室内ノ壁ニ沿フテ列シタル數多ノ竹棚ノ上ニ置ク○棚ニハ香ヲ發スル木ハ不適當ナリ故ニ香ヲ發セヌ處ノ竹ト木ヲ以テ常ニ造ラル、

彼等ノ出生ノ時ニ於テ虫ハ黒ク及ヒ幅ニ於テ毛髮ニ越ユルベク如ク左様ニ辛フシテ小ナルモノテアル○彼等ノ甚タ小ナル大サニ迄テ歸スル所テ彼等ノ委任ニ於テ其等ハ甚タ小ナル片々ニ迄テ桑樹ノ葉其ノ上ニ彼等ガ養ハル、所ノ桑樹ノ葉ヲ切ル○是レハ葉カ破ラレ得ヌコトホト左様ニ甚タ鋭キ小刀ヲ以テ爲サル、而シテ隨フテ出來ル丈ケ左様ニ許多ノ汁液ヲ保ツ

(講)出生ノ際虫ハ黒クシテソノ大サ削毛ニモ及バス○コノ虫ノ甚ダ小ナルヲ以テコレヲ飼フ人ハソノ食物ナル桑葉モ亦細ニ切ラサル可カラヌ○モシ細ニ切ルノ際葉ヲ破ルノ恐アルヲ以テ鋭刀ヲ以テ之ヲ切り務メテ汁液ヲ搾リ出サヌ様注意ス

虫ハ全ク若クアルキニ彼等ハ廿四時間ニ於テ四十八度ヨリヨリ少カラズ養ハル、時ノ進ミ

ニ於テ彼等ノ食事ハ廿四時間ニ於テ三ニマデ減セラル、而シテ彼等カ彼等ノ充分ナル生長ニ迄テ達シタトキニ彼等ハ只々日ニ於テ三或ハ四度ヲ得ル、折々——詳言セハ第一ノ月ノ間々一回或ハ二回——虫ハ綠豆ノ粉黑豆ノ其レ及ヒ米ノ其ヲ以テ善ク混セラレタル桑樹ノ葉ヲ以テ養ハル、此混交ハ虫ニマデ冷ヤスヲ及ヒ清淨ニスルヲテアルベク及ヒ強キ及ヒ光アル絹ノ産出ニマデ氣付ケルベク假定サル、

(講)虫ノ稚キ片ハ二十四時中ニ四十八度ヨリ少ナカラザル食事ヲ取ル稍ヤ長スルニ及ンテ餌食ニ二十四時中ニ三十度ニ減ス而シテ成熟シタル片ハ只一日中三四度ノ食ヲ取ル○生出ノ當月一二回ハ綠豆黑豆及米ノ粉ヲ混シタル桑葉ヲ與フ○如何トナレハ虫ヲ冷シ及ヒ清淨ニシ及ヒ強キ光澤アル絹ヲ得ン爲メナリト云フ

總テノ他ノ動物ノ如ク是等ノ虫ハ休ミノ彼等ノ時ヲ持ツ而シテ是等ノ時限ニ迄テ支那人ハ區別スル所ノ名ヲ與ル○初ノ睡眠其ハ出生後第四或ハ第五日ニ於テ起ル所ノ初眠ト名附ケラル、而シテ只々一日ヲ續ケル○第二ノ睡ハ第八或ハ第九日ニ於テ起ル第三ノ眠ハ第十四日ニ於テ起ル第四及ヒ終ノ睡眠其ハ第二十二日ニ於テ或ハソノ邊テ起ル所ノ第四及ヒ終リノ睡眠ハソレノ永キ遠久ノ事情ニ於テ大眠ト名附ケラル○各ノ時限ノ近キ近寄ニ於テ虫ハソレノ食欲ヲ失フ○其ハソレノ体ノ上部分ヲ立テル而シテ此位置ニ於テ眠ル

(講)總テノ他ノ動物ノ同シク此等ノ虫ハ睡眠ノ時ヲ要ス而シテ支那人ハ是等時限ニ區別シタル名ヲ附セリ○出生後四五日ニ於テ起ル睡眠ヲ初眠ト名ケ只一日間ノ眠ノミ○第二眠

ハ八日或ハ九日目ニ起リ第三眠ハ十四日目ニ起ルニ二十日目或ハソノ前後ニ於テ起ル第四眠即チ終眠ハソノ時間甚ダ永キヲ以テ之ヲ大眠ト名ケ○睡眠時間ノ近ク片ニハ食物ヲ斷チ○休ノ上部ヲ起シテ眠ル

睡眠ノ各ノ時限ノ間、ハ新ナル皮ハ充分熟シテアル迄テ休ミノ有様ニ於テ續ケル所テ其皮ヲ投ゲル○其ハ其レノ其部分其ハ頭ヲ覆フ所、而シテ其ハ破レテアル所ノ其部分ニ於テ動出ス、ニ依テ古キ皮ヨリ其自身ヲ除ク○時トシテ虫ハ古キ皮ヨリ其体ノ終リヲ自由ニスルヘク其レノ無能ノ事情ニ於テ死ス○皮ハ落サル、所テ、虫ハ甚ダ速ニ大サ及ヒ強サニ於テ生長ス

(講)新皮成熟ニ至ルマデ眠ニツキ其熟スルヤ否、眠ヲサマシテ舊皮ヲ脱棄ス○皮ハ頭ヲ覆フ所ノ部分ヨリ破ル故ニソノ破口ヨリ体ヲ動搖シテ自身ヲ脱出ス○時トシテハ全ク舊皮ヲ脱シテ少シモ休ニ殘ラサシメントシテ其ノ方法ヲ得ス苦動シテ死スルヲアリ○脱皮后ハ虫ノ大サ強サノ増スヲ速ナリ、

休ミノ連續シタル時限ノ間ニ、其所ニ一般ニ三日或ハ四日ノ間カアル、其間ニ是等ノ小ナル動物カ最モ食テ食フ○四日或ハ五日其ハ直ニ大眠カ從フ所ノ四日或ハ五日ノ間、彼等ハ是迄テ顯ハシタヨリモ食物ニ向テヨリ大ナル食欲ヲ持ツ○彼等ハ三十二日ノ齡ニ達シタキニ、彼等ハ各ガ長ニ於テ凡ソ「インチ」及ヒ人ノ小指ノ如ク欲ント左襟ニ厚クアル所テ充分生長シテアル

(繭)毎々ノ休眠ノ時限ハ其間大概三四日アリテ其ノ間ニ深山ノ餌ヲ食フ○大眠ノ四五日ヨリハ餌食ヲ食フノ尤モ多量ナリ○三十二日ヲ経過スレハ則成熟シタル虫トナリ各虫長サニ「インチ」許ニシテ殆ント入ノ小指ノ大サトナル

虫ハ漸々大サニ於テ増シツ、アルキニ、彼等ヨリ多クノ室ヲ彼等ニ與ヘルヘク如ク、左様ニ種々ノ入物ニ迄テ定時ニ分タレテアル○其ハ充分ナル生長テアルノ今ハ虫、其ハ前ニ微白色ノモノテアリシ所ノ虫ハ、琥珀ノ其ニ類スル所ノ色ヲ取ル○此時限ニ於テ彼等ハ食物ノ分前ヲ取ルヘク止メル、而シテ柵或ハ柵其ニ於テ彼等ノ口ヨリ絹ヲ紡クベク始メル、

(繭)虫力段々ト生長スルニ從テ虫ニ場所ヲ既ク與フル爲メニ數多ノ入レ物ヲ次第ニ増加シテ虫ヲ分チテ置ク○充分ノ成長ニ至レバ、微白色ノモノ變シテ琥珀色トナル○然ル片ニ食物ヲ食フヲ止メ柵カ柵ノ上ナルカレラノ居所ニテソノ口ヨリ絹ヲ紡カントス

紡クノニ於テ、彼等ハ最初一方ニ迄テ、而シテ然キニ他ニ迄テ頭ヲ動カス、而シテ全体ガ繭ニ迄テ捲カレタ迄テ運動ヲ續ケル○時其ハ虫ガ此ノ業ヲ仕遂ルヘク要スル所ノ時ハ、三日ヨリ五日迄テ、アルト余ハ信用ス、而シテ其ハ繭ニ於テ其自身ヲ取圍ンダヤ否ヤ、其ハ昏睡病ノ有様ニマテ落チ、其皮ヲ投ゲ、而シテ終ニ蛹トナル

(繭)虫カ系ヲ紡クニハ、初メ一方ニ頭ヲ動カシ、後反對ノ方向ニ動カス、如斯クシテ全身繭ニ取捲カル、迄ハ運動ヲ止メズ○繭ヲ完成スルノ業ハ三日ヨリ五日迄テ要スト余ハ信ズ、如此ク繭ヲ以テ身ヲ取圍ムヤ否ヤ、昏睡ノ有様ニ陥リ、其皮ヲ投ゲ、終ニ蛹トナル(蛹トナル前ノ

虫ノ状態ナリ

飼養人ハ然キ竹ノ柵其ノ上ニ繭カ横ハル所ノ竹ノ柵ヲ繭カ其ノ熱ニ依テ打破ラレ得ルノ爲ニ木炭或ハ木ノユルキ火ニ近ク置ク、然ラサレハ其等ハヨリ多ク三週間ニ於テ彼等ノ牢獄ヨリ破レ、而シテ「イマゴ」ノ形チニ於テ顯ハル、デ有フ——虫ノ生涯ノ最後完全ノ様、

(繭)然ル片ニ飼人ハ繭ノ載セタル竹ノ柵ヲ木炭或ハ木ノ段ナル火ノ上ニオキ、其熱ニ依テ以テ繭ヲ殺ス、然クセサレハ以后三週間ニ於テ虫ハ繭ヲ破リ「イマゴ」ノ形ヲ以テ見ハレ出ツ、コノ「イマゴ」ノ形ハ昆虫ノ最后亦變化ヲ受ケサル形ナリ

繭カ打破ラサレタ所テ、繭カ柵ヨリ移サレ、而シテ籠ノ中ニ置カル、○業ニ向テ注意シテ撰マレタル女及ヒ小娘等ハ今マ繭ヲ解ク——取扱其ハ彼等カ沸ク所ノ水ニ於テ彼等ヲ置クノニ依テ容易ナラシムル所ノ取扱○是等ノ働手ハ一様ナル大サノ糸ヲ作ルノニ付テ、及ヒ透明清潔及ヒ光澤アルモノニ彼業ヲ爲スノニ付テ、充分適當ナル手ニ付テ、功者テ及ヒ事務ニ付テ達者テアテバナラヌ

(繭)繭カ殺サル、ヤ繭ハ柵ヨリ籠ニ移サル、○業業熟練ナル女或ハ娘ヲハ、繭ヲ解ク、ソノ法ハ湯ニ繭ヲ浸スノニ依テ容易、其ノ仕事ヲナス○コレヲノ仕事者ハ手ノ働作敏捷ニ、事務ニ、達者ニシテ一様ニシテ不揃ノナキ糸ヲ作り、透明清潔光澤ヲ生セシムルノニ適當シタルモノナラザル可カラス

繭ハ沸ク所ノ水ニ迄テ置カル、キニ外側ノ層リ、其ハ絹ノ皮則チ殺ト名附ケラル、所ノ外

部ノ層リハ最初解カル、○女或ハ小娘ノ他ノ組其人ハ一様ニ達者テアル所ノ女或ハ小娘ノ他ノ一組ハ然キニ絹ノ軟物、則チ肉ト名付ケラレタル繭ノ内部ノ層リヲ解クヘク勤メラル、○日ノ進ミニ於テ一ノ女ハ重サニ於テ絹ノ四「テール」ヲ解キ能フ○最達者ナル働手ガ五或ハ六「テール」ノ重サヨリヨリ多クチアチラニ向ケ能ハスト余ハ信用ス

(繭)力湯ニ浸サル、片ニ外部ノ層リ即チ絹ノ皮又ハ殻ト名ケラルモノハ初ニ解カル、○女或ハ娘ノ他ノ一組ハ繭ニ於テ一様ニ達者ナルノカ絹ノ軟部即チ肉ト名附タル繭ノ内部ノ層リヲ解クコトニ從事ス○一日一女ガ重サ四「テール」ヲ糸ヲ解ク○最モ達者ナルモノト雖ルモ重量五六「テール」ヨリ多クチ解キ能ハスト余ハ信ズ

出精ナル働手、其人ハ事務ノ先生テアル所ノ出精ナル働手ハ十八或ハ十九日ノ進ミニ於テ一季則チ絹ノ収納時ヲ了ルデ有フ○通例則チ第二等ノ働手ハ業ノ同一ノ高チ通シテ得ルヘク二十四或ハ二十五日ヲ要スルデ有ラウ○長キ白キ及ヒ輝ク所ノ繭ヨリ絹ノ小ナル及ヒ善キ糸ガ得ラル、其等其ハ大キク色ニ於テ針鈍キ及ヒ織ルコトニ付テ強クアラヌ所ノ其等ヨリ、粗ナル糸ガ得ラル、○此粗ナル糸ハ織物其ヲ以テ衣服カ裏付ケラル、所ノ織物ヲ作ルコトニ於テ用ヒラル、○繭ハ秀テタル種類ノ食物トシテ働手ニ依テ食ハル、

(繭)出精ナル働手ニシテ事務ノ先生ナルモノハ十八九日ニ於テ一季即チ絹ノ収納期ヲ了ルテアラウ○通例即チ二等ノ働手ハ前者ト同シ業ヲナサントセハ二十四五日ヲ要スナラシム○長クシテ白ク輝ク繭ヨリ糸ノ小ナル善キモノヲ得ベシ、大キクシテ色純潔ナラズ組合

セ堅固ナラサルモノヨリ粗剛ナル糸ヲ得○此ノ粗糸ハ衣服ノ裏用ノ織物トナス可シ○繭ハ働手食フテ美味トナス

第九十三課

「ラトリア、ド、チーヴハン」

勇者ノ勇氣アル功業ガ總テノ時代、及ビ國ノ記者ニ依テ、余輩ニ迄デ下ニ渡サレタ面シテ殆ンド各ノ國人ハ如斯ニシテ一或ハヨリ多クノ恐レザル精神其人ハ勇氣及ビ剛強ノ或ル驚クベキ働キニ依テ歴史ノ年代記ニ於テ名高クナリシ處ノ一、或ハ尙多クノ恐レザル精神ノ名及ヒ名譽ヲ永ク存シタ、

(講)勇者ノ大事業ハ歴代及諸國ノ歴史家ニ因リテ吾々ニマテ知ラシメラレタリ、如斯クニシテ歴史ニ因リテ勇氣剛強ノ事業ヲナシ名ヲ千歳ニ止メタル大膽不屈ノ氣象ヲ有スル人ノ名譽ヲ存スルコトヲ得ルナリ、

「ナポレオン」ノ軍勢ニ於テ精兵ノ「レジメンド」(隊名)ノ仲間ナル「ラトリア、ド、チーヴハン」ノ名ハ、モノ其ハ高慢ヲ以テ佛蘭西國民ニ依テ尊敬サル、處ノ、及ビ其軍勢ノ歴史ニ於テ高ク形ツクル處ノモノデアル、

(講)「ナポレオン」ノ部下ノ精強ナル「レジメント」ノ一員「ラトリア、ド、チーヴハン」ハ「佛蘭西」人ノ世人ニ誇示スル所ノモノニシテ、戦争史中實ニ傑出ノ名士ナリ、

彼ノ死ノ後多クノ年ニ向フテ彼ノ古キ「レシメント」ノ伴侶ガ、彼等ノ日々ノ名簿ノ讀上ケ
ニ向フテ整列セシキニ、彼ノ名ガ規則立チテ呼バレシ、

(譯)此ノ名士ノ死後多年間、コノ「レシメント」ノ舊友ガ彼等ノ日々ノ名簿點呼ノ爲メニ整列
スル片ニ、必ズ「ラトリアド」ト「ヴァン」ノ名ヲ呼ビタリ

然ルキ列スル所ノ伍長ガ前ノ方ニ歩ミシ、而シテ命令スル所ノ士官ニ挨拶スル所デ、高キ聲
ヲ以テ名譽ノ戰場ニ於テ死セリト言ヒシ「ノ其ガアリシ、

(譯)然ル後隊列中ノ伍長進ミ出テ指揮ノ士官ニ挨拶シテ、高聲ニ、名譽ノ戰場ニ於テ死シタ
リト呼ブ例トス、

外國人ニ迄デ、此ノ日々ノ事變ハ驚キ勵マス外ハ能ハザリシ、併シナガラ軍勢ノ兵卒及ビ事
情其ハ奇異ナル所爲ヲ生ゼシ處ノ事情ノ智識ヲ持ツ所ノ總テノ他ノモノニ迄デ名譽ノ戰場
ニ於テ死セリナル言ハ感スル所ノ意味ヲ持チシ、而シテ勇氣アル兵卒其人ハ如斯ニシテ高
慢ニ譽メラレシ處ノ勇氣アル兵卒ニ迄テ流シ返スベク尊敬ノ暫時ノ思考ヲ引起コセシ、

(譯)外國人ニハ如斯ク日々ニ死者ノ名ヲ呼ビ云々スル「ハ唯不審ニ思ハシムル」ミニシ
テ何ノ用モナシ、然レハ此ノ軍隊ノ兵士、及ビ此奇異ナル事件ヲ生ゼシ處ノ事情ヲ知ル人ハ
「名譽ノ戰場ニ於テ死セリ」ナル語ヲ聞テ實ニ感動シ、而シテ又如此ク非常ノ敬慕ヲ得シコノ
勇氣アル戦死者ヲ追慕スベキ一時ノ思考ヲ促セシ、

トハ雖モ此名譽ハ能ク値ヒシタルモノデアリシ、○「ラトリアド、チーヴハン」ハ軍勢其ニ

向テ彼ガ教育サレシ處ノ軍勢ニ一千七百六十七年ニ於テ入込ミシ、○著シキ區別ヲ以テ勤
ムル所デ、彼ハ屢バ昇進ニ向フテ名附ケラレシ、然レモ一様ニ精兵ノ伴侶其ハ彼ノ大望ノ廣
ガリテアルベク見ヘシ處ノ精兵ノ伴侶ヲ命令スベク満足デアル所デ總テ如斯キ名譽ヲ嫌ヒ
シ、

(譯)如斯キ名譽ヲ受クルハ相當ノ「ナリ、○「ラトリアド、チーヴハン」ハ一千七百六十七年ニ
於テ、彼ハ軍事ノ教練ヲ受ケタルヲ以テ軍隊ニ入込ミシ○卓越ノ功勤ニヨリ屢々早進ヲ命
セラレシ、然レハ彼ハ此ノ昇進ノ名譽ヲ辭退シタリ而シテ唯精兵ノ一隊ヲ指揮スレバ己ノ
本望トナシタルガ如シ、

彼ノ經歷ニ於テ或ル時限ニ於テ精兵ノ伴侶ノ數ガ一隊ニ於テ集メラレシキニ、彼ハ只「ダ」キ
「ヤブチン」ノ列ヲ保シト雖モ八千人ノ命令ニ於テ置カレシ、此レガ佛蘭西ノ第一精兵トシテ
知ラルベシ彼ヲ引起セシ、

(譯)カレノ生涯ノ或ル時、精兵ノ數隊ヲ合シテ「トナセ」片、カレハ只「ヤブチン」(一隊ノ
長)ナリト雖モ八千人ノ指揮長ニ命セラレシ、○此レ「佛蘭西」ノ最精兵ト知ラレシ原因ナリ、
友人其人ハ働キノ末來ノ戰場ノ近邊ニ於テ生活セシ處ノ友人ニ迄テ訪問ニ於テノ間、彼ハ
時機ガ要スルデ有フナラバ斯クノ如ニシテ得タル智識ノ善キ用ヒテ爲ス「ノ目的ヲ以テ、
圍繞スル所ノ國ノ風土記ヲ勉強スル」ニ於テ彼自身勤メシ、

(譯)以後戰場トナルニキ近邊ニ住スル友人ヲ訪フタル片其ノ風土ヲ學ビ若シ時機到リテ

此ノ所ニ戰爭起ラバ軍事上ノ參考ニ供ヘ智識ノ活用ヲ働カントセリ、
彼ハ彼ノ驚惶ニ迄テ彼ガ「チーストリア」ノ軍勢ノ一部分ハ、佛蘭西ノ軍勢ガ然ルキニ仕遂
ルベク進ミニ於テアリシ肝要ナル運動ヲ防グ爲メニ山ノ路ヲ所有スルヲ目的ヲ以テ速ニ
前方ニ押シツ、アリシヲ知リシキ、辛フシテ、彼ノ注意ヲ充分ニシタリシ、

(講)彼ハ其視察ヲ僅カニ終ルカ終ラザルニ、豈ニ料ランヤ「オーストリア」ノ一軍或ル山路ニ
標ラントシテ、今正サニ進軍セル佛蘭西ノ大軍ヲ妨ケントスルヲ聞キ得タリ、

「ラトリア、ド、チーヴハン」ハ「チーストリア」人ハ只ダ數時間ノ隔リニアリシヲ、及ビ彼等
ハ点其ニ迄テ彼ガ止リツ、アリシ處ノ點ニ於テ過ルデ有フヲ知リシ、○彼ハ奪ハルベク
企テ爲サハリシ、而シテ直ニ道ニ向フテ出發セシ、○彼ハ其ガ凡ソ三十人、其人ハ道ノ入口ニ
於テノ強キ塔ニ於テ置カレシ處ノ凡ソ三十人ヨリ成立スル所ノ小ナル護衛兵ニ依テ守護サ
レシヲ知リシ、而シテ彼ノ目的ハ彼等ノ危難ノ預報ヲ是等ノ人ニ與ヘルベクアリシ、

(講)「ラトリア、ド、チーヴハン」ハ「オーストリア」人ハ只數時間ノ内ニ達シ得ベク而シテ彼ガ
滯軍シタル場所ヲ過ルデアラウヲ知リシ、○彼レハ其場所ヲ掠メラル、ヲチ好マズ、直チ
ニ其道ヘト發シタリ○「佛蘭西」ノ守兵ハ只三十人ニシテ道ノ入口ニ於ケル強キ塔ヲ護ル
小隊アリ、故ニ彼ハ是等ノモノニ其ノ危難ナルヲ報ゼント欲シタリ、

塔ニ於テ到着スルヲニ於テ、彼ハ守兵ハ「チーストリア」人ノ進行ニ付テ聞クヲニ於テ逃レ
タリシヲ、及ビ彼等ハ本源ノ順序ニ於テ總テ卅ノ銃砲ヲ彼等ノ後ニ殘シタリシヲ發見セ

シ、

(講)塔ニ達スルヤ守兵ハ既ニ「チーストリア」人ノ進行ヲ聞キ、三十ノ銃砲ハ一度モ手ニセズ、
案トノ順序ニ置キ逃ケ去リシヲ見タリ、

「ラトリア、ド、チーヴハン」ハ此發見ニ依テ暴烈ニ爲サレシ、○忙シク建物ヲ探シ廻ル所テ
彼ハ異怯ナル兵士ハ去ルヲ前、軍器ノ大ナル部分ヲ打壞シタリシヲ發見セシ、事實其ハ
非常ナル心配ノ瞬間ヲ彼ニ引起セシ處ノ事實ナリ○然レ然キ恐レナキ決定ヲ示ス所ノ容貌
ヲ以テ彼ハ中央ノ大ナル入口ヲ閉ヂシ而シテ手ニ於テアリシ如クスノ如キ物品ヲ以テ其ヲ
擁護セシ、

(講)彼ハ守兵ノ遁亡ヲ見テ大ニ激シタリ○遺シク塔ノ周邊ヲ探ルニ當リテ橋兵ハ遁亡前
軍備ノ過半ヲ打チ破リシヲ見テ、一時大ニ落膽憂慮シタリ、然レ直ニ心ヲ決シテ大膽ナ
ル容貌ヲ示シ、中央ノ重ナル入口ヲ固メ周リニ有リシ處ノ軍器ヲ以テ之ヲ守リタリ、

彼ハ冷淡ニ鉄砲ノ總テニ粧藥シ、而シテ牆眼其ハ道ヲ支配セシ處ノ、而シテ其ヲ通シテ敵ハ
進行セチバナラヌ處ノ牆眼ニ近ク彈藥ノ廣大ナル供給ヲ以テ彼等ニ置クベク進ミシ、○彼
ト共ニ若干ノ糧ヲ持ツ所テ、彼ハ心カラ食ヒシ、而シテ然レモ靜ニ事變ヲ待チシ○彼ハ實ニ
「チーストリア」人ニ逆テ獨リ塔ヲ防守スベク決定セシ、

(講)彼レハ平氣ニ鉄砲ノ總ニ丸ヲ込メ、牆眼ノ近邊ニ澤山彈藥ヲ備ヘテ置キタリソノ牆眼
ハ道ヲ取テ下ス處ニテ敵ノ必ズ通行セザル可カラザル處ナリ、○カレハ携帯セシ食物ヲ食ヒ

而シテ、オーストリアノ進行ヲ待チタリ。○カレハ賢ニ、オーストリアノ逆ヒテ只一人防禦セシコトヲ決定シタリ、

道ハ險阻デ及ヒ狹クアリシ而シテ敵ハ二行ニ於テ只ダ進行シ能ヒシ、其ハ塔ヨリ眞直ノ發砲ニ迄デ有フ忍耐シテ「ラトリア、ド、チーヴハン」ハ彼等ノ接近ヲ待チシ然レ彼等ハ來ルコトニ於テ長クアリシ、而シテ彼ハ或ル時ニ於テ遠征ハ棄ラレタリシコトヲ了會セシ、

(譯)道ハ險阻ナリ、而シテ敵ハ二列ニ於テ近ムコトヲ得ルノミ依テ塔ヨリ直接ノ發砲ヲ受クルノ地位ナリシ。○忍耐シテ「オーストリア」ハ敵ノ近ツクヲ待チシ然レ長ク來ラザリシ而シテ彼ハ一時敵ハ攻進ヲ見捨テタリシカト志ヒタリ、

殆ソド中夜ニ老タル兵士ノ練熟シタル耳ハ近ク所ノ軍勢ノ響ヲ捕ヘシ。○彼等ハ彼力狹隘ナル道ニ入込ム所ノ彼等ヲ聞キシ迄テヨリ近ク來リシ、○彼ハ直ニ塔ニ於テノ或ル人ガ、彼等ノ企テ知リシコトノ預報トテ暗黒ニ迄デニツ銃砲ヲ放チシ、然ル性急ナル命令ヲ與フル所ノ士官ヲ聞キシ、而シテ軍勢ハ狹路ヨリ退キツ、アルベク見ヘシ、

(譯)殆ソド中夜ニコノ老練ナル兵士ガ敵軍ノ接近スルヲ聞キシ。○敵軍次第ニ近キ途ニ狹路ニ入込ムニ及ベリ。○「オーストリア」ハ直ニ暗中ニ向フテ二發ノ銃ヲ放チ敵ヲシテ塔上ノモノ敵ノ接近スルヲ知ルコトヲ了得セシメタリ、而シテ彼ハ急ナル命令ヲ發スル敵ノ士官ノ聲ヲ聞キシ、而シテ軍隊ハ此ノ狹路ヨリ退カントスルガ如シ、

彼ハ朝迄ヨリ遙カ妨ゲラレテアラザリシ「オーストリア」ノ命令官ハ守兵ハ彼ノ接近ノ告知

ヲ請取タリシ而シテ彼ニ抵抗スベク準備シテアリシコトヲ取ル所デ、彼ハ彼ガ企テタリシ、如ク驚カシニ依テ塔ヲ奪ヒ能ハザリシト決定セシ、而シテ日出マデノ彼ノ攻撃ヲ猶豫スベク賢キモノト其ヲ思考セシ、

(譯)彼ハ朝ニマデハ其上ニ何ノ妨モセラレナシ、○敵ノ指揮官ハ塔上ノ守兵ガ彼レノ接近ヲ知り、而シテ抵抗スルノ用意ヲナシタリト信ジ初メ企圖シタル如ク、不意ノ攻撃ヲ以テ塔ヲ奪フコト能ハザルヲ悟リ、朝マデ攻撃ヲ猶豫スルコトヲ可トセリ、

朝ニ於テ早ク彼ハ守兵ノ降參ヲ要メシ、○精兵ハ使者ニ答ヘルベク前ノ方ニ歩ミシ、而シテ言ヒシ、此ノ守兵ハ終ノ極度ニマデ、此道ヲ守防スルデ有フコトヲ、汝ノ命令スル所ノ士官ニマデ言ヘ、

(譯)早朝指揮官ハ守兵ニ降參ヲ促セシ、一精兵前ニ進ミ、コノ守兵ハ力盡キ如何トスル能ハザルマデハ、汝ヲ守テ動カズト、汝ノ指揮官ニ云ヘト、使者ニ云ヒシ、

休戦ノ旗ノ持手ハ歸リシ、而シテ後チ間モナク、大砲ノ一片ハ道ニマデ回旋サレシ、○塔ニ於テ正シキ狙ヒヲ得ルコトノ爲メニ其ガ前面ニ於テ、而シテ眞直ニ容易ナル鐵砲ノ列ノ中ニ、其ヲ置クベク必要デアリシ、○塔ヨリ速力ナル發砲ガ大砲手ニ於テ開キシ其レ位置ニ於テ置カレタリシヤ否ヤ、而シテ五人ノ損亡ヲ以テ大砲ガ二三發ノ後引キ離サレシ處ノ斯ル死スベキ精密ヲ以テ續ケラレシ

(譯)休戦ノ旗ヲ持シタル使者ハ歸リシ後チ間モナク大砲一門ハコノ狹路ニ運ハレタリ。○

塔上ニ正鵠ヲ得ン爲メニハ、大砲ヲ前面ニ置キ、而シテ小銃彈ノ達シ得ニキ距離内ニ置ク
ガ必要ナリ、○大砲ガソレノ地位ニ据ヘラレタルヤ否ヤ塔上ヨリノ大砲手ヲ射撃セシ發砲
ノ功用著シク僅カニ三發ニテ五人ヲ斃シ大砲遂ニ射撃ヲ止メタリ

大砲ハ効用アリテ用ヒラレ能ハサリシヲ發見スル所テ「チーストリア」ノ命令官ハ攻伐ニ
於テ決定セシ○軍隊カ道ニ入込ミシキニ塔ヨリノ發砲ハ懸隔ノ半バニ達シテアリシ前十五
人カ斃レシ殺サレシ或ハ不適當ニセラレシトホトスル活潑ト及ヒ精密ヲ以テ再ヒ開キシ

(講)大砲射撃効ナキヲ「チーストリア」ノ指揮官ハ亂入攻撃セント決シタリ○因テ前進
シテ狹路ニ入り込ミシガ未ダ半道ニ達セサルニ塔ヨリ發砲活潑精密ニシテ爲メニ或ハ斃
レ、或ハ死ニ或ハ傷ケラレシモノ十五人ニ及ヒタリ

同一ノ仕方ニ於テ、ヨリ多ク三ノ攻伐カ打反サレシ而シテ日没ノ前ニ敵ハ殺サレテ及ヒ傷
ケラレテ四十五人ヲ失フタリシ○「チーストリア」ノ命令官ハ塔ヨリノ發砲ハ非常ニ迅速テ
且ツ精密テアリタリシ而シテ奇異テアリシ處ノモノハ各ノ射撃ハ一ノ格段ナル点ヨリ來ルベ
ク見ヘシヲ注意セシ○一時ニ向テ此カ彼ヲ迷惑セシ然レモ彼ハ終ニ其處ニ一緒ニ近ク種
々ノ牆眼ガアリシ、而シテ狹路ニ於テ眞直ニ保ツベク如ク左様ニ塔ニ於テ置カレシヲ決
定セシ、

(講)同ジ様ニ尙三度迄攻伐ガ撃チ返サレ、日没前敵ハ殺サレ、或ハ傷ケラレテ四十五人ヲ失
ヒタリ○「チーストリア」ノ指揮官ハ塔ヨリノ發砲非常ニ速ク、且精密誤マラザルヲ見、而シ

テ奇異ナルコトニハ彈丸ハ一定ノ場所ヨリ來ルコトヲ悟リタリ○一時ハ其ノ理由ニ惑ヘリ然
レモ牆眼數多ク同所ニ穿チ此ノ狹路ノ上ニ直接ニ發砲シ得ル仕掛ナリト彼ハ終ニ了解シ
タリ、

夜ガ近寄リシキニ「チーストリア」ノ命令官ハ再ビ護衛兵ノ降參ヲ要メシ○此時彼ハ惠ミア
ル返答ヲ請取リシ○守兵ハ朝ニ於テ降參スベク申出セシ、若シ彼等ガ彼等ノ武器ヲ以テ進
行シ而シテ故障ナク「佛蘭西」ノ軍勢ニマテ進ムベク免サレシナラバ○約條ハ一致サレシ、

(講)夜ガ近ツキシキニ「チーストリア」ノ指揮官ハ再ビ守兵ノ來降ヲ勸メシ○此ノ片彼レ指
揮官ハ都合ヨキ返答ヲ請取リシ○若シ守兵等ガ武器ヲ以テ進ム、而シテ一ノ妨害ヲ受クル
コトナク佛軍ニマテ進行シ得ルナラバ、明朝降參センコトヲ申出セリ、○條約ガ一致シタリ、

「ラトリア、ド、チーヴハン」ハ大ナル心配ノ日ヲ經過シタリシ、○彼ハ總テ裝藥シテ、及ビ用
ニ向テ準備シタル、彼ノ三十ノ銃砲ヲ以テ戰ヲ始メシ、○彼ノ發火ハ迅速デ及ビ精密デア
リタリシ、如何トナレバ彼ハ其等ノ能戰ノ兵士其人ハ稀ニ射撃ヲ費ス處ノ其等ノ能戰ノ兵
士デアタリシ故ニ、

(講)「ラトリア、ド、バアン」非常ニ心配シテ一日ヲ送りタルナリ○彼ハ三十挺ノ銃砲ノ裝藥レ
テ用ユルニ便利ヨクナシタルモノヲ以テ戰争ヲ始メタルナリ○彼ノ發射ハ迅速ニシテ且
ツ命中シタルナリ、蓋シ彼ハ狙撃スルコトノ上手ニシテ殆ンド無功ノ射撃ヲナサザリシナリ、
價アル意思ハ勇マシク塔ヲ守ルベク彼ヲ引起シタリシ、而シテ其ハ其ノ精密ナル運動ヲ仕

遂ダルベク佛蘭西ノ軍勢ヲ適當ニスベク充分長位置ヲ保ツベクアリシ、○此ガ充分セシ、
彼ハ道ガ「チーストリア」人ニ迄デーノ用ニ付テアラヌデ有フヲ知リシ、

(講)彼ノ此ノ塔ヲ防禦シタルハ唯一ノ目的アリタレバナリ、即チ此ノ狹路ニテ暫ラク「フ」
ストリヤ軍ヲクヒ止メ置キ其間ニ佛ノ本軍ニ充分ノ用意ヲナサシメントスルニアリタル
ナリ、○今ハ早ヤ佛軍ノ用意モ整フタレバ此狹路ヲ「チーストリア」軍ノ經過スル所何ノ用ヲ
ナサヌコトヲ彼ハ知レリ、

翌朝日出ニ於テ「チーストリア」ノ軍隊ハ進ミ出ベク守兵ニ向テ彼等ノ間ノ場所ヲ殘ス所デ、
道ノ兩側ニ於テ線ニ於テ整ハサレシ、○塔ノ重大ナル戸ガ開キシ、而シテ直ニ勇氣アル老ヒ
タル精兵ハ、銃砲ノ彼ノ積荷ノ下ニ殆ンド踰限トシテ進ミ出デシ而シテ兵士ノ線ノ間ノ沿
テ過ギシ○「チーストリア」人ノ非常ナル驚惶ニマデ彼ハ一人デアリシ、

(講)翌朝日出ノ比「チーストリア」軍ハ守兵進行ノ道ヲ開キテ路ノ兩側ニ整列セシ○塔ノ重
大ナル戸ガ開キシ、而シテ直ニコノ勇氣アル老兵ハ銃砲ノ積荷ヲ負ヒ踰限トシテ出テ來タ
リ、而シテ整列ノ間ヲ過ギシ、○コノ老精兵一人出テ來ルヲ見テ「チーストリア」人一驚ヲ喫シ
タリ、

「チーストリア」ノ命令官ハ奇異及ビ驚訝ニ於テ彼ニ迄テ騎リシ而シテ何故ニ其ハ護衛兵ガ
彼ニ從ヒナサザリシコデアリシ乎ヲ問ヒシ、

(講)「チーストリア」ノ指揮官ハ驚キテ奇異ノ思ヲナシ、彼レニ近ク騎リ來リ、何故守兵ハ汝ニ

從ハスカト問ヒシ、

余ハ守兵デアアル、コロ子ル」ヨト精兵ハ高慢ニ言ヒシ、

(講)余ハ守兵デアアル、佐官」ヨト精兵ハ高慢ニ言ヒシ、

如何ニヨ汝ハ汝ガ獨リ余ノ軍勢ニ逆テ塔ヲ防守セシコト余ニ告ケルベク意味シナス乎ト
「コロ子ル」ガ叫ビシ、

(講)何ト云フカ、汝ハ獨リ余ノ軍勢ニ逆テ、此ノ塔ヲ守リシト云フカト、佐官ガ云ヒシ、

余ハ其名譽ヲ持ツ「コロ子ル」ヨ、ガ靜カナル返答デアリシ、

(講)「余ハ然カ云フコトヲ得ベシ」ガ從容タル答ヘデアリシ、

如何ニ汝ハ如斯キ大膽ナル企テチナスベク來リシカ精兵ヨト「コロ子ル」ガ問ヒシ、

(講)如何ニ汝ハ如斯キ大膽ナル企テチナスニ至リシカト、佐官ガ問ヒシ、

君ヨ如何トナレバ佛蘭西ノ名譽ハ危難ニ於テアリシ故ニ、貴キ老ヒタル兵士ガ答ヘシ、

(講)君ヨソノ故ハ「フランス」國ノ名譽ハ危難ニ於テアリシヲ以テナリ、トコノ貴アベキ老兵

ガ答ヘシ、

(註)此ノ塔ノ守兵佛兵ハ敵ノ來攻ヲ聞キ逃ケ去リ若シコノ老兵ガ守ルナカツセバ實ニ佛

國ノ恥辱大ナリ、

「コロ子ル」ハ明カナル賞賛ヲ以テ兵士ヲナガメツ、瞬間ニ向テ立チシ、○然ルキニ彼ノ帽
ヲ舉ゲル所デ、彼ハ多少ノ感動ヲ以テ言ヒシ、精兵ヨ余ハ汝ニ敬禮ス○汝ハ汝自身勇者ノ尤

モ勇者ヲ証據立シト、

(譯)佐官ハ明カニ賞讃ヲ以テコノ兵士ヲ往視シテ暫ク立タリ、○然ル后帽ヲ上ケ大ニ感シタル有様ニテ「精兵ヨ、余ハ汝ヲ敬ス○汝ハ汝自身勇者中最モ勇者ナルヲ証シタリト云ヒシ、

然ルキ士官ハ銃炮ノ總テ其ハ「ラトリア、ド、チーヴハン」ガ運ビ能ハザリシ處ノ銃炮ノ總テヲ持ツベシ命令ヲ與ヘシ、佛蘭西ノ陣所ニマデ彼ト共ニ送リシ、而シテ然ルキ事情ヲ話ス所デ佛蘭西ノ命令官ニマデ書翰ヲ書キシ「ナポレオン」ハ戰爭ノ事柄ヲ知リシキニ彼ハ「ラトリア、ド、チーヴハン」ヲ援擢スベク望ミシ、然レ后後者ハ精兵ニ殘ルベク撰ミシ、

(譯)然ルキ士官ハ命令シテ「ラトリア、ド、チーヴハン」ガ運ビ能ハザリシ處ノ銃炮ヲ持チ來ラシメ「佛蘭西」ノ陣所ニマデ「チーヴハン」ト共ニ送ラシメタリ、而シテコノ事情ヲ語ルタメノ書狀ヲ「佛蘭西」ノ命令官ニ送リシ、○「ナポレオン」ハ書ヲ見テ戰ノコノ勇氣アル事柄ヲ知リ彼レヲ援擢センコト欲シタリ、然レ后「ラトリア、ド、チーヴハン」ハ精兵ニ止マリ昇進ヲ好マザリシ、

勇氣アル老ヒタル兵士ハ、一千八百零六年六月ニ於テ「ナバール」ノ戰爭ニ於テ殺サレシ、而シテ彼ノ「レジメント」ノ日々ノ點名ニ於テ單ナル及ビ明白ナル顯ハレガ大ナル及ビ貴重ナル「ナポレオン」ニ依テ命令サレ及ビ續ケラレシ、

(譯)此ノ老ヒタル勁兵ハ一千八百零六年六月「ナバール」ノ戰爭ニ於テ死セシ、而シテ彼ガ屬シタル軍隊ノ毎日ノ點呼ニ於テ此ノ單一ニシテ意味ノアル一事即チ死シタル兵士ノ名

ヲ呼ブコトハ大將「ナポレオン」ノ命令ニ依テ絶ヘズ續ケラル、コトナリタリ、

第九十四課

死シタル精兵

戰隊ノ右方ニ於テ佛蘭西ノ精兵カ、鎗ノ投グルコトニ依テ彼ノ鉄ノ鎧ヲ通シテ打タレ、彼ノ胸カ英國ノ血ヲ以テ浸サレ、彼ノ額カ英國ノ呼吸ヲ以テ浸サレ、其處ニ英國及ビ死ト相對シテ勇マシク倒レシ、○彼等ハ彼ノ心ノ法冠ヲナセシ——彼等ハ通シテ其ヲ附ケシ、——一ノ半分ハ彼ノ隊ノ爲メニ在リシ、而シテ他ガ其ノ爲メニ(アリシ)後ノ日ノ色ヲ占ヒノ指カ流セシ、如何トナレハ唇ガ青クアリシ、而シテ頬ガ白クアリシ、而シテ王旗カ赤クアリシ故ニ、而シテ喇叭カ鳴リシ、及ヒ隊カ廻旋セシ、及ヒ精兵カ死シテアリシ、

(譯)軍隊ノ右側ニ當リ佛蘭西ノ精兵カ鎗ノ先ノ爲メニ鉄ノ鎧ヲ刺シ通サレ、胸ニハ敵ナル英兵ノ血ヲ染メ英兵ト短兵相ヒ接シ、恰モ英國ト相ヒ對シ死亡ナルモノト相ヒ對シタル様ニテ勇マシクモ斃レタリ、○此様ハ此精兵ノ心中ノ名譽ニシテ即チ此名譽ハ彼ノ胸間ニ附着セリ、其名譽ノ一半ハ即チ己レノ屬スル軍隊ノ名譽トモナリ、又他ノ一半精兵其人ノ名譽ナリ敗軍前兆色ヲ顯ハシタリ即チ人ノ唇ハ頰ハ白ク、國旗ハ赤色ヲ呈シタリ、喇叭鳴リ軍隊ハ後口ヘ向ヒ、精兵ハ死シタリ、

而シテ然ルキ老タル指揮官カ聲ヲタル列ノ間ニ隊列ヲ下テ靜カニ乘リシ、而シテ如何ニ

短ク旅行カナリシカチ考ヘシ、而シテ月光ニ於テノ影カ、戦ヒノ赤キ酒宴カ酒ノ富ミタルモノチ贈ケシ處ノ線ニ迄奇妙ニ落チシ、而シテ陣屋ノ火カ彼ヲノ怪像ヲ投ケシ、總テガ老タル續熟兵カ望ム如ク烈シキ隊列ヲ密接スヘク彼ヲカ能ヒシ處ノモノチ爲シツ、前ニ於テ旗ヲ以テ老タル指揮官ナル彼レカ乘リシ、而シテ烟アル松明ノ光リヲ以テ輝カサレタル偶像ノ青銅ノ如ク、鎗ノ光リノ如ク彼ヲノ顔ノ總テニ於テ光ヲ照ラセシ、然ルキ總テ裸デ眞面ナル顔ヲ以テ、「王ノ爲メニ」ト彼カ宏大ニ云ヒシ、生キルモノニ迄旗ヲ下ケヨ、死者ニ迄低聲ヲ打テヨ然ルキ三度赤キ絹カ王ノ火ノ其焰ヲ低ク輝カセシ、而シテ二度太鼓カ輿服者ノ荒ラキ好ミニ聲高ク歎キシ、嗚呼低ク再ヒ紅色ノ雲ナル汝、——再ヒ汝太鼓ヨ歎ケ、——其ハ荒地ニ於テノ「ラチエル」デアアル、而シテ天幕ニ於テノ「ラマ」デアアル、

(譯)然ル片ニ擊破ラレタル隊列ノ中ヲ徐々ト乘リ廻リタルカ今ハ戰死者多ク兵士少キカ爲メ乘リ廻ル場所モ短クナリタリト思ヒタリ、而シテ月光ハ暗淡トシテ戰鬪劇シカリシ處ニ奇妙ナル影ヲ呈シ、陣屋ノ火モ怪ケナル影ヲ顯ハスカ如ク老練ノ兵士ノ爲シタル如ク陣屋ノ一方ニ皆人ハ相集マリタリ、指揮官カ旗ヲ前ニ立テ乘リ廻リタル片其姿ハ恰モ松明ノ光ニ映シタル銅像ノ如クニ見ヘタルカ鎗ノ光リノ如クニ兵士共ヲ照シ、然ル片眞面目ナル顔色ニテ彼云ケリ、國王ノ爲メニ勦メヨヤ、生者ノ爲メニ旗ヲ下タセ死者ノ爲メニ吊鼓ヲ打テヨト、而シテ三度國旗ヲ下タシ、生者ヲ祝シ三度太鼓ヲ打テ輿服者ノ心ヲ慰メタリ、嗚呼今一度旗ヲ下タセ、今一度太鼓鳴レ、一ハ荒地ニ於テ「ラチエル」ノ爲メニ一ハ陣屋ニ於ケル兵

士ノ爲メニ、

接近セヨ衣裳ヲ正セヨ、隊長カ云ヒシ、而シテ彼ヲカ月ノ下ニ集マリシ、日光カ正午ニ於テ下タル片ニ影カ一同ニ集マル如ク——各ノ兵士ノ右ニ於テ異人——臆軍ノ荒ラキ働キカ猛惡ニアル——破レタル線ノ最後ニ迄左様、而シテ彼ノ右ニ於テノ死亡、而シテ其處ニ深キ死シタル沈黙ニ於テ軍曹カ巻物ヲ呼ヒシ、而シテ彼レカ過クル處ノ生靈ヲ呼ヒシ片ニ名カ列ヲ下ツテ徘徊シツ、行キシ、

(譯)密接セヨ衣裳ヲ正クセヨ、ト隊長命シタルニ兵士共ノ月下ニ集マルハ恰モ日中ニ日光ノ下ル片其影ノ次第ニ一所ニ集マルカ如クナリシ、其時各兵士ノ右側ニ知ラサル人ノ在ル如シ、嗚呼戰爭ハ劇烈ナリシ、隊列敗レ亂ル、時迄モ戰爭ハ劇シク、兵士ノ右側ニ死者アリタリ、兵士整列シテ正肅ナル片軍曹ハ兵士ノ名前帳ヲ讀上ケタル片送ニ死者ノ名前ヲ讀ムニ至レリ、

オ一然ルキ親愛ナル山モ其呼出ヲ聞キタ能ヒシ、而シテ黙シタル荒地ヲ横過シテ言語ノ陰ヲ搜ケシ、而シテ隙ニ添フテ總テノ失望カ走リシ所ノ名譽ヲ取リシ、而シテ其大ナル心ニ迄其ヲ取リシ、而シテ人ニ迄其ヲ送り返セシ「テ」(望ム)

(譯)死者ノ名ヲ讀ム上ケタル片山モ之ヲ聞キタルナラン、荒地ニモ其語ハ響キシナラン、隊中皆悲ミタル死者ノ名ハ響キシナラン、荒地ノ真中ニ其名ハ響キ渡リテ人ニ其響キチハ子展シタルナラン、

軍曹カ卷物ヲ呼ヒシ、而シテ彼カ過クル處ノ名ヲ呼ヒシトニ列ヲ下テ名カ徘徊シツ、行キ
シ間ニ撃タレタル隊ナル其ハ立チシ、○默シタル死シタル獅子ニ向テ「フリーラ」○精兵ニ向
テノ聲音カ鼓聲ノ如ク隊列ヨリ轉シ出タ而シテ強ク「此處ニ」ト答ヘシ、

(講)軍曹ガ名前帳ヲ讀ンテ死シタル兵士ノ名ニ至ル迄軍隊ハ立チ居タリ○戰死シタル勇
者ノ爲メニハ賀スヘキ「ニテ」○精兵ヲ呼ブノ聲鼓聲ノ如ク隊中ニ響ク此處ニ在リト答
ヘタリ、

彼ハ立チシト、雷ノ息子カ叫ヒシ、而シテ彼ヲノ胸ハ境ヲ越ヘテ走リシ、彼ハ老タル戰隊ニ
依テ立チシ、而シテ余ヲハ常ニ彼ニ依テ立ツテアロウ、嗚呼大ナル宗教ノ爲メニ戰フ人ニ向
テ呼ヘ、而シテ余ヲハ名ニ迄管フルテアロウ、○而シテ何ト汝ハ云フテアロウ乎、軍曹云ヒ
シ「名譽ノ戰場ニ於テ死シタリ」、

(講)勇兵共ハ叫ヒ而シテ彼ヲハ戰場ノ「ト」ヲ思ヒ出シナカラ叫ヒテ曰ク彼レハ昔シノ戰隊
ノ側ニ立チ余ヲ常ニ彼ト共ニ立チタリ、嗚呼彼レハ既ニ戰死シタルモ彼ノ名ヲ讀ミ上ケ余
ヲハ其名ニ答ヲ爲スヘシ、○何ト答フヘキ乎ト軍曹問ヒケレハ勇兵共曰ク名譽ノ戰場ニ於
テ死タリト答ヘント、

而シテ敢テ汝ヲハ其ヲ死シタルモノト呼フ乎、○墓所ヨリ休ミヲ得而シテ時ニ迄報スル處
ノ貴キ德乎、○地カ小ナル太陽及ヒ雨ニ迄野菊ヲ放任シ、而シテ倦シタル時代カ滅スル間ニ
勇者ヲ彼ヲノ根ニ於テ保チナス乎、

(講)其レヲ死シタル者ト汝ハ敢テ云フ乎、○否墓所ニ歸休ヲ(兵士ノ)得テ此世ニ名譽ヲ得ス
ルノ高德ナラサル乎、○地球ノ人ハ此眞者ノ墓所ニ野菊ノ生ヒ茂ルマニ「」打遣バナシニ
シテ更ニ構ハズ年月過キ去ルモ此勇者ヲ野菊ノ根ノ下ニ埋メタマ、ニシテ置クヘキヤ、
嗚呼ヲ懸ケヨ「イスラフイル」ヨ余ヲノ神ノヨキ喇叭手ヨ、如何トナレハ此ノ破レタル地
ノ下ニ汝ノ呼出シテ何ニモカ待タヌ故ニ、彼ヲハ正ニ於ケル雷ニ迄時代ト共ニ並ンテ進ム、
如何トナレバ彼ヲハ「ヨキ朝」ト世界ニ云ヒシ、然ルキ世界ハ「ヨキ夜」ト云フタリシ、

(講)喇叭ヲ懸ケヨ「イスラフイル」ヨ即チ余ヲノ上帝ノ愛スヘキ喇叭手ヨ、此地下ニテ汝ノ
呼出ヲ待ツモノハアラサルナリ、彼ヲハ時代ノ移ルニ從テ皆天國ニ入ルナラン、彼ヲハ此世
界ニ暇ヲ告ケ此世界モ彼ヲニ暇ヲ告ゲタリ、

第九十五課

「シヨージ王ノ演劇

舞臺——「ノーザンアト」

城ニ於テノ部屋、

「ヒューバート」及ヒ二人ノ從者入ル、

(「ヒューバート」)此等ノ鉄ヲ炎ク余ニ熱セヨ、而シテ暖簾ノ内ニ立ツ汝ヲ見ヨ、地ノ胸ノ上ニ
余ノ足ヲ余カ打ツキニ、飛ヒ出ヨ、而シテ余ト共ニ汝カ見出ステアロウ處ノ小童ヲ倚子ニ迄
確ト擧ケ、注意シテアレ、是ヨリ而シテ見張レヨ、

〔蘭〕ノ一サンプトンノ舞臺カ、リニテ城中ノ一室内ノ段ナリ、此處ニ入り來ルモノハ「ヒューバート」及其從者二人ナリ、○「ヒューバート」云ケル、此ノ鉄ノ棒ヲ熱シテクレ、ソウシテ拵前ハ隱簾ノ後ロニ隠レテ居レ、余ノ足音ノ合圖ニテ直チニ飛ヒ來リ余ノ傍ラニ居合セル小童ヲ縛シテ倚子ニ繫ケ、注意セヨ、サーヨレカラ其用意セヨ、

〔第一ノ從者〕余ハ望ム、汝ノ捕縛ノ申付ハ行爲ヲ保ツテアロウチ、

〔蘭〕從者ノ一人同ケル、閣下ノ御申付ケノ通りニ都合ヨク捕縛シタヒモノデス、

〔ヒューバート〕不明ニ疑心(ヲ抱ク)○汝恐レルナ、其ニ迄見ヨ、 (從者出行ク)

〔蘭〕汝ハ事ヲ疑フモノカナ、恐ル、ニ及ハズ、結果如何ンチ凡ルヘシト、「ヒューバート」云ヒシ、

(從者共ハ退出セリ)

少年ヨ出來レ、余ハ汝ニ云フヘシ持ツ、

「アーサー」入り來ル

〔蘭〕少年ヨ出來レ、汝ニ告ケント欲スル處ノモノアリ、〔ヒューバート〕ノ語

「アーサー」入り來ル、

〔アーサー〕「好キ朝ヨ」ヒューバート

〔蘭〕今日ハ「ヒューバート」デマト「アーサー」云ヒケル

〔ヒューバート〕「好キ朝ヨ、少ナル王ヨ、

〔蘭〕「ヒューバート」云ケル今日ハ幼王ヨ、

〔アーサー〕少王ノ如ク(ヨリ多ク王デアルヘク左様ニ大ナル位ヲ持チツ、)其如クアリ得ル——汝ハ悲シクアル、

〔蘭〕王ノ位ヲ有チナカラヨ此少王ハ悲歎ニ堪ヘヌカ汝モ亦余ノ如ク悲シキヲアルヘシ〔アーサー〕云フ

〔ヒューバート〕「實ニ余ハヨリ愉快デアツタア、

〔蘭〕如何ニモ其通り余ハ以前ハ今ノ如ク悲シクハナクテ今少シ愉快ナリシ、

〔アーサー〕「嗚呼、余ハ思フ、余ノ外誰レモカ悲シクアラヌデアロウ、併シ余ハ記ス、余カ佛蘭西ニ於テ在リシトニ少キ紳士ハ唯放蕩ニ向テ夜々ケ其レタケ悲シク、アルデアロウチ、○余ノ耶穌教國ニ於テハ左様ニ余ハ牢獄ノ外ニ在リシ、而シテ羊ニ保タレシ、余ハ日カ長クアルダケ其ダケ愉快デアロウ、而シテ左様ニ余ハ此處ニ在ルデアロウ、余ノ伯父カ余ニ迄ヨリ多クノ害ヲ實行スルノ外ハ彼ハ余ニ付テ恐レテアル、而メ余ハ彼ニ付テ(恐レテアル)余ハ「ジョーフレ」ノ息子デアリシノ其カ余ノ誤リテアル乎、否ナ實ニ其ハアラヌ、而シテ余ハ汝ノ息子デアリシナラハ余ハ天ニ迄デアロウ、左様ニ汝ハ余ヲ愛スルデアロウ、」ヒューバート」ヨ、

〔蘭〕嗚呼誰レモ余ホドニ悲シキモノハ外ニアルマイト余ハ思ヒマス、併シ余カ佛蘭西ニ居リシト少年達ハ放蕩ノ爲メニ大ニ悲シミタルナラント思ヒマス○余ノ耶穌教國ニテハ身ハ自由ニシテ神ノ守護ヲ受ケ日ノ長クシテ愉快ナルカ如クニ心實ニ樂シカリシ、而シテ此

處ニテモ佛蘭西ニ於ケルカ如クニ愉快ニ暮シタキモノナレド唯余ノ伯父ノ余ヲ激待セン
カト恐ル、ナリ、伯父モ余ヲ恐レ余モ伯父ヲ恐ル、コハ余ノ「ジヨーフレー」ノ息子ナルガ爲
メナル乎、否ナソウデハナイガ、「ヒューバート」君余若シ汝ノ息子ナリセハ愉快ニテ汝モ亦
余ヲ愛スルナラン

〔ヒューバート〕「横ノ方ニ」若シ余彼ニ語ルナラハ、彼ノ害ナキ多言ヲ以テ死シテ横ハル
處ノ余ノ慈心ヲ彼ハ起スデアロウ、其故余ハ俄カデアアルデアロウ、而シテ去ルデアロウ
〔講〕ヒューバートハ獨言シテ云ヒケル様、余若シ此少年ト談話スル片ハ彼ノ愛スヘキ言
ノ爲メニ彼ヲ憐ミ思フノ情起ルナラン、早ク事ヲ行フニ若カスト、

〔アーサー〕「ヒューバート」君君ハ病氣デアアルカ、汝ハ今日蒼白ニ見ユル、實ニ汝ハ少シ病
氣デアリシト余ハ思フ、余ハ終夜坐シ而シテ汝ト看護シ能ヒシヲ望ム、○余ハ斷言ス、汝カ
余ヲ(愛シ)爲スヨリモヨリ多ク余ハ汝ヲ愛ス、

〔講〕「アーサー」云フ、君ハ病氣ナル乎「ヒューバート」君、君ノ顔色ハ青ク見ユル、實際君ハ病氣
ナリト思フ、終夜君ノ傍ラニ坐シテ看病シタヒモノデアリマス、○斷言イタシマスガ汝ノ余
ヲ愛スルヨリモ余ノ君ヲ愛スルノ情ハ切ナリ、

〔ヒューバート〕「横向キ」彼ノ語ハ余カ胸ノ所持物ヲ取リナス、——此處ニ讀メ若キ「ア
サー」ヨ(紙ヲ示シツ)、(横向キ)今如何ニ馬鹿ラシキ寒胃ヨ、戸ノ外ニ無慈悲ナル苦ヲ向ケ
ツ、余ハ短クアラチハナラヌ、慈悲深キ婦人ラシキ涙ニ於テ余ノ眼ノ外ニ決着ノ滴ヲ恐

ル、汝ハ其ヲ讀ミ能ハヌカ、其ハ奇麗ナル書デアラヌカ、

〔講〕「ヒューバート」ハ余所向キテ、此少年ノ語ヲ聞ケハ余ノ心モ亂レル様ニ可愛ソウダ、ト又
「アーサー」ニ向ヒ云ケル様之ヲ讀ミ玉ヘ年若キ「アーサー」君ト、其時一片ノ紙ヲ示シタリ、又
横ノ方チ向ヒ獨リ言ケル様、今如何ニモ馬鹿ラシキ「アーサー」君ト、其時一片ノ紙ヲ示シタリ、又
ハチハ遂ニハ憐愛ノ情起リ事ヲ誤ルニ至ルヘシトテ更ニ「アーサー」ニ向ヒ、汝ノ之ヲ讀ミ得
ル乎、此書ハヨク書テアルデハナイ乎、

〔アーサー〕「ヒューバート」ヨ左様ニ惡シキ結果ニ向テ余リ奇麗ナリ、汝ハ熱シタル鉄ヲ
以テ余ノ眼ノ両方チ焼キツブサチハナラヌ乎、

〔講〕「アーサー」云ケル様、惡シキ結果ヲ爲スノ書ニハ結構過クル位デアリマス、汝ハ熱鉄ニテ
余ノ両眼ヲツアサチハナリマセヌ乎、

〔ヒューバート〕「少童ヨ余ハ(ツブサ)チハナラヌ、

〔講〕ヒューバート云ケル様少童ヨ汝ノ眼ヲツアサチハナリマセヌ、

〔アーサー〕「而ノ汝ハ(ツブサ)デアロウ乎、

〔講〕併シ汝ハ果シテ余ノ眼ヲツアサス積リカ、

〔ヒューバート〕「而シテ余ハアロウ、

〔講〕余ハツアサス積リナリ、ト「ヒューバート」云フ、

〔アーサー〕「汝ハ心ヲ持ツ乎、汝ノ頭カ唯痛ミナセシキニ、余ハ汝ノ額ノ邊ニ余ノ手巾ヲ結

ブ(余カ持チシ尤モヨキモノ、貴女カ余ニ造リシ)而ノ余ハ決シテ再ヒ汝ニ其ヲ乞ヒナサ、
 リシ、而ノ余ノ手ヲ以テ夜半ニ於テ汝ノ頭ヲ保チシ、而ノ時間ニ迄見詰メタル數分時ノ如
 ク、靜カニ及ヒ速カニ重キ時ヲ慰メシ、何ガ汝ニ欠ク乎、而ノ何處ニ汝ノ悲哀カ横ハル乎、又
 ハ如何ナルヨキ愛チ余ハ汝ニ向テ爲シ得ル乎ト云ツ、多クノ憐レナル人ノ息子カ靜カニ
 横ハリタテアロウ、而ノ決メ汝ニ迄愛スル所ノ言語ヲ話サレナソダ、然ルモ汝ハ汝ノ病氣ノ
 勤メニ於テ皇族ヲ持チシ、加之汝ハ余ノ愛カ狡猾ナル愛テアリシト思ヒ得ル、而シテ其ヲ狡
 猾ト呼ヘ、若シモアロウナラハ爲セ、若シモ汝カ愚シク余ヲ用ヒ子ハナラヌ^ツテ天カ樂ンテ
 アルナラハ、扱テ然ルモ汝ハ(ツブサ)子ハナラヌ——汝ハ余ノ眼ヲツブステアロウ、汝ニ
 於テ燃ヒノ如キ左様ニ多ク決シテ爲サリシ、又ハ決ンテ爲サステアロウ處ノ果等ノ眼
 チ(ツブステアロウ手)

(譯)「ア—サー」云ヒケル様、汝ニハ情アル乎、汝頭ヲ痛ム片汝ノ額ヲ余カ手拭ヲ以テ結ヒタリ、
 其手拭ハ皇女ノ造リタルモノニテ余ノ爲メニハ最好ノ手拭ナリシ、而モ余ハ其ノ大事ノ手
 拭ヲ再ヒ汝ヨリ取戻ストモ爲サ、リシ、一時間幾度トナク汝ノ病ニ苦ムノ時ヲ慰メタリ、其
 時ニハ毎ニ「何ソ不自由ハナイカ、苦痛ハ何處ニアル乎、如何ナルコトヲ爲サハ汝ハ慰サムルヲ
 得ル乎」云テ汝ヲ懷抱シタリ、貧人ノ子數多汝ノ傍ラニ坐スルコトアルモ是等ハ親愛ナル語
 ナ以テ汝ヲ慰ムルコトナカルヘシ、否汝ハ余ノ汝ニ對スル愛情ハ狡猾ヨリ出タルモノト思フ
 ナラン、若シ斯クノ如クナラハ余將タ何チカ云ハン、汝余ヲ惡シク待遇セントコトヲ天若シ

滿足セハ汝ハ斯ク爲スヘシ、汝ハ果シテ余カ眼ヲツブサント欲スル乎、曾テ汝ニ向テ^{ツカメ}眼目チ
 シタコトモナカツタ、又此以後ヲ爲サルヘキ此眼ヲ汝ハツブサント欲スル乎、

〔ヒューバート〕余ハ其ヲ爲スヘク誓フタ、而シテ熱鉄ヲ以テ彼ヲ燒キツブサ子ハナラ
 ス、

(譯)「ヒューバート」云ヒケル様、余ハ其コトヲ爲サントテ誓ヒタリ、則チ熱鉄ヲ以テ汝ノ眼ヲ燒
 カテハナラス、

〔ア—サー〕此鉄ノ時代ニ於テノ外ハ誰レモカ其ヲ爲サステアロウ、鉄ハ其自身、縱令熱ハ
 赤熱トモ此等ノ眼ニ近ク近寄ル處デ、余ノ涙ヲ飲ムテアロウ、而シテ尙ホ余ノ無罪ノ事ニ於
 テ彼ノ火ノ如キ熱リヲ消ステ(アロウ)否其ノ後チ、唯余ノ眼ヲ害スルヘク火ヲ保ツコトニ向
 テ銷^ニ迄アチラニ消ユル(テアロウ)汝ハ抛ノ鉄ヨリハヨリ多ク頑固ニ堅クアル乎、而シテ
 若シ天使カ余ニ迄來ルテアロウトモ、而ノ「ヒューバート」カ余ノ眼ヲツブステアロウト余
 ニ告ケシトモ、余ハ彼ヲ信セヌテアロウ、○「ヒューバート」ノ外一ノ舌ヲモ(信セ)ヌ

(譯)嗚呼此ノ當時ノ惡シキ世ノ中ニ非サレハ誰モ斯ル惡シキコトヲ爲サマルヘシ鉄ハ如何
 程熱シタリトモ余ノ眼ニ接近セハ余ノ涙ニ浸スヘシ、又余ノ無罪ナルコトノ爲メニ遂ニハ彼
 ノ火ノ如キ熱ヲ消スナルヘシ、否遂ニ其鉄ハ余ノ眼ヲ害スル爲メノ火ヲ保ツガ爲メニ銷チ
 生シテ腐ルニ至ルナラシ、汝ノ心ハ鉄ノ鋸ノ如クニ頑固ニモ堅キモノナル乎、若シ天使余チ
 訪ヒヒューバートハ余カ眼ヲツブサヘシト余ニ告クルトモ余ハ決シテ天使ノ語ヲ信セヌ

○結局「ヒューバート」ノ語ノ外ハ離レノ語ヲモ信セズ、

〔ヒューバート〕來リ進メ、

〔足踏ノ音〕

〔講〕者共來レニ「ヒューバート」云フタリ、
(其時合圖ノ足音)

綱ト鉄等ヲ以テ從者再ヒ入ル、

〔講〕從者ハ足音ノ合圖ニテ綱ト鉄トヲ以テ出來ル、

汝爲セト余カ命セシ如ク爲セ

〔講〕兼テ命シ置キタル通りニ爲セ(「ヒューバート」ノ語前ニ續ク)

〔「アーサー」〕オー余ヲ助ケヨ、ヒューバートヨ、余ヲ助ケヨ、余ノ眼ハ此等ノ恐ロシキ人ノ恐ロシキ見ヘテ以テサヘモ余ノ眼ハ外ニ在ル、

〔講〕オー助ケテクレ「ヒューバート」ヨ、余ノ眼ハ此等ノ恐ロシキ捕手ノ人ヲモ見ルコトハ出(來)ヌ、

〔「ヒューバート」〕余ハ云フ余ニ鉄ヲ與ヘヨ、而シテ此處ニ彼ヲ縛レ、

〔講〕余ニ鉄ヲ與ヘヨ、彼レヲ縛セヨ、

〔「アーサー」〕嗚呼、左様ニ騒カシクアルヘク何ヲ汝必要ズル乎、余ハ等ハヌテアロウ、余ハ石ノ如ク静カニ立ツテアロウ、○願ハクハ「ヒューバート」ヨ余ヲシテ縛セラレシムルナ、否余ニ聞ケ、「ヒューバート」ヨ、此ヲ人ヲアチラニ追ヘ、而シテ余ハ小羊タケ其タケ静カニ坐スルデアロウ、余ハ動カヌテアロウ、尙ホ避易セヌテアロウ、尙ホ一語ヲモ話セヌテアロウ、

尙ホ怒テ鉄ヲ見ヌテアロウ、唯此等ノ人ヲアチラニ投ケヨ、而シテ余ハ我ニ許ステアロウ、如何ナル苦痛ニ迄汝ハ余ヲ置キナストモ、

〔講〕「アーサー」云ケル様嗚呼汝ハ騒カシクスルニ及ハス、余ハ等フコトヲナササル可シ、余ハ石ノ如ク静カニ致スヘシ、願ハクハ余ヲ縛スル勿レ、尙ホ願ハクハ此從者共ヲ去ラシメヨ、余ハ決シテ助カス小羊ノ如ク静カニ坐スヘシ、余ハ助カサルヘシ逃ケサルヘシ、又一語ヲモ發セサルヘシ、熱鉄ヲ怒テ含ンテ見ルコトヲナササルヘシ、此ヲ從者ヲ去ラシメヨ、然ル片ハ如何ナル苦痛ヲ汝ハ余ニ與フルトモ余ハ汝ニ許スヘシ、

〔「ヒューバート」〕行テ内ニ立テ、余ヲシテ彼ト獨リナラシメヨ、

〔講〕「ヒューバート」從者ニ云ケル様、去テ帳帷ノ内ニ行ケ、余獨リ此少年ト爲ス處アラント、
(第一ノ從者)余ハ左様ナル行爲カラアルヘク最モ善ク喜ンテアル、
(從者去ル)

〔講〕一人ノ從者曰ク余ハ此ノ如キ慘情ヲ見ヌコトヲ望ムナリト、
(二人ノ從者去ル)
〔「アーサー」〕嗚呼余ハ然ルキ余ノ友人ヲアチラニ追タ、彼ハ嚴重ナル容貌ヲ持ツ然レモ温順ナル心ヲ(持ツ)——彼ヲシテ後展ラシメヨ、彼ノ愛情カ汝ノ(愛情)ニ迄生命ヲ與ヘ得ルコトノ爲メニ、

〔講〕嗚呼余ハ今余ノ友人ヲ追ヒ拂フタリ、彼ハ其容貌嚴ナリト雖モ其心中ハ温和ナリ、彼ノ愛情深クシテ自然汝ノ心ヲ感化スルコトヲ得ルガ爲メニ彼ヲ呼ヒ展シ玉ヘ、

〔ヒューバート〕來ル小童汝自身用意セヨ、

〔講〕ヒューバート曰クサア一小童覺悟ハヨイカ、

〔アーサー〕其處ニ一ノ辯法ハナキ乎、

〔講〕アーサー曰ク外ニ仕方ハアリマセヌ乎、

〔ヒューバート〕汝ノ眼ヲ失フヘキ外何モナイ、

〔講〕ヒューバート曰ク汝ノ眼ヲツアスヨリ外ニハ仕方ハナイ、

〔アーサー〕噫、天ヨ、其處ニ汝ノニ於テ唯少シカアリシコトヲ（望ム）穀粒、塵埃、蚊、浮ク處ノ毛、其ノ貴キ感シニ於テ或ル障礙（ガアリシコトヲ望ム）然ルキ如何ナル小ナル物ガ其處ニ騷カシクアルヲ感スル處デ汝ノ惡シキ企テカ必ス恐ロシク見ヘ子ハナラヌ、

〔講〕アーサー云フ、嗚呼汝ノ心中ニ唯少シ許ノ物、即チ穀粒カ塵カ、蚊カ一筋ノ毛カ、何ニテモ少シ許リ其心中ニ障リモノカアレガシトコソ望ムナリ、少シニテモ汝ノ心ニ思ヒ反ストアラハ汝ノ余ヲ殺サントスルノ企圖ハ宜ロシカラサルヲ悟ルナルヘシ、

〔ヒューバート〕之カ汝ノ約束デアルカ、○行ケ汝ノ舌ヲ保テ、

〔講〕ヒューバート云ケル様汝ハ一語ヲモ發セサルノ約束ヲ爲シタルヲ忘レタルカ○行ケヨ、約束ノ通ヲ履行セヨ、

〔アーサー〕〔ヒューバート〕ヨ舌ノ筋ノ發音ハ必ス眼ノ一對ニ向テ辨護スルコトヲ要セ子ハナラヌ、余ヲシテ余ノ舌ヲ保タシムルナ——余ヲシテ（保タシメ）ナスナ、〔ヒューバート〕

ヨ、或ハ〔ヒューバート〕ヨ、若シ汝望ムナラハ、余ハ余ノ眼ヲ保チ能フコトヲ爲メニ余ノ舌ヲ切り取レ、○オ一余ノ眼ヲ免セ、尙ホ汝ニ遠眺ムルヘキ外一ノ必要ナラヌト雖モ、見ヨ、余ノ誠ニ依テ器械ハ冷クアル、而シテ余ヲ害セヌデアロウ、

〔講〕アーサー曰ク、ヒューバート君舌ノ音フハ両眼ヲ助ケントテ辨護ヲ要スレハナリ、約束ノ通りニ言語ヲ發セサルコトヲ爲サ、ルヘシ、ヒューバート君或ハ若シ君ノ欲スル處ナラハ余カ舌ヲ斷ツトモ余カ眼ノ助カラシムルコトヲ欲スルナリ、○オ一余カ眼ハ唯汝ヲ見ルコトノ外ニハ必要トスル處ナシト雖モ願ハクハ余カ眼ヲ助ケ玉ヘ、見玉ヘ幸運ナルコトニハ鉄ハ既ニ冷カナリ余カ眼ヲ害スルノ用ヲ爲サ、ルヘシ、

〔ヒューバート〕余ハ其ヲ熱シ能フ、小童ヨ、

〔講〕ヒューバート云ケル様、再ビ鉄ヲ熱スルコトハ出來ル小童ヨ、

〔アーサー〕否善キ誠ニ於テ、火ハ悲シミヲ以テ死シテアル、慰ミニ向テ遣ラレツ、不當ノ極度ニ於テ用ヒラル、ヘク、其外汝自身見ヨ、其處ニ燃ユル處ノ火ニ於テ一ノ恨ミカアラヌ、天ノ呼吸カ彼ノ精神ヲ吹キ出タリ、而シテ彼ノ頭ニ於テ後悔ノ灰ヲ散ラセシ、

〔講〕否實際火ハ悲ミノ爲メニ消ヘタリ、人ヲ慰サムル爲メニ用ユヘキ火ガ不當ノ所爲ヲ扶クルノ用ニ供セラル、カ爲メナリ、其外汝自カラ見ルヘシ、天恐ノ在ルアリテ火ノ精神ヲ吹キ消シタリ、火ノ上ニハ灰堆ク以テ鉄ヲ熱スルコト能ハサルヘシ、

〔ヒューバート〕然レモ余ノ呼吸ヲ以テ其ヲ恢復シ能フ童子ヨ、

(講)「ヒューバート」云ヒケル様余ノ息ヲ以テ其火ヲ再ヒ起ストハ出來ル童子ヨ、
 「アーサー」而シテ若シ汝爲スナラハ汝ハ唯其ヲシテ赤面セシメ、而シテ汝ノ所爲ニ就テ
 耻ヲ以テ輝サシムルテアロウ、ヒューバート」ヨ、否其ハ恐ラクハ汝ノ眼ニ於テ輝クテアロ
 ウ、而シテ戰フヘク余義ナクサル、處ノ犬ノ如ク、彼レヲ追ヒ進メナス處ノ彼ノ主人ニ於テ
 喘ミ付クテアロウ○余ニ不正ヲ爲スヘク汝カ用フルテアロウ處ノ總テノ物ハ彼等ノ用ヲ嫌
 フ「テアロウ」唯汝ハ惠ミナキ用ニ向テ標示ノ創造者ナル恐ロシキ火及ヒ鉄ガ擴クル處ノ其
 惠ミチ欠キナセ、

(講)「アーサー」云フ、汝若シ鉄ヲ熱セハ鉄ハ唯咄ザテ汝ノ行爲ヲ見テ赤面スルナラン、否恐ラ
 クハ汝ノ眼中ニ入テ火花ヲ飛ハスナラン、鉄ハ恰モ飼犬ヲ無理ニ鞭ハシメントシテ其主人
 却テ犬ノ爲メニ嘯マル、カ如クナル「アル」ヘシ、○余ニ害ヲ加ヘン爲メニ用ユルノ器具ハ
 皆其用ヲ爲サ、ルヘシ、惠ミナキ惡事ヲ爲スノ火ヤ鉄力汝ニ及ボスノ苦ヲ免レン「ヲ」謀力

(「ヒューバート」)扱テ生存スヘク見ユ、余ハ汝ノ伯父ノ有スル處ノ總テノ財寶ニ向テ、余ノ
 眼ニ觸レヌテアロウ、猶ホ余ハ誓テアル、而シテ彼等ヲ燒キツブスヘキ此ノ同シ長ノ鉄ヲ以
 テ余ハ企テナセシ小童ヨ、

(講)「ヒューバート」云フ、然ハ汝ハ生キ存ユヘシ、余ハ必ス汝ノ眼ニ觸レサルニシ、然レモ余
 ハ此ノ鉄ヲ以テ汝ノ眼ヲツブサント誓ヒ又企テタリ、

(「アーサー」)オ、今汝ハ「ヒューバート」ノ如ク見ユル、此間ノ總テハ汝ハ異裝セラレシ、

(講)「アーサー」曰ク今ニシテ初メテ汝ハ「ヒューバート」ノ如クニ見ユル今迄ハ他人ノ如クナ
 リシ、

(「ヒューバート」)靜カニ、最早ヤ、サユナラ、汝ノ伯父ハ汝ハ死シテアル「ノ」外知テハナラ
 ス、偽リノ報告ヲ以テ此等ノ惡シキ間者ニ充タステアロウ、而シテ愛ラシキ小童ヨ、疑
 ナク而シテ「ヒューバート」ハ世界ノ總テノ富ニ向テ汝ハ害セヌテアロウ「ヲ」確メテ眠レ、
 (講)靜カニセヨ最早ヤ何ニモ言ナ、サヨナラ、汝ノ伯父ニハ汝ハ死シタリト思ハシメサルヘ
 カラズ、此等間者ニハ偽リノ報告ヲ爲シ置クヘシ、愛ラシキ小童ヨ汝ハ余ハ必ス汝ヲ害セサ
 ル「ヲ」信シテ安心シテ眠ニ就クヘシ、

(「アーサー」)噫天ヨ、余ハ汝ニ謝ス「ヒューバート」ヨ、

(講)嗚呼有難ヤ、「ヒューバート」ヨ難有フゴザリマス、

(「ヒューバート」)默セヨ、最早ヤ、余ト共ニ接シテ入レ○多クノ危險ヲ余ハ汝ノ爲メニ企テ
 爲ス、

(講)默セヨ、物言フナ、余ニ從テ來ルヘシ、○多クノ危言ヲ余ハ君ニ對シテ企テタリ、

第九十六課

「クエベツク」ノ掠取 (耶蘇紀元后一千七百五十九年)

加納陀ニ於テ佛蘭西ノ領地ノ終ル所ノ顯ハレハ深キ及ビ格段ナル利害ノ事情ニ依テ印サレシ○小説ノ「ベージ」ハ「クエベック」ノ戰爭ヨリモ一ノヨリ多クノ感スル所ノ説ヲ供給シ能ハヌ○企其ハ戰ニ於テ携來タセシ處ノ企ノ熟練及ビ勇敢及ビ其ノ執行ノ成功及ビ運命ハ不平行ノモノデアアル○各ノ部分ニ於テ一ノ利益ヲ呈セヌ所ノ廣キ開ヒタル平原ハ、戰ヒノ野テアリシノ爭フ處ノ軍勢ハ若シ數ニ於テナキナラハ武事ノ力ニ於テ殆ント一様デアリシ○兩方ノ首領ハ既ニ尊ムヘキ名譽ノ人デアリシ

〔譯〕カナダニ於テ佛領將サニ七セントスルノ景狀ハ格別ナル利害ノ關係アル事情ヲ以テ顯ハレタリ○如何ニ面白キ小説ノ記事ト雖モ「ケベック」戰爭程人ヲ感激セシムル記事ヲ載スル能ハス○戰爭上計畧ノ熟練及勇敢ト執行上ノ成功ト氣運ハ誠ニ之ト肩ヲ並ベテ平行スルモノナシ○兩黨孰レニモ利益ナラサル廣漠タル平原ハコノ戰爭場タリシ○阿軍ノ兵數ニ於テハ或ハ多少アルモ武力ノ多寡一様優劣ナク○阿軍ノ首領ハ各名聲高キ人ナリキ佛蘭西ハ賢ナル及ビ豪勇ナル「モントカルム」ニ於テ強ク信セシ○英吉利ハ若キ及ビ勇氣アル「ウルフ」ニ於テ望ミテ信セシ○浩大ナル砲臺其ハ爭ヒノ成果ノ上ニ賭ラレシ處ノ浩大ナル砲臺ハ手ニ於テ密ニ立チシ○周圍ニ數英里及ビ數英里ニ向テ景色ハ曾テ人ノ視覺ヲ喜ハセシ如ク左様ニ奇麗ナル陸ヲ越ヘテ廣カリシ——山及ヒ谷、森及ヒ水、市街及ヒ宿寔タル所ハ殆ント想像ノ美麗ノ形作りニ於テ一緒ニ集リシ

〔譯〕佛軍ハ賢且豪勇ナル「モントカルム」ニ望ミテ屬シタリ○英軍ハ若クシテ勇氣アル「ウルフ」

ニ望ミテ屬シタリ○浩大ナル砲臺近クニ在リシ○四周數英里間ハ想像上ノ美景ヲ豫メタルカノ如ク山アリ谷アリ森アリ水アリ市街及寂シキ村落アリテ、ソノ佳景云ハン方ナク人目ヲ祝ハシメタリ

「クエベック」ハ「セント、ローレンス」ノ左岸ニ於テ高キ頂上ノ坂ニ於テ立ツ○西ニ於テ都府ニ最近キ頂上ノ其ノ部分ハ「アブラハム」ノ平原ト名附ケラル、○「ウルフ」ハ河ヨリ嶮岨ナル峻険ノ側ヲ曲リ上ル所ノ狭キ小道ヲ發見シタリシ○各ノ側ニ於テ數英里ニ向テ其處ニ頂上ニ迄テ一ノ他ノ出來ヘキ道ガアラサリシ○此狭キ道ノ上ニ「ウルフ」ハ秘密ニ彼ノ全軍ヲ導キ而シテ彼ノ戰場ト平原ヲ爲スベク決定セシ

〔譯〕クエベックハ「セント、ローレンス」河ノ左岸高キ頂上ノ坂ノ上ニ在リ○西方ニテ此都市ニ尤モ近キ頂上ノ部分ヲ「アブラハム」ノ平原ト名ツク○「ウルフ」ハコノ河ヨリ嶮岨ナル坂側ヲ曲リ上ル狭キ小路ヲ發見セリ○コノ小徑ノ外四方ニ於テ頂上ニ登ルベキ通路ナシ○「ウルフ」ハコノ小路ヲ通シテ奇力ニ全軍ヲ導キ而シテコノ平原ヲカレノ本據トナサントセリ、

大ナル準備ハ決着シタル舉動ニ向テ海軍及ヒ陸軍ヲ通シテ爲サレシ、然レモ企圖ハ總テ秘密ニ保タレシ

〔譯〕此ノ如ク決定シテ彼ハ陸海軍ニソノ用意ヲナセシ、然レモ此企圖ハ敢テ洩ラサズ
一千七百五十九年九月ノ十三日ニ於テ夜ニ於テ千六百ノ強兵ナル軍勢ノ第一隊ハ靜ニ平キ

底ノ船ニ乗リシ○兵卒ハ高キ精神ニ於テアリシ○「ウルフ」ハ休自身ニ於テ導キシ○天明ノ前凡ク一時ニ小船隊ハ突出スル所ノ巖石ノ懸親ナル影ニ於テ干潮ヲ以テ落下セシ○漕人ハ辛フシテ彼等ノ機ヲ以テ水ヲ排撃セシ兵士ハ運動ナク坐セシ○若キ將軍ニ依テノ外ハ一ノ言葉カ話サレザリシ○彼ハ彼ノ小船ノ甲板ニ於テ傳令師カ其後ヲ話シタル如ク、「グレイ」ノ田舎ノ墓所ニ於テ○書シタル悲歌ノ此一節ヲ、彼ノ傍ラニ依テノ士官ニ迄底キ聲ニ於テ繰リ回セシ、

古實學ノ高慢、權力ノ華麗及ヒ嘗テ與ヘラレタ總テ其美麗總テ其富ハ同シク避クヘカラサル時ヲ待ツ——名譽ノ道ハ唯慕ニ迄導ク、

(譯)千七百五十九年九月十三日午後九時、一千六百ノ強兵一隊カ奇力ニ平底ノ小船ニ乘リ込ミタリ○一軍ノ兵卒皆意氣揚々タリ○「ウルフ」ハ窮自カラ其軍ヲ引率セリ○殆ント天明一時間前ノ頃此小船隊ハ懸岩ノ都合ヨキ陰ニ於テ干潮ニ乘シテ下リタリ○故漕人ハ機ヲ用フルニ及ハサリシ、兵卒ハ黙坐シ○只若將軍ノ時ニ一語ヲ發スルアルノミ○將軍ノ乘リ居タル舟ノ副官カ後チニ人ニ語リタル所ニ據レバ、コノ將軍ハ低聲ニテ彼ニ伴フ一士官ニ迄「グレイ」カ作リタル僻邑ノ墓地ニ於テ書シタル悲歌ノ中ナル左ノ一節ヲ囁キシ、
誇名ノ頼ム可カラサルモノヲ以テ驕リ、權力ノ廣大華麗ヲ競ヒ尊テ得タル凡テノ美麗及ヒ凡ノ財貨ト雖モ、人間避クヘカラサルノ時運ニ際會スヘシ、死ハ人ノ得テ避クヘカラサルモノナリ、サレハ名譽光輝ノ道ハ唯墓所ニ向フモノ、如シ、

彼カ美麗ナル詩ヲ終リシトニ彼ハ言ヒシ貴人ヨ今余ハ「クエベツク」ヲ取ルヨリ寧ロ其詩ノ記者テアルテ有フヨ、

(譯)カレガコノ愛スベキ詩ヲ話シ終リシ片、カレハ言ヒタリ貴紳ヨ、余ハ今「クエベツク」ヲ攻メ取リ名譽ヲ得ンヨリハ寧ロコノ詩ノ作者タランコトヲ欲スト

然レモ「ウルフ」ハ如斯ニシテ詩ノ言葉ニ於テ彼ノ感動ノ極度ニ迄テ脱出ヲ與ヘシ間ニ彼ノ眼ハ絶エス頂上ノ暗キ周圍其ノ下ニ彼カ急キツ、アリシ處ノ頂上ノ暗キ周圍ノ上ニ傾テアリシ○遂ニ彼ハ定メラレタル場所ヲ認知セシ而シテ岸ノ方ニ飛ヒシ、

(譯)「ウルフ」ハ如斯ク詩ノ言葉ニ依テ感動ノ極度ニ達スルヲ抑制シナガラモ行カント急ギシ頂上ノ暗黒ナル四邊ニ眼ヲ注キテ見ツメタリ○遂ニカレハ上陸ノ場所ヲ認メ而シテ岸上ニ飛ヒ上リタリ

第七十八ノ山住者ノ輕キ伴侶ヲ運フ所ノ、重ナル小船ノ若干ハ暫時ニ於テ潮ノ力ニ依テヨリ抵ク下ニ凡ソ二百「ヤード」運ハレタリ○「カプテイン」、「マクドナルド」ノ下ノ是等ノ山住者ハ陸ニ迄テ第一テアリシ○直ニ彼等ノ頭ヲ越テ其ノ岩多キ表面ノ上ニ徑或ハ足跡ナキ木ノ峻阪カ掛リシ○頂上ニ於テ彼等ノ現在ニ付テ尙ホ知ラサル佛蘭西ノ哨兵カ彼方此方ニ進ミシ

(譯)第七十八部ニ屬スル輕快ナル「ハイランダー」ヲ送ル處ノ小船若干ハ然ル間ニ潮ノ力ヲ受ケテ凡ソ二百「ヤード」程押シ下ケラレタリ○此ハ「ハイランダー」ハ隊長「マクドナルド」ヲ引

卒スルモノニテ第一ニ上陸セリ○上陸者ノ頭上ニ人跡小徑モナキ岩石ノ峻坂突兀トシテ
 營ヘタリ○其頂上ニハ「フランス」ノ番兵諸所ニ徘徊セリ然レモ未タ彼等ノ上陸ヲ知ラス、
 一瞬間ノ躊躇ナク「マクドナルド」及ヒ彼ノ人ハ頂上ニ於テ衝キシ○彼等ハ唯々星其ハ岩石
 ノ頂上チ越ヘテ輝キシ處ノ星ニ依テ導カレテ岩及ヒ樹ノ枝ニ依テ保チツ、這ヒ上リシ○最
 初ノ時ニ向テ「グイブ、ワイヴ」乎（誰カ其處ニ行ク乎）カ夜ノ靜沈ヲ破リシキニ登高ノ半バ
 ハ既ニ得テレシ○「ロー、フランス」ト敏捷ナル自若チ以テ英國ノ「カプティン」カ答ヘシ、
 而シテ哨兵ハ彼ノ銃炮ヲ肩ニセシ而シテ彼ノ巡視ヲ續ケン

（講）上陸者ハ一刻ノ猶豫モナク頂上ニ向フテ突進セシ○岩石ヲ照ラス星光ヲ以テ明ナト
 リ岩或ハ樹木ノ枝ヲ取りテ懸崖這ヒ上リシ○四邊闊トシテ陸ヲシ忽チ離力其處ニ行クカ
 ト最初ニ叫ブモノアリ時ニ既ニ山徑ノ半ニ達シタリ○「ローフランス」ト英國ノ隊長自若ト
 シテ驚ク色ナク直ニ答ヘ以テ番兵ヲ欺ケリ而シテ番兵ハ己レノ銃筒ヲ肩ニシテ案ノ如ク
 巡邏セリ

トハ言ヘル數分時ニ於テ手ニ於テ密着ナル樹木ノ動鳴ハ「佛蘭西」ノ番兵ヲ驚カセシ○彼等
 ハ速ニ外ニ出テシ峻阪ノ下ニ一ノ不規則ナル連發ヲ發砲セシ而シテ驚愕ニ於テ逃レシ○「カ
 プティン」ハ獨假令ヒ傷ケラレシト雖モ彼ノ地位ニ立チシ○降參スヘシ召シ呼ハレシキニ
 彼ハ重モノル攻撃者ノ一ニ於テ發砲セシ然レモ直ニ強服サレシ○暫時ニ於テ殆ント五百人
 ガ上陸セシ而シテ頂上ノ上ニ彼等ノ路ヲナセシ○其等其人ハ最初頂上ニ達シタリシ處ノ其

等ハ路ノ頂上ニ於テノ溝ヲ掘リタル場所其チ「ウルフ」カ彼ノ軍勢ノ登高ニ向テ撰ミタリシ
 處ノ頂上ニ於テノ溝ヲ掘リタル場所ノ所有ヲ取リシ

（講）然リト雖トモ間モナク四邊樹木ノ鳴動ハ「佛」ノ番兵驚カセシ○番兵等跡戻リテ外ニ出
 テ來リ峻坂ヨリ狙ヒモ定メズ彈丸ヲ連發射下シテ逃レ去レリ○隊長ハ獨ハ丸ニ中リテ傷
 キシト雖モ尙己レノ地位ヲ保チシ○來降ヲ促サレタル井ニ隊長ハ重ナル攻撃者ノ一人ニ
 向フテ發砲セリ然レモ彼ハ間モナクカ叶ハスナリシ○其間ニ五百ノ兵士上陸セリ○而シ
 テ各山頂ニ向フテ發足セリ○先ツ頂上ニ登リシ一隊ハ「ウルフ」ガ登山ノ爲メニ撰ヒ定メタ
 リシ徑ノ極端ニアル溝ヲ掘リタル場所ヲ取リシタリ

「ウルフ」「モンクトン」及ヒ「マーレー」ハ第一ノ分隊ヲ以テ上陸セシ○各ノ小舟ハ清淨ニサ
 レシ如ク左様ニ速ニ其ハ船其ハ今又着岸ノ其ニ殆ント反對ナル点ニ迄潮ヲ以テ下ニ浮ミタ
 リシ處ノ船ニ迄テ援助ニ向テ後ロニ置カレシ○戰備力曲ル所ノ徑ノ足ニ於テ狹キ海瀕ニ於
 テ形作りシ而シテ充分セシヤ否ヤ各ハ岩石ナ上リシソノキニ彼等ハ再ビ上ノ平原ノ上ニ形
 作りシ

（講）「ウルフ」「モンクトン」及ヒ「マーレー」ハ第一隊ヲ以テ上陸シタリ○一同上陸セシヤ否ヤ
 小舟ハ忽チ又本船ニ乘リ返シテ援軍上陸ノ便ニ供シタリ其本船ハ今ハ潮ノ爲メニ押シ流
 サレ上陸ノ場所ニ進ミ來リタリ○屈折シタル小徑ノ下ニ於ケル狹隘ナル水邊ニテ勢揃チ
 ナシタルヤ否ヤ絶壁ヲ登チ上リ頂上ニ達シテ再ヒ平原上ニ隊列シタリ

小舟ハ忙シク往返セシ伴侶ノ後ニ伴侶ハ速ニ上陸シテアリシ而シテ彼等ハ用意シタル快樂
ヲ以テ嶮岨ナル坂ノ上ニ集リシ○朝カ破レシキニ「ウルフ」ノ軍勢ノ全キ用ウベキ勢力ハ入
江ノ上ノ高地ノ上ニ強キ陣備ニ於テ立チシ、○トハイハ只ダ一ノ大砲ハ小山ノ上ニ運バ
レ能ヒシ、而シテ加之ナラズ其ハ信ジ難キ困難ナシニ位置ニ於テ置カレテアラザリシ、

(講)小舟ハ上陸ノ所ト本船トノ間ヲ速ニ往復シ、一隊一隊急ニ上陸シ、各隊ノ兵士ハ險岨ナ
ル坂上ニ集リ勇氣勃々コノ峻坂ヲモ意トセザルノ意氣込ミナリ○夜明クルヤ「ウルフ」ノ全
軍灣上ノ高地ニ陣ヲ張り戰備堅固士氣用ユルニ堪ヘタリ○然レハ唯一ノ大砲ヲ上山ニ運
ブヲ得タリ、加之ナラズ非常ナル困難ヲ以テ僅カニ其大砲ヲ適當ノ位置ニ置クヲ得タ
リ、

「モントカラム」ハ既ニ將軍トシテ破ラレシ、然レ其ハ一兵士トシテ戰フベク尙ホ彼ヲ殘シ
タリシ、○戰ノ彼ノ命令ハ脆カト及ヒ敏捷ニ爲サレシ、彼ハ人ニ於テ中軍ヲ命令セシ、○戰
ハレタル彼ノ全キ勢力ハ印度人ノ外七千五百二十人デアリシ、○「ウルフ」ハ只ダ總テノ列
ノ四千八百二十八人ノ勢力ヲ顯ハセシ、然レ各ノ人ハ操練シタル兵士デアリシ、

(講)モントカラムハ既ニ將軍トシテハ破レタリト云フモ同様「ウルフ」ニ先ヲ越サレテ此山頂
ヲ取ラタレハ、然レハ一兵士トシテハ尙ホ戰フベキ余地ヲ持ツナリ○カレノ命令ハ嚴肅敏
捷ナリシ、○彼ハ自ら中軍ヲ指揮セリ○彼ノ全軍印度人ヲ除キテ七千五百二十人ナリ○「ウ
ルフ」ハ總軍四千八百二十八人ノ勢力ナリ、然レ各兵士皆ナ教練ヲ受ケタルモノナリ、

佛蘭西人ハ襲撃セシ、○小戰ノ一群ニ依テ爲サレタル活潑ナル進ミノ後、長キ破レザル線ニ
於テ彼等ノ大ナル隊ハ「ウルフ」ノ位置ニ接近シツ、見ラレシ、○速ニ殘虐ナル及ビ止マザ
ルノ發炮ガ始マリシ、英ノ軍隊ハ速ニ倒レシ○「ウルフ」ハ手頸ニ於テ打タレシ、然レ不
當ニサレテアラザリシ、

(講)佛兵ハ襲撃シタリ○小戰者ノ一群勇進シ、續テ長キ斷絶ナキ數列ニ於テ本隊ハ「ウルフ」
ノ陣所ニ近ツカントスルヲ見タリ○直ニ烈シク發砲シテ死傷多シ○英軍斃ル、者多ク○

「ウルフ」モ手頸ニ負傷セシト雖モ動作自由ナリ、
傷ノ周圍ヲ手巾ヲ以テ捲ク處デ固持シテアルヘク、及ヒ彼ヲノ發炮ヲ止ムルヘク人々ヲ勵
マス處デ、彼ハ一ノ隊ヨリ他ノモノニ迄急キシ○一ノ英ノ兵士ハ引金ヲ引カサリシ、無雙ノ
忍耐ヲ以テ彼ヲハ試ミテ堪ヘシ○伴侶ハ動搖シテアラザリシ、彼ヲノ武器ハ恰モ行列ニ於
テカノ如ク肩ニセシ、而シテ彼ヲハ恐ロシキ透間ヲ近接シタリシキノ外、運動ナク彼ヲハ命
令ノ言辭ヲ待チシ、

(講)「ウルフ」ハ直ニ傷口ヲ手拭ヲ以テ捲キ、諸隊列ヲ巡視シテ固持シテ動クヘカラス、且ツ彈
丸ヲ浪費ス可カラスト令セリ○夫故ニ英兵中一人トシテ銃ノ引金ヲ引クモノナク、各兵士
ハ非常ノ耐忍ヲ以テ敵ノ彈丸雨注ノ困難危、險ヲ受ケコタヘシ○一隊トテモ動搖スルモノ
ナク、武器ハ行軍ノ片ノ如ク兵士ノ肩ニ荷ヒ、隊伍開ク片兵士相接近スルノ外ハ決シテ動カ
ス、靜カニ命令ノ下ルヲ待チ居タリ、

佛國ノ襲撃ノ頭カ四十「ヤード」ノ中ニ達シタリシキニ「ウルフ」ハ發砲セヨト号令ヲ與ヘシ、○直ニ銃砲ノ長キ列ハ平行セラレシ、而シテ單ナル射撃ノ如ク區別シタル連發ハ英ノ兵線ヨリ發セラレシ、○瞬間ニ於テ進行スル處ノ圓柱ハ尙ホ不運ナル襲撃ニ於テノ軍旗ノ加ク震ハセツ、襲撃セシ、然レモ數歩カ長ク止メラレタル打撃ノ勢力ハ如何ニ恐怖スヘクアリタリシ乎ヲ告ケシ、

〔譯〕佛人襲撃隊ノ先鋒四十「ヤード」以内ニ達セシキニ英將「ウルフ」ハ發砲セヨト号令ヲ發シ、○直ニ銃砲ノ無數長キ一列トナリタルモノ狙ヒ定マリ連發一齊砲聲亂ル、トナク恰モ一箇ノ銃ヲ放射スルカ如ク英軍ヨリ放チタリ○佛軍襲撃隊ノ一隊ハ隊列稍ヤ亂レ恰モ此不幸ナル攻撃ノ爲メニ軍旗ノ風ニ翻ルカ如クニ搖動シタレモ尙ホ進撃ヲ止メス前進シ來リタルカ英軍ノ斯ク久シク待コタヘテ今俄然一齊連發ノ功力ハ佛軍ノ進ミ來ルノ歩稍ヤヨロメキタルヲ見テ實ニ激シカリシヲ判スルニ足レリ、

「モントカーム」ハ自カヲ襲撃ヲ号令セシ○彼ハ軍ノ彼ノ線ニ於テ最初動キタリシ以來十五分カ經過セナンタリシ、而シテ既ニ總テカ失ハレテアリシ、○然レモ勇氣アル「モントカーム」ハ假令ヒ零落セシト雖モ恐怖サセラレサリシ○彼ハ破レタル列ヲ通シテ驕リシ、彼ノ聲ヲ以テ彼ヲ悅ハセシ、彼ノ大胆ナル容貌ヲ以テ彼ヲ驚マセシ、而シテ小ナル柵ニ依テ助ケラレテ、加之彼ノ敵ニ迄前面ニ現ハレツ、仕トゲシ、

〔譯〕モントカームハ躬自カラ攻撃ノ号令ヲ下シタリ、○彼ハ初メ此襲撃隊ノ中ニ來リ指揮

ヲ始メタル後チ未ダ十五分時モ經過セサルニ早ヤ既ニ兵士ハ大ニ死傷セリ、○然レモ「モントカーム」ハ少シモ臆スル色ナク○敗卒散列ノ間ヲ過キ令ヲ下シテ諸兵ヲ勵マシ大胆ナル容貌動作ヲ示シテ彼ヲ勇ヲ鼓シ小ナル柵ヲ越トシ更ニ敵ノ面前ニ現ハレタリ、

然ル間ニ「ウルフ」ノ軍隊ハ再ビ裝藥シタリ○彼ハ敵ノ列ニ於テ逡巡ノ機會ヲ取リシ、而シテ進行スヘク全キ英ノ線ニ命令セシ○最初彼等ハ佛人ノ連發ヲ死スヘキ感情ヲ以テ請取リツ、及ヒ拂ヒ反シツ、威嚴ナル齋備ヲ以テ前進セシ、然レモ速カニ兵士ノ熱心ハ軍規ノ禁制ヲ通シテ破リシ、——彼ヲハ死スル所ノ及ビ死シタルモノヲ越ヘテ突キツ、及ヒ彼ヲ徑ヨリ生活スル處ノ敵ヲ掃キツ、奔走ニ迄彼ヲノ歩ヲ増セシ、

〔譯〕其間ニ英將「ウルフ」ノ軍隊ハ銃砲ニ再ヒ彈丸ヲ詰メタリ、○「ウルフ」ハ敵軍ノ路阻逡巡スルヲ好機會トナシ、全英軍ニ進行スヘキ命令ヲ下シタリ、○最初英軍ハ隊列整肅威嚴然トシテ進ミ、敵ノ連發ニ報スル我亦連發ヲ以テシ、戒心周到ナリト雖モ戰ヒ漸ク酣ナルニ及テ兵士ノ熱心勇氣ハ軍令ノ如何ナリ願ミズ負傷者及ヒ死者ヲ踏躡ヘ數多ノ敵兵ヲ後ロニシテ敗レ走りタリ、

「ウルフ」ハ速カニ依テ傷ケラレシ、然レモ彼ハ彼ノ苦痛ヲ隱セシ、如何トナレハ彼ノ働キハ未ダ仕遂ケラレテアラザリシ故ニ○再ヒ砲臺ヨリノ彈丸ハ胸ニ於テ彼ヲ打チシ○彼ハ一方ニ迄動搖セシ、然レモ瞬間ニ於テ其カ一般ニ注視セラレサリシ、

〔譯〕ウルフハ直ニ身体ニ負傷セシト雖モ其苦痛ヲ人目ニハ隠シタリ、蓋シ彼ノ爲サント欲

スルノ「未タ全ク終ラサレハナリ」○砲聲ヨリ來ル彈丸再ヒ彼ヲ打チシ○因テ彼ハ一方ニ
遑巡セシ然レモ未タ一般軍隊ノ知ル所トナラサリシ、

余ノ勇氣アル伴侶カ倒ル、余ヲ見得ヌ「ノ爲メニ余ヲ支ヘヨト、彼ハ精兵ノ士官其人ハ近
クニ接シテアリシ處ノ精兵ノ士官ニ迄彼ガ云ヒシ」○然レモ僅カノ秒ニ於テ彼ハ地ニ迄沈ミ
シ、而シテ後ロニ於テ少シ保タレシ、

（蘭）士官ノ沮喪セン「トテ恐ル、故ニ「ウルフ」ハ倒ル、余ヲ諸勇士ニ見セシメザランガ爲メ
ニ余ヲ扶助セヨト、傍ニアル精兵ノ士官ニ云ヒシ、○然レモ數秒後彼ハ地ニ倒レ而シテソノ
少シ後ロノ方ヘ運バレタリ

簡短ナル争ハ重ク英ノ上ニ落チシ、然レモ佛蘭西人ニ迄テ敗壞デアリシ○彼等ハ虐殺ノ下
ニ動搖セシ、陣其ハ死亡ガ混雜シタリシ處ノ陣ハ速ニ破レ及ヒ散ラサレシ、○「モントカム」
ハ勇氣其ハ望ノ殘者ノ上ニ起リシ處ノ勇氣ヲ以テ、彼ノ頑固ナル老練ノ士、其人ハ尙ホ敵ニ
向テ頭ヲナセシ所ノ彼ノ頑固ナル老功ノ士ノ群集ヲ通シテ駆ケシ、而シテ戰ノ前面ヲ示ス
ベク勸メシ、○彼ノ骨折ガ無益デアリシ、○各ノ隊ノ頭ハ其ノ恐ルベキ銃砲ノ前ニ掃キ去
ラレシ、○數分時ニ於テ「佛蘭西」人ハ總テノ方向ニ於テ道ヲ與ヘシ、○丁度然ルモ彼等ノ勇
氣アル將軍ハ死スベキ傷ヲ以テ斃レシ、其時ヨリ總テガ全ク敗ラレシ、

（蘭）此ノ簡單ナル戦争ハ英軍ニ與フル關係大ナリ佛軍ニハ全ク敗亡ノ結果ヲ生ゼシ、○佛
兵ハ多クノ殺戮ニ遇フテ遑巡シ敗北散亂シタリ○大將「モントカム」ハ勝算全ク盡クルト

雖モ尙ホ勇チ鼓シ、尙敵ト相對スル老練ノ兵士ニ指揮シ、敵ト相面セン「トテ勉メタリ、○其ノ
盡力効ナク、○諸隊ノ先鋒銃丸ノ爲メニ斃レ數分間ニ「佛」人ハ四散シタリ、○ソノ片勇將「モ
ントカム」ハ重傷ヲ負フテ斃レ今ヤ佛軍ハ全敗シテ再び收拾スベカラズ

英ノ軍隊ハ彼等ヲ前ニ總テ運ビツ、アリシ間ニ、彼等ノ若キ將軍ノ性命ハ速ニ衰ヘ去リツ
、アリシ、○時ヨリ時マデ彼ハ彼ノ視覺ノ前ニ集リシ處ノ死ノ霧ヲ消メ去ルベク彼ノ疲レ
タル手ヲ以テ試ミシ、然レモ彼ノ盡力ハ無益ニ見ヘシ、如何トナレバ直ニ彼ハ後ニ置キシ而
シテ重キ呼吸スル「ト、及ビ折々ノ呻吟ヲ超ヘテ生活ノ一ノ記號ヲ與ヘザリシ故ニ、

（蘭）英軍總テ前方ニ進ミ敵ヲ追フ片ニ若キ將軍ノ生命ハ次第ニ衰ヘツ、アリシ、○彼ハ絶
ヘズ彼ノ手ヲ以テ眼前ニ集合スル所ノ死去ノ暗ヲ拂フガ如クナリシ、然レモ其ノ骨折ハ無
効ナルガ如ク直チニ彼ハ後ニ倒レ、只ダ苦シキ氣息ト時々ノ呻吟ヲ發スルノミニテ最早ヤ
死体ト相去ル唯一殘ノミナリシ、

暫時ノ間ニ「佛蘭西」人ハ道ヲ與ヘタリシ、而シテ總テノ方向ニ於テ、飛ビツ、アリシ、○精
兵ノ士官ハ此ヲ見ル所デ彼ノ周圍ノ其等ニ迄テ呼出セシ、見ヨ彼等ハ走ルヨ ○言葉ハ死ス
ル所ノ人ノ耳ヲ捕ヘシ、彼ハ睡眠ヨリ醒マサレタル人ノ如ク彼自身ヲ起セシ、而シテ熱心ニ
問ヒシ、誰カ走ル乎、○敵ヨ君「ト士官ガ答ヘシ、彼等ハ各所ニ道ヲ與ヘル、

（蘭）カ、ル時ニ佛人ノ遁逃相繼キ諸方ニ飛行セリ○精兵ノ士官此レヲ見テ「ウルフ」ノ傍ニ
アル士官等ニ云ヒケル様見ヨ彼等ガ走ルヨ「ト○此ノ語ヲ聞キテ○全傷ノ「ウルフ」ハ身ヲ

起シ「誰ガ走ルカ」ト問ヒシ、ソノ狀恰モ睡ヨリ覺メ起キタルモノ、如シ、○敵ガ走ル敵ハ到ル所敗北スト士官ガ答ヘシ、

「ウルフ」ハ言ヒシ、汝ノ一人ハ「コル子ル、パートン」ニマデ行キ退キテ斷切スベク「セン」ト、チャールズ「河」ニマデ、下ニ總テノ急速ヲ以テ「ウエツク」ノ「レジメント」ヲ進メルベク彼ニ告ゲヨ、○彼ノ聲ハ彼ガ話セシキニ疲レルモノトナリシ、而シテ恰モヨリ容易ナル位置ヲ求メルヲ手ノ如ク、彼ノ側ニ於テ向キシ、○彼ガ此ノ最後ノ命令ヲ與ヘタリシ時ニ彼ノ目ハ死ニ於テ閉ジシ、

(講)「ウルフ」ガ云ヒシ、汝等ノ内一人「コル子ル、パートン」ニマデ行キテ、「ウエツクス」ノ一隊急行シ以テ「セントチャールズ」ニ下リテ敵ノ退陣ヲ遮斷スニシト告ゲヨト○彼ノ聲ハ話中次第ニ衰ヘタリ、而シテ彼ハ身体ノ安慰ヲ求メントシテ回轉シタリ、○カレガ與ヘシ此命令ハ最後ニシテ直ニ閉目永眠シタリ、

「ウルフ」ノ体ハ木乃伊ニシ、而シテ英國ニ迄テ運送ニ向テ河ニマデ送ラレシ、○軍勢ハ洋ニマデ嚴格ナル有様ニ於テ其ヲ護送セシ○彼等ハ彼等ガ勇マシク戦争ニ於テ彼ニ從フタリシ如ク左様ニ誠實ニ彼等ノ若キ將軍ノ死亡ヲ哀ミシ、

(講)「ウルフ」ヲ死体ハミイラトナシ、此ノ河ニ由リテ英國ニ送リタリ、○軍卒ハ嚴重ナル有様ニテ海岸ニマテ死体ヲ護送セシ、○彼等兵士ハ誠實ニカレノ軍令ニ從ヒ勇戦シタリシ如ク、コノ若將軍ノ死受フ心カラ哀ミタリ、

第九十七課

田舎ノ墓地ニ於テノ歌

晚鐘カ分レル處ノ日ノ響チ鳴ラス、鳴ク處ノ羊群ハ牧場ヲ越ヘテ徐々ニ廻ル、百姓ハ彼ラノ疲レル道ヲ家ノ方ニ稼ク、而シテ暗黒ニ迄及ヒ余ニ迄世界ヲ見捨ル、

(講)晚鐘ハ誰彼時ヲ報シ、羊群ハ徐々ト牧場ヲ去リ、百姓ハ終日ノ勤勞ニ疲レテ我家ヲ差シテ歸途ニ就キ、世界ハ次第ニ暗キ夜ト變スル、

今微カナル景色カ眼界ニ於テ消失ス、而シテ「ビートル」彼レノ不正ナル飛行ヲ廻ハシ而シテ怠リタル鳴聲カ隔タリタル群集ヲ靜メルコトノ外總テノ空氣カ行儀ヨキ靜安ヲ保ツ、

(講)依微タル景色モ今ハ眼界ノ外トナリ、四隣寂トシテ靜カナリ、唯「ビートル」虫ハバタト飛ビ、啾々タル鳴聲遠ク響クノミ、

彼ラノ葛ノ外衣ヲ着クル塔ヨリ鬱憂ナル梟カ彼女ノ秘シタル家ニ近ク彷徨シツ、彼女ノ古キ寂寞タル領分ヲ妨クル如キ斯クノ如キモノニ付テ月ニ迄歎キナスコトノ外、

(講)向ヒノ葛蔓ノカラミタル高キ塔ノ上ニテ已レノ暗ラキ住所ニ彷徨シツ、月光ノ爲メニ其寂寞タルノ有様ヲ害セラル、テ歎クノ聲ヲ聞クノミナリ、

其ラノ粗ラキ楡樹、其ノ水松樹ノ陰ノ下ニ多クノ腐敗スル處積ミ物ニ於テ艸土カ高マル處ニ、各永久ニ置カレタル彼ノ狭キ穴ニ於テ、小邑ノ民ノ嚴ナル父母カ眠ル、

(講)其等ノ榆ヤ水松樹ノ下ニ艸土抔堆積スル處ノ邊ニテ墓所ニハ古昔ノ先祖共ノ遺骸ハ横臥スルナリ、

香氣ヲ呼吸スル處ノ朝ノ軟風、藁ニテ建テラレタル仮小屋ヨリ嘯ツル處燕牡鷄ノ鋭キ聲、又ハ返響スル處ノ喇叭カ最早ヤ彼ラノ低キ寢所ヨリ彼ラヲ起サヌテアロウ

(講)香氣鄭郁タル朝ノ軟風茅屋ヨリ出テ鳴ク燕ヤ、鷄ノ鳴キ聲ヤ、響キ渡ル喇叭ノ聲杯ハ幾クラ聞ユル共墓地ニ横臥スルノ祖先ヲ呼ビ起スルアラサルヘシ、

彼ラノ爲メニハ輝ク所ノ火爐カ最早ヤ燃ヘヌテアロウ、又ハ忙ハシキ妻カ彼女ノ日暮ノ注意ヲ急カヌテアロウ、一ノ小兒ハ彼等ノ父ノ歸リニ嬌ルヘク走ラヌ、又ハ猜ミタル接吻ヲ分ツヘク彼ノ膝ニ登ラヌ(テアロウ)

(講)最早ヤ死シタル先祖ノ人々ニハ燃ユル火爐モ入用ナラズ、女房ノ夕飯ノ仕度モ要セス、小兒達ノ父ノ歸宅ヲ待託ルコトモナク、父ト接吻スルヲ羨ミテ小兒達ガ我モ我モト父ノ膝ニ登リ上ルコトモナシ、

屢ハ彼ラノ鎌ニ迄収納物カ從ヒナセシ、彼ラノ畦カ屢ハ頑固ナル地ヲ破ツタ、彼ラハ如何ニ面白ク彼ラノ家蓄ヲ追ヒナセシヨ、彼ラノ強キ打ツコトノ下ニ木カ如何ニ屈セシヨ、

(講)秋獲物ヲ先祖ノ人々ハ鎌ニテ刈リ、畦ヲ造テ堅キ土ヲモ打起シタ、土地ヲ耕スニ牛馬ヲ御シ、地ヲ開クニ大木ヲモ斬リ倒シタリ、

名譽心ヲシテ彼ラノ必要ナル勤勞彼ラノ家内ノ愉快而シテ天運ノ拙ナルヲ嘲弄セシムルナ

又富貴ナルモノヲシテ賤シム笑顔ヲ以テ貧者ノ短カキ質朴ナル記録ヲ聞カシムルナ、

(講)名譽ヲ望ム者モ百姓共ノ勤勞及家族ノ快樂天然ノ運ニテ世ト廣ク交際セサルヲ笑フヘカラス、富貴ナル人モ百姓ノ履歷質朴閑單ナルヲ笑フ可カラズ、

士官ノ自慢勢力ノ壯嚴而シテ曾テ與ヘラレシ總テ其ノ美、總テノ其富ハ同シク避ク可カラサルノ時ヲ待ツ——名譽ノ道ハ唯慕ニ迄導ク、

(講)政府ノ顯職ニ在リ又權勢壯嚴ナルモ曾テ得タル豪華モ富貴モ悉ク一度ハ死スルモノナリ、即チ名譽ヲ得ントスルノ行ク道ハ墓地ニ向フノ途上ナリ、

又ハ誇リタル汝ヨ、汝ハ是等ニ迄誤リヲ歸セヌ、彼ラノ墓ノ上ニ一勝利物ヲ供セヌトモ、其處ニ長ク導カレタル廊下及ヒ混亂シタル圓形天井ヲ通シテ響ク處ノ頌德歌カ名譽ノ記標ヲ廣クル(處ノ墓)

(講)汝ヲ誇リタルモノハ死シテ後チ讚美セラルヘキニ却テ其人ヲ記臆スルモノモナクトモ其原因ヲ前ニ述ヘタルモノニ歸セズ、

說話サレタル壺又勢付ケラレタル半身像其家ニ迄過キ行ク處ノ呼吸ヲ呼ヒ返シ能フ乎、名譽ノ聲カ黙シタル塵埃ヲ引起シ能フ乎、或ハ溫言ノ慰メカ死亡ノ鈍キ寒キ耳ヲ(引起シ能フ乎)

(講)結構ナル死体ヲ容レル壺ヤ半身像ヲ造リタリトテ死者ヲ蘇生セシメテ其ノ以前ノ住家ニ呼ヒ返スコトカ出來ルカ、名譽ノ聲タリトモ死骸ヲ呼ヒ戻スコトカ出來ルカ或ハ溫言追從

タリトモ死者ノ耳ニ達スルコトハ出來サルヘシ、
恐ラク此意リタル場所ニ於テ天上ノ火ヲ以テ一度孕マレタル或ル胸カ横ヘラル、天國ノ
棒ヲ振り廻シタ能ヒシ或ハ治波ナル樂器ヲ弄スルヘク起キタ處ノ手カ(横ヘラル、)

(譯)恐ラクハ掃除モ怠リ拾遺ニ爲シタル墓地ニハ一度此世ニテ天意ヲ奉シタル人横臥ス
ルナラン、即チ天國ノ快樂ヲ受クル人々横臥スルナラン、

然レモ彼ラノ眼ニ迄ノ智識カ時ノ消費ヲ以テ富ミタル彼女ノ大ナル給仕人ヲ決シテ顯ハシ
ナサ、リシ、寒キ欠乏ガ彼ラノ高キ怒ヲ靜メシ、靈魂ノ自然ノ流ヲ凍ラセシ、

(譯)彼ラノ學識ハ時ヲ消費シテ苦學シテ得タルモノト雖モ其智識ヲモ決シテ人ニ誇ラス
貧乏ナルカ爲メニ榮耀ニ流レス精神潔白ニ過シタリ、

最モ清キ明カナル光線ノ充分多キ寶石ハ海ノ暗ラキ底ナキ穴カ保ツ、充分多クノ花ハ見サ
ル紅色ニ於テ保タル、而シテ荒レタル空氣ニ於テ其ノ快キコト荒ラス、

(譯)純正潔白ナル寶石ハ深キ大洋ノ底ニアルモノナレバ、花ハ充分奇麗ニ開クトモ忽チ凋
レタル空中ニテ散リテツマラヌモノナリ、

大胆ナル精神ヲ以テ彼ノ戰場ノ小ナル抑家ニ抗セシ處ノ或ル村落ノ「ハンブデン」或ル默
シタル名譽ナキ「ミルトン」モ此處ニ横ハリ能フ、彼ノ國ノ血ニ付テ罪ナキ或ル「クロムウエ
ル」モ(此處ニ横ハリ能フ)

(譯)大胆ナル精神ヲ以テ國ノ專制ニ抗シタル「ハンブデン」ノ如キ人ヤ「ミルトン」ノ如キ人ヤ

「クロムウエル」ノ如キ人モ此處ニ横臥スルナラン、

第九十八課

「サーモピロー」ノ戰爭

第一部

其處ニ「希臘」ニ於テ戰慄スルコトガアリシ、○希臘人が東國ノ重ナル支配者其人ノ領地ガ印
度ノ「コーカシヤス」ヨリ「イージヤ」ニ迄デ裡海ニマデ廣ガリシ處ノ、東國ノ重ナル支配者
ト名ケテレシ如ク大王ガ、東地中海ノ岩、及ビ入江ノ中ニ渡世セシ處ノ小ナル自由國ニ向テ
彼ノ軍勢ヲ整ヘツ、アリシ、

(譯)希臘「ニ於テ昔シ酸鼻戰慄スベキ事變アリシ、○印度」ノ「コーカサス」ヨリ「イージヤス」ニ
至ル間及裡海ヨリ紅海ノ間ノ地ヲ領セシ大王ガ東地中海ノ港灣島嶼ノ間ニ散在セル小自
由國ヲ征服センガ爲メニ軍備ヲ整ヘタリシ、コノ王ヲ希臘人ハ呼ビテ東洋ノ首領トナセ
リ、

既ニ彼ノ權ガ多島海ノ東ノ濱ニ於テ希臘人ノ育養シタル殖民ヲ蠶食シタリシ、而シテ本國
ノ定律令ニマデ各ノ奸賊ハ其專權ノ朝廷ニ於テ用意シタル隱レ所ヲ發見セシ、而シテ侵入
ニマデ感激ヲ耳語スルコトニ依テ彼自身ノ惡事ヲ復讐スベク試ミシ、

(譯)既ニ王ハ地中海ノ東岸ニアルノ多島「希臘」ノ殖民地ヲ蠶食セリ、而シテ此群島小政府ノ

下ニ在ルノ人民ハ皆叛シテ此專制王ノ保護ヲ仰ギ且ツ王ヲ勸誘スルニ群島襲撃ノヲテ以テ已レ等ノ受ケタル不正ニ對シ復讐センコトヲ勉メタリ、

總テノ人民、國民、及ビ國語ハ其獨裁主ノ朝廷ノ命令ノ初メデアリシ、而シテ其ハ辛フシテ無益ナル高慢デアリシ、如何トナレバ彼ノ知事ガ從屬ノ王國ヲ越テ支配セシ、而シテ彼ノ貢進ノ國民ノ中ニ、彼ノ學問及ヒ古キ開化ヲ以タル「カルデア」人、賢ナル及ビ堅固ナル「猶太」人、熱練ナル、「フイニシア」人、學ビタル「埃及」人、沙漠ノ粗キ劫掠スル所ノ「亞拉比亞」人、黒キ皮膚ノ「エシテピア」人ヲ計算セシ、及ビ是等ノ總テヲ越テ余リノ總テノ打勝者ナル及ビ不死ト名附ト名附ケラレタル撰ミタル抑柄ニ軍隊ニ依テ導カレタル鋭キ才智ノ活潑ナル土人「パーシア」種族ガ管理セシ故ニ、

(附)コノ獨裁王國敍建ノ初メニ當リテ言語風俗ヲ異ニセル總テノ人民及ビ國民ヲ網羅セリハ實ニ虛榮ニ非ザルナリ、諸所ノ知事ハ從屬國ヲ鎮撫シ、貢進ノ國民ハ學問開ケ往古開化シタ「カルデア」人賢ニシテ剛毅ナル「猶太」人經驗アル、「フイニシア」人、學識アル、「エヂプト」人、沙漠中ノ掠奪ヲ事トスル粗暴ナル「アラビア」人、及ビ黒色ノ「エシヨビヤ」人等ニテ斯ノ如キ多人種交配スルモノハ銳智活潑ナル「パーシヤ」人種ニテ則チ他國ヲ征服シ不死隊ト稱スル軍隊ヲ引率シタリ、

「バビロン、ジグレート」「シノーザ」「パーセポリス」及ビ類似ナル彼ノ多クノ首都ハ「小亞細亞」ヨリノ「イオニア」其人ハ王自身ノ足ニマデ彼等ノ貢稅ヲ運ビタリシ處ノ「イオニ

ア」ニ依テ、或ハ廷臣ノ奴隸其人ハ虐政ノ朝臣ニ於テ總テ余リ有益デアルトヨリ困難ヲ以テ逃ゲタリシ處ノ廷臣ノ奴隸ニ依テ、今マ及ビ然ル片語サレル、希臘人ニ迄テ夢ノ如ク華麗ノ名デアリシ、

(附)「バビロン」「クレート」「シノーザ」「パーセポリス」及如此キ許多ノ首都ノ廣大壯麗ハ「イオニア」王ノ階下ニ貢テ進メシ所ノ小亞細亞ノ「イオニア」人種、或ハ内廷ニ於テ虐使ノ苦痛ヨリ逃レ出テタル廷吏ノ屢バ談話スル所ノモノニテ夢カト疑フ程ノモノナリ

而シテ此ノ非常ナル帝國ノ主方殆ント國ノ小郡ニ向テ彼ノ計ルベカラサル軍勢ヲ起スヘクアリシ、其ノ全キモノハ大ナル亞細亞ノ王領ノ一州ニ辛フシテ平等スルデ有フ○且又其人ニ於テノミ、ナラズ、然レ彼等ノ神ニ於ケル軍テアリシ○「パーシア」人ハ太陽ニ付テ及ヒ火ニ付テ熱心ナル禮拜者デアリシ、彼等希臘人ノ偶像拜者ヲ嫌ヒシ、而シテ彼等ノ道ニ於テ落チシ所ノ各ノ殿堂ヲ辱メシ及ヒ掠メシ○死亡及ヒ壞滅カスル手ニ向フテ睨メラレ能ヒシ所ノ最善キモノ隸ノ務メ及ヒ苦痛ガ只々餘リ慥ニ數ノ運命テアルテ有フ、

(附)今ノ大學ノ主ハ己ガ領スル、亞細亞ノ内一郡ノ慶サニモ當ラサル職員狹キ地中海中ノ諸島ニ向フテ無數ノ半變ヲ派遣セントセリ、○コノ戰爭ノ名トスル所ハ人專上ノミナラズ宗教神事上ノ異例ニ係レリ○即チ「パーシヤ」人ハ太陽及ビ火ニ付テノ熱心ナル禮拜者ニシテ「希臘」ノ偶像信者ヲ嫌忌セリ、故ニ軍兵進ム所ニ殿堂ヲ辱メ、奪掠暴害ヲナシタリ○殺戮打壞ニ過フハ斯ル猛烈野蠻ナル君主ニ服從シテ苦役ニ逢ヒ艱難ヲ受クルヨリモ寧ロ上策

ナリ、十年湖リテヨリ以前ノ希臘王ガ「アツチカ」ノ海岸ノ上ニ顯カニ打勝タルヘク彼ノ最良ノ軍隊ヲ送リタリシノ其ハ眞實テアリシ、然レ「マテリン」ニ於テノ損亡ハ打勝ノ「パーシア」人ノ強慾ヲ唯々憤勵シタリシ、而シテ「サーキセス」ナル新王ハ希臘人ヲ打チ卒キ及ヒ數ノ單ナル兵力ニ依テ彼等ノ國ニ蹂躪スルデ有フ如ク入ノ斯ル數方ヲ集メツ、アリシ

(講)今ヨリ以前十年希臘王「アツチカ」ノ海岸ニ精兵ノ軍隊ヲ送リ大敗ヲ取リタリト雖モソノ軍「マテリン」ニ於テ大敗シ却テ陸軍「パーシア」人ノ大望ヲ惹起セリ新王「セルキセス」兵數萬ヲ聚メタリ、コノ軍勢ハ實ニ「希臘」ヲ壓服シ總軍戰ハズシテ尙希臘全國ヲ蹂躪スルニ足ル

主人ノ場所ハ「サージス」ニ於テアリシ、而シテ其處ニ希臘ノ間諜ハ集マル所ノ群衆及ヒ王ノ從者ノ有様及ヒ華麗ヲ見タリシ○使臣カ陸及ヒ海ハ彼ノデアリシヲノ表號トシテ希臘ニ於テノ各國ヨリ土及ヒ水ヲ要求スヘク彼ヨリ來リタリシ、然レ各國ハ自由テアルヘク決定シテアリシ、而シテ只々彼ノ道ニ於テ最初橫ハル所ノ「セツサリー」ハ願服ノ兆表ヲ與ルヘク承諾セシ

(講)「セルキセス」ノ本營ハ「サーシス」ニ在リ、希臘ノ間者王ノ從者ノ華美豪華ト無數ノ群衆ヲ見テ驚駭セリ○王ハ使ヲ遣ハシテ「希臘」各州ヨリ土及ヒ水ヲ徵シテ海陸共己レガ領地ノ証トナサントセリ、然レ各州ハ決シテ服從セサル旨ヲ答ヘ、只々沼道ノ最近端ニアル「セツ

サリー」ノミ歸順ノ証ヲ與フルヘク一致セリ

會議カ「コリンズ」ノ地峽ニ於テ保タレシ、而シテ防禦ノ最善キ方法ヲ考フヘク希臘ノ國ノ總テヨリ委員ニ依テ出席サレシ○敵ノ船ハ「イージヤン」海ノ濱ヲ廻リテ周航スルテ有フ、陸軍ハ一緒ニ固結シタル小舟ノ橋ニ於テ「ヘレスポント」ヲ橫キリ而シテ「希臘」ニ迄テ南方ニ進ムテ有フ

(講)「希臘」各州ノ委員「コリンズ」ノ地峽ニ會シテ防禦ノ策ヲ議セリ○敵ノ海軍ハ「イージヤン」海濱ヲ周リテ航行シ、陸軍ハ小舟ヲ繋キテ橋トナシ「ヘレスポント」ヲ橫過シ希臘ノ南方ニ進ムナラン

只タ危難ヲ轉スルヲノ希望ハ、地ノ天然ヨリ、只タ數人カ一度ニ於テ手ハ手ニ迄テ戰ヒ能ヒシトホト左様ニ狹隘テアリシ如ク斯ノ如キ通路ヲ防グニ於テ橫ハル、夫故ニ勇氣ハ數ヨリモヨリ多有益ノモノテアルテ有フ

(講)コノ外冠ニ打チ勝チ危難ヲ救ハントセハ單ニ一策アルノミ、即天然ノ地形險阻狹隘ニシテ大軍通過スル能ハス、數人ノ接戰ニ依テ軍ノ成敗ヲ決スルガ如キ場所ヲ固守防衛セザル可カラス、然ルルハ兵多數ヲ統ハス唯精神ノ勇猛ヲ尊ブノミ

是等ノ狹路ノ最初ノモノハ「テンプ」ト名附ケラレシ、而シテ軍隊中ノ一部ハ其ヲ衛ルベク送ラレシ、然レ彼等ハ此レカ不要テ及ヒ出來ベカラサルモノデアリシヲ發見セシ、而シテ再ヒ歸リシ○次ハ「サーモビリー」ニ於テアリシ「子グロホント」ノ大ナル島ニ向テ即「ユ

「ボア」ナル其ノ古キ名ニ向テ希臘ノ汝ノ地圖ヲ睇メヨ

(註)コレヲ狹路ノ第一ノモノハ名テ「テムブ」ト云フ、一隊ハソノ所ヲ固守センカ爲メニ送ラレシト雖モ、コ、ヲ守ル、功少クシテ困數多シトナシ、守兵ハ一同引上ケタリ○第二ノ要路ハ「ウーモビリー」ニアリ○ソノ地位ヲ知ラントセバ「子グロポント」即古名「ユーボア」ナル巨島ヲ「希臘」ノ地圖ニ於テ求メヨ

其ハ海岸ヨリ離レテ破レタル一片ノ如ク見ユ、而シテ北ニ迄テ其ヲ越テ當ハメルテ有フ所ノ海灣ニ迄テ走ル所ノ嘴ヲ以タル鳥ノ頭ノ如ク形作ラレテアル○島及ヒ海岸ノ間ニ非常ニ狭キ海峡カアル○「パーシア」ノ軍勢ハ灣ノ端ヲ周リテ進ムヘク持ツテ有フ○彼等ハ國ヲ横キリテ正直ニ切り能ハサリシ、如何トナレハ「チータ」ト名附ケラレタル山ノ陸ハ高マリシ、及ヒ彼等ノ道ヲ支ヘシ故ニ

(註)ソノ要害ノ地ハ海岸ヨリ切斷シタル一片ノ如ク見ヘ、北ニ延長シテ地形島ノ頭ノ如ク嘴ハ還ク灣内ニ突入セリ○コノ島ト海岸ノ間ハ非常ニ狭キ海峡ヲナス○「パーシヤ」ノ軍隊ハ必スコノ海灣ノ終端ヲ周リテ進行シタルナラン○カレラ「パーシヤ」軍ハコノ國ヲ極過スル能ハス「オータ」ノ山脈高ク起リカシラノ進軍ヲ遮レバナリ、

實ニ木、岩、及ヒ峻阪ハ二ツノ場所ニ於テ其所ニ其ノ南ノ側ニ於テ灣ノ端ヲ形作りシ所ノ峻所及ヒ通行セラレサル沼ノ間ニ一ノ單ナル車輪ノ轍ニ向テ只タ室カアリシトボト左標ニ海岸ニ近ク下ニ來リシ

(註)實ニ樹木叢生シテ岩石峻坂海岸ニ近ク廻リ只峻險ナル山徑ト通行スベカラサル沼池トノ間ニ僅カニ車ノ一輪ヲ通スベキニケ所ノ余地アリ、ソノ沼澤ハ海灣ノ南邊ヲ形ツクル是等ノ二ノ各ノ狭キ場所ハ徑ノ門ト名付ケラレシ、而シテ別々ニ殆ント一英里テアリシ○其所ニ間タニアル所ノ塙所ニ於テ殘サレタル僅ヨリ多クノ廣サカアリシ○是ニ於テ其所ニ其ハ浴スヘク病人ニ向テ用ヒラレシ所ノ暖カナル礦物ノ水、鹽及ヒ硫黃ノ如キモノ、泉ノ數カアリシ而シテ斯ノ如クニシテ場所ハ「サーモビリー」即チ「ゼ、ホット、ゲーツ」ト呼バレシ

(註)コレラニツノ狹隘ナル場所ハ稱シテ徑門ト云フ、相距ルコ一英里許○ソノ間ニハ稍々暖キ間道アリ○コノ所ニ鹽分硫磺ヲ含ミタル礦泉數多アリテ病客常ニ浴シテ病ヲ瘳ス、コレ「サーモビリー」即チ「門」ノ名アル所ナリ

塔ハ「セツサリア」人及ヒ「フチシア」人其人ハ其ノ各ノ側ニ於テ生活セシ所ノ「セツサリア」人及ヒ「フチシア」人カ相互ニ於テ戰爭ニ於テアリシキニ、一度建ラレタリシ、然レ其ハ「フチシア」人カ急流ノ床其ニ依テ其ハ此ノ沼多キ海岸ノ道ヲ周リテ行クナク一ノ他方地ヨリ他ノモノニ迄テ横ルヘク出來ヘクアリシ所ノ急流ノ床ニ浴テ甚タ險キ狹キ山路カアリシトテ發見シタリシ以來、衰微ニ迄テ行クヘク免サレタリシ

(註)コ、ニ昔シ塔壁アリソノ兩傍ニ住シタル「セツサリア」人及ヒ「フチシア」人カ互ニ師ヲ起セシトニ初メテ建築シタルモノナリ、然レ「フチシア」人カ一急流川ノ底ニ浴フテ其險隘ナル

山路ヲ獲見セシ以來コノ防壁ハ全ク無用ニ歸シタリ、何トナレバコノ山路ニ依リテ濕潤ナル海岸ヲ周行セスシテ一地方ヨリ他地方ニ行クヲ得レバ也

此ハ其故ニ防グヘク勝レタル處所テアリシ○希臘ノ船ハ海峽ニ迄テ得ルヲヨリ「パーシヤ」ノ船ヲ及ヒ徑テ越テ上陸スル所ノ人ヲ防クヘク、「ユーボア」ノヨリ遙ナル處ニ於テ備ヘナラレシ、而シテ軍勢ノ一隊ガ「ホットケイツ」ヲ護ルヘク送ラレシ○地峽ニ於テノ評議員ハ山ノ通路ニ付テ知り爲サ、リシ、而シテ總テハ「パーシヤ」人カ海岸ノ徑ヨリ外ニ保ダレシタケ左様ニ長ク安全テアルヲ考ヘシ

〔註〕コノ山路ハ防守スルニ勝便ナル地ナリ○「希臘」ヲ戰艦ハ「ユーボア」ニ沿フテ防禦線ナリ以テ海峽ニ遠シ及ヒ徑テ越ヘテ上陸スル「パーシヤ」人ヲ防ケリ、而シテ一隊ハ「ホットケイツ」ヲ防守セリ○地峽ニ於テ會セル評議員ハ山徑ノアルヲ知ラズ、只敵ノ總軍ヲ海岸ノ徑ヨリ防キ止メバ安全ナリト思ヘリ

此目的ニ向テ送ラレタル軍隊ハ種々ノ都府ヨリテアリシ、而シテ殆ント四千人其人ハ二百萬ニ逆ツテ道ヲ保ツヘクアリシ所ノ殆ント四千人ニ迄テニ上ゲラレシ○彼等ノ首領ハ「レチニダス」其人ハ都府其ハ希臘ニ於テ總テノ他ノモノ上ニ恥ヨリヨリ僅カ際限ナク死ヲ怖レル所テ強キ兵士テアルヘク其ノ息子ヲ操練セシ所ノ都府ナル「スバルタ」ヲ二ノ王ノ近來一トナリタリシ所ノ「レチニダス」デアリシ

〔註〕國テ海岸ノ徑ヲ防ク爲メニ都府都府ヨリ軍隊ヲ派遣セリ、ソノ數四千人ニシテ、敵兵ニ

萬人ヲ防ガントセリ○其ノ總督ハ「スバルタ」ノ二王ノ一ト近來ナリシ所ノ「レチニダス」ナリ「スバルタ」ハ一ノ都府ニシテ希臘中尤モ二勇ヲ擧ヒキ壯丁ヲ教練シテ強兵諸都府ニ冠タリ、士卒ハ皆恥ヲ重ズト雖ドモ死ヲ輕ンセリ

「レチニダス」ハ遠王カ多分彼ノ死テアルデアラフノ彼ノ心ヲ既ニ定メタリシ、如何トナレバ恐ラクハ「スバルタ」ハ「ハーカルス」ノ種族ノ彼女ノ王ノ一ノ死ニ依テ救ハル、テ有ノ豫言ハ「デルフヒ」ニ於ケル殿堂ニ於テ與ヘラレタリシ故ニ○彼ハ法律ニ依テ彼ト共ニ三百人ヲ取ルヘク、而シテ是等ヲ彼ハ最注意シテ撰ムヘク免サレシ、只タ彼等ノ力及ヒ勇氣ニ向テノミナラス、然レ其等其人ハ息子ヲ持チシ所ノソレ等ヲ撰ム所テ、夫故ニ一ノ親屬ガ全ク破壊サレ得ザリシ

〔註〕「レチニダス」ハ死ヲ決シテコノ選征ニオモムケリ、カク死ヲ決セシハ「デルフヒ」ノ殿堂ニ於テ人ノ讒言ニ歸ス、ソノ讒ニ曰ク、コノ軍ヤ「ハーキユールス」種ノ主ノ一人死ヲ決シテ「スバルタ」ソノ危難ヲ免ル、ト○總督ハ終始三百人ヲ卒ヒ從ヘ單ニ剛強勇力ノモノ、ミヲ撰バヌ寧ロ繼嗣アル士卒ヲ採リテ部卒トナス可ク法律ニヨリテ規定セラレタリ、タトヒ全軍死没スルト雖ドモ親族七滅スルノ憂ナケレバナリ

是等ノ「スバルタ」人ハ彼等ノ奴隸ト共ニ、數ノ彼自身ノ配分ヲ定メシ、然レ軍勢ノ總テハ彼ノ大將ノ下ニアリシ○三百人ハ彼等ノ非禮カ仕遂ラレタリシ迄テ、死者ノ精神ハ一ノ安寧ヲ發見セサルヲ其カ希臘人ノ信用デアリシニ依テ彼等ハ敵ニ依テ彼等ヨリ奪ハル、テ有

フテ恐レテ、彼等ハ出發セシ前彼等自身ノ葬禮ノ定例ヲ祭リシ

(講)コレ等三百人ノ精兵ハ各自其奴隸若干人ヲ從ヘ各々一伍ヲ造ルヲ以テ全軍ノ人数ハ多シト雖厄皆王ノ指揮ヲ受クルモノナリ○三百人ハ出發前各自葬禮ヲ受クル迄ハ決シテ糧藥往來セズ遠征ニ迷フモノナリトセリ、今モシ戰場ニ於テ不運ニモ敵ノ虜トナリ、各自敵ノ爲メニ虜ニ遇フ、靈魂ハ、不祀ノ鬼トナルヲ恐レテナリ

斯ム如キ準備ハ「レチニダス」及ヒ彼ノ人ノ精神ヲ驚カシナサザリシ、而シテ「ゴイゴ」ナル彼ノ妻ハ怯心テアルヘク或ハ彼ヲ引留メルヘク女テアラサリシ○長キ前彼女ハ甚々小キ娘テアリシト、彼女ノ、一言ハ「パーシア」ノ王ヨリ反逆ナル前息ニ迄テ耳ヲ傾グルヲヨリ彼女ノ父ヲ救フタリシ、而シテ各ノ「スバル」ノ貴女ハ彼女カ、彼等カ勝利ヲ得テ其ヲ運ヒツ、平、或ハ此骸トシテ其ニ於テ保タレテ乎、彼等ノ婚ヲ以テ或ハ其ニ於テ戰ヨリ歸ラ子バナラヌヲテ、最善ク愛セシト其等ニ迄テ言フヘク適當デアアルヘク養育サレシ

(講)如此不吉ノ變動ハ「レチニダス」及ソノ部兵ノ氣ヲ奪フニ足ラス、且「レチニダス」ノ妻「ゴイゴ」ハ女々シクモ、ソノ夫ヲ引留ケルカ如キ怯者ニアラサリシ○數年前其未タ少女タリシ片ニ「パーシヤ」王ヨリソノ父ニ書ヲ贈リテ危難ニ誘致セントセシコアリシ片、コノ少女ハ父ニ助言ヲナシテ遂ニ災死ヲ免レシメタリ、「スバル」ノ貴女ヲハ其眞人ノ戰ニ臨ム片誤レテ告ケテ楯ヲ手ニシテ歸ル乎、或ハ楯ニ乘テ歸ルヘシ即チ勝利ヲ得テ歸ルカ否ラサレハ戰死シテ屍ヲ楯ニ乗セラレテ歸ルヘシト云フノ出來ル様ニ武ヲ備フノ精神教授ヲ受ケタ

タリ

第九十九課

「サーモビーリー」ノ戰爭

第二部

「レチニダス」ガ「サーモビーリー」ニマテ來リシ片ニ「フチニシヤ」人ハ「チータ」山ノ栗林ヲ通シテ山徑ニ付テ彼ニ告ゲシ、而シテ山邊ニ於テ上ニ高ク場所ニ於テ其ヲ護ルコトノ時許ヲ持ツベシ請ヒシ、其ハ他ノ終リニ於テ發見スベク甚ダ難クアリシコト及ビ其處ニ敵ガ決シテ其ヲ發見スデアラフコト各ノ實ラジキコトガアリシコト彼ニ保証スル處デ、○彼ハ承知セシ、而シテ暖カナル氷流ノ周圍ニ陣取リスル所デ修覆サレベク破レタル牆壁ヲ引起セシ、而シテ敵ニ會スベク準備ヲナセシ、

(講)「レチニダス」「サーモビーリー」ニ達セシ片、フチニシヤ人來リ告ゲテ曰ク「チータ」山中ノ栗林ヲ通フシテ山徑アリト而シテコノ山ノ高側ニ於テ一ノ場所ヲ守ルノ許可ヲ乞フテ曰ク此ノ場所ハ他方ヨリ見出スコハ困難ニシテ敵ハ決シテ吾々守兵ヲ見出スコナルベシト、○因テ「レチニダス」ハ之ヲ承諾シ而シテ温泉ノ周圍ニ陣ヲ構ヘ破牆ヲ修覆シ對戰ノ準備ヲナセリ、

「パーシヤ」ノ軍勢ハ全キ國ヲ覆ヒツ、見ラレシ、而シテ道ニ於テ南ノ希臘人ノ若干ノ心ハ

沈ムベク殆メシ、○「ペロポン子サス」ニ於テノ彼ノ家ハ比較上無難デアリシ、——彼等ハ寧
ロ退縮シ及ビ「コロンス」ノ地峽ヲ防守スベク彼等自身保タナシ、○然レモ「レタニ
ダス」ハ假令ヒ「スバルタ」ハ地峽ノ下ニ安全デアリシト雖モ、彼ノ北方ノ同盟ヲ棄ツル
一ノ注意ヲ持タザリシ、而シテ只ダ其遙カノ援助ニ向テ使者ヲ送ル所デ、彼等ノ位地ニ迄デ
他ノ「ペロポン子サス」人ヲ保チシ、

(譯)「パーシヤ」ノ軍勢ハ雲ノ如ク集リテ全國ヲ被ヘリ、其道ニ當ルノ北方「グリーク」人ハ心配
シ始メタリ、○「ペロポン子サス」ノ家宅ハ寧ロ安全ナルヲ以テ「コリンス」ノ地峽ヲ防禦スル
ノ愈レルニ如カザルガ如クナリシ、○然レドモ「リオニダス」ハ「スバルタ」ハ安全ナルモ北方
ノ同盟ヲ解クヲ欲セザルヲ以テ唯其地ニハ「ペロポン子サス」人ヲ止メ僅少ノ人數ヲ先方ニ
送り置ハシタリ、

直ニ馬上ニ於テ一ノ「パーシヤ」人ハ道ヲ探損スベク騎リシ、彼ハ墻壁ヲ越テ見能ハザリシ、
然レモ其前面ニ於テ而シテ堡障ニ於テ彼ハ彼ノ或ルモノハ活潑ナル嬉戯ニ於テ而シテ他ノ
モノハ彼等ノ長キ頭髮ヲ梳ル「ニ」於テ勉メタル「スバルタ」人ヲ見シ、彼ハ王ニ迄テ騎リ返
リシ而シテ彼が見タリシ處ノモノヲ彼ニ告ゲシ、

(譯)直ニ騎馬「パーシヤ」人、道ヲ探ルベク來リシ、○彼レハ壁ノ後面ヲ見ル「能ハザレ」モ其
レノ前面及ビ頂上ニハ「スバルタ」人ノ活潑ナル嬉戯ヲナスモノトソノ長髮ヲ梳ルモノトヲ
見タリ因テ直ニ歸リテソノ見察ノ次第ヲ王ニ上申シタリ

今「セルキシース」ハ「デマラタス」其人ハ彼ノ國ニマデ返逆者トナリタリシ、而シテ敵ニマ
デ輔佐者トシテ勤メツ「アリシ處」ノ「デマラタス」ト名附ケラレタル追放サレタル「スバルタ」
ノ太子ヲ彼ノ陣所ニ於テ持チシ、「セルキシース」ハ彼ヲ迎ヘシ而シテ彼ノ國人ハ逃走スル
「ノ」代リニ如斯ニシテ務メテアルベク狂癡デアリシ乎ヲ問ヒシ、然レモ「デマラタス」ハ強
キ戰爭ガ疑ナク準備ニ於テアリシ「及ビ」彼等ガ殆ンド或ル大ナル危難ノ上ニ入込ムベクア
リシモニ其ハ殊別ニ注意ヲ以テ彼等ノ頭髮ヲ整ヘルベク「スバルタ」人ノ風習デアリシ「ノ」
返答ヲナセシ、然トハ雖モ「セルキシース」ハ左様ニ小ナル軍勢ガ彼ニ抵抗スベク企テシ「ノ」
ヲ信用セヌデ有「フ」而シテ恐ラクハ彼ヲ補助スベク彼ノ艦隊ヲ望ム所デ四日間待チシ、然レ
其が見ヘナサ「リ」シ故ニ襲撃ガナサレシ、

(譯)今「セルキシース」ハ彼ニ叛キテ敵ノ輔佐ヲナシ爲メニ追放ニ遇ヒタル「スバルタ」ノ太子
「デマラタス」ヲソノ陣所ニ於テ拘留セリ○「セルキシース」ハ叛者「デマラタス」ヲ迎ヘテ問フ
テ曰ク「スバルタ」人ハ癡狂セシカ僥倖トシテ墻邊ニ嬉戯操作スルハ實ニ氣狂ヒノ所爲ナリ
ト然レモ「デマラタス」答ヘテ曰ク彼等ハ實ニ嬉戯スルニ非ラス戰備ヲナスナリ且ツ大ナル
危難ニ臨ムニハ必ズ先ツ細心注意シテ各自頭髮ヲ理スルハ「スバルタ」ノ習慣ナリト○然
レドモ「セルキシース」ハソノ寡少ノ兵卒ガ敵ニ抵抗スベク企テシ「フ」信ズベカラザルモノト
ナシ而シテ援助ノ艦隊ガ到ルヲ俟テリ四日ノ後尙ホ援勢來ラズ遂ニ攻撃ヲ受ケタリ、
ヨリ強キ人及ビヨリ多ク重ク鎧ハレタル希臘人ハ彼等ノ短鎗及ビ縮ミタル楯ヲ以テタル「バ

「パーシャ」人ヨリ利益ニマデ戦フベク遙カヨリ善ク適當デアリシ、而シテ大ナル容易ヲ以テ彼等ヲアチラニ打ツベク適當デアリシ「セルキシース」ハ後ロニ遁ハル、所ノ彼ノ軍隊ノ視覺ニ於テ失望ニ於テ彼ノ椅子ヲ三回飛ビ離レシ「其ハ言ハル、而シテ如斯ニシテ二日間其ハ彼等自身岩ヲ通シテノ如ク左様ニ「スパルタ」人ヲ通シテ道ヲ強ユルベク容易ニ見ヘシ、否ナ如何ニ野心ノ王ノ勝利ヲ擴ゲルベク家ヨリ引カレタル奴隸ノ如キ軍隊ハ自由人其人ハ彼等ノ打撃ガ彼等ノ家及ビ小兒ヲ防守スベクアリシ「テ感ゼシ所ノ自由人民ノ如ク戰ヒ能シカ、

(講)強壯ニシテ堅甲ヲ着ケタル「希臘」人ハ短槍ト編タル楯トヲ持セル「パーシャ」人ニ比シテ戰爭上ノ優點ヲ有セリ、而シテ彼等ヲ平定ス可キハ容易ナル筈ナリ、○當時傳ヘテ「セルキシース」ハ追ヒ退ケラル、已レノ軍兵ヲ見テ大ニ失望シ、三回ソノ椅子ヲ飛ビ離レテ足ヲ踏ミ腕ヲ扼セリト、而シテ二日間ハ恰モ岩中ヲ通行スル如ク大ナル困難ニヨリ強メテ前進セリ、○難イカナ已レノ野心ヲ逞フセントシテ無智無學ノ人民ヲ徵シ軍務ニ使役シテ以テ勇戰ニ向ヒソノ進ム所前ナク恰モ敵ヲ見テ小兒ノ如クナス處ノ雄戰ヲナサントハ、然レ其晩ニ於テ「エフィアルツ」ト名附ケラレタル憔悴ナル人ガ「パーシャ」ノ陣所ニマデ匍匐セシ、而シテ後陣ニ於テ勇氣アル防禦者ヲ取ルベク敵ヲ敵當サスルデ有フ所ノ山徑ヲ示スベク貨弊ノ大ナル高サニ向テ申出デシ、「ヒダー子ス」ト名附ケラレタル「パーシャ」ノ將軍ガ此通路ヲ固ムルベク分遣隊ヲ以テ日暮ニ於テ送遣サレシ、而シテ小山ノ邊リヲ被ヒシ

處ノ厚キ森ヲ通シテ導カレシ、

(講)然レモ其ノ夕暮「エフィアルツ」ト名クル憔悴ナル人「パーシャ」ノ陣營ニ來リ大金ヲ求メテ曰ク余一ノ山徑ノ要地ヲ發見セリモシ此ノ要害ヲ衝カバ敵ノ苦戰思フベキナリト、因テ「パーシャ」ノ大將「ヒダー子ス」ニ一隊ヲ属シ其ノ通路ヲ固メシム、日暮出足シテ丘ノ麓ヲ蔽ヒシ稠林中ヲ通行セリ、

天明ニ於テ空氣ノ靜ナル「フチニシア」ノ守兵ハ許多ノ足ノ歩行ノ下ニシ栗葉ノ爆鳴スル「ニ依テ驚訝シテアリシ、彼等ハ跳ビ起キシ然レ矢ノ驟雨ハ彼等ニ於テ射ラレシ、而シテ現在ノ驚愕ノ外ハ總テ忘却スル所デ、山ノヨリ高キ部分ニ迄テ逃レシ、而シテ敵ハ彼等ヲ追フベク待ツ「ナシニ下ルベク始メシ、

(講)天明四邊靜ナリコノ山徑ノ守兵栗葉ノ爆然鳴動シテ足音是々タルヲ聞キ大ニ驚愕セリ○彼等ハ速ニ起キシト雖ドモ矢ノ下ル「雨」ノ如ク驚愕措ク所ヲ知ラス山頂ニ向フテ逃走セリ○敵ハ直チニ下リテ追尾セズ

日ガ明ケシキニ朝ノ光ハ其處ニ組キ森ガ開キシ處ノ急流ノ河床ニ於テ燦爛タル「及ビ輝ク」ノ下ニ希臘ノ陣營ノ番人ニ迄テ顯ハレシ、其ハ水ノ火花デアラザリシ、然レ鍍金シタル鎧ノ光及ビ鍍金シタル槍ノ閃ク「ニテアリシ、

(講)日既ニ明クルヤ四方煙々タリ「希臘」ノ番兵ハ森林ヲ沿フテ流ル、河水ノ輝煌燦爛タルヲ見タリ、コレ水流ノ飛散日光ニ映スル爲ニアラズシテ鎧槍ノ閃々タル反射ナリ、

且又「シンマリ」人ハ新聞其ハ徑ガ表ハサレタリシ、敵ガ其ヲ登リツ、アリシ、而シテ東門ヲ越テ下ニ來ルデアフ「ノ新聞ヲ以テ「バーシア」人ハ辛フシ正午前下ルデ有フ、而シテ其處ニ彼等ガ敵ニ依テ如斯ニシテ閉込メラレ能ヒシ前逃ルベク希臘人ニ向フテ廣大ナル時ガアリシ、

（譯）「シンマリ」人ハ「バルシヤ」陣營ヨリ嶺カニ墻ヲ越ヘ來リ告グ山徑ハ敵ニマデ表ハサレ敵ハ其ノ徑ヲ壟ヲ將ニ東門ヲ越ヘテ來ラントスト、○道路ハ險難迂回シテ「バルシヤ」人ハ正午前ニ下ル能ハズ故ニ希臘人ハ敵ノ圍ヲ受クルマデハ逃去ル可キ充分ノ余時アリ、

其處ニ朝ノ祭禮ヲ越テ短キ會議ガ保タレシ預言者ナル「メギスチアス」ハ殺サレタル犠牲ノ五臟ヲ吟味スルコトニ於テ彼ガ得シ如ク彼等ノ顯ハレガ凶事ヲトセンコトヲ宣言セシ、「レチニダス」ハ退クベシ彼ニ命令セシ、然レハ彼ハ假令ヒ彼ガ彼ノ只ダ息子ヲ家ニ送リシト雖ヒ嫌ヒシ、其處ニ陣所其ハ保タレ能ハザリシ處ノ陣所ヲ殘ス「ニ於テ尋常ノ人ニ迄デ一ノ恥辱ガアラザリシ、而シテ「レチニダス」ハ尙ホ道ガ開ケテアリシ間ニ進ミ去ルベク彼ノ命令ノ下ニ同盟シタル軍隊ノ總テヲ推舉セシ、

（譯）希臘人ハ朝祀ヲ終リテ小會議ヲ開キシ、○臍臍ニヨリテ吉凶ヲトスル預言者「メギスチアス」死休ノ臍臍ヲ塗セシニソノ結果凶事ナリシ「ヲ公言セリ○將軍「レチニダス」ハ彼レニ命ジテ會議ヨリ退カシム然レドモンノ一子ヲ家ニ送リシト雖トモ已レ退ク「ヲ肯ンゼズ○保ツベカラザル陣營ヲ去リテ他ニ行クハ一ノ恥辱ニアラス而シテ「レチニダス」ハ部

衆同盟ノ軍隊ニ命ジテ道路ノ閉塞セザル間ニ退去セシム、

彼自身及ビ彼ノ「スバルタ」人ニ關シテハ彼等ハ彼等ノ陣所ニ於テ死スベク彼等ノ心ヲ定メタリシ、而シテ其處ニ斯ノ如キ決定ノ例ハ若シモ彼等ガ他ノ機會ニ向フテ彼等自身保ツベク注意アルモノデアリシナラバ彼等ノ最善キ盡力ガ曾テ爲シ能ヒシヨリモ、ヨリ多ク希臘ヲ救フベク爲スデアラフ處ノ一ノ疑ガアリ能ハザリシ、

（譯）「レチニダス」及ビ「スバルタ」人ハ既ニ死ヲ決シテ陣所ニ止マレリ、○タトヒ如何ナル骨折リチナストモンノ命ヲ惜ミ死ヲ恐レテ成セシ業ハ決死奮戰ノ功ニ及バザル「ヲ疑ヒナシ、同盟ノ總テハ、八十人其人ハ「マイシーナ」ヨリ來リシ處ノ八十人及ビ七百ノ「セスピア」人其人ハ彼等ガ「レチニダス」ヲ見捨ヌデ有フ「ヲ揚言セシ處ノ七百ノ「セスピア」人ノ外退クベク一致セシ、其處ニ又々四百ノ「セーブ」人其人ハ殘リシ處ノ四百ノ「セーブ」人ガアリシ、而シテ斯ノ如ニシテ敵ノ二百萬ニ對立スベク「レチニダス」ト共ニ止マリシ處ノ全數ハ其人ノ數ハ知ラレズニアル然レモ其處ニ少クトモ各ニマデ恐ラクハ一カアリシ處ノ三百ノ「スバルタ」人ニ於テ奴隸及ビ從者ノ外千四百ノ勇士デアリシ、

（譯）「マイシーナ」ヨリ來リシ八十人「レチニダス」ト生死ヲ共ニセン「ヲ誓ヒ七百ノ「セスピア」人ヲ除キテ外總テノ同盟人ハ將軍ノ言ニ從ヒ退去シタリ○尙留戰者ノ中ニ四百ノ「セーブ」人アリ○如斯ニシテ敵兵二百萬ト對戰スベキ兵ハ千四百人ノ勇者三百ノ「スバルタ」人及ビ少クトモ各「スバルタ」人一人ハ屬從スル奴隸從者ナリ、

「レチニダス」ハ「ハーカルス」ノ血統ヲ要ムル所ノ彼自身ノ如ク陣所ニ於テ二人ノ男親ヲ持
チシ、而シテ彼ハ「スバルタ」ニ迄テ書翰及ビ消息ヲ彼等ニ與ヘルコトニ依テ彼等ヲ救フベク
試ミシ然ルニ一人ハ彼ハ書翰ヲ運バズベク戰フベク來リタリシコト及ビ他ノモノハ彼ノ功業
ハ「スバルタ」ガ知ルベク望ミシ處ノ總テヲ告ゲルデ有フコトヲ答ヘシ、

（鷲）「レチニダス」ノ陣所ニ於テカレト同シク「ハーカルス」ハ種ト稱スル二人ノ男親アリ○
「レウニダス」ハ此ノ二人ヲシテ「スバルタ」ニマテ書翰、音信ヲ傳ヘシメ、而シテコノ二人ヲ助
ケント企タリ然レドモ二人ハ之ヲ肯ンゼズ余ハ戰争ノ爲ニ來リ書狀ヲ運ブ爲ニ來ラズト
言ヒ他ノ者ハ余ハ「スバルタ」人ガ見シコトヲ欲セシルヲ功業ヲ揚ゲンコトヲ望ムト云ヒタ
リ、

「ジーニセス」ト名附ケラレタル他ノ「スバルタ」人ハ敵ノ弓手ハ彼等ノ矢ガ太陽ヲ暗クセシ
「ホド左様ニ數多クアリシ」コトヲ告ゲラレシキニ左様ニ多ク尙ホ善ク余輩ハ影ニ於テ戰デ有
フト答ヘシ、

（鷲）敵ノ弓手多クシテ彼ヲ放ツ矢ハ太陽ヲ蔽ヒ日光ヲ遮リシコトヲ聞キシ片「スバルタ」人
「ジーニセス」ハ矢多クシテ日光ヲ斷ツトハ結構ナル事ゾヨ言々ハ影ニ於テ戰フコトヲ得ル
ヨト云ヒシ、

三百人ノ二人ハ眼ニ於テノ症ヨリ酷シク受害ズル所デ近隣ノ村ニマデ送ラレシ「ユーリタ
スタス」ト名附ケラレタル彼等ノ一人ハ彼ノ軍衣ヲ着セシ、而シテ列ニ於テ彼ノ塲所ニマデ

彼ヲ導クベク彼ノ奴隷ニ命令セシ、「アリストデマス」ト名附ケラレタル他ノモノハ彼ガ引
退クル所ノ同盟ト共ニ運ビ去ラルベク彼身自免ルセシ「ホド左様ニ左様ニ病ヲ以テ押ヘ付
ラレシ、總ガ行テアリシキニ其ガ尙ホ日ニ於テ早クアリシ而シテ「レチニダス」ハ彼等ノ最
後ノ食事ヲ取ルベク彼ノ人ニ迄テ言葉ヲ與ヘシ今夜余輩ハ「プラト」ト共ニ夜食スルデア
ラフト彼ガ言ヒシ、

（鷲）三百人中二人ハ眼病ニ苦シム疼痛甚シキヲ以テ近村ニマテ送ラレシ、○然レドモ「ユー
リタス」ナル者ハ己ノ軍服ヲ着シ奴隷ニ命シテ軍列中己レノ位置ニ導カシムソノ勇氣感ズ
ルニ堪ヘタリ○他ノ一人ハ「アリストデアス」ハ病症重クシテ退軍ト共ニ引キ退ク可ク自身
ヲ許シタリ、○退軍總テ去リシハ尙ホ未明ノ比ナリ而シテ「レチニダス」部兵ニ命ジテ訣別ノ
宴ヲ開カシメ今夜余々ハ「プラト」ト共ニ夜宴ヲ張ラント云ヒシ、

從來彼ハ防禦ニ於テ立チタリシ、而シテ彼ノ人ノ性命ヲ愛惜シタリシ、然レレバ今希臘ノ
名ノ恐レテ以テ敵ニ吹キ込ムベク如ク左様ニ出來ベシ如ク左様ニ大ナル屠殺ヲ爲スベク望
ミシ、彼ハ其故ニ襲ハルベク待ツコトナシニ牆ヲ越テ進ミ出デシ、而シテ戰爭ガ始マリシ、

（鷲）從來彼ハ防禦ニ力ヲ盡シ而シテ部兵ノ命ヲ重シタリシ、○然レドモ今彼ハ敵ノ襲來
ヲ俟タズ牆ヲ越ヘテ突進シ大ニ屠殺ヲナシテ「希臘」ノ威名ヲ知ラシメント欲シタリ、

「パーシヤ」ノ「カプティン」ハ彼等ノ難澁ナル軍隊ヲ越テ行キシ、而シテ鞭ヲ以テ戰ニマデ
彼等ヲ鞭チシヨ憫レナル難澁者ヨ、彼等ハ希臘人ノ槍ヲ以テ突透サレテ海ニマテ投ゲラレ